WinActor Manager on Cloud Version 3.9

オペレーションマニュアル

NTT アドバンステクノロジ株式会社

© 2025 NTT ADVANCED TECHNOLOGY CORPORATION

商標について

本書において以下に記載された名称、およびその他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。なお、本文中では ™、®、©マークは省略しています。

- Microsoft、Windows※1、Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

  ※1　Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。

- その他の記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

本書について

この「WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル」（以下、本書）は、WinActor Manager on Cloud（以下、WinActor Manager）でユーザや WinActor を管理したり、タスクの操作をしたりするために用意されているマニュアルです。

本書は、WinActor Manager を利用して WinActor を運用、管理、実行するユーザを対象としています。

■ 本書に関する注意

- 本書および提供するソフトウェア類に付された著作権表示の変更、削除をすることはできません。
  本書の著作権は NTT アドバンステクノロジ株式会社に帰属します。
- 本書では、Windows の操作方法や機能を理解されていることを前提として説明しています。本書に記載されていないことについては、Microsoft が提供しているドキュメントなどをご覧ください。

■ マニュアルの構成

WinActor Manager のマニュアル全体の構成については、以下を参照してください。

WinActor Manager on Cloud スタートアップマニュアル	WinActor を WinActor Manager に接続するための準備方法を記載しているマニュアルです。
WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル	WinActor Manager の画面構成と基本的な操作方法について記述しているマニュアルです（本書）。
WinActor Manager on Cloud シンプルモードユーザーマニュアル	シンプルモードユーザーが WinActor Manager の画面を操作するためのマニュアルです。
WinActor Manager on Cloud アンサンブルエディタユーザーマニュアル	WinActor Manager の一機能であるアンサンブルエディタをより便利に使用するために、目的に応じた使い方を記載しているマニュアルです。
WinActor Manager on Cloud チュートリアルブック	WinActor Manager をより便利に使用するために、目的に応じた使い方を記載しているチュートリアルです。
WinActor Manager on Cloud WinActor 接続台数制限ユーザーマニュアル	WinActorManager に接続できる WinActor 台数制限の設定時と非設定時の違いを記述しているマニュアルです。

■ 本書のアイコン

本書で使用しているアイコンおよび記号の意味は、以下のとおりです。

	特に重要な情報
	本文、画面説明、操作などへの補足的な情報
	本書の他のページや他のマニュアルなどへの参照情報

WinActor Manager の利用環境

WinActor Manager を利用するための前提条件を以下に示します。

- WinActor と WinActor Manager の間の HTTPS 通信が可能であること。
- WinActor Manager にログインするためのブラウザとして、Google Chrome を使用すること。

WinActor Manager の使用に関する注意

WinActor Manager を使用する場合、以下の点にご注意ください。

- WinActor Manager は、WinActor で使用するシナリオやデータファイル、WinActor がタスクを実行した結果ファイルを取り扱います。このため、シナリオやデータファイルおよび結果ファイルには、個人情報など含まれている可能性があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- WinActor Manager は、端末にインストールされた WinActor を自動的に実行する機能を有しています。他者への迷惑行為を自動的に実行するなど、公序良俗に反する行為には使用しないでください。

目次

商標について i
本書について ii
WinActor Manager の利用環境 iv
WinActor Manager の使用に関する注意 iv
目次 v

1. WinActor Manager の概要 1

1.1 WinActor Manager とは？ 1
1.2 WinActor Manager の機能 2
1.3 シナリオ実行の流れ 4
1.4 所属による管理対象の指定 5
1.5 ライセンスグループによる利用ライセンス数の指定 7
1.6 WinActor Manager のシナリオ管理 8
1.6.1 シナリオファイルの登録 8
1.6.2 シナリオ情報の登録 8
1.6.3 シナリオタグ 9
1.6.4 機能タグ 9
1.6.5 入出力パラメータ 10
1.7 シナリオ連携（アンサンブル機能） 11
1.8 サービス利用規約への同意 12
1.9 管理実行モードとローカル実行モード 13

2. WinActor Manager の基本操作 14

2.1 WinActor Manager にログインする 14
2.2 サービス利用規約を確認する 16
2.3 WinActor Manager の画面構成 18
2.3.1 WinActor Manager の基本画面構成 18
2.3.2 メニューと画面の概要 20
2.4 情報を検索する 22
2.4.1 情報を検索する 22
2.4.2 情報を並び替える 24
2.4.3 詳細情報を表示する 26
2.5 お知らせ情報を確認する 27
2.6 ログイン中のユーザ情報を確認する 28
2.7 パスワードを変更する 29
2.8 WinActor Manager からログアウトする 31
2.9 パスワードを初期化する 32

3. ダッシュボードで情報を確認する 34

3.1 ダッシュボードの構成 34
3.1.1 ダッシュボードの画面構成 34
3.2 グラフエリア 36
3.2.1 WinActor 登録台数・起動台数 36
3.2.2 利用ライセンス数 37
3.2.3 長時間起動中 WinActor 38
3.2.4 予約済み WinActor 39
3.2.5 タスク正常終了・異常終了 40
3.2.6 予約済みシナリオ 41
3.3 詳細情報エリア 42
3.3.1 WinActor・ライセンス情報 42
3.3.2 タスク情報 43
3.3.3 通信量・ファイル情報 44
3.4 承認待ちステージ情報 45
3.5 タスクカレンダー 46

4. ライセンスを管理する 48

4.1 ライセンスの種類 48
4.2 ライセンス画面の構成 49
4.2.1 ライセンス画面の全体構成 49
4.3 ライセンスグループ画面の構成 51
4.3.1 ライセンスグループ画面の全体構成 51
4.3.2 ライセンスグループを新規作成する 53
4.3.3 ライセンスグループのパスワードを更新する 56
4.3.4 ライセンスグループのライセンス数を更新する 58
4.3.5 ライセンスグループを削除する 60

5. WinActor を管理する 61

5.1 WinActor の状態について 61
5.2 WinActor 画面の全体構成 63
5.3 WinActor を検索する 66
5.3.1 WinActor の検索条件 66
5.3.2 WinActor の検索結果一覧の詳細 69
5.3.3 WinActor 情報をファイルに出力する 72
5.4 WinActor の詳細情報を表示する 74
5.4.1 WinActor の詳細情報エリアの構成要素 74
5.4.2 WinActor の詳細情報の構成要素 77
5.4.3 WinActor の詳細情報(設定更新)の構成要素 81
5.4.4 WinActor の詳細情報(本体更新)の構成要素 84
5.4.5 WinActor の詳細情報(ライセンス更新)の構成要素 85
5.4.6 ライセンス履歴の構成要素 88
5.4.7 タスクカレンダーの構成要素 89
5.5 WinActor を制御する 90

5.5.1 WinActor のタスク実行を再開する 90
5.5.2 WinActor をクリーンする 92
5.5.3 WinActor を再起動する 94
5.5.4 WinActor を停止する 96
5.5.5 WinActor へのタスク割当を停止する 98
5.5.6 WinActor へのタスク割当を再開する 99
5.5.7 WinActor の稼働情報を出力する 100
5.6 WinActor 情報を更新する 101
5.7 WinActor を削除する 103
5.8 WinActor を一括設定する 104
5.8.1 WinActor の選択方法 104
5.8.2 一括設定画面の構成 106
5.8.3 操作の選択 108
5.8.4 設定対象の WinActor の確認 110
5.8.5 設定更新方法 113
5.8.6 本体更新方法 116
5.8.7 NL 更新・NL ライセンスクリア更新方法 118
5.8.8 再起動の設定 122
5.8.9 WinActor ソフトウェア使用許諾契約書の確認 123
5.9 WinActor の利用状況をファイルに出力する 125
5.9.1 WinActor 利用状況の構成要素 125
6. ファイルを管理する 128
6.1 ファイル画面の全体構成 128
6.2 ファイルを検索する 130
6.2.1 ファイルの検索条件 130
6.2.2 ファイルの検索結果一覧の詳細 133
6.2.3 ファイル情報をファイルに出力する 135
6.2.4 サブメニューからの検索 137
6.3 ファイルを削除する 138
6.3.1 ファイルをまとめて削除する 138
6.4 ファイルをアップロードする 140
6.4.1 ファイルのアップロード 140
6.4.2 サブメニューからのアップロード 141
6.5 ファイルの詳細情報を表示する 142
6.5.1 ファイルの詳細情報エリアの構成要素 142
6.5.2 ファイルをダウンロードする 144
6.5.3 ファイル情報を変更する 146
6.5.4 ファイルを削除する 147
6.6 ファイルの履歴情報を確認する 148
6.6.1 ファイルの履歴一覧エリアの構成要素 148
6.6.2 ファイルのファイル更新エリアの構成要素 150
6.6.3 過去のファイルをダウンロードする 151
6.6.4 過去のファイルを削除する 152

6.6.5 ファイル履歴情報を変更する 154
6.6.6 ファイルを更新する 156

7. シナリオを管理する 158

7.1 シナリオ画面の全体構成 158
7.2 シナリオを検索する 161
7.2.1 シナリオの検索条件 161
7.2.2 シナリオの検索結果一覧の詳細 163
7.2.3 シナリオ情報をファイルに出力する 165
7.3 シナリオの詳細情報を表示する 167
7.3.1 シナリオの詳細情報の構成要素 167
7.4 シナリオを作成する 171
7.4.1 シナリオの作成手順 171
7.4.2 シナリオ新規作成の設定項目 174
7.4.3 サブメニューからの新規作成 177
7.5 シナリオを更新する 178
7.6 シナリオをコピーして登録する 180
7.7 シナリオを削除する 183
7.8 シナリオに紐づく情報をまとめて削除する 184
7.9 シナリオをスケジュール登録する 187
7.9.1 スケジュールの登録手順 187
7.9.2 スケジュール登録の設定項目（予約する） 192
7.9.3 スケジュール登録の設定項目（連続実行を予約する） 197

8. スケジュールを管理する 202

8.1 スケジュール画面の全体構成 202
8.2 スケジュールを検索する 204
8.2.1 スケジュールの検索条件 204
8.2.2 スケジュールの検索結果一覧の詳細 206
8.2.3 スケジュール情報をファイルに出力する 208
8.3 スケジュール登録する 210
8.3.1 予約する 210
8.3.2 連続実行を予約する 210
8.3.3 アンサンブルエディタを使用する 210
8.3.4 サブメニューからのスケジュール登録 210
8.4 スケジュールの詳細情報を表示する 212
8.4.1 スケジュールの詳細情報の構成要素 212
8.5 スケジュールの無効／有効を切り替える 215
8.6 スケジュールを更新する 218
8.7 スケジュールをコピーして登録する 221
8.8 スケジュールを削除する 226
8.9 スケジュールに紐づく情報をまとめて削除する 227

9. タスクを管理する 230
9.1 タスクの状態について 230
9.2 タスク画面の全体構成 231
9.3 タスクを検索する 234
9.3.1 タスクの検索条件 234
9.3.2 タスクの検索結果一覧の詳細 237
9.3.3 タスク情報をファイルに出力する 239
9.4 タスクの詳細情報を表示する 240
9.4.1 タスクの詳細情報の構成要素 240
9.5 タスクを確認済みにする 245
9.6 タスクを中断する 247
9.7 タスクを削除する 249
9.8 タスクに紐づく情報をまとめて削除する 250
10. イベントを管理する 253
10.1 イベント画面の全体構成 253
10.2 イベントを検索する 255
10.2.1 イベントの検索条件 255
10.2.2 イベントの検索結果一覧の詳細 257
10.2.3 イベント情報をファイルに出力する 259
11. ユーザを管理する 261
11.1 ユーザ画面の全体構成 261
11.2 ユーザを検索する 263
11.2.1 ユーザの検索条件 263
11.2.2 ユーザの検索結果一覧の詳細 265
11.3 ユーザの詳細情報を表示する 267
11.3.1 ユーザの詳細情報の構成要素 267
11.4 ユーザを新規作成する 270
11.4.1 ユーザの新規作成手順 270
11.4.2 ユーザ新規作成の設定項目 272
11.4.3 メールの通知契機を設定する 274
11.5 ユーザ情報を更新する 277
11.6 テストメールを送信する 279
11.7 ロックを解除する 280
11.8 ユーザの無効／有効を切り替える 281
11.9 ユーザを削除する 284
11.10 ユーザを一括処理する 285
11.10.1 ユーザ情報をファイルに出力する 285
11.10.2 取り込み用ユーザ情報ファイルのフォーマット 286
11.10.3 ユーザ情報をファイルから取り込む 290

12. 所属を管理する 292
12.1 所属画面の全体構成 292
12.2 所属を検索する 294
12.2.1 所属の検索条件 294
12.2.2 所属の検索結果一覧の詳細 295
12.3 所属の詳細情報を表示する 297
12.3.1 所属の詳細情報の構成要素 297
12.4 所属を新規作成する 299
12.5 所属の表示順を変更する 302
12.6 所属を更新する 304
12.7 所属を削除する 305
12.8 所属を一括処理する 306
12.8.1 所属情報をファイルに出力する 306
12.8.2 取り込み用所属情報ファイルのフォーマット 308
12.8.3 所属情報をファイルから取り込む 310
13. ロールを管理する 312
13.1 ロールの設定について 312
13.2 標準で用意されているロール 314
13.3 ロール画面の全体構成 315
13.4 ロールを検索する 317
13.4.1 ロールの検索条件 317
13.4.2 ロール名の検索結果一覧の詳細 319
13.5 ロールの詳細情報を表示する 320
13.5.1 ロールの詳細情報の構成要素 320
13.6 ロールを新規作成する 322
13.7 ロールを更新する 324
13.8 ロールをコピーして登録する 326
13.9 ロールを削除する 328
14. 各種設定を行う 329
14.1 設定画面の全体構成 329
14.2 管理サーバのパスワードを更新する 333
14.3 お知らせ設定を更新する 335
14.4 動作に関する設定を更新する 337
14.4.1 動作に関する設定項目 339
14.5 警告メール通知設定を更新する 342
14.6 オプションセットを新規作成する 344
14.7 オプションセットを更新する 347
14.8 オプションセットを削除する 349

15. シナリオ連携（アンサンブル機能）を設定する 350
15.1 連携パラメータを設定する 350
15.1.1 連携パラメータの設定手順 350
15.1.2 連携パラメータダイアログの設定項目 353
15.1.3 連携パラメータ（スケジュール登録）の表示項目 358
15.2 データ一覧ファイルを設定する 360
15.2.1 データ一覧ファイルの設定項目 360
15.3 実行指定を設定する 364
15.3.1 実行指定の設定項目 364
16. シナリオ連携（アンサンブル機能）を管理する 366
16.1 進捗画面の構成 366
16.2 ステージを検索する 369
16.2.1 ステージの検索条件 369
16.2.2 ステージの検索結果一覧の詳細 371
16.2.3 ステージの履歴の詳細 373
16.2.4 ステージのフロー情報の詳細 375
16.3 ステージの詳細情報を表示する 376
16.3.1 ステージの詳細情報の構成要素 376
16.4 アンサンブルエディタからステージを作成する 381
16.4.1 アンサンブルエディタの構成要素 381
16.4.2 シナリオ情報ポップアップの構成要素 384
16.4.3 スケジュール設定の構成要素 385
16.4.4 パラメータ設定ダイアログ（文字列）の構成要素 391
16.4.5 パラメータ設定ダイアログ（ファイル）の構成要素 392
16.4.6 パラメータ設定ダイアログ（パスワード）の構成要素 393
16.4.7 データ一覧ファイル設定ダイアログの構成要素 394
16.5 同一 WinActor での連続タスク実行方法について 395
16.5.1 実行 WinActor を指定する 395
16.5.2 シナリオから外部シナリオを呼び出す 396
17. 多要素認証を設定する 398
17.1 多要素認証方式について 398
17.2 多要素認証の設定方法について 399
17.2.1 ロールを設定する 399
17.2.2 多要素認証設定画面を表示する 401
17.2.3 認証アプリケーションを使用する 402
17.2.4 メールアドレスへの認証コード送信を使用する 405
17.2.5 ログイン時に多要素認証を設定する 407
17.2.6 administrator ロールを持つユーザへの多要素認証設定 409
17.3 多要素認証の解除方法について 410
17.3.1 多要素認証を解除する（多要素認証設定画面） 410

17.3.2　多要素認証を解除する（ユーザ画面）.....412
17.4 多要素認証を用いてログインする.....414

1. WinActor Manager の概要

この章では、WinActor Manager の基本的な仕組みや機能、操作の流れなどについて説明します。

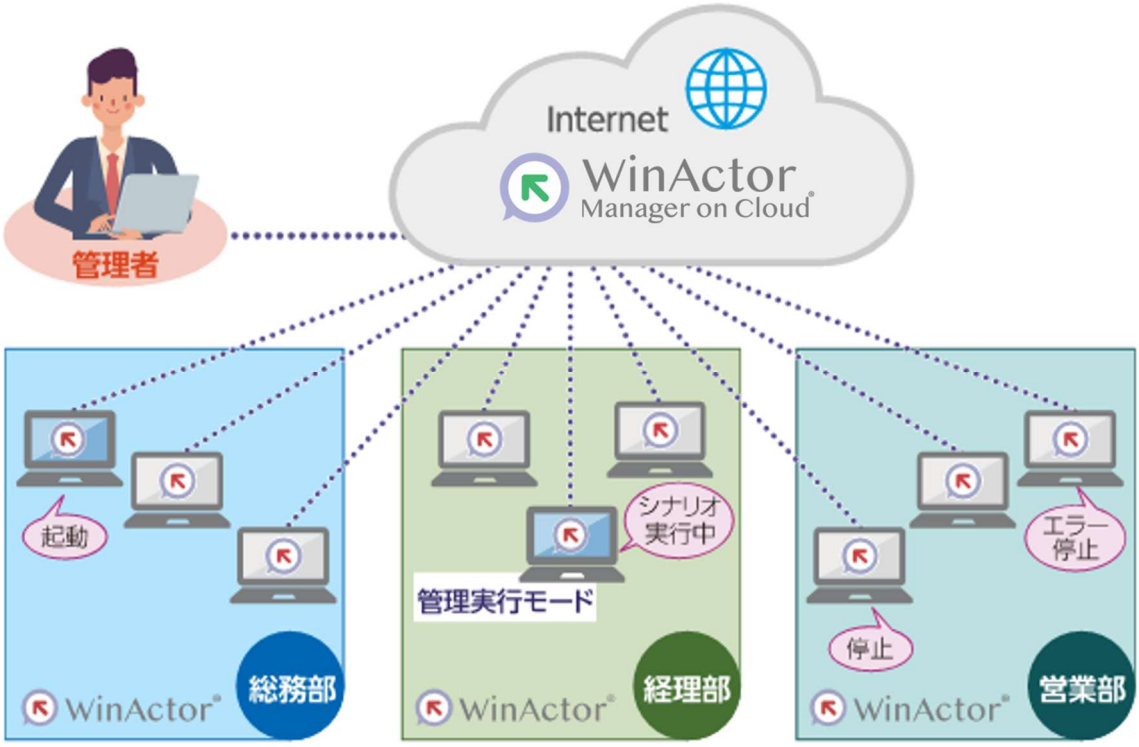
1.1 WinActor Manager とは？

WinActor Manager は、複数の WinActor を集中管理するためのサービスです。管理者はクラウド上の WinActor Manager にログインし、管理下にある WinActor の稼働状況を把握できます。

また、管理者は、管理実行モードにある WinActor へ、登録したシナリオおよびスケジュールの実行指示を出します。シナリオの実行状況は、WinActor Manager で、「タスク」として管理できます。

さらに、管理者は、WinActor Manager にログインするユーザを管理し、「ロール」（役割）を割り当てたり、「所属」によって管理可能な範囲を設定したりできます。

図 1.1-1 WinActor Manager のサービスイメージ

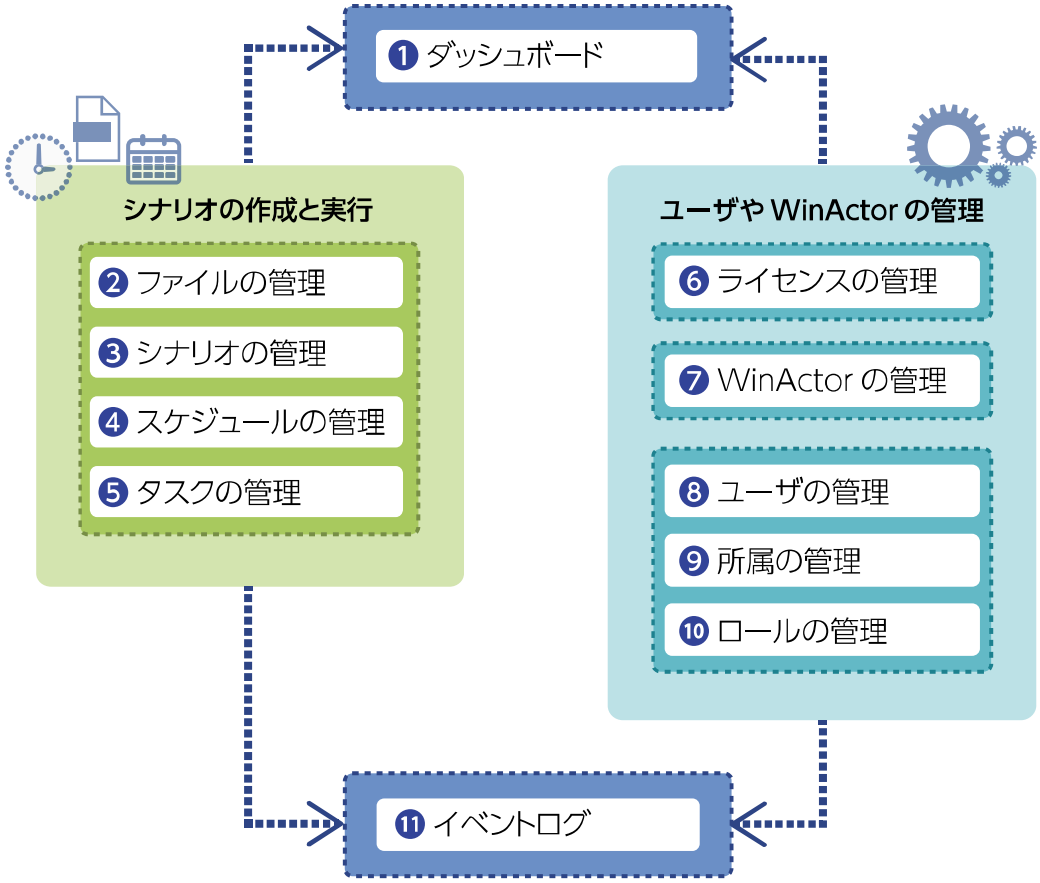


管理実行モードは、WinActor Manager からの指示でのみ WinActor を動作させることができるモードです。このモードになると、ユーザは WinActor を操作してシナリオの作成／実行ができないようになります。

1.2　WinActor Manager の機能

WinActor Manager で利用できる機能について説明します。

表 1.2-1 WinActor Manager の機能



❶ ダッシュボード
グラフや数値などで、WinActor Manager、WinActor、タスクなどの状態や情報を俯瞰的に確認できる機能です。

『3. ダッシュボードで情報を確認する』

❷ ファイルの管理
WinActor で作成したシナリオや、シナリオ実行時の入出力ファイルや実行ログファイルを管理する機能です。

『6. ファイルを管理する』

❸ シナリオの管理
アップロードしたシナリオファイルをシナリオとして登録して管理する機能です。

『7. シナリオを管理する』
『15. シナリオ連携（アンサンブル機能）を設定する』
『16. シナリオ連携（アンサンブル機能）を管理する』

❹ スケジュールの管理
シナリオを実行するためのスケジュールを管理する機能です。

『8. スケジュールを管理する』

❺ タスクの管理
WinActor に割り当てられ、スケジュール機能によって実行されるシナリオを、タスクとして管理する機能です。

『9. タスクを管理する』

❻ ライセンスの管理
フローティングライセンス版の WinActor に配布するライセンスのライセンス情報やライセンス利用状況を確認できる機能です。

『4. ライセンスを管理する』

❼ WinActor の管理
WinActor を管理する機能です。

『5.　WinActor を管理する』

❽ ユーザの管理
WinActor Manager にログインするユーザを管理する機能です。

『11. ユーザを管理する』

❾ 所属の管理
管理対象の範囲を 3 階層で定義する機能です。

『12. 所属を管理する』

❿ ロールの管理
WinActor Manager にログインして操作をするユーザに割り当てるロール（役割）を管理する機能です。

『13. ロールを管理する』

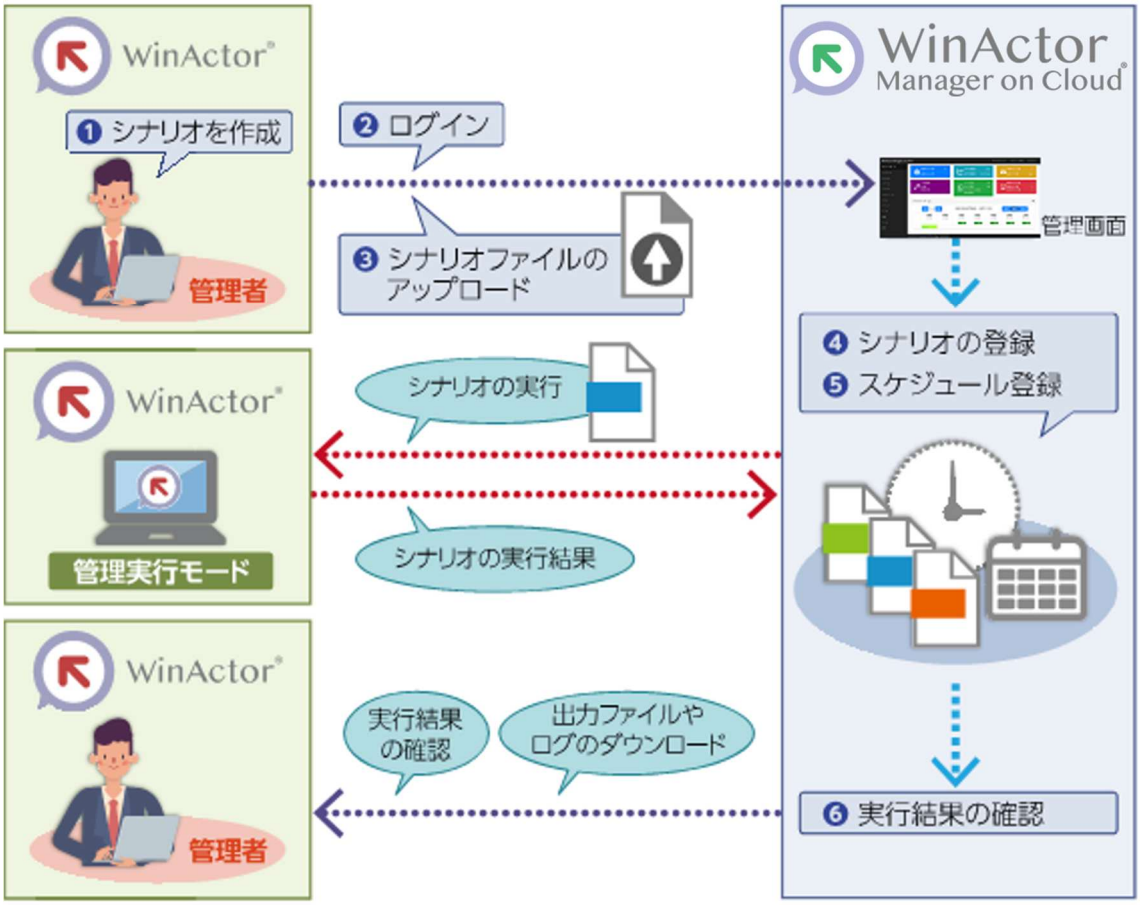
⓫ イベントログ
ユーザの操作、シナリオやスケジュールの操作、タスクの状態などのイベントをログとして保存し、確認できる機能です。

『10. イベントを管理する』

1.3　シナリオ実行の流れ

WinActor で作成したシナリオファイルをアップロードし、スケジュール登録して実行するまでの基本的な流れは以下のとおりです。

図 1.3-1 シナリオ実行の流れ

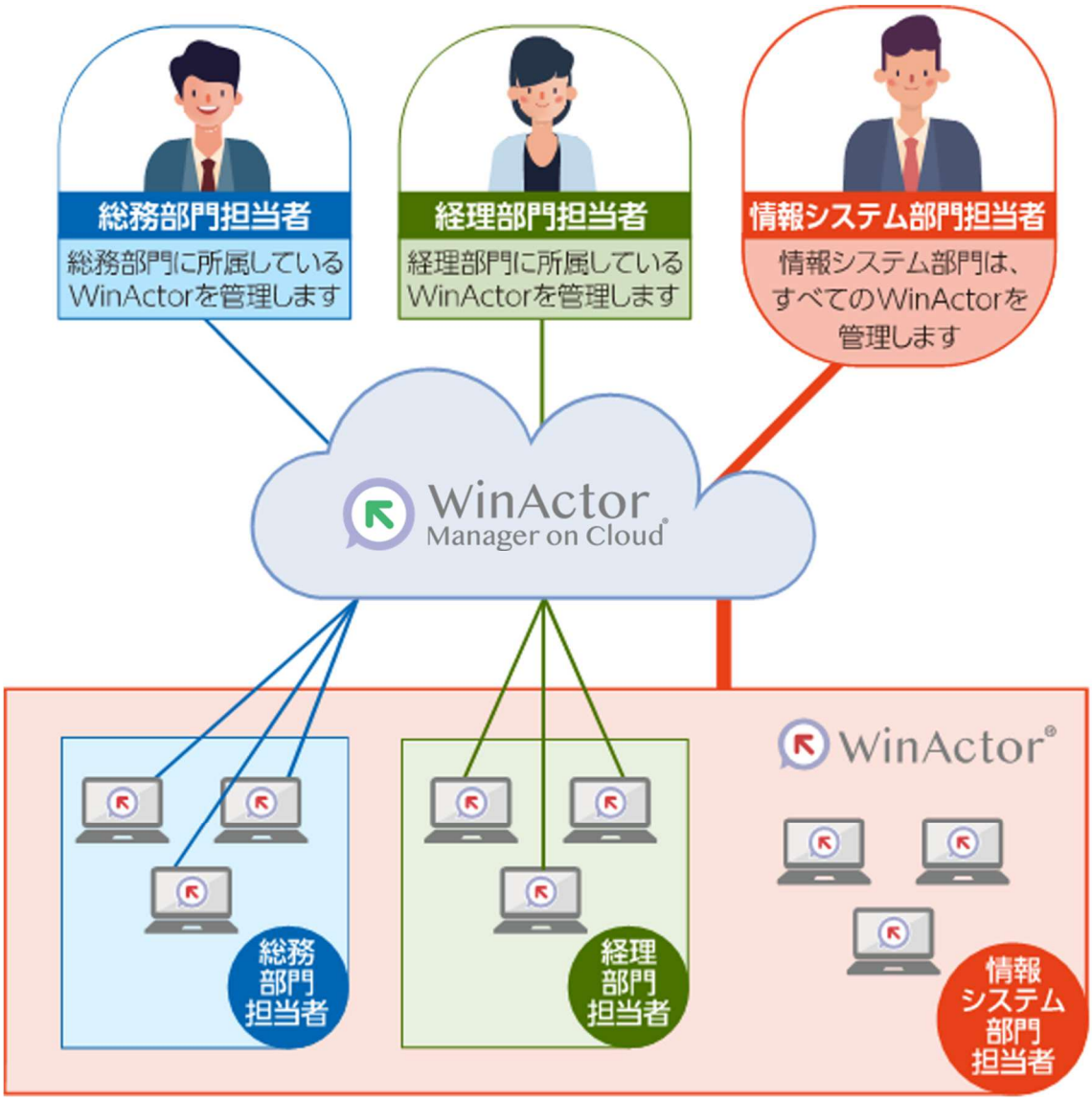


1.4　所属による管理対象の指定

WinActor Manager では、ログインするユーザが管理できる範囲を所属として定義できます。

これによって、独立した部門を管理するユーザは、部門のファイルやシナリオ、スケジュールのみを管理すればよく、関連のない部門に対して情報を見せないように設定することが可能です。

図 1.4-1 所属による管理対象の指定



所属は各リソース（WinActor、ファイル、シナリオ、スケジュール、タスク）をユーザが参照する際のアクセス権として使用され、通常は自分の所属配下のリソースしか参照できません。例外として共有所属のリソースはどのユーザからも参照可能となり

ます。
WinActor がタスクを参照する際にも所属情報を確認していますが、この場合は共有のタスクは対象とならず、自分の所属配下のタスクのみが処理対象となります。

WinActor Manager の設定によっては、新規に接続した WinActor の所属を「未所属」とすることができます。この所属が「未所属」の WinActor はどの所属にも属していない状態であり、管理者権限を持つユーザしか参照することは出来ません。また、所属が「未所属」のままではタスク実行など一部の機能が制限されていますのでご利用前に所属を設定してください。

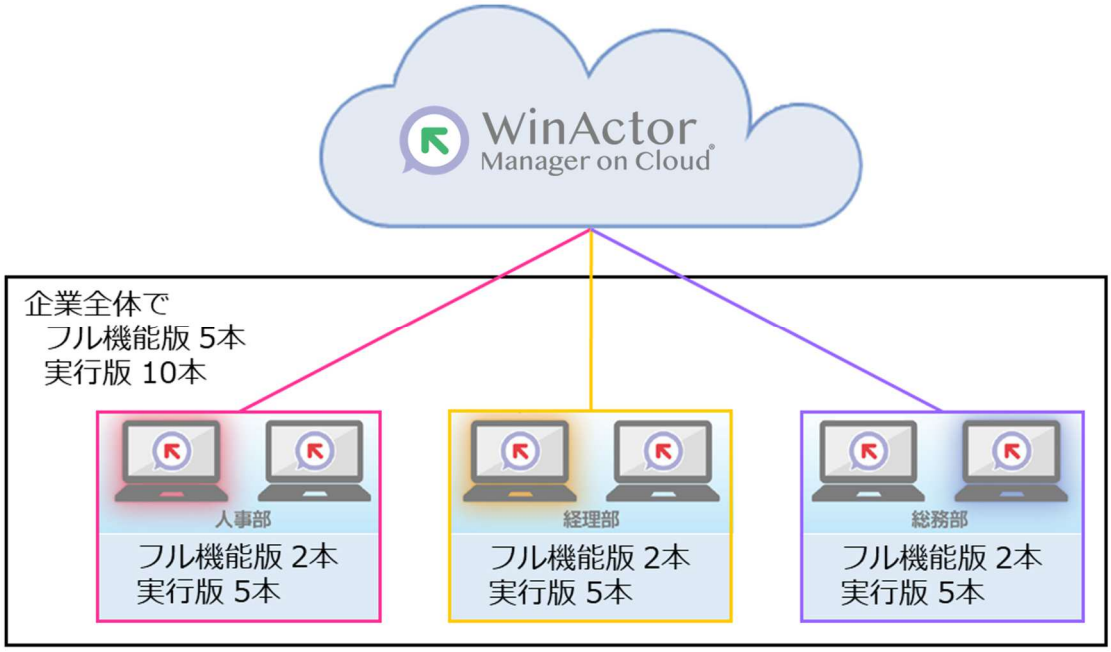
『14.4 動作に関する設定を更新する』

1.5　ライセンスグループによる利用ライセンス数の指定

WinActor Manager では、フローティングライセンスを割り当てることができる「ライセンスグループ」を定義できます。WinActor は、いずれかの「ライセンスグループ」に所属して、そのライセンスグループに割り当てられたフローティングライセンスを利用できます。

これによって、部門ごとに利用可能なライセンス数の上限を設定できます。

図 1.5-1 ライセンスグループの利用イメージ



1.6　WinActor Manager のシナリオ管理

WinActor Manager に WinActor のシナリオを登録しておくことで、必要に応じてバージョンアップしたり、修正履歴を管理したりできます。

以下では、WinActor Manager のシナリオ管理で利用可能な機能について説明します。

1.6.1　シナリオファイルの登録

WinActor で作成したシナリオファイルを WinActor Manager に登録します。WinActor Manager に登録後、シナリオファイル内の処理の見直しなどにより、シナリオファイルを差し替えたい場合は、WinActor Manager に登録したファイルを更新することができます。

WinActor Manager の以前のバージョンではファイルは登録することしかできませんでしたが、同じファイルを更新できるようになりました。更新前のファイルのダウンロードも可能です。

『6. ファイルを管理する』

1.6.2　シナリオ情報の登録

WinActor Manager ではシナリオファイルをアップロードしただけでは、そのシナリオファイルを実行することはできません。シナリオファイルを実行するためには「シナリオ情報」を登録する必要があります。シナリオ情報は

・使用するシナリオファイル名の指定

・シナリオファイル内で使用している変数のうち、入出力パラメータとして用いる変数の指定

・タグ情報などの指定

のように、どのようなシナリオファイルを実行したいと考えているのかを登録するものです。シナリオ情報登録後、シナリオ名や所属を変更したいなどの理由によりシナリオ情報を変更したい場合は更新することが可能です。

シナリオ情報の登録後、実行するタイミングを指定する「スケジュール登録」を行うことで、シナリオファイルを動作させることが可能になります。

WinActor Manager の以前のバージョンではシナリオ情報を編集すると新しいシナリオ情報となり、スケジュール登録などをやり直す必要がありましたが、同じシナリオ情報を更新することができるようになりました。

『7. シナリオを管理する』

1.6.3　シナリオタグ

シナリオ情報に設定可能な情報として、「メモ」「修正内容」「シナリオタグ」があります。メモと修正内容は 200 文字まで、「シナリオタグ」は 64 文字まで設定できます。シナリオタグは検索キーワードとして利用できるため、ユーザの運用方法に応じて使い分けてください。

1.6.4　機能タグ

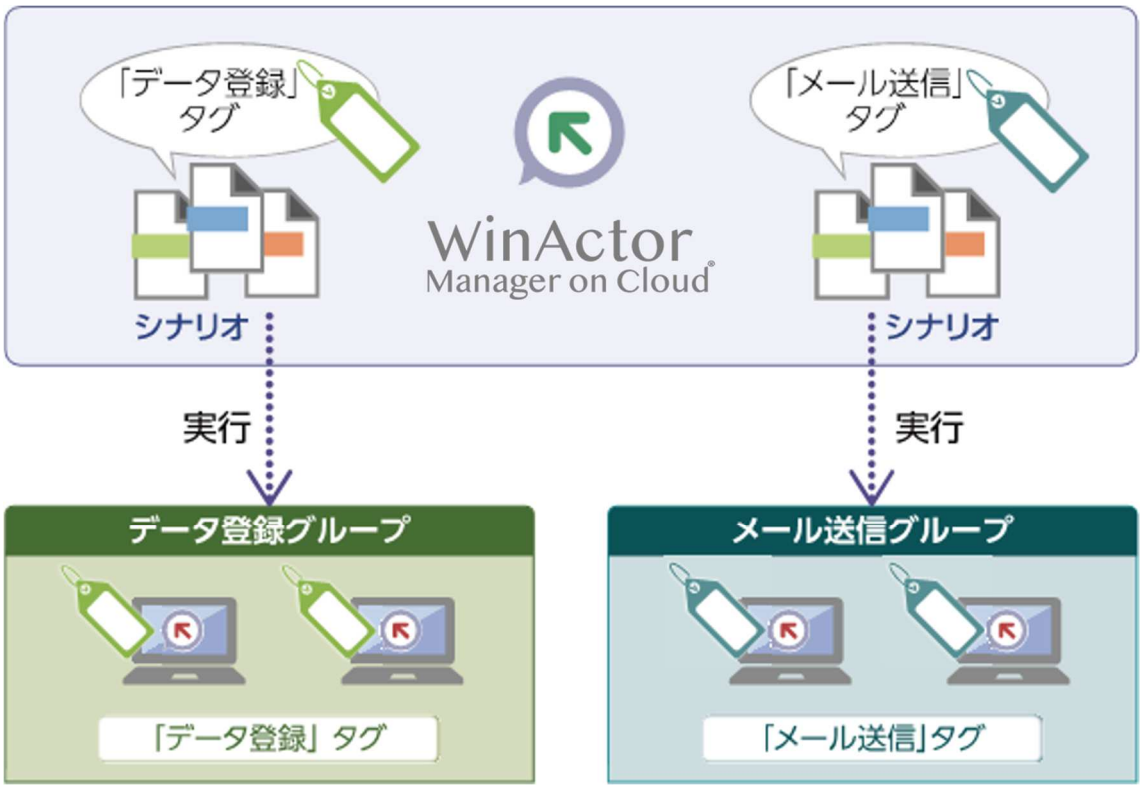
機能タグは、特定のシナリオを実行する WinActor を指定する機能です。

スケジュール登録されているシナリオがタスクとして実行される際、WinActor とシナリオの両方に設定されている機能タグが完全一致した場合にのみ、対象の WinActor で対象のシナリオが実行されます。複数の WinActor に機能タグが設定されている場合、そのうち 1 台の WinActor でシナリオが実行されたあとに、タスクは終了します。完全一致する機能タグがない場合、タスクは待機中となります。

たとえば、特定の業務に紐づいた WinActor に固有の機能タグを設定しておくことで、業務ごとのタスクを割り当てる WinActor グループを形成することが可能です。

業務に紐づいたシナリオに同じ機能タグを設定することで、特定の WinActor グループのみがタスクを実行できるようになります。

図 1.6-1 機能タグの利用イメージ



機能タグについては WinActor に機能タグが設定されていても機能タグを持たないシナリオを実行する、もしくは WinActor とシナリオの機能タグが一致する場合にシナリオを実行する、のいずれかの動作を選択することができます。

『14.4 動作に関する設定を更新する』

1.6.5 入出力パラメータ

スケジュールを設定してシナリオをタスクとして実行する際に、入力パラメータと出力パラメータを設定できます。入力パラメータ名、出力パラメータ名はシナリオファイル内で使用している変数名となります。シナリオファイル内で使用している変数名と型（文字列またはファイル）を設定してください。

入出力パラメータの具体的な利用方法については、『WinActor Manager on Cloud チュートリアルブック』の『5. シナリオと入出力ファイルをやりとりするには』を参照してください。

■ 入力パラメータ

タスクの実行時に、シナリオに入力する文字列や入力ファイルを指定する場合は、入力パラメータを指定します。

■ 出力パラメータ

タスクの実行時に、シナリオから変数の値を出力する場合は、出力パラメータを設定します。文字列を出力したり、シナリオで指定した出力ファイルにシナリオの処理結果を出力したりできます。

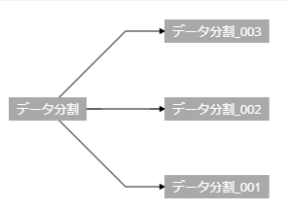
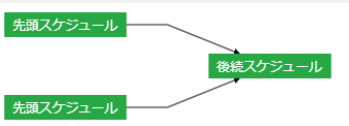
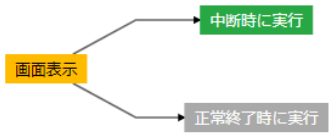
1.7　シナリオ連携（アンサンブル機能）

WinActor Manager では入力されたデータを分割して複数の WinActor で実行したり、複数のシナリオを連続して実行することができます。これらの機能を「アンサンブル機能」と呼びます。

ユーザはアンサンブル機能を用いて「ステージ（舞台）」上で「複数のシナリオ（登場人物）」をどのように組み合わせて実行するかを設定します。

以下では、WinActor Manager のアンサンブル機能として提供している機能について説明します。

表 1.7-1 アンサンブル機能として提供している機能一覧

No.	機能	フロー	解説
❶	データ分割		入力されたデータ一覧ファイルを分割し、複数の WinActor で処理を行うことで処理時間の短縮が期待できます。 データの結合を行う場合は専用の結合シナリオを作成して実行してください。
❷	連結		複数シナリオを連続して実行します。シナリオの出力結果を次のシナリオの入力情報とすることができます。
❸	連結（待ち合わせ）		複数シナリオ実行中にそれらのシナリオの終了を待ち合わせることができます。
❹	条件分岐		シナリオの実行結果に基づいて次に実行するシナリオを決定することができます。
❺	承認		シナリオの処理結果を確認し、後段の処理を続けるかをユーザが判断することができます。
❻	データ駆動		即時、日時指定以外の実行指定方法として、データを登録したタイミングで動作を開始することができます。

1.8　サービス利用規約への同意

WinActor Manager Ver.3.7 からは本サービスをご利用いただく際にサービス利用規約が表示されるようになります。表示されたサービス利用規約をお読みいただき、内容を理解したうえでサービス利用規約に同意していただく必要がありますのでご確認をお願いいたします。

規約に同意いただいたユーザはその後のログインでは同意画面は表示されなくなりますが、サービス利用規約が改定された場合には改めてサービス利用規約が表示されますので、規約をご確認いただき、同意をお願いいたします。なお、本サービスをご利用の際は以下の点にご注意ください。

- 本サービスをご利用いただく各ユーザに同意頂く必要がありますが、admin ユーザにつきましては必ず同意を行って頂く必要があります。admin ユーザは削除することはできませんが、以前からのバージョンをご利用いただいており、すでに削除済みの場合は改めて作成をお願いいたします。
- API を直接実行するケースでは同意画面は表示されません。そのような場合は API 実行に用いているユーザで一度 WinActor Manager にログインしていただき画面からサービス利用規約への同意をお願いいたします。

同意画面の具体的な操作方法については『2.2. サービス利用規約を確認する』を参照してください。

admin ユーザの作成方法については『11.4. ユーザを新規作成する』を参照してください。

1.9　管理実行モードとローカル実行モード

WinActor Manager に接続中の WinActor は、設定により以下の 2 通りの利用を行うことができます。

表 1.9-1 実行モード

No.	項目	概要
❶	［管理サーバからの指示で動作する］ チェックボックスが有効	対象の WinActor は「管理実行モード」で動作します。 WinActor Manager に登録されているシナリオを WinActor Manager の指示で実行することができます。
❷	［管理サーバからの指示で動作する］ チェックボックスが無効	対象の WinActor は「ローカル実行モード」で動作します。 WinActor Manager に登録されているシナリオは実行できませんが、ローカル端末上のシナリオの作成や実行を行うことができます。

ローカル実行モードで動作中の WinActor はシナリオの保存や実行が可能ですが、意図しない操作が行われていないことを確認するために操作ログを WinActor Manager へ送信することが可能です。以下の操作に関する情報が送信されます。

表 1.9-2 ローカル実行モードで送信される操作種別

No.	項目	概要
❶	シナリオ保存	ローカル端末上でシナリオを保存したことが記録されます。
❷	シナリオ実行	ローカル端末上でシナリオ実行したことが記録されます。
❸	シナリオ実行（部分実行）	ローカル端末上でシナリオを部分実行したことが記録されます。
❹	シナリオ実行（別シナリオ実行）	ローカル端末上でシナリオ実行中に別シナリオへ遷移して実行した場合、別シナリオを実行したことが記録されます。別シナリオの実行のタイミングではそれまでに実行していたシナリオが終了したことは記録されません。
❺	シナリオ実行終了 （正常終了/中断/異常終了）	シナリオ実行が終了/中断すると、終了/中断したことが記録されます。シナリオが異常終了した場合はエラー情報も記録されます。シナリオ実行中の一時停止についてはイベントログは記録されません。
❻	部分実行中のシナリオ実行終了 （正常終了/中断/異常終了）	部分実行によるシナリオ実行が終了/中断すると、終了/中断したことが記録されます。シナリオが異常終了した場合はエラー情報も記録されます。シナリオ実行中の一時停止についてはイベントログは記録されません。

» 具体的なイベントログにつきましては『オペレーションマニュアル 付録：イベントログ一覧』を参照してください。

» 操作ログの送信に関する WinActor 設定方法につきましては WinActor Ver.7 のマニュアルを参照してください。

2. WinActor Manager の基本操作

この章では、WinActor Manager の画面構成、ログイン／ログアウト、情報の検索、パスワード変更などの基本的な操作方法について説明します。

2.1 WinActor Manager にログインする

WinActor Manager にログインする手順について説明します。

Steps

1. ブラウザを起動し、ライセンス証書に記載されている WinActor Manager の URL にアクセスします。

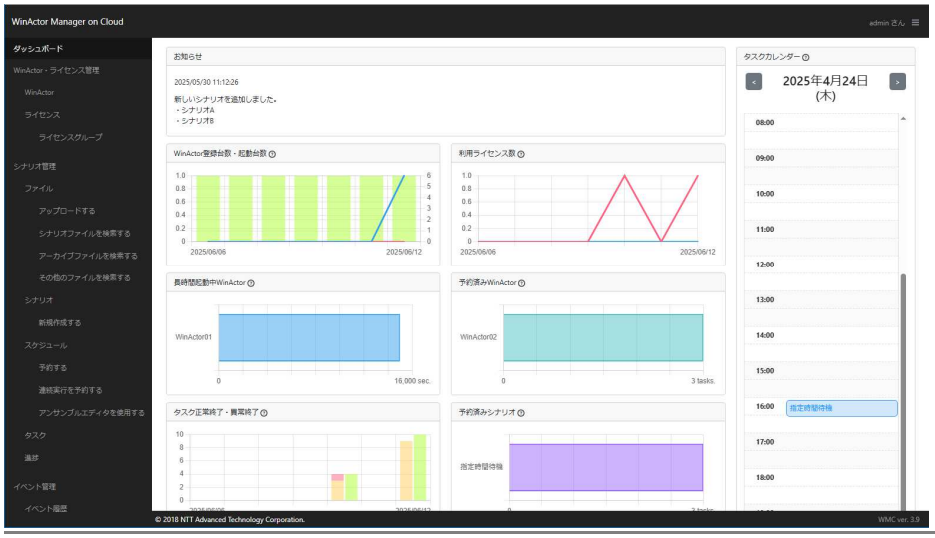
   WinActor Manager のログイン画面が表示されます。

2. ユーザ名とパスワードを入力して、［ログイン］ボタンをクリックします。

3. WinActor Manager にログインすると、「ダッシュボード」画面、もしくはシンプルモード画面が表示されます。

   » ダッシュボードについては、『3. ダッシュボードで情報を確認する』を参照してください。

   » シンプルモード画面については、『WinActor Manager on Cloud シンプルモードユーザーマニュアル』を参照してください。



5 回連続してログインに失敗するとアカウントがロックされ 15 分間ログインできなくなります。

手動でロックを解除する方法については『11.7 ロックを解除する』を参照してください。

多要素認証を設定している場合はユーザ名、パスワードのほかに認証コードが必要になります。

多要素認証を用いたログイン方法については『17.4 多要素認証を用いてログインする』を参照してください。

パスワードの最低文字列長を変更し、最低文字列長未満のパスワードを使ってログインした場合は仮パスワードを使ってログインしたという状態となります。仮パスワード変更画面が表示されますので現在のパスワードを仮パスワード欄に記載し、最低文字列長以上のパスワードを設定してください。

パスワードの最低文字列長を変更する方法については『14.4 動作に関する設定を更新する』を参照してください。

2.2　サービス利用規約を確認する

WinActor Manager を利用するにあたり、初回利用時やサービス利用規約改定時にサービス利用規約が表示されます。

図 2.2-1 サービス利用規約表示例

表 2.2-1 WinActor Manager の画面構成

No.	項目	概要
❶	サービス利用規約	サービス利用規約が表示されます。内容のご確認をお願いいたします。
❷	［同意する］ボタン	クリックするとサービス利用規約に同意します。同意するとダッシュボード画面、もしくはシンプルモード画面へ進みます。
❸	［同意しない］ボタン	サービス利用規約に同意しない場合に利用します。同意不要かの確認後、ログイン画面に戻ります。

なお、サービス利用規約が表示されない場合は以下の表示となります。この場合は表示されているリンクよりサービス利用規約をダウンロードいただき、内容を確認したうえで同意ボタンのクリックをお願いいたします。

ダウンロードもできない場合は販売店へお問い合わせいただく、もしくは弊社サイト（https://winactor.biz/）の「規約類ダウンロード」より「WinActor Manager on Cloud® サービス利用規約」を選択してダウンロードしてください。

図 2.2-2 サービス利用規約表示例（表示失敗時）

表 2.2-2 WinActor Manager の画面構成（表示失敗時）

No.	項目	概要
❶	［WinActor Manager on Cloud サービス利用規約］リンク	リンクをクリックしてサービス利用規約をダウンロードします。

2.3　WinActor Manager の画面構成

WinActor Manager の画面を構成する各要素について説明します。

2.3.1　WinActor Manager の基本画面構成

WinActor Manager の画面は、大きく以下のように構成されています。

図 2.3-1 WinActor Manager 画面の構成要素

図 2.3-2 WinActor Manager 画面（右メニュー表示）の構成要素

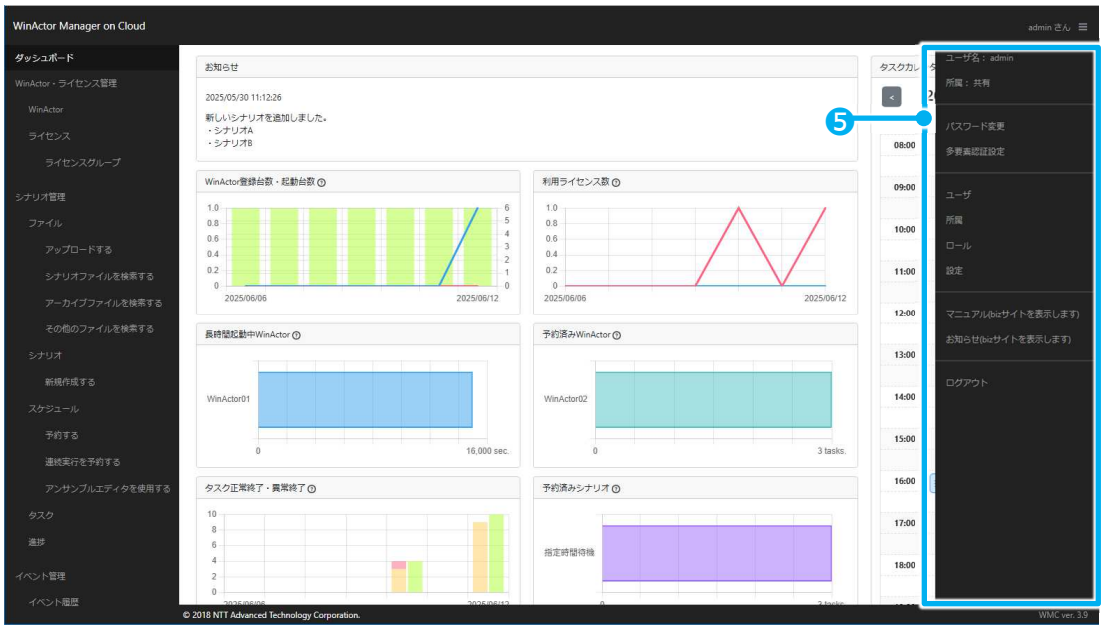


表 2.3-1 WinActor Manager の画面構成

No.	項目	概要
❶	メニュー	メニューをクリックすると、それぞれのメニューに応じた画面に切り替わります。 メニューと画面の概要『2.3.2 メニューと画面の概要』
❷	ログインユーザ名	現在ログインしているユーザ名が表示されます。 『2.6 ログイン中のユーザ情報を確認する』
❸	表示エリア	❶で選択したメニューに応じた画面が表示されます。
❹	バージョン番号	WinActor Manager のバージョン情報を表示します。
❺	右メニュー	ヘッダー上の三本線のボタンクリック時に画面右部に表示されます。 メニューと画面の概要『2.3.2 メニューと画面の概要』

表示エリアに現れる「？」アイコンをクリックすると、説明が表示されます。

2.3.2　メニューと画面の概要

WinActor Manager のメニューをクリックしたときに表示される画面について説明します。

メニューには画面左側に表示されるものと、画面右側に表示されるものの 2 種類があります。画面右側のメニューを表示するには画面右上の三本線のボタンをクリックします。もう一度画面右上の三本線のボタンをクリックすると画面右側に表示したメニューを閉じることができます。

表 2.3-2 画面左側メニューの概要

メニュー	概要
「ダッシュボード」	WinActor Manager の状態や統計情報などが表示されます。ログインしたあとに表示される画面です。 『3. ダッシュボードで情報を確認する』
「WinActor」	WinActor を管理します。WinActor の制御（クリーン、再起動、停止）、更新、削除、一括設定、新規タスクの割当停止／再開を行います。 『5. WinActor を管理する』
「ライセンス」	フローティングライセンス版の WinActor に配布するライセンスの利用状況が表示されます。 サブメニューの「ライセンスグループ」では、フローティングライセンスを管理するライセンスグループの設定を行うことができます。 『4. ライセンスを管理する』 『4.3 ライセンスグループ画面の構成』
「ファイル」	WinActor Manager にアップロードされるファイルを管理します。 サブメニューの「アップロードする」では、アップロード用画面を直接表示することができます。 サブメニューの「シナリオファイル」・「アーカイブファイル」・「その他のファイル」では、それぞれの種類のファイルに対して管理を行うことができます。 『6. ファイルを管理する』 『6.2.4 サブメニューからの検索』
「シナリオ」	WinActor に配布するシナリオを管理します。 サブメニューの「新規作成する」では、新規作成用画面を直接表示することができます。 『7. シナリオを管理する』 『15. シナリオ連携（アンサンブル機能）を設定する』
「スケジュール」	シナリオを実行するスケジュールを管理します。 サブメニューの「予約する」「連続実行を予約する」では、スケジュール登録用画面を直接表示することができます。 サブメニューの「アンサンブルエディタを使用する」では、アンサンブルエディタを使ったスケジュール登録を行うことができます。 『8. スケジュールを管理する』 『16.4 アンサンブルエディタからステージを作成する』
「タスク」	WinActor に割り当てるタスクを管理します。 『9. タスクを管理する』

メニュー	概要
「進捗」	アンサンブル機能を使って作成したスケジュールの実行状況を管理します。 『16. シナリオ連携（アンサンブル機能）を管理する』
「イベント履歴」	ユーザのログイン／ログアウト、シナリオの登録／更新、スケジュールの登録／更新／削除／有効化／無効化、タスクの実行契機や結果などのイベントを管理します。 『10. イベントを管理する』

表 2.3-3 画面右側メニューの概要

メニュー	概要
「ユーザ名」	ログイン中のユーザ名を表示します。ユーザ名が長い場合は三点リーダーを使って表示します。マウスオーバーすることで省略していないユーザ名を表示します。
「所属」	ログイン中のユーザの所属を表示します。所属が長い場合は三点リーダーを使って表示します。マウスオーバーすることで省略していない所属を表示します。
「パスワード変更」	ログイン中のユーザのパスワードを変更します。 『2.7 パスワードを変更する』
「多要素認証設定」	多要素認証に関する設定を実施します。ログイン中のユーザに設定されているロールが多要素認証設定不可の場合は表示されません。 『17. 多要素認証を設定する』
「ユーザ」	WinActor Manager にログインして操作をするユーザを管理します。 『11. ユーザを管理する』
「所属」	WinActor Manager における操作可能な範囲を組織情報として管理します。 『12. 所属を管理する』
「ロール」	WinActor Manager のユーザの権限情報をロールとして管理します。 『13. ロールを管理する』
「設定」	管理サーバのパスワードの更新、タスク待機期限の更新、警告メール通知設定、お知らせ設定、初回接続時の一括設定ファイルの設定、オプションセットの設定を行うことができます。 『14. 各種設定を行う』
「マニュアル」	WinActor 関連マニュアルを表示します。WinActor Manager のマニュアルも確認することができます。 ※弊社サイト（https://winactor.biz/）へ移動します
「お知らせ」	WinActor トピックス一覧をお表示します。WinActor Manager に関するお知らせも確認することができます。 ※弊社サイト（https://winactor.biz/）へ移動します
「ログアウト」	WinActor Manager からログアウトします。 『2.8 WinActor Manager からログアウトする』

2.4　情報を検索する

WinActor Manager の各画面では、検索条件を設定して登録されている情報を検索し、検索結果を一覧表示できます。

2.4.1　情報を検索する

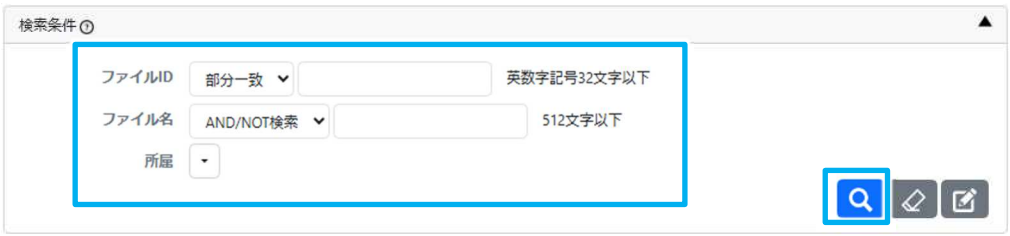
ここでは、「ファイル」画面を例に、情報の検索手順について説明します。

「ダッシュボード」「ライセンス」「設定」以外のすべての画面で、以下と同じ手順で登録されている情報を検索できます。

Steps

1. 「検索条件」エリアで検索条件を設定し、［検索］ボタンをクリックします。

- 設定できる検索条件は、画面によって異なります。
- [クリア]ボタンをクリックすると、入力した検索条件を消去できます。
- [詳細]ボタンをクリックすると検索条件を追加することができます。検索に使用する条件は画面上に表示しているものを対象とします。検索条件を指定していても[詳細]ボタンをクリックして非表示にした場合は、その条件は使用されません。



「検索結果一覧」エリアに、検索条件にあてはまるファイルが表示されます。
以下はファイル名「ポップアップ」で部分一致検索した場合の表示例です。

[リロード]ボタンをクリックすると、検索結果をリロードできます。

2.4.2　情報を並び替える

検索結果一覧の情報は、名前、サイズ、登録日時や更新日時などの降順または昇順で並び替えることができます。

ここでは例として、「ファイル」画面の検索結果一覧を、ファイルサイズで並び替える手順を説明します。

- 「ファイル」画面では、ファイルサイズと同じ手順で、ファイル名、登録者、更新日時の昇順／降順で検索結果一覧を並び替えることができます。
- 「ファイル」画面以外でも、同じ手順で検索結果一覧を並び替えることができます。

Steps

1. 検索結果一覧で、ファイルサイズのタイトル行をクリックします。

ファイルサイズの昇順で検索結果一覧が並び替わります。

2. 検索結果一覧で、再度、ファイルサイズのタイトル行をクリックします。

ファイルサイズの降順で検索結果一覧が並び替わります。

2.4.3　詳細情報を表示する

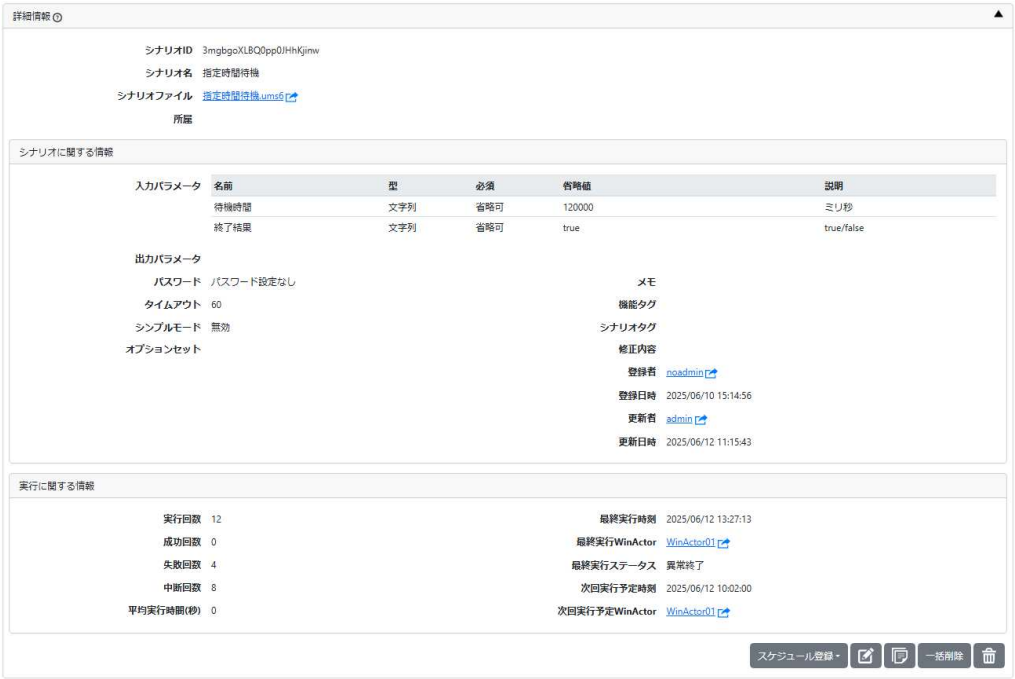
ここでは例として、「シナリオ」画面で、シナリオの詳細情報を表示する手順を説明します。

「ダッシュボード」「ライセンス」「設定」以外のすべての画面で、以下と同じ手順で詳細情報を表示できます。

Steps

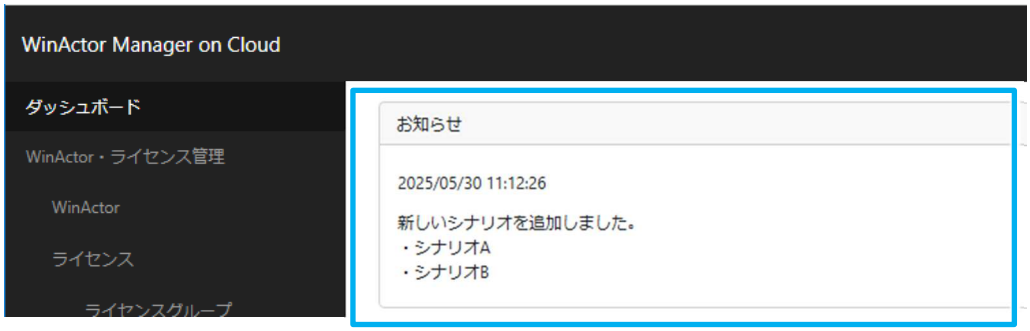
1. 「検索結果一覧」で、シナリオをクリックします。

シナリオの「詳細情報」エリアが表示されます。



2.5　お知らせ情報を確認する

管理者からのお知らせ情報はダッシュボードの一番上に表示されます。また、WinActor Manager のメンテナンス等の情報は弊社サイト（https://winactor.biz/）に掲載されています。右側のメニューから「お知らせ」を選択することで確認することができます。



2.6　ログイン中のユーザ情報を確認する

ログインしているユーザは、右側のメニューを表示することで自身の情報を表示できます。

ユーザ名と所属の情報およびパスワード変更画面へのリンクが画面表示されます。
さらにユーザの設定によっては多要素認証設定画面へのリンクが表示されます。
リンク先の画面については以下を参照してください。

パスワード変更については『2.7 パスワードを変更する』を参照してください。
多要素認証の設定方法については『17 多要素認証を設定する』を参照してください。

2.7　パスワードを変更する

ログインしているユーザは、以下の手順で自身のパスワードを変更できます。

管理者がユーザのパスワードを変更する方法については、『11.5 ユーザ情報を更新する』を参照してください。

Steps

1. 右メニューを表示し、［パスワード変更］をクリックします。

パスワードの設定画面が表示されます。

2. 「旧パスワード」に現在設定されているパスワードを、「新パスワード」と「新パスワード（確認用）」に設定したいパスワードを入力して、［OK］ボタンをクリックします。

パスワードは、64 文字以下で設定してください。半角英数字の他に、以下の記号を設定することができます。

! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~

パスワードの最低文字列長は設定により異なります。最低文字列長は設定画面の「動作に関する設定」で確認、変更できます。

『14.4 動作に関する設定を更新する』

パスワードが更新され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

3. ［閉じる］ボタンをクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

2.8　WinActor Manager からログアウトする

WinActor Manager からログアウトする手順について説明します。

標準では、操作しない状態で 30 分経過すると、自動的にログアウトするように設定されています。

この値は、ユーザの「オートログアウト」設定で変更できます。

「11.5 ユーザ情報を更新する」

Steps

1. 右側のメニューを開き［ログアウト］をクリックします。

WinActor Manager からログアウトし、ログイン画面が表示されます。

2.9　パスワードを初期化する

WinActor Manager にログインするパスワードを忘れた場合の復帰手順について説明します。

本手順を実施するためには予めユーザ情報としてメールアドレスを設定しておく必要があります。また、パスワードの初期化はユーザごとに 1 日 3 回までとなります。

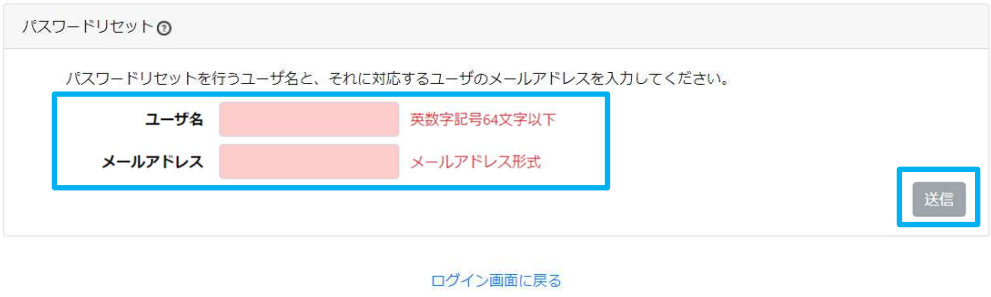
「11.5 ユーザ情報を更新する」

Steps

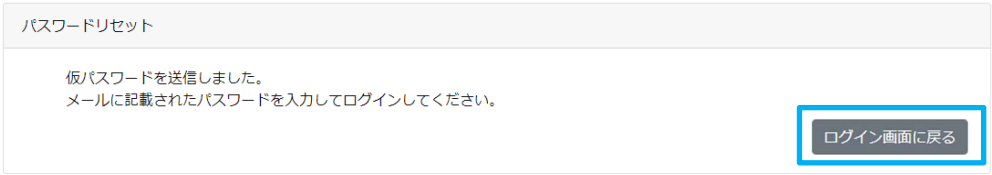
1. ログイン画面を表示し[パスワードを忘れた方はこちら]リンクをクリックします。

WinActor Manager からログアウトし、ログイン画面が表示されます。

2. 対象のユーザ名とユーザに登録しているメールアドレスを入力し、[送信] ボタンをクリックします。



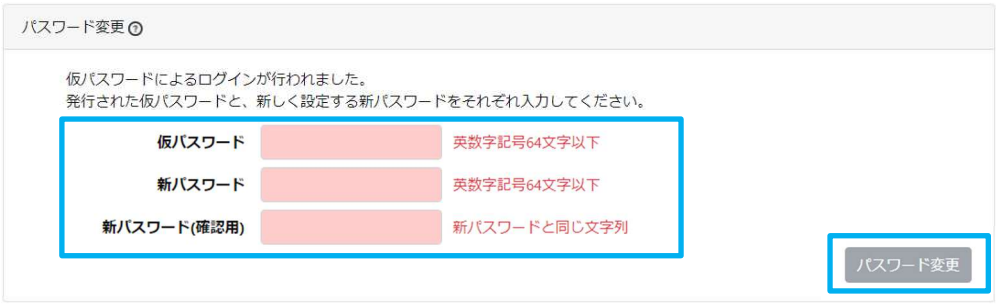
3. 仮パスワード送信に関するメッセージが表示されます。[ログイン画面に戻る] ボタンをクリックします。



4. ユーザ名と指定したメールアドレス内に記載された仮パスワードを入力し、［ログイン］ボタンをクリックします。

仮パスワードには有効期限が指定されています。期限内にログインおよびパスワード変更を実施してください。パスワードの入力時は I（大文字アイ）と l（小文字エル）など似た文字列や記号の入力誤りをしないようにご注意ください。

5. 仮パスワードでのログイン時はパスワード変更する必要があります。新しいパスワードを入力して［パスワード変更］ボタンをクリックしてください。



パスワードが変更され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

6. ［OK］ボタンをクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

3.　ダッシュボードで情報を確認する

「ダッシュボード」画面は、WinActor Manager 状態、各種 WinActor 数、各種タスク数、統計情報が表示される画面です。自動更新はされませんのでダッシュボードリンクをクリックして情報を更新してください。

3.1　ダッシュボードの構成

「ダッシュボード」画面を構成する各要素について説明します。

3.1.1　ダッシュボードの画面構成

「ダッシュボード」画面の全体的な画面構成は、以下のとおりです。

図 3.1-1 ダッシュボードの構成要素

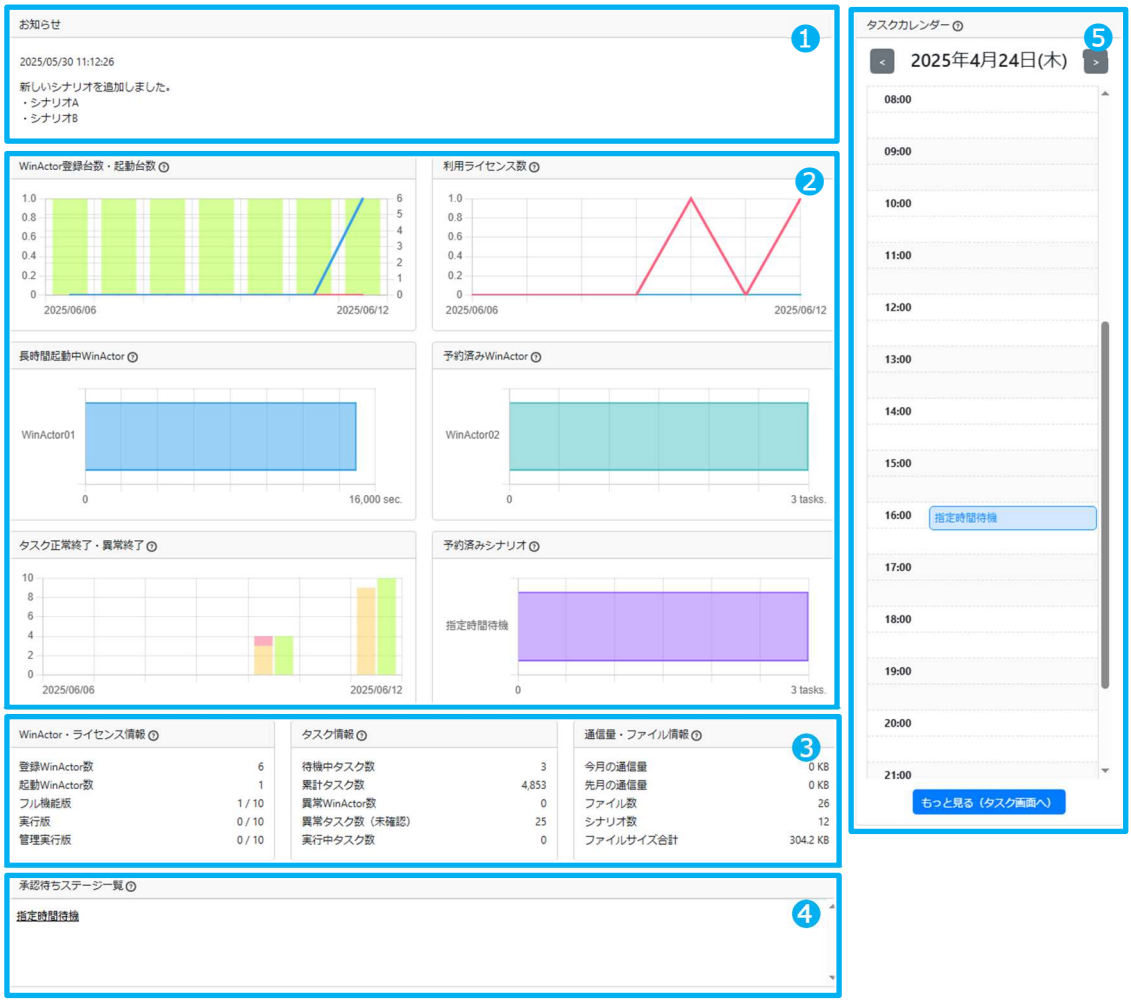


表 3.1-1 ダッシュボードの構成要素

No.	項目	概要
❶	お知らせ	管理者からのお知らせが表示されます。 『2.5 お知らせ情報を確認する』
❷	グラフエリア	WinActor 登録台数・起動台数、利用ライセンス数、 長時間起動中 WinActor、予約済み WinActor、タスク正常終了・異常終了、予約済みシナリオ に関するグラフを表示します。 『3.2 グラフエリア』
❸	詳細情報エリア	WinActor・ライセンス情報、タスク情報、通信量・ファイル情報 を表示します。 詳細情報エリア『3.3 詳細情報エリア』
❹	承認待ちステージ一覧	承認待ちのステージ情報が表示されます。 『3.4 承認待ちステージ情報』
❺	タスクカレンダー	カレンダーを使用してタスク情報、実行結果を表示します。 『3.5 タスクカレンダー』

3.2　グラフエリア

WinActor Manager に登録している WinActor、ライセンス、シナリオなどの情報をグラフで表示します。

3.2.1　WinActor 登録台数・起動台数

WinActor の登録台数、起動台数、エラー台数を本日を起点として過去 1 週間分グラフ表示します。

図 3.2-1 WinActor 登録台数・起動台数

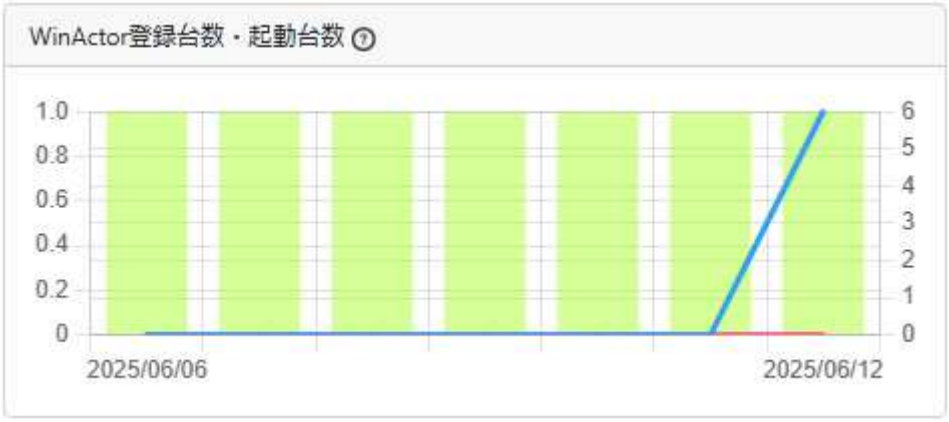


表 3.2-1 WinActor 登録台数・起動台数に表示される項目

項目	概要
「起動台数」	起動した WinActor の台数を青色の折れ線グラフで表示します。 左側の目盛りを使用します。
「エラー台数」	エラーになった WinActor の台数を赤色の折れ線グラフで表示します。 左側の目盛りを使用します。
「登録台数」	登録した WinActor の台数を緑色の棒グラフで表示します。 右側の目盛りを使用します。

管理者権限でログインしている場合にのみ表示されます。

3.2.2　利用ライセンス数

利用ライセンス数を本日を起点として過去 1 週間分グラフ表示します。

図 3.2-2 利用ライセンス数

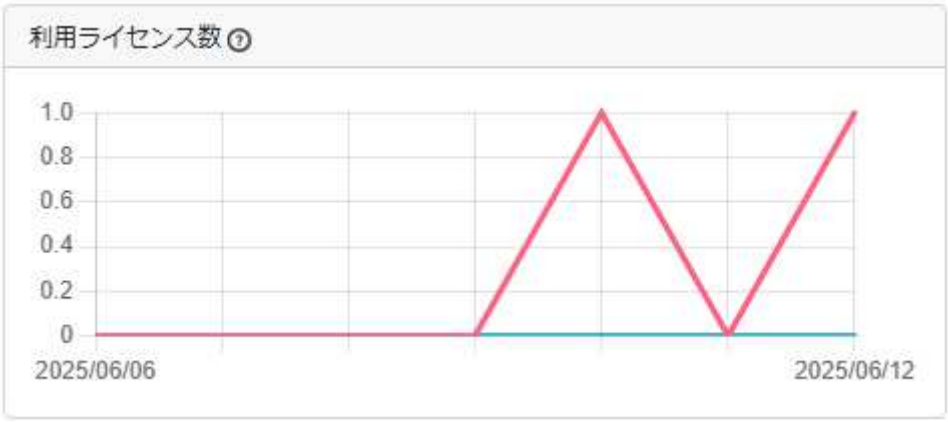


表 3.2-2 利用ライセンス数に表示される項目

項目	概要
「折れ線グラフ」	ライセンス種別毎の利用数を折れ線グラフで表示します。

管理者権限でログインしている場合にのみ表示されます。

3.2.3　長時間起動中 WinActor

長時間起動中の WinActor を起動時間とともに最大 5 台まで表示します。起動している WinActor がない場合はグラフ表示ではなく「起動中の WinActor はありません」と表示します。

図 3.2-3 長時間起動中 WinActor

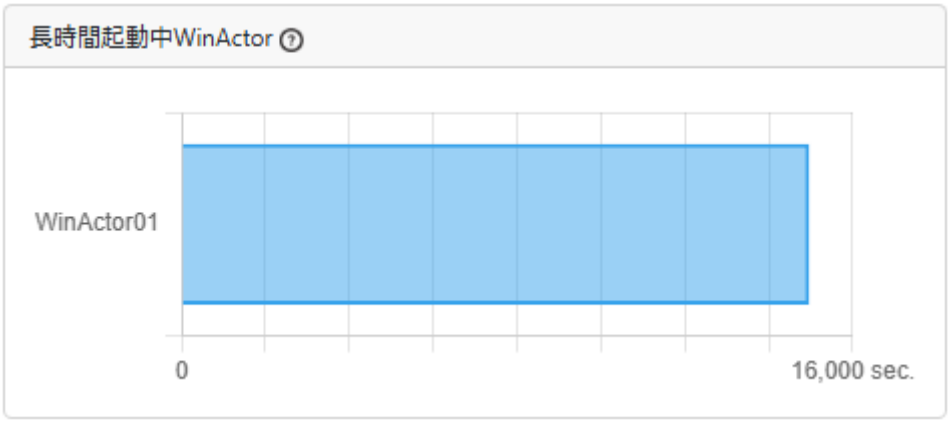


表 3.2-3 長時間起動中 WinActor に表示される項目

項目	概要
「WinActor 名」	長時間起動している WinActor 名を表示します。WinActor 名がすべて表示できない場合はグラフをマウスオーバーすることによって表示される吹き出し内の WinActor 名を確認してください。
「時間グラフ」	起動時間を横向きの棒グラフで表示します。グラフをクリックすると WinActor 画面へ遷移します。

管理者権限でログインしている場合にのみ表示されます。

3.2.4　予約済み WinActor

「実行予定 WinActor」として設定している WinActor をタスク数とともに最大 5 台まで表示します。予約している WinActor がない場合はグラフ表示ではなく「予約済みの WinActor はありません」と表示します。

図 3.2-4 予約済み WinActor

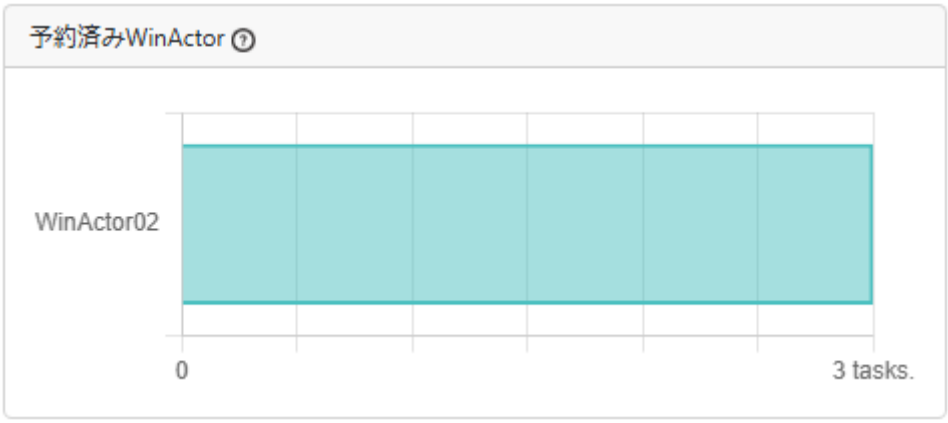


表 3.2-4 予約済み WinActor に表示される項目

項目	概要
「WinActor 名」	予約している WinActor 名を表示します。WinActor 名がすべて表示できない場合はグラフをマウスオーバーすることによって表示される吹き出し内の WinActor 名を確認してください。
「タスク数グラフ」	対象の WinActor を「実行予定 WinActor」として設定しているタスクの数を横向きの棒グラフで表示します。グラフをクリックすると WinActor 画面へ遷移します。

管理者権限でログインしている場合にのみ表示されます。

3.2.5　タスク正常終了・異常終了

タスクの生成数、正常終了数、異常終了数、中断数を本日を起点として過去 1 週間分グラフ表示します。各日に対して 2 本のグラフが表示されます。

図 3.2-5 タスク正常終了・異常終了

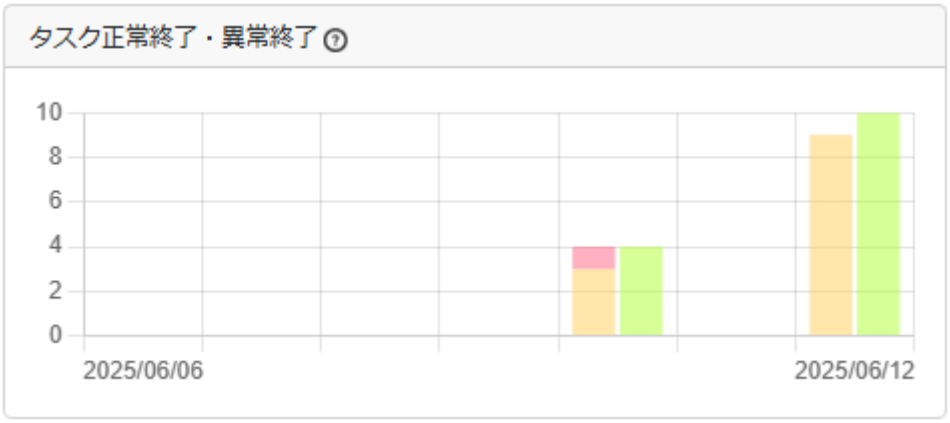


表 3.2-5 タスク正常終了・異常終了に表示される項目

項目	概要
「中断タスク数」	中断したタスクの数を黄色の棒グラフで表示します。 正常終了数、異常終了数、中断数のグラフは積み上げ形式で左側に表示します。
「異常終了タスク数」	異常終了したタスクの数を赤色の棒グラフで表示します。 正常終了数、異常終了数、中断数のグラフは積み上げ形式で左側に表示します。
「正常終了タスク数」	正常終了したタスクの数を青色の棒グラフで表示します。 正常終了数、異常終了数、中断数のグラフは積み上げ形式で左側に表示します。
「生成タスク数」	生成したタスクの数を緑色の棒グラフで表示します。 生成数のグラフについては積み上げ形式ではなく単体で右側に表示します。

3.2.6　予約済みシナリオ

待機中タスクが参照しているシナリオを最大 5 つまで表示します。待機中のタスクがない場合はグラフ表示ではなく「予約済みのシナリオはありません」と表示します。

図 3.2-6 予約済みシナリオ

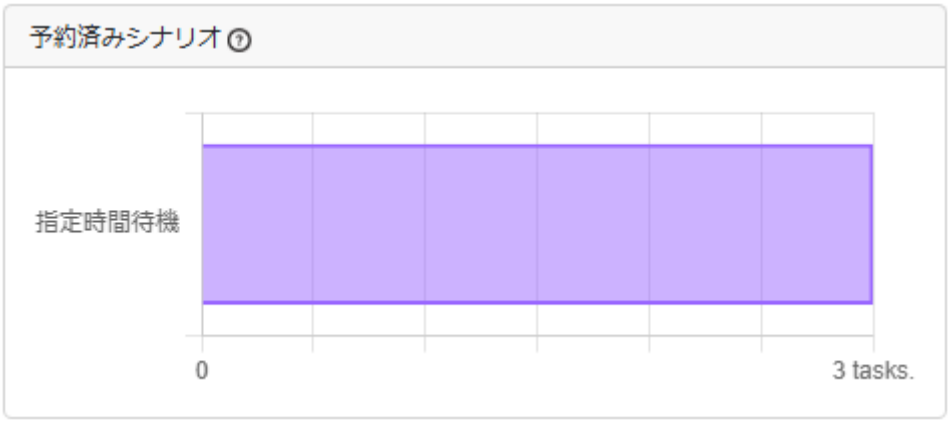


表 3.2-6 予約済みシナリオに表示される項目

項目	概要
「シナリオ名」	予約しているシナリオ名を表示します。シナリオ名がすべて表示できない場合はグラフをマウスオーバーすることによって表示される吹き出し内のシナリオ名を確認してください。
「タスク数グラフ」	対象のシナリオを参照しているタスクの数を横向きの棒グラフで表示します。グラフをクリックするとシナリオ画面へ遷移します。

3.3　詳細情報エリア

WinActor Manager に登録している WinActor、ライセンス、タスク、ファイルなどの情報を表示します。

3.3.1　WinActor・ライセンス情報

WinActor、ライセンスに関する情報を表示します。

図 3.3-1 WinActor・ライセンス情報

表 3.3-1 WinActor・ライセンス情報に表示される項目

項目	概要
「登録 WinActor 数」	登録済 WinActor 数を表示します。
「起動 WinActor 数」	起動中の WinActor 数を表示します。WinActor 状態が「起動」と「シナリオ実行中」の WinActor 数になります。 WinActor 状態については、『5.1 WinActor の状態について』を参照してください。
「フル機能版」	フル機能版のライセンス数を表示します。 利用数/上限数で表示します。
「実行版」	実行版のライセンス数を表示します。 利用数/上限数で表示します。
「管理実行版」	管理実行版のライセンス数を表示します。 利用数/上限数で表示します。

ライセンス情報は管理者権限でログインしている場合にのみ表示されます。

3.3.2　タスク情報

タスクに関する情報数を表示します。

図 3.3-2 タスク情報

表 3.3-2 タスク情報に表示される項目

項目	概要
「待機中タスク数」	タスク状態が待機中のタスク数を表示します。 タスク状態については、『9.1 タスクの状態について』を参照してください。
「累計タスク数」	WinActor Manager 起動から実行完了したタスク数を表示します。
「異常 WinActor 数」	通信エラーやエラー停止、ライセンス失効になっている WinActor 数を表示します。
「異常タスク数（未確認）」	異常停止及び異常終了になった未確認タスク数を表示します。 タスクの確認方法は『9.5 タスクを確認済みにする』を参照してください。
「実行中タスク数」	現在実行中のタスク数を表示します。 タスク状態については、『9.1 タスクの状態について』を参照してください。

3.3.3 通信量・ファイル情報

通信量、ファイルに関する情報を表示します。

図 3.3-3 通信量・ファイル情報

表 3.3-3 通信量・ファイル情報に表示される項目

項目	概要
「今月の通信量」	今月の通信量合計を表示します。前日までの通信量を反映します。
「先月の通信量」	先月の通信量合計を表示します。
「ファイル数」	WinActor Manager に登録されているファイル数を表示します。
「シナリオ数」	WinActor Manager に登録されているシナリオ数を表示します。
「ファイルサイズ合計」	WinActor Manager に登録されているファイルの合計サイズを表示します。 総ファイルサイズには、100 ギガバイトの制限があります。制限を超えないように、定期的に不要なファイルを削除するようにしてください。

管理者権限でログインしている場合にのみ表示されます。

通信量について、500 ギガバイトを閾値として超過した場合にはメールをお送りしますのでご利用状況について確認をお願いいたします。通信量が増加する一因として各シナリオや入出力データのサイズが大きすぎることが考えられます。

不要なデータを保持していないかなどシナリオの見直しなども合わせてご検討ください。

メールの設定方法については『11.4.3 メールの通知契機を設定する』を参照してください。

3.4　承認待ちステージ情報

承認待ちのステージがある場合、一覧が表示されます。

図 3.4-1 承認待ちステージ情報の表示例

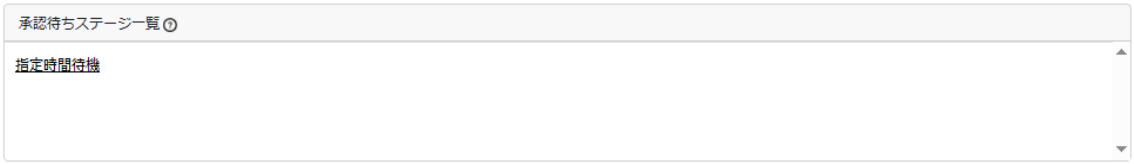


表 3.4-1 承認待ちステージ情報に表示される項目

項目	概要
「名前」	登録されている承認待ちステージ名（スケジュール名）を表示します。 一覧には更新日時の直近 5 件分の情報が表示されます。 クリックすると進捗画面へ遷移します。

3.5　タスクカレンダー

カレンダーを使用してタスク情報、実行結果を表示します。１日分のタスクの情報を最大1000 件表示します。

図 3.5-1 タスクカレンダーの表示例

表 3.5-1 タスクカレンダーの表示設定項目

項目	概要
「< ／ >」	カレンダー上部にある「< ／ > 」で表示対象日を変更できます。 「<」をクリックすると現在表示している日の１日前を表示します。 「>」をクリックすると現在表示している日の１日後を表示します。

<table>
<tr><th>項目</th><th>概要</th></tr>
<tr><td>「表示年月日」</td><td>カレンダー上部中央に現在表示しているカレンダーの年月日と曜日を表示します。</td></tr>
<tr><td>「各タスク情報へのリンク」</td><td>ログインユーザの所属に含まれるタスク結果や実行予定のタスクが、タスク状態により色別に表示されます。<table><tr><th>表示色</th><th>タスク状態</th></tr><tr><td>タスク名</td><td>正常終了</td></tr><tr><td>タスク名</td><td>中断／中断中</td></tr><tr><td>タスク名</td><td>異常終了／異常停止</td></tr><tr><td>タスク名</td><td>待機中／処理中</td></tr></table>クリックすることでタスク画面に遷移します。</td></tr>
<tr><td>「もっと見る（タスク画面へ）」</td><td>クリックするとタスク画面へ遷移します。</td></tr>
</table>

4.　ライセンスを管理する

フローティングライセンス版の WinActor に配布するライセンスのライセンス利用状況を確認するためのライセンス画面について説明します。

この画面は、管理者権限でログインしている場合にのみ表示されます。

4.1　ライセンスの種類

フローティングライセンス版の WinActor に配布するライセンスには、以下の 3 種類があります。

表 4.1-1 ライセンスの種類

項目	概要
フル機能版	WinActor でシナリオの作成と実行ができます。 また、管理実行モードに設定することで、WinActor Manager からの指示で、シナリオをスケジュール実行させることもできます。
実行版	WinActor でシナリオの実行ができます。 また、管理実行モードに設定することで、WinActor Manager からの指示で、シナリオをスケジュール実行させることもできます。
管理実行版	WinActor Manager からの指示で、シナリオをスケジュール実行します。 管理実行版ではシナリオ実行中のみライセンスを利用します。

4.2　ライセンス画面の構成

ライセンス画面を構成する各要素について説明します。

4.2.1　ライセンス画面の全体構成

ライセンス画面の全体的な構成は、以下のとおりです。

図 4.2-1 ライセンス画面の全体構成

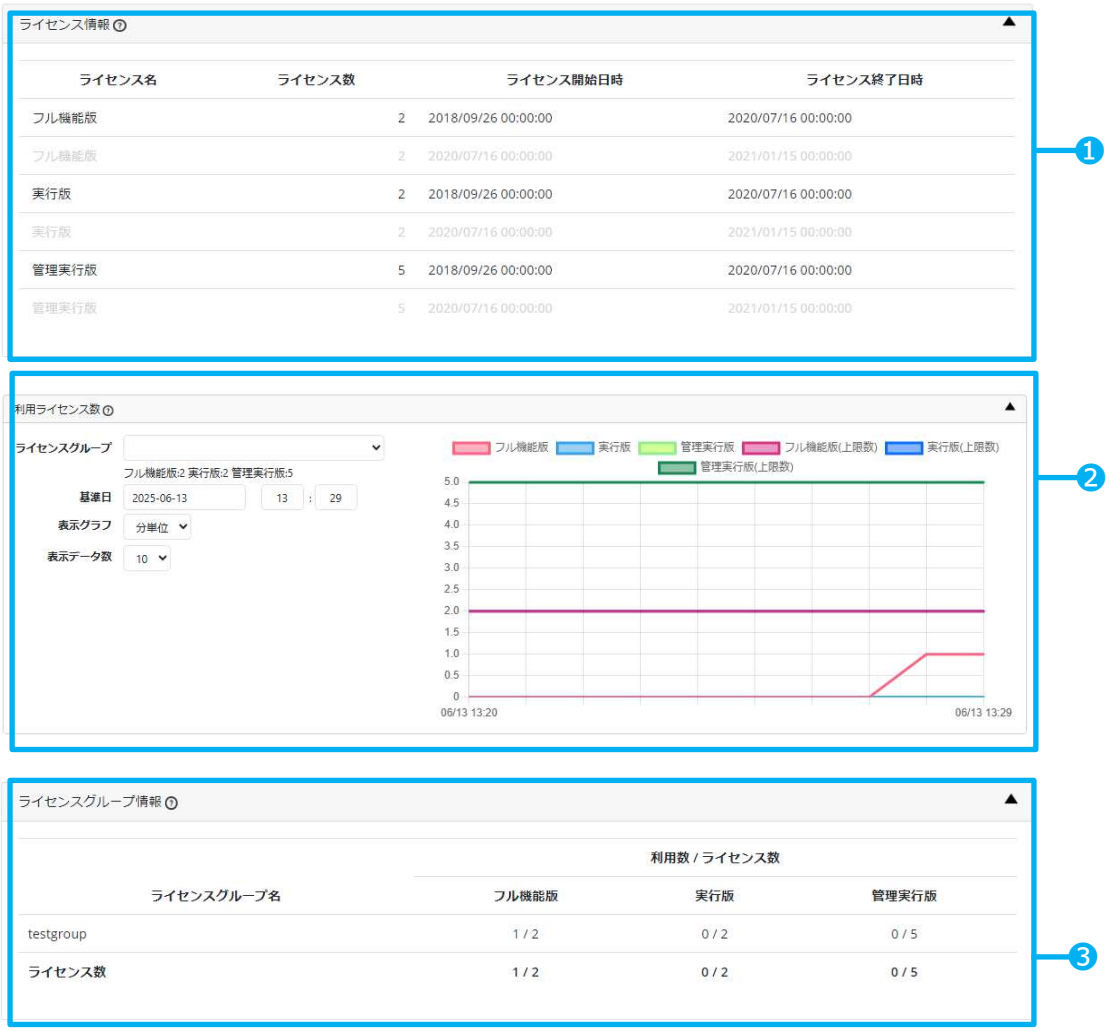


表 4.2-1 ライセンス画面の構成要素

No.	項目	概要
❶	ライセンス情報	ライセンス名、ライセンス数、ライセンス開始日時、ライセンス終了日時の情報が、ライセンスごとに表示されます。 まだライセンス開始日時を迎えていないライセンス情報は薄いグレーの文字で表示されます。
❷	利用ライセンス数	利用ライセンス数がグラフ表示されます。
❸	ライセンスグループ情報	各ライセンスグループの所有するライセンス数と現在の利用数が表示されます。
❹	ライセンス利用状況	ライセンス利用状況を検索できます。現在 WinActor が利用中で検索条件にあてはまるライセンスの情報が一覧表示されます。 一覧では、WinActor で使用されているライセンス名、WinActor 名（同一管理サーバに接続している場合）、WinActor が動作しているマシンの PC 名、WinActor が動作しているマシンの WinActor 実行ユーザ名、ライセンスが属するライセンスグループ名を確認できます。

利用ライセンス数グラフはイベント情報から生成されますので、イベントに保存されている期間での指定が可能です。

4.3　ライセンスグループ画面の構成

ライセンスグループ画面を構成する各要素について説明します。ライセンスグループでは、WinActor に割り当てるフローティングライセンス数の上限を、グループ単位で管理できます。

4.3.1　ライセンスグループ画面の全体構成

ライセンス画面の全体的な構成は、以下のとおりです。

図 4.3-1 設定画面の全体構成

表 4.3-1 設定画面の構成要素

No.	項目	概要
❶	「ライセンスグループ」	ライセンスグループの一覧が表示されます。 • ライセンスグループ名 ライセンスグループ名が表示されます。 • ライセンスパスワード ライセンスパスワードが********で表示されます。 • ライセンス数 ライセンスグループに登録されているライセンス数が、フル機能版、実行版、管理実行版の順に表示されます。 • 合計 ライセンスグループに登録されているライセンス数の合計が表示されます。 • ライセンス契約数 払い出し可能なフローティングライセンス数が表示されます。ライセンスグループの合計値がライセンス契約数を超えることは可能ですが、ライセンス契約数を超える数のライセンスを WinActor に同時に払い出すことはできません。
❷	［新規作成］ボタン	ライセンスグループを新規作成する場合、このボタンをクリックします。 『4.3.2 ライセンスグループを新規作成する』
❸	ライセンスグループの詳細情報	❶のライセンスグループをグループをクリックすると、ライセンスグループの詳細情報が表示されます。 • ライセンスグループ名 ライセンスグループ名が表示されます。 • ライセンスパスワード ライセンスパスワードが********で表示されます。 • フル機能版 ライセンスグループに割り当てられているフル機能版ライセンスの割当数が表示されます。 • 実行版 ライセンスグループに割り当てられている実行版ライセンスの割当数が表示されます。 • 管理実行版 ライセンスグループに割り当てられている管理実行版ライセンスの割当数が表示されます。
❹	［パスワード更新］ボタン	ライセンスグループのパスワードを更新する場合、このボタンをクリックします。 『4.3.3 ライセンスグループのパスワードを更新する』
❺	［ライセンス数更新］ボタン	ライセンスグループのライセンス数を更新する場合、このボタンをクリックします。 『4.3.4 ライセンスグループのライセンス数を更新する』
❻	［削除］ボタン	ライセンスグループを削除する場合、このボタンをクリックします。 『4.3.5 ライセンスグループを削除する』

4.3.2　ライセンスグループを新規作成する

ライセンスグループを新規で作成する手順について説明します。

Steps

1. 「ライセンスグループ」エリアで、［新規作成］ボタンをクリックします。

ライセンスグループの「新規作成」エリアが表示されます。

2. 情報を設定して、ライセンスグループを作成します。

❶ 「ライセンスグループ名」にライセンスグループ名を入力します。

ライセンスグループ名は、64 文字以下で設定してください。半角英数字の他に、以下の記号を設定することができます。

! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~

❷ 「ライセンスグループパスワード」と「ライセンスグループパスワード（確認用）」に設定したいパスワードを入力します。

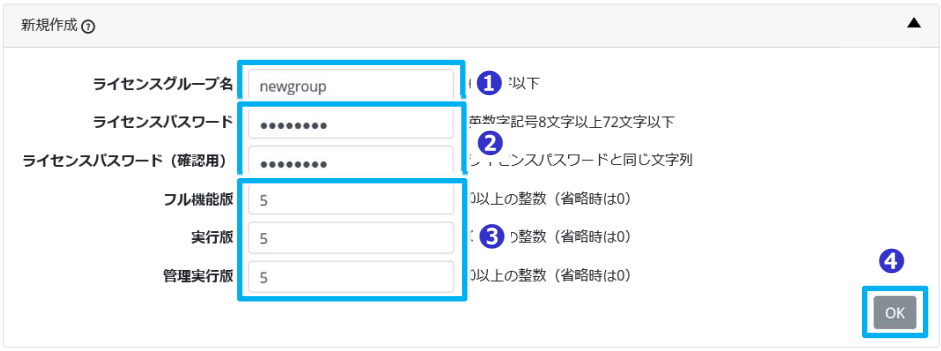
パスワードは、8 文字以上 72 文字以下で設定してください。半角英数字の他に、以下の記号を設定することができます。

! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~

ライセンスグループごとに、必ず異なるパスワードを設定してください。
WinActor は所属するライセンスグループをパスワードで識別しています。

❸ 「フル機能版」「実行版」「管理実行版」に、割り当てたいライセンス数を 0 以上の整数で入力します。

❹ ［OK］ボタンをクリックします。



新規作成の確認ダイアログが表示されます。

3. ［OK］をクリックします。

ライセンスグループが作成され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

4. ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

5. 「ライセンスグループ」エリアで、ライセンスグループが作成されていることを確認します。

ライセンスグループ

ライセンスグループ名	ライセンスパスワード	ライセンス数		
		フル機能版	実行版	管理実行版
NTTAT	********	1000	1000	10
testgroup	********	10	10	10
newgroup	********	5	5	5
NTTAT-WA	********	10	0	0
合計		1025	1015	25
ライセンス契約数		1000	1000	0

新規作成

作成したライセンスグループに割り当てられたライセンスを利用するためには、WinActor のサーバ接続設定でライセンスサーバのパスワード欄に、対応するライセンスグループのライセンスパスワードを入力します。

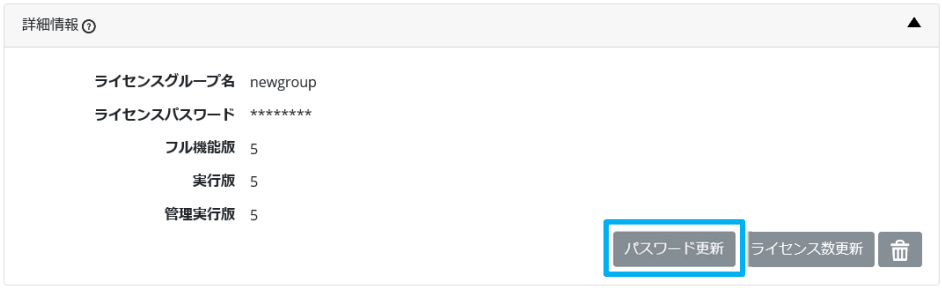
4.3.3　ライセンスグループのパスワードを更新する

ライセンスグループのパスワードを更新する手順について説明します。

ライセンスグループのパスワードを変更する場合は、そのグループのライセンス払い出しを受ける WinActor を全て停止してから、変更してください。

Steps

1. 更新したいライセンスグループの「詳細情報」エリアで、[パスワード更新] ボタンをクリックします。



ライセンスグループの「パスワード更新」エリアが表示されます。

2. 「旧ライセンスパスワード」に現在設定されているパスワードを、「新ライセンスパスワード」と「新ライセンスパスワード（確認用）」に設定したいパスワードを入力して、[OK] ボタンをクリックします。

パスワードは、8 文字以上 72 文字以下で設定してください。半角英数字の他に、以下の記号を設定することができます。

! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~

ライセンスグループごとに、必ず異なるパスワードを設定してください。
WinActor は所属するライセンスグループをパスワードで識別しています。

パスワード更新の確認ダイアログが表示されます。

3. ［OK］をクリックします。

パスワード更新され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

4. ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

ライセンスグループのパスワードを変更した場合は WinActor 本体に設定しているパスワードも合わせて変更する必要があります。その際に WinActor 本体の再起動が必要になりますのでご注意ください。

4.3.4　ライセンスグループのライセンス数を更新する

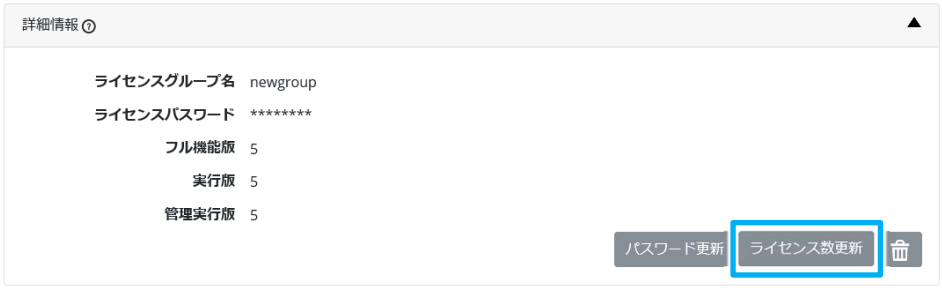
ライセンスグループのライセンス数を更新する手順について説明します。

ライセンスグループのライセンス数を 0 に変更する場合は、そのグループのライセンス払い出しを受ける WinActor を全て停止してから、変更してください。

ライセンスグループのライセンス数を 0 に設定すると払い出しているライセンスを全て回収してしまいます。それまでライセンスを払い出されていた WinActor は 15 分間は処理を続けることができますが、その後はライセンス失効の状態となってしまうため、0 に設定する場合はご注意ください。

Steps

1. 更新したいライセンスグループの「詳細情報」エリアで、［ライセンス数更新］ボタンをクリックします。



ライセンスグループの「ライセンス数更新」エリアが表示されます。

2. 「フル機能版」「実行版」「管理実行版」に、割り当てたいライセンス数を 0 以上の整数で入力して、［OK］ボタンをクリックします。

ライセンス数更新の確認ダイアログが表示されます。

3. ［OK］をクリックします。

ライセンス数が更新され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

4. ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

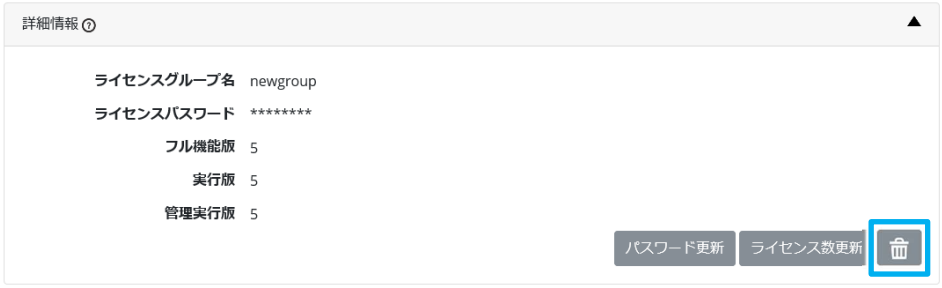
5. 「ライセンスグループ」エリアで、ライセンス数が更新されていることを確認します。

4.3.5　ライセンスグループを削除する

ライセンスグループを削除する手順について説明します。

Steps

1. 更新したいライセンスグループの「詳細情報」エリアで、［削除］ボタンをクリックします。



ライセンスグループの削除の確認ダイアログが表示されます。

2. ［OK］をクリックします。

ライセンスグループが削除され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

3. ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

5. WinActor を管理する

「WinActor」画面では、WinActor Manager に登録されている WinActor を管理します。WinActor Manager に接続した WinActor は、自動的に登録され、「WinActor」画面に表示されます。

WinActor の名前は、標準では「ユーザ名@PC 名」という形式で表示されます。WinActor 情報を更新することで、任意の名前に変更できます。

『5.6WinActor 情報を更新する』

WinActor Manager は、WinActor Manager に接続中、かつ WinActor の設定で「管理サーバからの指示で動作する」を指定していない WinActor が、シナリオを保存・実行したことをイベントとして記録する機能（ローカル動作時の操作ログ受信機能）を持っています。ただし、WinActor 画面から対象の WinActor 情報を削除してしまうと、対象の WinActor が再起動するまでの間にシナリオを保存・実行したイベントが記録されなくなります。イベントを記録したい WinActor については WinActor 画面から絶対に削除しないようにしてください。

『1.9 管理実行モードとローカル実行モード』

WinActor Manager は、シナリオの実行時間になると、起動中かつ条件にあてはまる WinActor に、タスクを割り当てます。WinActor がユーザ操作中の場合、タスクは待機中の状態になります。

5.1 WinActor の状態について

WinActor は、以下のいずれかの状態になります。

- 停止
  WinActor が起動していない状態です。
- 再起動中
  WinActor が再起動している状態です。
- 起動途中
  WinActor が起動しつつある状態です。
- ライセンス失効
  WinActor のライセンスが失効している状態です。

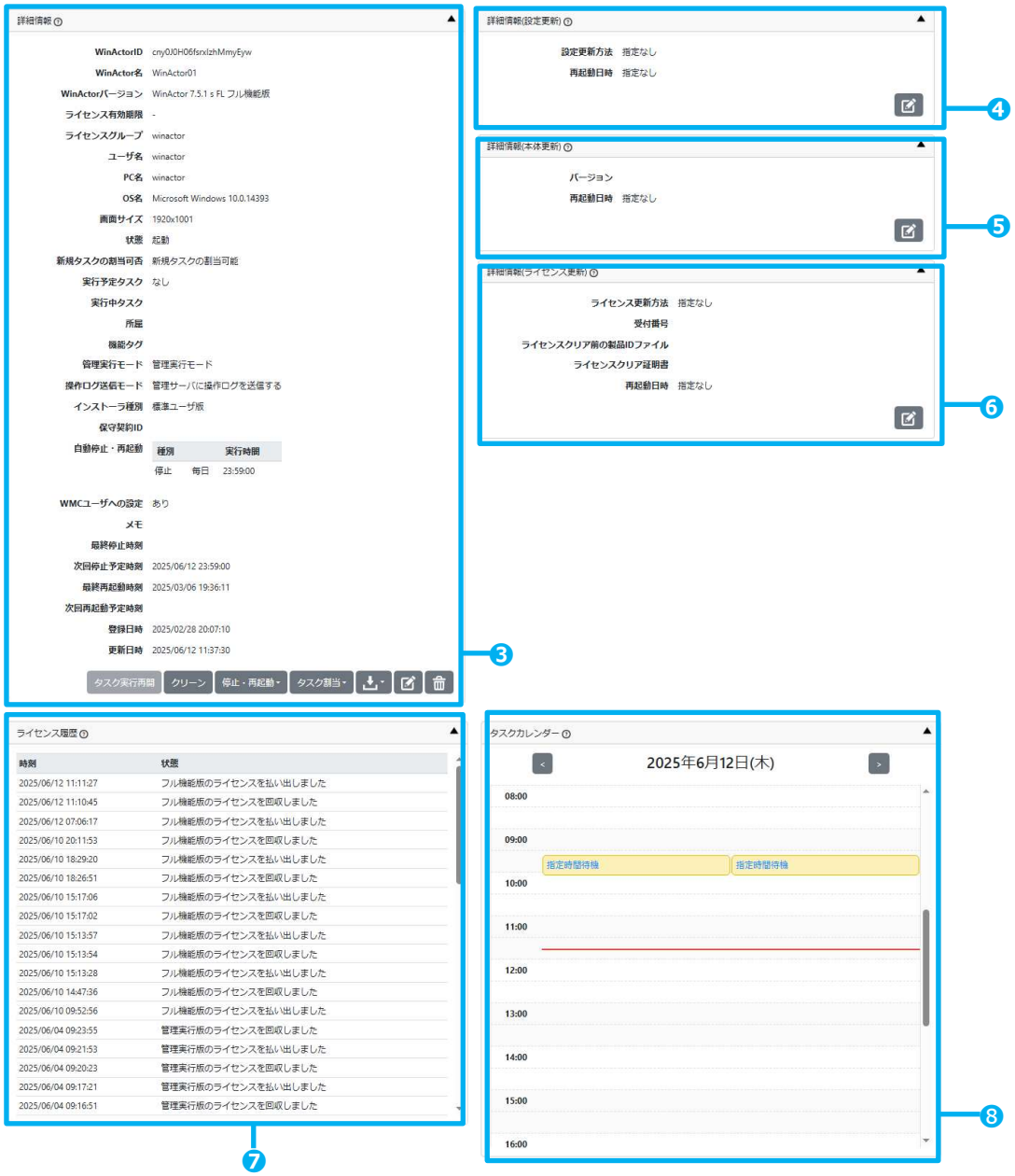
- WinActor Manager からライセンスを払い出しできなかった場合に表示されます。たとえば、「フル機能版」のライセンスが 1 つの場合、2 台の WinActor からフル機能版で起動すると、一方の WinActor が「ライセンス失効」の状態になります。
- WinActor の停止でライセンスが返却される際に、「ライセンス失効」と表示されることがありますが、すぐに「停止」の状態になります。

- 起動
  WinActor が起動し、WinActor Manager の指示でシナリオを実行できる状態です。
- ユーザ操作中
  WinActor が管理実行モードで起動されておらず、シナリオ作成中か実行中の状態です。この状態の場合、WinActor Manager が指示したタスクは、「待機中」になります。
- シナリオ実行中
  WinActor Manager からの指示で、WinActor がシナリオを実行している状態です。
- エラー停止
  タスクが「異常停止」のために停止している状態です。
- 次のシナリオ実行の準備中
  次のシナリオ実行の準備をしている状態です。
- 通信エラー
  正常に停止されなかった状態です。PC をスリープさせたり、プロセスを終了させたりした場合も「通信エラー」になります。

5.2　WinActor 画面の全体構成

「WinActor」画面を構成する各要素について説明します。

図 5.2-1 WinActor 画面の全体構成



それぞれのエリアの右上にある▲をクリックすると、エリアの表示／非表示を切り替えることができます。

表 5.2-1 WinActor 画面の構成要素

No.	項目	概要
❶	「検索条件」	条件を設定して登録されている WinActor を検索するためのエリアです。 『5.3.1 WinActor の検索条件』

No.	項目	概要
❷	「検索結果一覧」	❶の検索条件にあてはまる WinActor が一覧表示されます。標準では、すべての WinActor が、更新日時が新しい方から順に上から表示されます。 『5.3.2 WinActor の検索結果一覧の詳細』
❸	「詳細情報」	❷の検索結果一覧で選択した WinActor の詳細が表示されます。WinActor のタスク実行再開、クリーン、再起動、停止、新規タスク割当再開／新規タスク割当停止、稼働情報出力、更新、削除はこのエリアから操作します。 『5.4 WinActor の詳細情報を表示する』
❹	「詳細情報(設定更新)」	❷の検索結果一覧で選択した WinActor の一括設定(設定更新)に関する詳細が表示されます。 『5.4 WinActor の詳細情報を表示する』
❺	「詳細情報(本体更新)」	❷の検索結果一覧で選択した WinActor の一括設定(本体更新)に関する詳細が表示されます。 『5.4 WinActor の詳細情報を表示する』
❻	「詳細情報(ライセンス更新)」	❷の検索結果一覧で選択した WinActor の一括設定(NL 更新・NL ライセンスクリア)に関する詳細が表示されます。 『5.4 WinActor の詳細情報を表示する』
❼	「ライセンス履歴」	❷の検索結果一覧で選択した WinActor 1 台単位のライセンス履歴を表示します。 『5.4 WinActor の詳細情報を表示する』
❽	「タスクカレンダー」	❷の検索結果一覧で選択した WinActor が実行した、もしくは実行の可能性があるタスクをカレンダーで表示します。 『5.4 WinActor の詳細情報を表示する』

5.3　WinActor を検索する

検索条件を設定して、登録されている WinActor を検索します。

- 情報の検索手順については、『2.4 情報を検索する』を参照してください。
- WinActor の検索条件については、『5.3.1 WinActor の検索条件』を参照してください。
- WinActor の検索結果一覧の詳細については、『5.3.2 WinActor の検索結果一覧の詳細』を参照してください。

5.3.1　WinActor の検索条件

WinActor を検索する場合、以下の検索条件を設定できます。初期状態では「WinActorID」「WinActor 名」「所属」を表示します。「詳細」ボタンをクリックすることで全ての検索条件を表示します。

図 5.3-1 WinActor の検索条件（初期状態）の表示例

図 5.3-2 WinActor の検索条件（詳細表示）の表示例

表 5.3-1 WinActor の検索条件

項目	概要
「WinActorID」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 完全一致 入力した WinActorID と完全に一致している WinActor を検索 • 部分一致 入力した WinActorID の一部が含まれている WinActor を検索
「WinActor 名」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 完全一致 入力した WinActor 名と完全に一致している WinActor を検索 • 部分一致 入力した WinActor 名の一部が含まれている WinActor を検索
「所属」	ドロップダウンリストから、所属を選択します。 選択した所属が含まれる WinActor が検索結果一覧に表示されます。
「状態」	WinActor の状態を選択します。 WinActor の状態については、『5.1 WinActor の状態について』を参照してください。
「機能タグ」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 完全一致 入力した機能タグと完全に一致している WinActor を検索 • 部分一致 入力した機能タグの一部が含まれている WinActor を検索
「更新日時」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 次の範囲内 指定した検索開始日と検索終了日の間に更新された WinActor を検索 • 以後 指定した検索開始日以後に更新された WinActor を検索 • 以前 指定した検索終了日以前に更新された WinActor を検索
「管理実行モード」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • （空欄） 管理実行モード、ローカル実行モード両方の WinActor を検索 • 管理実行モード 管理実行モードの WinActor を検索 • ローカル実行モード ローカル実行モードの WinActor を検索
「ライセンス種別」	チェックボックスから検索対象とするライセンス種別を選択します。 ライセンス種別については、『4.1 ライセンスの種類』を参照してください。
「WinActor バージョン」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 完全一致 入力した WinActor バージョンと完全に一致している WinActor を検索 • 部分一致 入力した WinActor バージョンの一部が含まれている WinActor を検索

項目	概要
「インストーラ種別」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • （空欄） 管理者版、標準ユーザ版両方の WinActor を検索 • 管理者版 管理者版インストーラでインストールされた WinActor を検索 • 標準ユーザ版 標準ユーザ版インストーラでインストールされた WinActor を検索
「ライセンス形態」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • （空欄） FL（フローティングライセンス）、NL（ノードロックライセンス）両方の WinActor を検索 • FL（フローティングライセンス） FL（フローティングライセンス）の WinActor を検索 • NL（ノードロックライセンス） NL（ノードロックライセンス）の WinActor を検索
「保守契約 ID」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 完全一致 入力した保守契約 ID と完全に一致している WinActor を検索 • 部分一致 入力した保守契約 ID の一部が含まれている WinActor を検索

5.3.2　WinActor の検索結果一覧の詳細

「検索結果一覧」には、「検索条件」で設定した条件にあてはまる WinActor が一覧表示されます。また、この画面から WinActor を制御することができます。

図 5.3-3 WinActor の検索結果一覧の表示例

表 5.3-2 WinActor の検索結果一覧の項目

No.	項目	概要
❶	検索結果一覧	検索条件にあてはまる WinActor が一覧表示されます。 それぞれの列には、左から順に以下の情報が表示されます。 • チェックボックス 登録されている WinActor を選択削除、もしくは一括設定の対象にする場合、チェックボックスをチェック状態にします。 • 状態 WinActor の状態が表示されます。 • WinActor 名 WinActor が「ユーザ名@PC 名」という形式で表示されます。 • 所属 WinActor の所属が表示されます。所属が「未所属」の WinActor は「未所属」と表示します。 • 機能タグ 機能タグが表示されます。 • 更新日時 更新日時が表示されます。 WinActor ID が変わった場合、同じ PC の WinActor であっても、別の WinActor として識別されます。 その場合、同じ「ユーザ名@PC 名」が複数表示されます。 ヘッダーのチェックボックスをクリックすることで全選択／全解除を行うことができます。ただし、ページングにより別ページを参照した場合は、それまでにチェックした内容はクリアされます。
❷	WinActor 総数	検索条件にあてはまった WinActor の総数が表示されます。
❸	ページ表示数	ドロップダウンリストから、1 ページあたりの表示件数を選択できます。 選択肢は、「10」「25」「50」「100」です。リストから値を変更すると別の画面への遷移時や再ログイン時も指定した値が使用されます。
❹	ページ切り替え	ページ番号をクリックして、ページを切り替えることができます。現在のページは青で表示されています。 ［≫］をクリックすると、次のページが表示されます。 ［≪］をクリックすると、前のページが表示されます。 ［≫≫］をクリックすると、最後のページが表示されます。 ［≪≪］をクリックすると、先頭のページが表示されます。
❺	［選択削除］ボタン	クリックすると、選択した WinActor をまとめて削除する事ができます。
❻	［ダウンロード］ボタン	クリックすると、WinActor 情報を CSV 形式のファイルに出力できます。 『5.3.3 WinActor 情報をファイルに出力する』

No.	項目	概要
❼	［利用状況］ボタン	クリックすると、WinActor の利用状況を CSV 形式のファイルに出力できます。 『5.9 WinActor の利用状況をファイルに出力する』
❽	［一括設定］ボタン	クリックすると、選択した WinActor に対して一括設定を実施することができます。所属が「未所属」の WinActor を含む場合は一括設定を行うことはできません。 『5.8 WinActor を一括設定する』
❾	［リロード］ボタン	検索結果をリロードします。

5.3.3 WinActor 情報をファイルに出力する

WinActor 情報を、CSV 形式のファイルに出力する手順について説明します。

この説明では、使用ブラウザを Google Chrome としています。

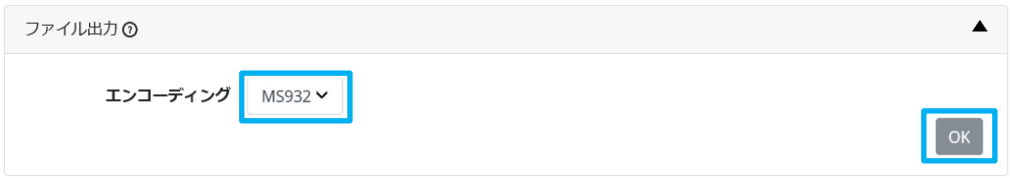
Steps

1. 「検索結果一覧」の［ダウンロード］ボタンをクリックします。

「ファイル出力」エリアが表示されます。

2. ドロップダウンリストからファイルのエンコーディング方式を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

エンコーディング方式では、Shift_JIS 系の「MS932」または Unicode の「UTF-8」を選択できます。



ファイルのダウンロードが開始されます。

ダウンロードが完了すると、ダウンロードしたファイルを確認するメッセージが表示されます。

3. ［×］ボタンをクリックします。

ファイルの保存が完了します。

大量の WinActor 情報をダウンロードすると、ダウンロードに時間がかかる、またはお使いのネットワーク環境によってはダウンロードが失敗する場合があります。その場合は、検索条件を絞り込み、件数を減らした後に、ダウンロードを実施してください。

5.4　WinActor の詳細情報を表示する

WinActor の「詳細情報」エリアでは、WinActor の詳細情報の表示に加え、WinActor のクリーン、再起動、停止、更新、削除などの制御をすることができます。

詳細情報の表示手順については、『2.4.3 詳細情報を表示する』を参照してください。
WinActor の「詳細情報」エリアの構成については、『5.4.1 WinActor の詳細情報エリアの構成要素』を参照してください。

5.4.1　WinActor の詳細情報エリアの構成要素

WinActor の「詳細情報」エリアの構成は、以下のとおりです。

図 5.4-1 WinActor の詳細情報エリアの表示例

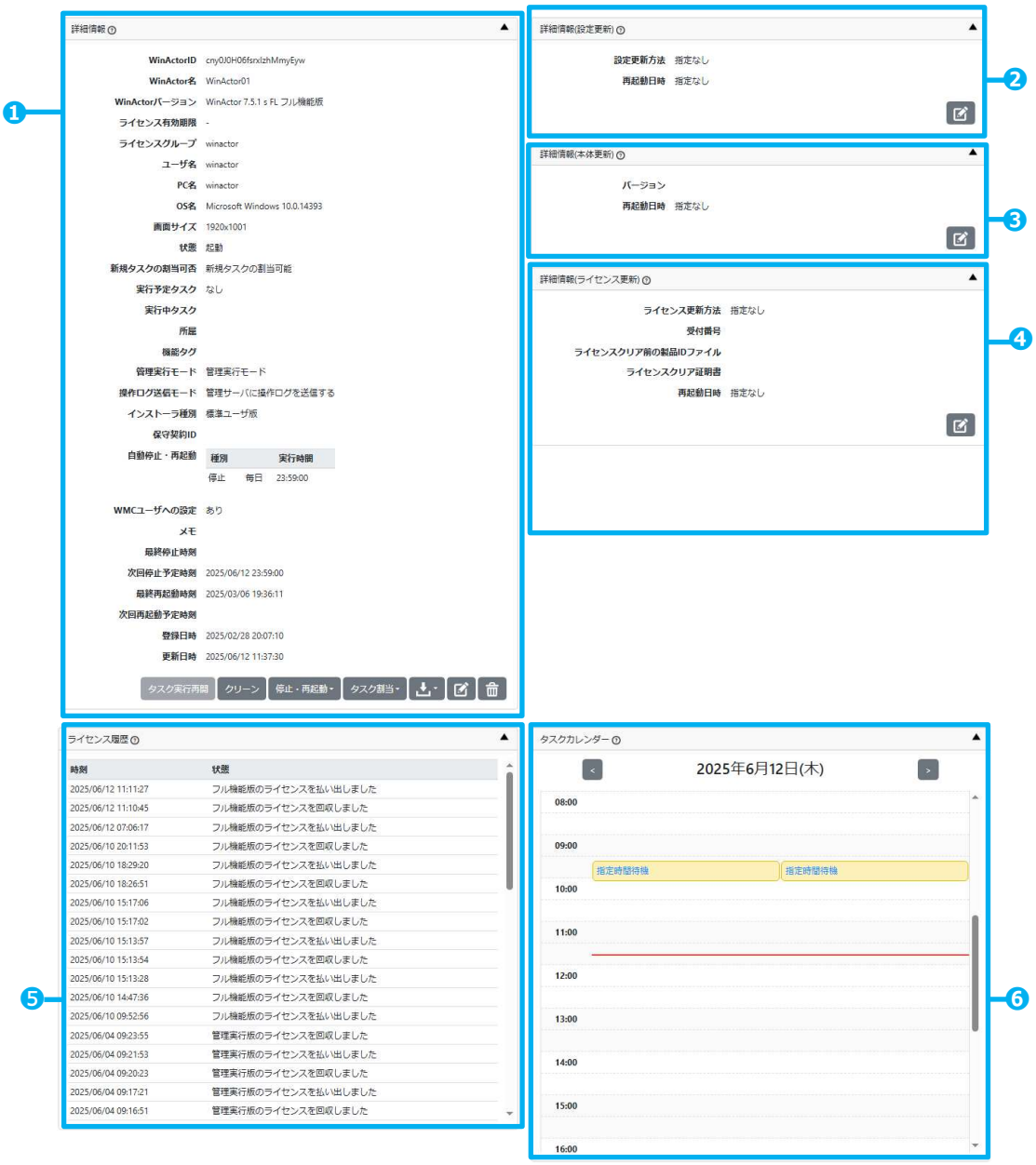


表 5.4-1 WinActor の詳細情報エリアの項目

No.	項目	概要
❶	詳細情報	登録されている WinActor の情報が表示されます。WinActor のクリーン、再起動、停止、更新、削除などの制御をすることができます。 『5.4.2 WinActor の詳細情報の構成要素』
❷	詳細情報(設定更新)	登録されている WinActor の設定更新に関する情報が表示されます。 『5.4.3 WinActor の詳細情報(設定更新)の構成要素』

No.	項目	概要
❸	詳細情報(本体更新)	登録されている WinActor の本体更新に関する情報が表示されます。 『5.4.4 WinActor の詳細情報(本体更新)の構成要素』
❹	詳細情報(ライセンス更新)	登録されている WinActor のライセンス更新（NL 更新・NL ライセンスクリア）に関する情報が表示されます。 『5.4.5 WinActor の詳細情報(ライセンス更新)の構成要素』
❺	ライセンス履歴	登録されている WinActor のライセンス履歴が表示されます。 『5.4.6 ライセンス履歴の構成要素』
❻	タスクカレンダー	登録されている WinActor が実行した、もしくは実行の可能性があるタスクがカレンダーで表示されます。 『5.4.7 タスクカレンダーの構成要素』

5.4.2　WinActor の詳細情報の構成要素

WinActor の「詳細情報」の構成は、以下のとおりです。

図 5.4-2 WinActor の詳細情報の表示例

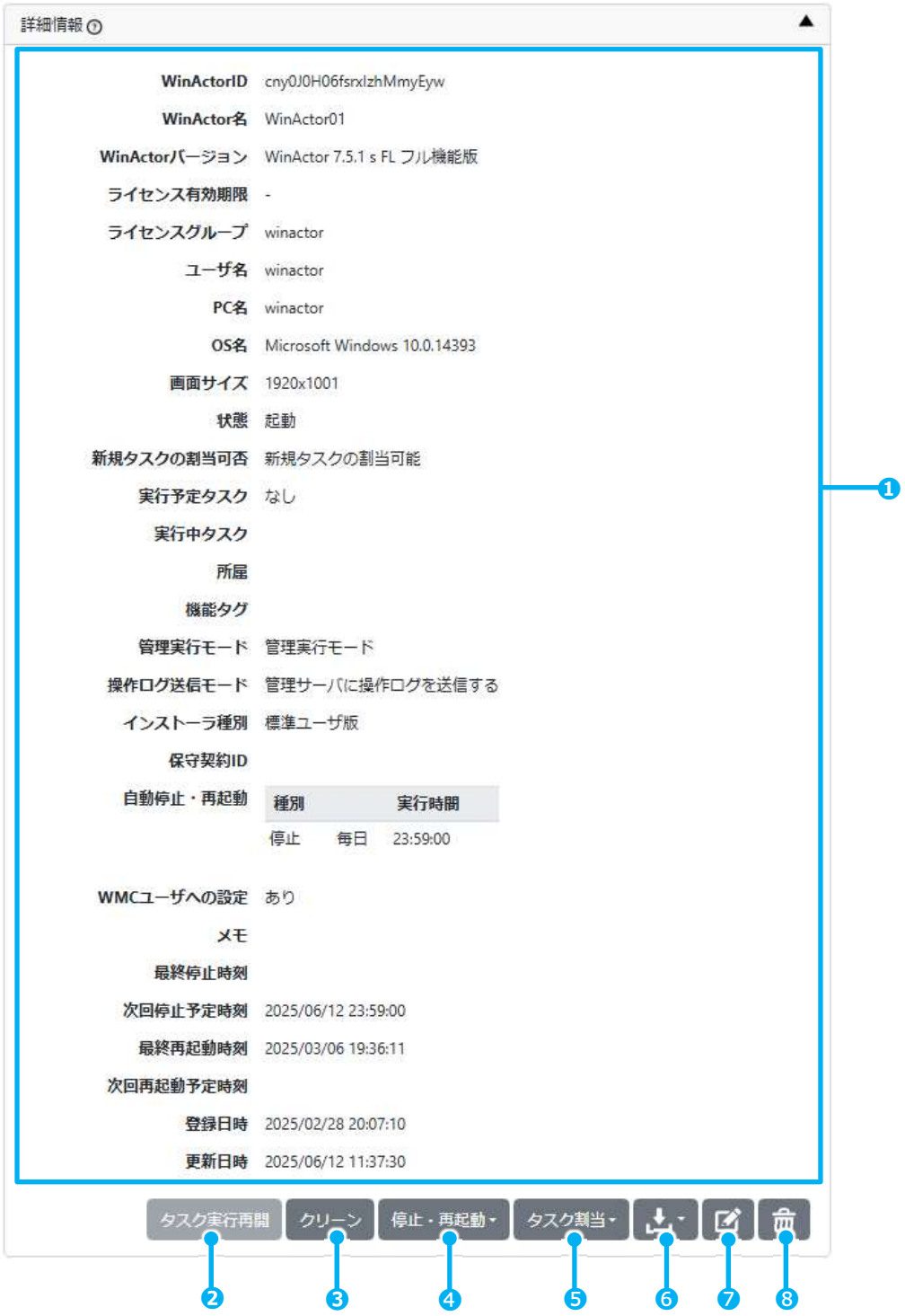


表 5.4-2 WinActor の詳細情報の項目

No.	項目	概要
❶	詳細情報	登録されている WinActor の情報が表示されます。 • WinActor ID WinActor に紐づいている ID が表示されます。 • WinActor 名 WinActor の名前が表示されます。 • WinActor バージョン WinActor のバージョンが表示されます。 • ライセンス有効期限 ライセンスの有効期限が表示されます。 • ライセンスグループ フローティングライセンスを払い出している場合に使用しているライセンスグループ名が表示されます。 • ユーザ名 WinActor がインストールされている PC のユーザ名が表示されます。 • PC 名 WinActor がインストールされている PC の PC 名が表示されます。 • OS 名 WinActor がインストールされている PC の OS 名が表示されます。 • 画面サイズ WinActor がインストールされている PC の画面サイズが表示されます。 • 状態 WinActor の状態が表示されます。 『5.1 WinActor の状態について』 • 新規タスクの割当可否 新しいタスクが割り当て可能かどうかが表示されます。 『5.5 WinActor を制御する』 • 実行予定タスク WinActor に割り当て済みのタスクの有無が表示されます。 • 実行中タスク WinActor で実行中のタスクが表示されます。 タスクをクリックすると、「タスク」画面で該当のタスクが表示されます。 『9. タスクを管理する』 • 所属 WinActor の所属が表示されます。所属が「未所属」の WinActor は「未所属」と表示します。 • 機能タグ 機能タグが表示されます。 • 管理実行モード 管理実行モードが表示されます。 • 操作ログ送信モード 操作ログ送信モードが表示されます。

No.	項目	概要
		• インストーラ種別 インストーラ種別が表示されます。 • 保守契約 ID 保守契約 ID が表示されます。 • 自動停止・再起動 WinActor の自動再起動予定が表示されます。 • WMC ユーザへの設定 WinActor を設定している、WinActorManager ユーザの有無が表示されます。 • メモ WinActor のメモが表示されます。 • 最終停止時刻 WinActor が WinActor Manager の操作指示により最後に停止した日時が表示されます。 • 次回停止予定時刻 WinActor の次回停止予定日時が表示されます。 • 最終再起動時刻 WinActor が WinActor Manager の操作指示により最後に再起動した日時が表示されます。 • 次回再起動予定時刻 WinActor の次回再起動予定日時が表示されます。 • 登録日時 WinActor が登録された日時が表示されます。 • 更新日時 WinActor が更新された日時が表示されます。 WinActor を自動停止・再起動する設定がされていてもユーザ操作中やシナリオ実行中は指定した時刻を経過しても停止・再起動されません。ユーザ操作やシナリオ実行が終了し、WinActor の状態が待機に変わると停止・再起動します。
❷	［タスク実行再開］ボタン	クリックすると、選択している WinActor で実行停止中のタスクの実行を再開することができます。 『5.5 WinActor を制御する』
❸	［クリーン］ボタン	クリックすると、選択している WinActor のクリーンを実行できます。 『5.5 WinActor を制御する』
❹	［停止・再起動］ボタン	クリックするとメニューが開きます。選択している WinActor を停止・再起動できます。 • 停止 WinActor を停止する際にクリックします。 • 再起動 WinActor を再起動する際にクリックします。

No.	項目	概要
		• 強制停止 WinActor を強制停止する際にクリックします。対象の WinActor のバージョンが 7.6.0 以上の場合に利用できます。 • 強制再起動 WinActor を強制再起動する際にクリックします。対象の WinActor のバージョンが 7.6.0 以上の場合に利用できます 『5.5 WinActor を制御する』
❺	［タスク割当］ボタン	クリックするとメニューが開きます。選択している WinActor に対して新しいタスクの割り当てを停止／再開するように設定できます。所属が「未所属」の WinActor の場合は非活性となりタスクの割当を再開することはできません。 • 割当再開 新しいタスクの割り当てを再開する際にクリックします。 • 割当停止 新しいタスクの割り当てを停止する際にクリックします。 『5.5 WinActor を制御する』
❻	［稼働情報出力］ボタン	クリックするとメニューが開きます。選択している WinActor の稼働情報を出力できます。 • 1 週間分の稼働情報を出力する 本日を起点として過去 1 週間分の稼働情報を出力する際にクリックします。 • 1 ヶ月分の稼働情報を出力する 本日を起点として過去 1 ヶ月分の稼働情報を出力する際にクリックします。 『5.5 WinActor を制御する』
❼	［更新］ボタン	クリックすると、選択している WinActor の情報を更新するための「情報更新」エリアが表示されます。 『5.6 WinActor 情報を更新する』
❽	［削除］ボタン	クリックすると、選択している WinActor を削除できます。 『5.7 WinActor を削除する』

5.4.3　WinActor の詳細情報(設定更新)の構成要素

WinActor の「詳細情報(設定更新)」の構成は、以下のとおりです。

図 5.4-3 WinActor の詳細情報の表示例

表 5.4-3 WinActor の詳細情報(設定更新)の項目

No.	項目	概要
1	詳細情報(設定更新)	登録されている WinActor の情報が表示されます。 • 設定更新方法 WinActor に紐づいている設定更新方法が表示されます。一括設定画面（操作：設定更新）で「設定ファイルによる設定」または「項目指定による設定」を選択した場合は、その値を表示します。一括設定画面（操作：設定更新）で「設定クリア」を選択した場合は「指定なし」と表示します。 • 設定ファイル 設定更新方法が「設定ファイルによる設定」である場合に表示されます。 詳細情報を表示している WinActor に設定された、設定ファイルを表示します。ファイル名をクリックすると、「ファイル」画面で該当のファイルが表示されます。 『6. ファイルを管理する』 • 管理実行モード 設定更新設定更新方法が「項目指定による設定」である場合に表示されます。 詳細情報を表示している WinActor に設定された、管理実行モードを表示します。設定済みの場合、「管理実行モード」または「ローカル実行モード」を表示します。設定なしの場合、空欄となります。 • 操作ログ送信モード 設定更新方法が「項目指定による設定」である場合に表示されます。 詳細情報を表示している WinActor に設定された、操作ロ

No.	項目	概要
		グ送信モードを表示します。設定済みの場合、「管理サーバに操作ログを送信する」または「管理サーバに操作ログを送信しない」を表示します。設定なしの場合、空欄となります。 • ライセンス種別 設定更新方法が「項目指定による設定」である場合に表示されます。 詳細情報を表示している WinActor に設定された、ライセンス種別を表示します。設定なしの場合、空欄となります。 • ライセンスパスワード 設定更新方法が「項目指定による設定」である場合に表示されます。 詳細情報を表示している WinActor に設定された、ライセンスパスワードを'********'で表示します。設定なしの場合、空欄となります。 • 再起動日時 詳細情報を表示している WinActor に設定された、再起動日時を表示します。 設定されていない場合は「指定なし」、設定されている場合は「YYYY/MM/DD hh:mm:ss」の形式で表示されます。 • 状態 設定内容の更新状態を表示します。 一度も設定内容を配信しておらず、設定内容を登録していない場合は表示なし、設定内容を登録後、再起動指示するまでの場合は「反映待ち」、再起動指示後、反映結果が通知されるまでの場合は「反映中」、設定完了している場合は「完了」、設定失敗している場合は「失敗（エラーコードとエラー詳細情報が出力されます)」、独自設定で動作中の場合は「個別設定で動作中」となります。 本機能を利用するためには Ver.7.3（設定ファイルによる設定)、または、Ver.7.5（項目指定による設定）以上の WinActor が必要になります。対応していない WinActor をご利用の場合、設定を行っても「状態」が「反映待ち」から進むことはありませんのでご注意ください。 「設定更新方法」を「設定ファイルによる設定」として設定完了後に、WinActor 本体のオプション画面を操作して設定を変更すると「状態」が「個別設定で動作中」となります。「項目指定による設定」後に WinActor 本体のオプション画面を操作しても「個別設定で動作中」にはなりませんのでご注意ください。

No.	項目	概要
❷	［更新］ボタン	登録されている WinActor への一括設定（操作：設定更新）を行う場合、このボタンをクリックします。

5.4.4　WinActor の詳細情報(本体更新)の構成要素

WinActor の「詳細情報(本体更新)」の構成は、以下のとおりです。

図 5.4-4 WinActor の詳細情報の表示例

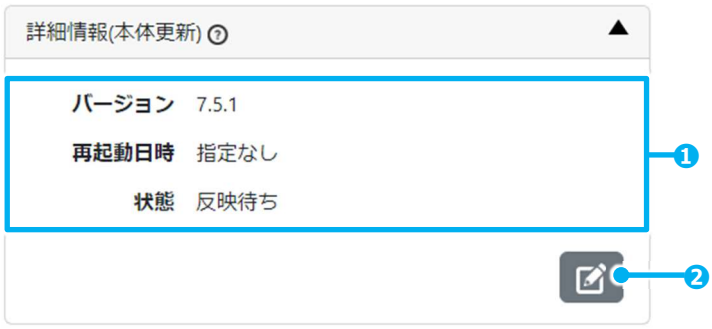


表 5.4-4 WinActor の詳細情報(本体更新)の項目

No.	項目	概要
❶	詳細情報(本体更新)	登録されている WinActor の情報が表示されます。 • バージョン 詳細情報を表示している WinActor に設定された、更新予定のバージョンを表示します。 設定なしの場合、空欄となります。 • 再起動日時 詳細情報を表示している WinActor に設定された、再起動日時を表示します。 設定されていない場合は「指定なし」、設定されている場合は「YYYY/MM/DD hh:mm:ss」の形式で表示されます。 • 状態 設定内容の更新状態を表示します。 一度も設定内容を配信しておらず、設定内容を登録していない場合は表示なし、設定内容を登録後、再起動指示するまでの場合は「反映待ち」、再起動指示後、反映結果が通知されるまでの場合は「反映中」、設定完了している場合は「完了」、設定失敗している場合は「失敗（エラーコードとエラー詳細情報が出力されます)」となります。 本機能を利用するためには Ver.7.5 以上の WinActor が必要になります。対応していない WinActor をご利用の場合、設定を行っても「状態」が「反映待ち」から進むことはありませんのでご注意ください。
❷	［更新］ボタン	登録されている WinActor への一括設定（操作：本体更新）を行う場合、このボタンをクリックします。

5.4.5　WinActor の詳細情報(ライセンス更新)の構成要素

WinActor の「詳細情報(ライセンス更新)」の構成は、以下のとおりです。

図 5.4-5 WinActor の詳細情報の表示例

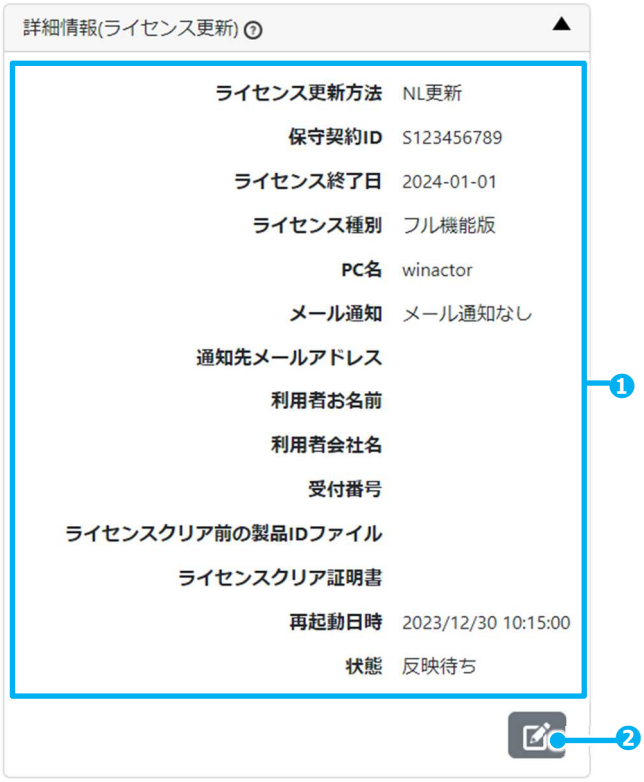


表 5.4-5 WinActor の詳細情報(ライセンス更新)の項目

No.	項目	概要
1	詳細情報(ライセンス更新)	登録されている WinActor の情報が表示されます。 • ライセンス更新方法 詳細情報を表示している WinActor に設定された、ライセンス更新方法を表示します。 一括設定画面で「NL 更新」または「NL ライセンスクリア」を選択した場合は、その値を表示します。一括設定画面で「設定クリア」を選択した場合は「指定なし」と表示します。 • 保守契約 ID ライセンス更新方法が「NL 更新」である場合に表示されます。 詳細情報を表示している WinActor に設定された、保守契約 ID を表示します。 • ライセンス終了日 ライセンス更新方法が「NL 更新」である場合に表示され

No.	項目	概要
		ます。 詳細情報を表示している WinActor に設定された、ライセンス終了日を「YYYY/MM/DD hh:mm:ss」形式で表示します。 • ライセンス種別 ライセンス更新方法が「NL 更新」である場合に表示されます。 詳細情報を表示している WinActor に設定された、ライセンス種別を表示します。 • PC 名 ライセンス更新方法が「NL 更新」である場合に表示されます。 詳細情報を表示している WinActor に設定された、PC 名を表示します。 • メール通知 ライセンス更新方法が「NL 更新」である場合に表示されます。 詳細情報を表示している WinActor に設定された、メール通知の有無を表示します。「メール通知あり」または「メール通知なし」を表示します。 • 通知先メールアドレス ライセンス更新方法が「NL 更新」かつ、メール通知が「メール通知あり」である場合に表示されます。 詳細情報を表示している WinActor に設定された、通知先メールアドレスを表示します。 • 利用者お名前 ライセンス更新方法が「NL 更新」かつ、メール通知が「メール通知あり」である場合に表示されます。 詳細情報を表示している WinActor に設定された、利用者お名前を表示します。 • 利用者会社名 ライセンス更新方法が「NL 更新」かつ、メール通知が「メール通知あり」である場合に表示されます。 詳細情報を表示している WinActor に設定された、利用者会社名を表示します。 • 受付番号 詳細情報を表示している WinActor に設定された、受付番号を表示します。 一括設定画面（操作：NL 更新・NL ライセンスクリア）で「NL 更新」を選択し、処理が完了すると表示されます。 • ライセンスクリア前の製品 ID ファイル 詳細情報を表示している WinActor に設定された、ライセンスクリア前の製品 ID ファイルを表示します。 一括設定画面（操作：NL 更新・NL ライセンスクリア）で「NL ライセンスクリア」を選択し、処理が完了すると表示されます。

No.	項目	概要
		ファイル名をクリックすると、「ファイル」画面で該当のファイルが表示されます。 『6. ファイルを管理する』 • ライセンスクリア証明書 詳細情報を表示している WinActor に設定された、ライセンスクリア証明書を表示します。 一括設定画面（操作：NL 更新・NL ライセンスクリア）で「NL ライセンスクリア」を選択し、処理が完了すると表示されます。 ファイル名をクリックすると、「ファイル」画面で該当のファイルが表示されます。 『6. ファイルを管理する』 • 再起動日時 設定された再起動日時を表示します。 設定されていない場合は「指定なし」、設定されている場合は「YYYY/MM/DD hh:mm:ss」の形式で表示されます。 • 状態 設定内容の更新状態を表示します。 一度も設定内容を配信しておらず、設定内容を登録していない場合は表示なし、設定内容を登録後、再起動指示するまでの場合は「反映待ち」、再起動指示後、反映結果が通知されるまでの場合は「反映中」、設定完了している場合は「完了」、設定失敗している場合は「失敗（エラーコードとエラー詳細情報が出力されます）」となります。 本機能を利用するためには Ver.7.5 以上の WinActor が必要になります。対応していない WinActor をご利用の場合、設定を行っても「状態」が「反映待ち」から進むことはありませんのでご注意ください。 ライセンスクリア前の製品 ID ファイル、および、ライセンスクリア証明書は WinActor 画面に表示があってもファイル画面から削除することが可能です。必要に応じてダウンロードして保管するなどをご検討ください。
❷	［更新］ボタン	登録されている WinActor への一括設定（操作：NL 更新・NL ライセンスクリア）を行う場合、このボタンをクリックします。

5.4.6　ライセンス履歴の構成要素

WinActor の「ライセンス履歴」の構成は、以下のとおりです。

1 ヶ月分のライセンス払い出し、回収の時刻を降順で表示します。ライセンス履歴がない場合は「ライセンス履歴はありません」と表示します。

図 5.4-6 ライセンス履歴の表示例

表 5.4-6 ライセンス履歴の項目

No.	項目	概要
❶	「履歴」	• 時刻 ライセンス払い出し、または回収時刻を表示します。 • 状態 払い出したライセンスの種別、および払い出し、回収のいずれかを表示します。

5.4.7　タスクカレンダーの構成要素

WinActor の「タスクカレンダー」の構成は、以下のとおりです。

カレンダーを使用してタスク情報、実行結果を表示します。１日分のタスクの情報を最大1000 件表示します。

図 5.4-7 タスクカレンダーの表示例

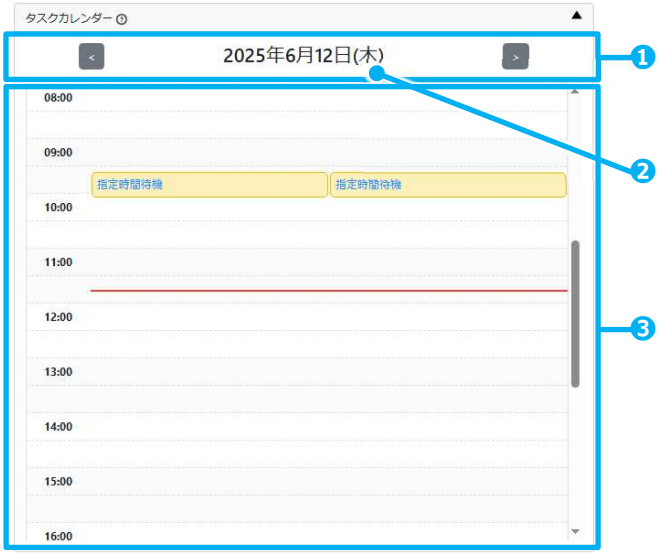


表 5.4-7 タスクカレンダーの項目

No.	項目	概要
❶	「< ／ >」	カレンダー上部にある「< ／ > 」で表示対象日を変更できます。 「<」をクリックすると現在表示している日の１日前を表示します。 「>」をクリックすると現在表示している日の１日後を表示します。
❷	「表示年月日」	カレンダー上部中央に現在表示しているカレンダーの年月日と曜日を表示します。
❸	「各タスク情報へのリンク」	ログインユーザの所属に含まれるタスク、かつ実行予定 WinActor が対象の WinActor または実行予定 WinActor の指定がないタスクが、タスク状態により色別に表示されます。 表示色 / タスク状態 タスク名 / 正常終了 タスク名 / 中断／中断中 タスク名 / 異常終了／異常停止 タスク名 / 待機中／処理中 クリックすることでタスク画面に遷移します。

5.5　WinActor を制御する

WinActor Manager で管理している WinActor に対して、タスク実行再開、クリーン、再起動、停止、タスク割り当ての変更、稼働情報の出力をします。

対象の WinActor で実行しているタスクが異常停止している場合、タスク実行再開またはクリーンを選択することができます。

異常停止状態のタスクを再開したい場合は「タスク実行再開」を選択してください。

異常停止状態のタスクを終了したい場合は「クリーン」を選択してください。クリーンを実行すると、テンポラリフォルダからシナリオやログ、作業ファイルが削除され、WinActor はシナリオが実行されるのを待っている状態（「起動」状態）に戻ります。

5.5.1　WinActor のタスク実行を再開する

Steps

1. 「検索結果一覧」で、制御したい WinActor をクリックします。

WinActor の詳細情報が表示されます。

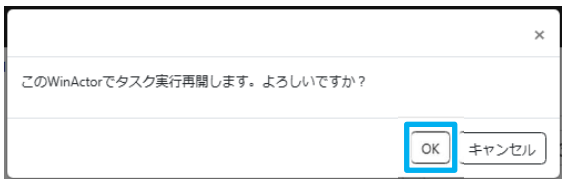
2. タスク実行再開のため、以下の操作をします。

❶　［タスク実行再開］ボタンをクリックします。

「エラー停止中」以外の WinActor に対してタスク実行再開は実行できません。また、本機能は対象の WinActor のバージョンが 7.6.0 以上の場合に利用できます。

タスク実行再開の確認ダイアログが表示されます。

❷ ［OK］ボタンをクリックします。



タスク実行再開が実行されます。

管理実行版ライセンスを使用している場合、実行していたタスクが異常停止になった時点で一度ライセンスは回収されます。タスク実行再開のためには再度ライセンスの払い出しが必要になりますが、ライセンスが払い出されるまでタスク実行再開することはできません。この場合は WinActor の状態が「シナリオ実行中」から「エラー停止」に戻りますのでライセンスグループのライセンス数の設定を見直すなどしてから再度タスク実行再開をお試しください。

5.5.2 WinActor をクリーンする

Steps

1. 「検索結果一覧」で、制御したい WinActor をクリックします。

WinActor の詳細情報が表示されます。

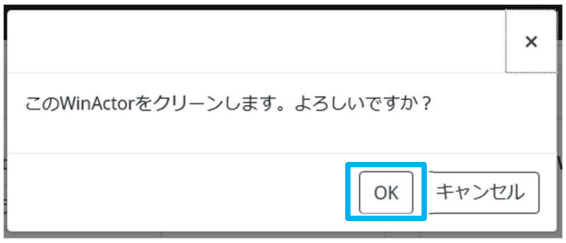
2. クリーン実施のため、以下の操作をします。

❶ ［クリーン］ボタンをクリックします。

「ユーザ操作中」や「停止中」の WinActor のクリーンは実行できません。

クリーンの確認ダイアログが表示されます。

❷ ［OK］ボタンをクリックします。



クリーンが実行されます。

WinActorのクリーンを実施しました。
閉じる

5.5.3 WinActor を再起動する

Steps

1. 「検索結果一覧」で、制御したい WinActor をクリックします。

WinActor の詳細情報が表示されます。

2. 再起動実施のため、以下の操作をします。

❶ ［停止・再起動］ボタンをクリックします。

メニューが開きます。「再起動」を選択すると再起動の確認ダイアログが表示されます。

❷ ［OK］ボタンをクリックします。

再起動が実行されます。

強制再起動は対象の WinActor のバージョンが 7.6.0 以上の場合に利用できます。対象の WinActor がシナリオ編集中の場合でも再起動が実施されるため、保存前の情報が残らない点にご注意ください。

5.5.4 WinActor を停止する

Steps

1. 「検索結果一覧」で、制御したい WinActor をクリックします。

WinActor の詳細情報が表示されます。

2. 停止実施のため、以下の操作をします。

❶ ［停止・再起動］ボタンをクリックします。

メニューが開きます。「停止」を選択すると停止の確認ダイアログが表示されます。

❷ ［OK］ボタンをクリックします。

停止が実行されます。

強制停止は対象の WinActor のバージョンが 7.6.0 以上の場合に利用できます。対象の WinActor がシナリオ編集中の場合でも停止が実施されるため、保存前の情報が残らない点にご注意ください。

5.5.5 WinActor へのタスク割当を停止する

WinActor に対する新しいタスクの割り当てを停止します。

Steps

1. 「検索結果一覧」で、制御したい WinActor をクリックします。

WinActor の詳細情報が表示されます。

2. 新しいタスクの割り当てを停止する場合は、以下の操作をします。

❶ ［タスク割当］ボタンをクリックします。

ボタンの文字が薄いグレーで表示されている場合、すでに新しいタスクの割り当ては停止されているため、この操作は実行できません。

メニューが開きます。「割当停止」を選択するとタスクの割り当てが停止され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

❷ ［閉じる］ボタンをクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

5.5.6 WinActor へのタスク割当を再開する

WinActor に対する新しいタスクの割り当てを再開します。

Steps

1. 「検索結果一覧」で、制御したい WinActor をクリックします。

WinActor の詳細情報が表示されます。

3. 新しいタスクの割り当てを再開する場合は、以下の操作をします。

❶ ［タスク割当］ボタンをクリックします。

ボタンの文字が薄いグレーで表示されている場合、すでに新しいタスクの割り当てが再開されているため、この操作は実行できません。

メニューが開きます。「割当再開」を選択するとタスクの割り当てが再開され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

❷ ［閉じる］ボタンをクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

5.5.7　WinActor の稼働情報を出力する

WinActor の稼働情報を出力する手順について説明します。

Steps

1. 「検索結果一覧」で、制御したい WinActor をクリックします。

WinActor の詳細情報が表示されます。

2. 稼働情報を出力する場合は、以下の操作をします。

❶　［稼働情報出力］ボタンをクリックします。

メニューが開きます。項目を選択するとファイルのダウンロードが開始されます。

ダウンロードが完了すると、ダウンロードしたファイルを確認するメッセージが表示されます。

3. ［×］ボタンをクリックします。

ファイルの保存が完了します。

5.6　WinActor 情報を更新する

WinActor の情報を更新する手順について説明します。

所属が「未所属」の WinActor は所属を設定するまでタスク実行を行うことができないため必ずこの画面から所属を設定してください。

Steps

1. 更新したい WinActor の「詳細情報」エリアで、[更新] ボタンをクリックします。

WinActor の「情報更新」エリアが表示されます。

2. WinActor の情報を修正します。

「名前」は必ず設定する必要があります。それ以外の項目は、必要に応じて設定してください。

❶ WinActor の「名前」を入力します。

❷ ドロップダウンリストから、「所属」を選択します。

❸ 機能タグを 64 文字以下で入力します。

❹ 自動停止・再起動時刻を設定します。

自動停止・再起動時刻を設定するには [WinActor を自動的に停止もしくは再起動する] をチェック状態にしてください。

「種別」のドロップダウンリストで、スケジュールを実行するタイミングを選択します。

- 毎日
  毎日決まった時間に WinActor の再起動を実行します。
  「実行時間」欄をクリックして、実行する時間を選択します。
- 毎週
  毎週決まった曜日と時間に WinActor の再起動を実行します。
  「毎週何曜日」ドロップダウンリストから実行する曜日を選択し、「実行時間」欄をクリックして、実行する時間を選択します。

❺ メモを 200 文字以下で入力します。

❻ [OK] ボタンをクリックします。

WinActor 情報が更新され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

3. ［閉じる］ボタンをクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

5.7　WinActor を削除する

WinActor Manager で管理している WinActor を削除する手順について説明します。

Steps

1. 削除したい WinActor の「詳細情報」エリアで、[削除] ボタンをクリックします。

> いままで WinActor への新規タスクの割り当てが再開されていると、[削除] ボタンをクリックしても WinActor を削除することができませんでしたが、Ver.3.4 からは新規タスク割当可能な WinActor を直接削除できるようになります。
>
> 『5.5 WinActor を制御する』

削除の確認ダイアログが表示されます。

2. [OK] ボタンをクリックします。

WinActor が削除され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

3. [閉じる] ボタンをクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

5.8　WinActor を一括設定する

WinActor Manager で管理している WinActor の設定更新、バージョン更新、ノードロックライセンス更新などを実施する手順について説明します。

5.8.1　WinActor の選択方法

一括設定を行うためには対象の WinActor を選択する必要があります。

WinActor へ一括設定する方法は以下の 3 種類あります。ここでは 1.および 2.の手順について説明します。1.と 2.では一度に設定できる WinActor 数に違いがありますが設定手順としては同じとなります。

1. WinActor 画面「検索結果一覧」エリアから［一括設定］ボタンをクリック：
   複数の WinActor に対して設定することができます。ただし、所属が「未所属」の WinActor を含む場合は一括設定を行うことはできません。
2. WinActor 画面「詳細情報(設定更新)」「詳細情報(本体更新)」「詳細情報(ライセンス更新)」エリアから［更新］ボタンをクリック：
   対象の WinActor に対して設定することができます。ただし、所属が「未所属」の WinActor に対しては設定クリアのみ実施可能です。
3. 設定画面「初回接続時の一括設定ファイル」エリアから設定：
   WinActor Manager に未登録の WinActor が登録されたタイミングで使用する設定ファイルを指定できます。ただし、所属が「未所属」の WinActor に対しては所属を設定するまで反映されません。

3.の設定手順については『14.4 動作に関する設定を更新する』を参照してください。

使用する設定ファイル(WinActor のオプション画面の設定情報をエクスポートした設定ファイル）の詳細につきましては WinActor Ver.7 のマニュアルを参照してください。

Steps

1. WinActor の「検索結果一覧」エリアに表示されたチェックボックスより、設定対象の WinActor を指定します。ページングにより別ページを参照した場合は、それまでにチェックした内容はクリアされます。
「詳細情報(設定更新)」「詳細情報(本体更新)」「詳細情報(ライセンス更新)」エリアから[更新]ボタンをクリックする場合は、チェックボックスではなく、WinActor を選択し、詳細情報を表示してください。以下は「検索結果一覧」エリアから複数の WinActor を選択した図を示します。

2. WinActor の「検索結果一覧」エリアの［一括設定］ボタンをクリック、もしくは「詳細情報(設定更新)」「詳細情報(本体更新)」「詳細情報(ライセンス更新)」エリアから［更新］ボタンをクリックします。以下は「検索結果一覧」エリアからの遷移を示します。

「複数 WinActor 一括設定」エリアが表示されます。「詳細情報(設定更新)」「詳細情報(本体更新)」「詳細情報(ライセンス更新)」エリアから遷移した場合は「WinActor 一括設定」ダイアログが表示されます。

5.8.2　一括設定画面の構成

選択中の WinActor に対して行う操作をプルダウンより指定します。プルダウンを操作すると選択した項目に応じた設定項目が表示されます。必要な設定を実施し、OK ボタンをクリックすることで設定を確定することができます。「詳細情報(設定更新)」「詳細情報(本体更新)」「詳細情報(ライセンス更新)」エリアから［更新］ボタンをクリックした場合はプルダウンの値は指定済みとなり、変更することはできません。

図 5.8-1 一括設定の表示例

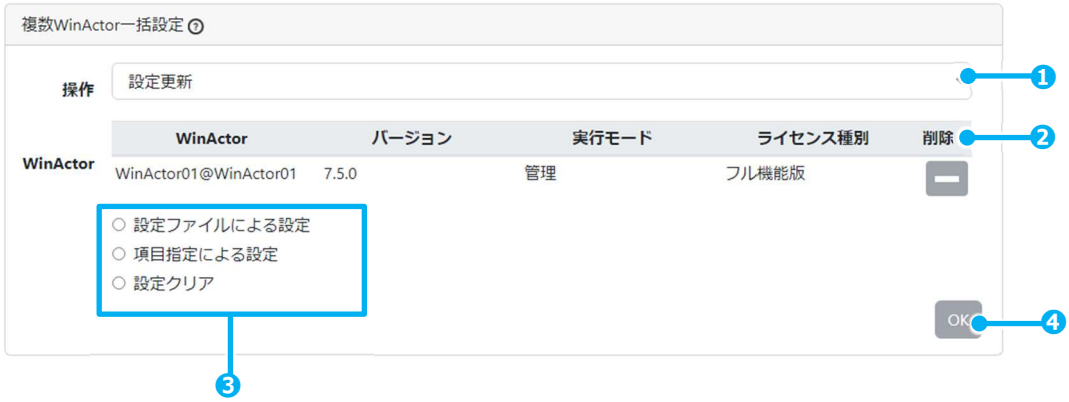


図 5.8-2 一括設定の表示例（詳細情報からの表示）

表 5.8-1 一括設定の項目

No.	項目	概要
❶	［操作］プルダウン	選択中の WinActor に対して行う操作を指定します。 『5.8.3 操作の選択』
❷	WinActor 情報	一括設定対象の WinActor 情報を表示します。 『5.8.4 設定対象の WinActor の確認』

No.	項目	概要
❸	設定エリア	操作プルダウンで選択した内容に応じて設定項目が表示されます。 『5.8.5 設定更新方法』 『5.8.6 本体更新方法』 『5.8.7 NL 更新・NL ライセンスクリア更新方法』
❹	［OK］ボタン	設定を確定します。操作プルダウンで「本体更新」を選択した場合は、OK ボタンクリック後に WinActor のソフトウェア使用許諾契約書同意ダイアログが表示されます。処理を続行するためには内容を確認後「同意する」ボタンをクリックする必要があります。 『5.8.9 WinActor ソフトウェア使用許諾契約書の確認』
❺	［キャンセル］ボタン	更新をキャンセルし詳細情報画面へ戻ります。 「詳細情報(設定更新)」「詳細情報(本体更新)」「詳細情報(ライセンス更新)」エリアから［更新］ボタンをクリックした場合のみ表示されます。

5.8.3　操作の選択

選択中の WinActor に対して行う操作をプルダウンより指定します。プルダウンを操作すると選択した項目に応じた設定項目が表示されます。必要な設定を実施し、OK ボタンをクリックすることで設定を確定することができます。「詳細情報(設定更新)」「詳細情報(本体更新)」「詳細情報(ライセンス更新)」エリアから［更新］ボタンをクリックした場合はプルダウンの値は指定済みとなり、変更することはできません。

図 5.8-3 一括設定 操作 の表示例

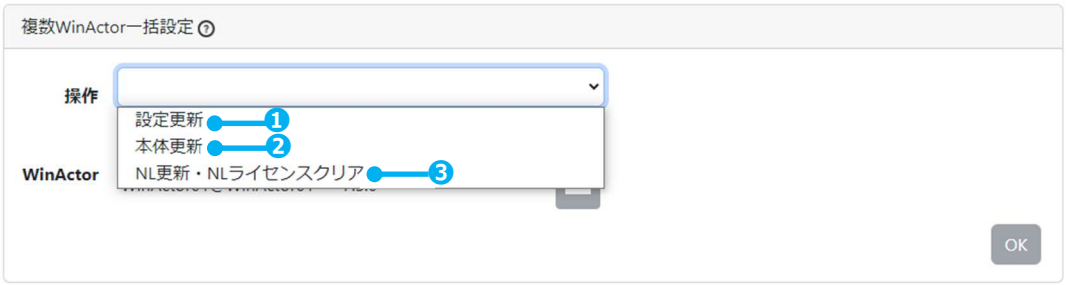


表 5.8-2 一括設定 操作の項目

No.	項目	概要
❶	設定更新	設定ファイルによる設定、または項目指定による設定により、選択した WinActor の設定を更新します。 本機能を利用できる WinActor のバージョンと設定が反映されるタイミング（WinActor の状態）は以下のとおりです。 • 設定ファイルによる設定 バージョン：Ver.7.3 以降 反映タイミング：起動（管理実行モード） • 項目指定による設定 バージョン：Ver.7.5 以降 反映タイミング：起動（管理実行モード）、ユーザ操作中（ローカル実行モード）、ライセンス失効（管理実行モード、ローカル実行モード）
❷	本体更新	選択した WinActor を最新バージョンに更新します。すでに最新バージョンの WinActor をご利用中の場合は本機能によるバージョン更新を行うことはできません。 本機能を利用できる WinActor のバージョンと設定が反映されるタイミング（WinActor の状態）は以下のとおりです。 バージョン：Ver.7.5 以降 反映タイミング：起動、ライセンス失効（管理実行モード）

No.	項目	概要
		本機能により更新できるのは標準ユーザ版インストーラによりインストールされた WinActor のみとなります。また、ローカル実行モードの WinActor を更新することはできません。
❸	NL 更新・NL ライセンスクリア	選択した WinActor の NL ライセンスの更新、または NL ライセンスのクリアを行います。 本機能を利用できる WinActor のバージョンと設定が反映されるタイミング（WinActor の状態）は以下のとおりです。 • NL 更新 バージョン：Ver.7.5 以降 反映タイミング：起動（管理実行モード）、ユーザ操作中（ローカル実行モード）、ライセンス失効（管理実行モード、ローカル実行モード） • NL ライセンスクリア バージョン：Ver.7.5 以降 反映タイミング：起動（管理実行モード）、ユーザ操作中（ローカル実行モード） 本機能により更新できるのは NL 版 WinActor のみとなります。

5.8.4　設定対象の WinActor の確認

一括設定対象の WinActor 情報を表示します。WinActor 名は最大 10 件表示され、11 件目以降はスクロールにより表示されます。表示される要素は、「操作」プルダウンで指定中の値に応じて変わります。

本画面の表示中は、検索結果一覧のチェックボックスを操作しても、WinActor の選択内容は更新されません。チェックボックス操作後に一括設定ボタンを再度クリックすると、チェックボックス操作後の内容で画面を表示します。

> 設定対象の WinActor の中に赤い文字列で表示された項目を持つ WinActor が含まれている場合、設定を行うことはできません。[削除] ボタンより対象の WinActor を削除してください。

図 5.8-4 WinActor の表示例

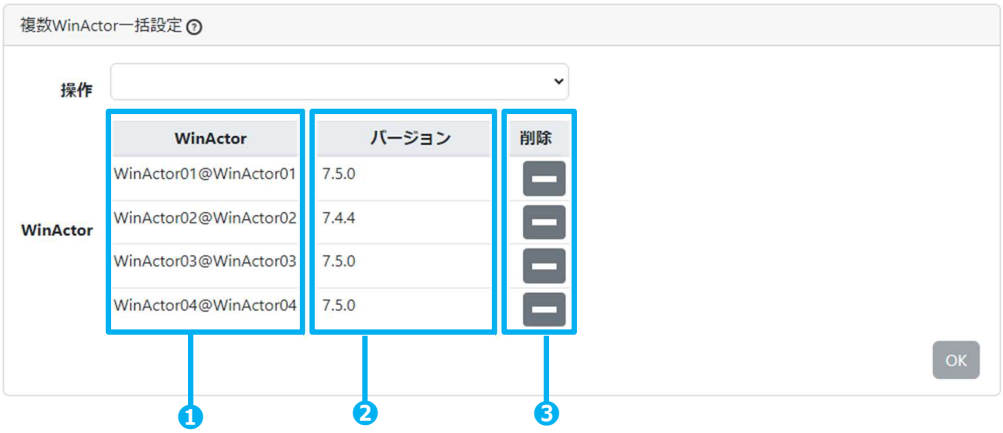


表 5.8-3 WinActor 表示項目

No.	項目	概要
❶	WinActor 名	選択中の WinActor 名を表示します。
❷	バージョン	選択中の WinActor の現在のバージョン番号を表示します。
❸	［削除］ボタン	選択中の WinActor を一括設定対象から外す場合にクリックします。選択中の WinActor が 1 台のみである場合は、ボタンは非活性となります。

図 5.8-5 WinActor 設定更新の表示例

表 5.8-4 WinActor 設定更新 表示項目

No.	項目	概要
❶	実行モード	選択中の WinActor の現在の実行モードを表示します。 管理実行モードの場合は「管理」、ローカル実行モードの場合は「ローカル」と表示します。
❷	ライセンス種別	選択中の WinActor のライセンス種別を表示します。 フル機能版ライセンスの場合は「フル機能版」、実行版ライセンスの場合は「実行版」、管理実行版ライセンスの場合は「管理実行版」と表示します。

図 5.8-6 WinActor 本体更新の表示例

表 5.8-5 WinActor 本体更新 表示項目

No.	項目	概要
❶	実行モード	選択中の WinActor の現在の実行モードを表示します。 管理実行モードの場合は「管理」、ローカル実行モードの場合は「ローカル」と表示します。
❷	インストーラ種別	選択中の WinActor が、どの種別のインストーラでインストールされたかを表示します。 管理者ユーザ版インストーラでインストールされた場合は「管理者版」、標準ユーザ版インストーラでインストールされた場合は「標準ユーザ版」と表示します。

図 5.8-7 WinActor NL 更新・NL ライセンスクリアの表示例

表 5.8-6 WinActor NL 更新・NL ライセンスクリア表示項目

No.	項目	概要
❶	ライセンス形態	選択中の WinActor に現在設定されているライセンス形態を表示します。 「NL」または「FL」を表示します。
❷	ライセンス種別	選択中の WinActor に現在設定されているライセンス種別を表示します。 フル機能版ライセンスの場合は「フル機能版」、実行版ライセンスの場合は「実行版」、管理実行版ライセンスの場合は「管理実行版」を表示します。 この値と NL 更新時の「ライセンス種別」で選択した値が異なる場合、背景色をオレンジ色で表示しますので正しいライセンス種別を選択しているか確認してください。
❸	適用状態	確認ボタンをクリック時、指定した保守契約 ID に紐づくライセンスを使用してライセンス更新済みの WinActor である場合、「適用済」と表示します。 初期状態では空欄となります。

5.8.5　設定更新方法

「操作」プルダウンで「設定更新」指定中に設定を行うためのエリアを表示します。ラジオボタンで実施したい項目を選択し、その後に表示された設定を実施してください。

図 5.8-8 設定更新の表示例

表 5.8-7 設定更新表示項目

No.	項目	概要
❶	設定ファイルによる設定	選択中の WinActor に対して、設定ファイルを用いた設定を行います。
❷	項目指定による設定	選択中の WinActor に対して、管理実行に関する設定や、ライセンス種別の変更を行います。
❸	設定クリア	選択中の WinActor から、設定更新に関する一括設定情報をクリアします。 設定クリアを行うためには、設定後、WinActor に再起動指示するまでにクリアを行う必要があります。

図 5.8-9 「設定ファイルによる設定」の表示例

表 5.8-8 「設定ファイルによる設定」 表示項目

No.	項目	概要
❶	設定ファイル	選択中の WinActor へ登録する設定ファイルを指定します。 参照ボタンによる指定により変更されるため、ボックスは非活性状態となります。
❷	［参照］ボタン	ファイル選択ダイアログを表示します。
❸	［クリア］ボタン	選択中の設定ファイルをクリアします。

図 5.8-10 「項目指定による設定」の表示例

表 5.8-9 「項目指定による設定」 表示項目

No.	項目	概要
❶	「管理実行モードを変更する」	管理実行モードを変更する場合は、このチェックボックスにチェックを入れます。チェックを入れると、「管理サーバからの指示で動作する」と「管理サーバに操作ログを送信する」の 2 項目が表示されます。
❷	「管理サーバからの指示で動作する」	WinActor をどの実行モードに変更するかをチェックボックスで指定します。管理実行モードに変更する場合はチェックを入れます。ローカル実行モードに変更する場合はチェックを外します。 ※ライセンス種別で「管理実行版」を選択中、「管理サーバからの指示で動作する」のチェックボックスはチェックが入り、かつ非活性となります。
❸	「管理サーバに操作ログを送信する」	WinActor の操作ログを管理サーバに送信するかどうかをチェックボックスで指定します。管理サーバに操作ログを送信する場合はチェックを入れます。管理サーバに操作ログを送信しない場合はチェックを外します。 ※「管理サーバからの指示で動作する」にチェック中、「管理サーバに操作ログを送信する」のチェックボックスは非活性となります。
❹	「ライセンス種別を変更する」	WinActor のライセンス種別を一括して変更する場合は、このチェックボックスにチェックを入れます。チェックを入れると、「ライセンス種別」の項目が表示されます。
❺	「ライセンス種別」	WinActor をどのライセンス種別に変更するかをラジオボタンで指定します。「フル機能版」「実行版」「管理実行版」いずれかの種別を選択します。
❻	「ライセンスパスワードを変更する」	選択中の WinActor のライセンスパスワードを変更する場合は、このチェックボックスにチェックを入れます。チェックを入れると、「ライセンスパスワード」と「確認ボタン」の 2 項目が表示されます。
❼	「ライセンスパスワード」	選択中の WinActor に設定するライセンスパスワードを入力します。 入力内容はマスクされた状態で表示されます。
❽	［確認］ボタン	ボタンクリック時、「ライセンスパスワード」に指定した値が正しいかの接続チェックを行います。

5.8.6　本体更新方法

「操作」プルダウンで「本体更新」指定中に設定を行うためのエリアを表示します。ラジオボタンで実施したい項目を選択し、その後に表示された設定を実施してください。

図 5.8-11 本体更新の表示例

表 5.8-10 本体更新 表示項目

No.	項目	概要
❶	本体更新	選択中の WinActor のバージョンを更新します。
❷	設定クリア	選択中の WinActor から、本体更新に関する一括設定情報をクリアします。 設定クリアを行うためには、設定後、WinActor に再起動指示するまでにクリアを行う必要があります。

図 5.8-12 「本体更新」の表示例

表 5.8-11 「本体更新」 表示項目

No.	項目	概要
❶	最新バージョン	選択中の WinActor をどの番号のバージョンに更新するかを表示します。 確認ボタンをクリックすることでバージョン番号を表示できます。
❷	［確認］ボタン	クリックすると、「バージョン」に現時点でリリースされている WinActor の最新バージョン番号を表示します。

5.8.7　NL 更新・NL ライセンスクリア更新方法

「操作」プルダウンで「NL 更新・NL ライセンスクリア」指定中に設定を行うためのエリアを表示します。ラジオボタンで実施したい項目を選択し、その後に表示された設定を実施してください。

図 5.8-13 NL 更新・NL ライセンスクリアの表示例

表 5.8-12 NL 更新・NL ライセンスクリア 表示項目

No.	項目	概要
❶	NL 更新	選択中の WinActor の NL ライセンスを更新します。
❷	NL ライセンスクリア	選択中の WinActor の NL ライセンスをクリアします。NL ライセンスクリアを選択した場合は再起動日時以外の追加の設定項目の表示はありません。
❸	設定クリア	選択中の WinActor から、NL 更新・NL ライセンスクリアに関する一括設定情報をクリアします。 設定クリアを行うためには、設定後、WinActor に再起動指示するまでにクリアを行う必要があります。

図 5.8-14 「NL 更新」の表示例

表 5.8-13 「NL 更新」 表示項目

No.	項目	概要
❶	「保守契約 ID」	更新先の NL ライセンスに紐づく保守契約 ID を入力します。
❷	「ライセンス終了日」	選択項目で「NL 更新」を指定中に表示されます。 更新先の NL ライセンスに設定されたライセンス終了日を、カレンダー、もしくは直接入力にて指定します。
❸	「ライセンス種別」	更新先の NL ライセンスに設定されたライセンス種別を、「フル機能版」または「実行版」から選択します。 ライセンス種別を指定したとき、そのライセンス種別とは異なるライセンス種別が設定された WinActor が選択されている場合、警告メッセージダイアログを表示します。
❹	［確認］ボタン	保守契約 ID、ライセンス終了日、ライセンス種別を正常に入力すると、確認ボタンが有効化します。

NL 更新実施時は「保守契約 ID」「ライセンス終了日」「ライセンス種別」を入力し、確認ボタンをクリックすると保守契約 ID に紐付くライセンスの情報が表示されます。ライセンスに空きがある場合はその台数まで NL 版 WinActor のライセンスを更新することができます。保守契約 ID に紐付くライセンスの情報として以下の項目が表示されます。

図 5.8-15 「保守契約 ID に紐付くライセンス情報」の表示例

表 5.8-14 「保守契約 ID に紐付くライセンス情報」表示項目

No.	項目	概要
❶	「保守契約 ID」	確認時に指定した保守契約 ID を表示します。
❷	「ライセンス終了日」	確認時に指定したライセンス終了日を表示します。
❸	「ライセンス種別」	確認時に指定したライセンス種別を表示します。
❹	「総ライセンス数」	確認時に指定した保守契約 ID で更新できるライセンス数を表示します。
❺	「利用ライセンス数」	確認時に指定した保守契約 ID に紐付く更新済みの WinActor 数を表示します。空きライセンス数＜更新対象 WinActor 数の場合は警告メッセージを赤文字列で表示し、さらに利用ライセンス数を赤文字列で表示します。
❻	「確認結果」	確認時に指定した保守契約 ID に紐付く更新済みの WinActor の「申請日時」「受付番号」「製品 ID」「PC 名」を表示します。すでに更新済みの WinActor の場合は再度更新することはできません。
❼	「申請日時」	ライセンスの利用を申請した日時を表示します。
❽	「受付番号」	ライセンス発行済の WinActor に紐付く受付番号を表示します。
❾	「製品 ID」	ライセンス発行済の WinActor の製品 ID を表示します。
❿	「PC 名」	ライセンス発行済の WinActor がインストールされている PC 名を表示します。

保守契約 ID に紐付くライセンスに空きがある場合は追加情報の入力を行います。ライセンスが発行されたことを販売店へメール通知する場合は、チェックボックスにチェックを入れた結果表示される、「販売店ご担当者メールアドレス」「利用者お名前」「利用者会社名」

の 3 項目を入力します。保守契約 ID が'B'から始まる場合は、メールアドレスの設定が必須となります。

図 5.8-16 「販売店へのライセンス発行メール通知」の表示例

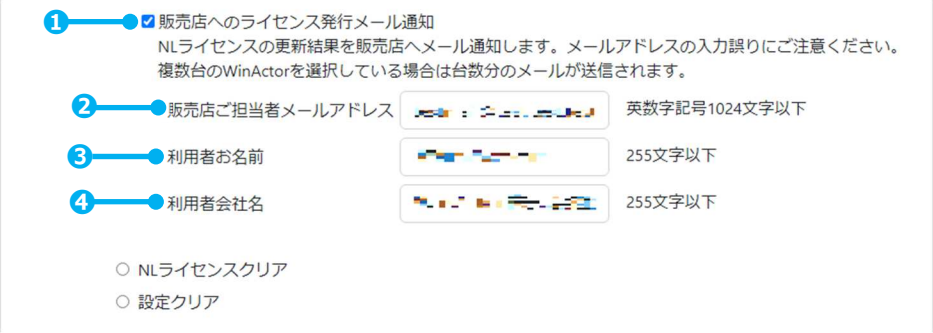


表 5.8-15 「販売店へのライセンス発行メール通知」表示項目

No.	項目	概要
❶	「販売店へのライセンス発行メール通知」	ライセンスが発行されたことを販売店へメール通知する場合はチェックを行い、「販売店ご担当者メールアドレス」「利用者お名前」「利用者会社名」を入力します。
❷	「販売店ご担当者メールアドレス」	販売店のご担当者のメールアドレスを入力します。 複数のメールアドレスを指定する場合は半角カンマ区切りで入力してください。ただし、半角カンマの前後に半角スペースなどを入力することはできません。
❸	「利用者お名前」	利用者のお名前を入力します。
❹	「利用者会社名」	利用者の会社名を入力します。

5.8.8　再起動の設定

「設定更新」「本体更新」「NL 更新・NL ライセンスクリア」を実施するためには WinActor へ再起動を指示する必要があります。それぞれ個別に再起動のタイミングを指定できます。「設定クリア」を選択している場合は再起動の設定を行うことはできません。

図 5.8-17 再起動の表示例

図 5.8-18 再起動（日時指定）の表示例

表 5.8-16 再起動 表示項目

No.	項目	概要
❶	「再起動日時」	一括設定対象の WinActor に対して再起動指示を行う日時を指定します。
❷	「指定なし」	再起動日時を指定せず、WinActor が設定可能な状態になり次第再起動を指示します。
❸	「日時指定」	再起動日時を指定します。指定日時以降に再起動が指示され、WinActor に設定が反映されます。

5.8.9　WinActor ソフトウェア使用許諾契約書の確認

「操作」プルダウンで「本体更新」の指定を行い、OK ボタンをクリックした場合は、更新予定の WinActor のバージョンに対応する WinActor ソフトウェア使用許諾契約書が表示されます。

図 5.8-19 サービス利用規約表示例

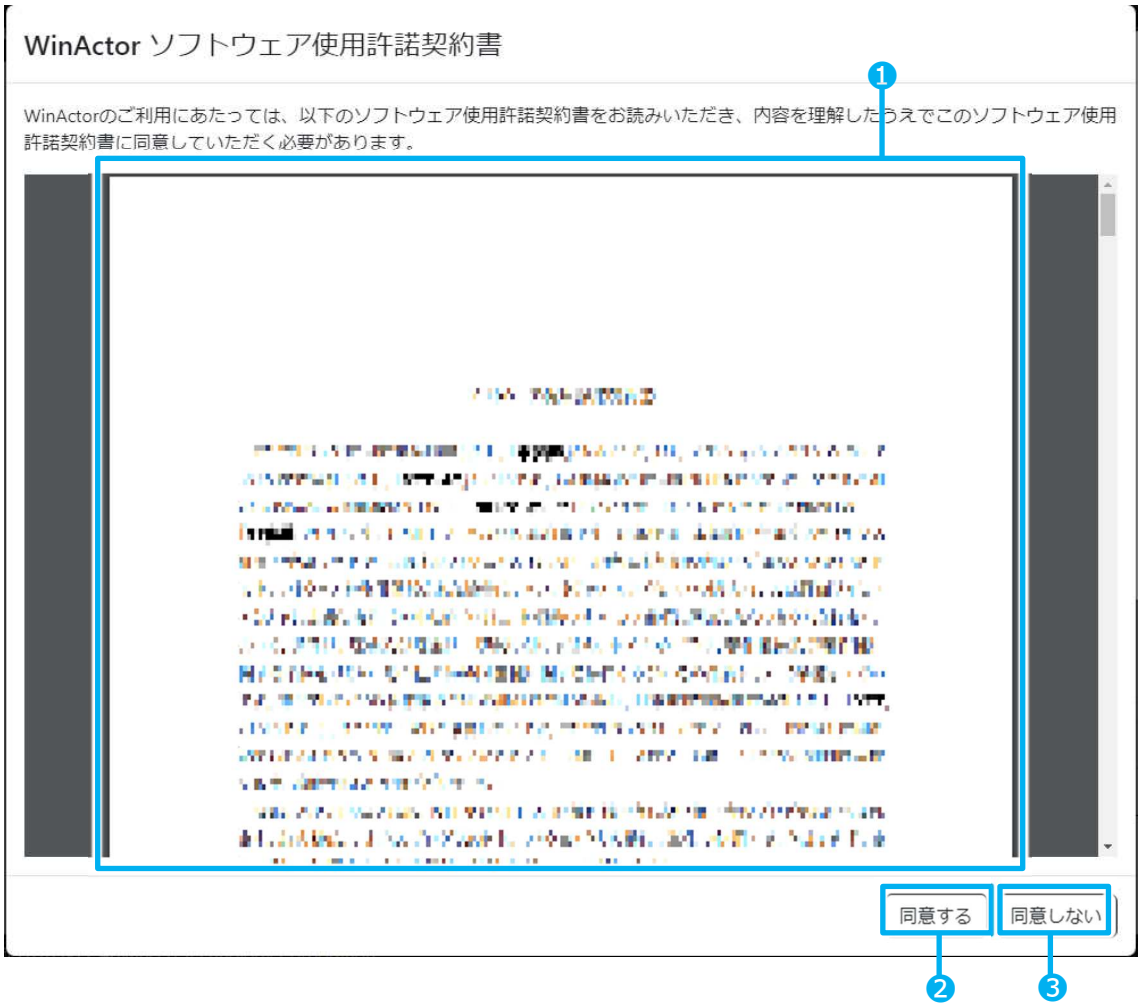


表 5.8-17 ソフトウェア使用許諾契約書の画面構成

No.	項目	概要
❶	ソフトウェア使用許諾契約書	ソフトウェア使用許諾契約書が表示されます。内容のご確認をお願いいたします。
❷	［同意する］ボタン	クリックするとソフトウェア使用許諾契約書に同意します。。
❸	［同意しない］ボタン	ソフトウェア使用許諾契約書に同意しない場合に利用します。同意不要かの確認後、元の画面に戻ります。

なお、ソフトウェア使用許諾契約書が表示されない場合は以下の表示となります。この場合は表示されているリンクよりソフトウェア使用許諾契約書をダウンロードいただき内容確認後、同意ボタンのクリックをお願いいたします。

ダウンロードもできない場合は販売店へお問い合わせいただく、もしくは弊社サイト（https://winactor.biz/）の「規約類ダウンロード」より最新の「WinActor ソフトウェア使用許諾契約書」を選択してダウンロードしてください。

図 5.8-20 サービス利用規約表示例（表示失敗時）

表 5.8-18 ソフトウェア使用許諾契約書の画面構成（表示失敗時）

No.	項目	概要
❶	［WinActor ソフトウェア使用許諾契約書］リンク	リンクをクリックしてソフトウェア使用許諾契約書をダウンロードします。

本機能を利用して WinActor のバージョンを更新した場合、WinActor を操作して管理実行モードからローカル実行モードへ切り替えると、WinActor 起動時にソフトウェア使用許諾契約書が改めて表示されます。WinActor のご利用に際しては内容をご確認の上、同意をお願いいたします。

5.9　WinActor の利用状況をファイルに出力する

「WinActor 利用状況」エリアでは、様々な条件で WinActor の利用状況を CSV 形式で出力することができます。

「WinActor 利用状況」エリアの表示手順については、『5.3.2 WinActor の検索結果一覧の詳細』を参照してください。

本機能で利用状況を集計する場合は WinActor の管理サーバ設定で集計する WinActor Manager を指定する必要があります。

検索結果一覧画面に表示されている WinActor 数が 10000 件を超えている場合は利用状況を出力することは出来ませんので、その場合は、検索条件を絞り込み、件数を減らした後に実施してください。

契約ライセンス数と現在払い出しているライセンス数を比較する方法としてはイベントログを確認する方法もあります。合わせてご利用ください。

例：フローティングライセンスを払い出しました。(ユーザ名=XXXX, PC 名=XXXX, 機能名=フル機能版, ライセンスグループ名＝XXXX, 払い出し数＝1/1/1/10)

※最後の「払い出し数」が ライセンスグループ内の払い出し数/ライセンスグループのライセンス数/契約ライセンスに対する払い出し数/契約ライセンス数 を示しています。

5.9.1　WinActor 利用状況の構成要素

「WinActor 利用状況」エリアの構成は、以下のとおりです。

図 5.9-1 WinActor 利用状況エリアの表示例

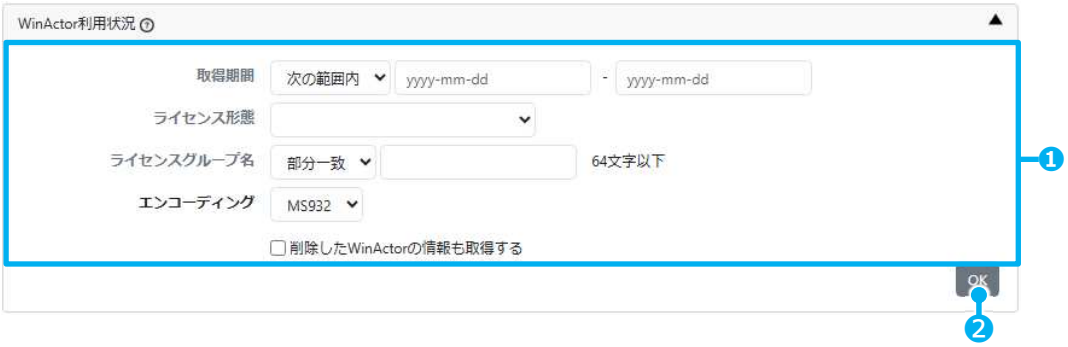


表 5.9-1 WinActor 利用状況エリアの項目

No.	項目	概要
❶	「検索条件」	出力対象の WinActor を検索するためのエリアです。 • 取得期間 利用状況を取得する期間を設定します。範囲の指定方法は「次の範囲内」「以後」「以前」から選択することができます。 • ライセンス形態 WinActor のライセンス形態を「(空欄)」「NL（ノードロックライセンス)」、「FL（フローティングライセンス)」から選択します。「(空欄)」は NL、FL 両方を検索します。 • ライセンスグループ名 対象とするライセンスグループ名を指定します。検索方法は「完全一致」「部分一致」から選択することができます。 • エンコーディング 出力する CSV のエンコーディング方式を設定します。エンコーディング方式では、Shift_JIS 系の「MS932」または Unicode の「UTF-8」を選択できます。 • 削除した WinActor の情報も取得する 削除した WinActor の情報を取得する場合はチェックします。この項目にチェックを入れた場合は「取得期間」の指定が必須となります。 WinActor 利用状況は検索結果一覧内に表示された WinActor を取得対象とするため、削除した WinActor の情報は取得できません。「削除した WinActor の情報も取得する」チェックボックスを使用することで期間内に存在していた WinActor を出力対象とすることができますが、取得対象の WinActor を指定できないため、検索結果一覧にない WinActor の情報も出力されるようになります。
❷	［OK］ボタン	クリックすると、利用状況の情報を CSV 形式のファイルに出力できます。

大量の WinActor 利用状況をダウンロードすると、ダウンロードに時間がかかる、またはお使いのネットワーク環境によってはダウンロードが失敗する場合があります。その場合は、検索条件を絞り込み、件数を減らした後に、ダウンロードを実施してください。

本機能を使った集計では以下の点にご注意ください。

・集計は毎日実施し、WinActor 名、種別、所属名は集計時点の情報となります。

・ライセンスグループ名はライセンス払い出し時の名称となります。

・1 日の中でライセンスグループ名を変更した場合、変更前までの利用状況

は変更前のライセンスグループ名として集計します。

・集計結果は 1 年間分保存されていますが、それ以前の情報は削除されます。過去の情報が必要な場合は CSV 形式で保存してください。

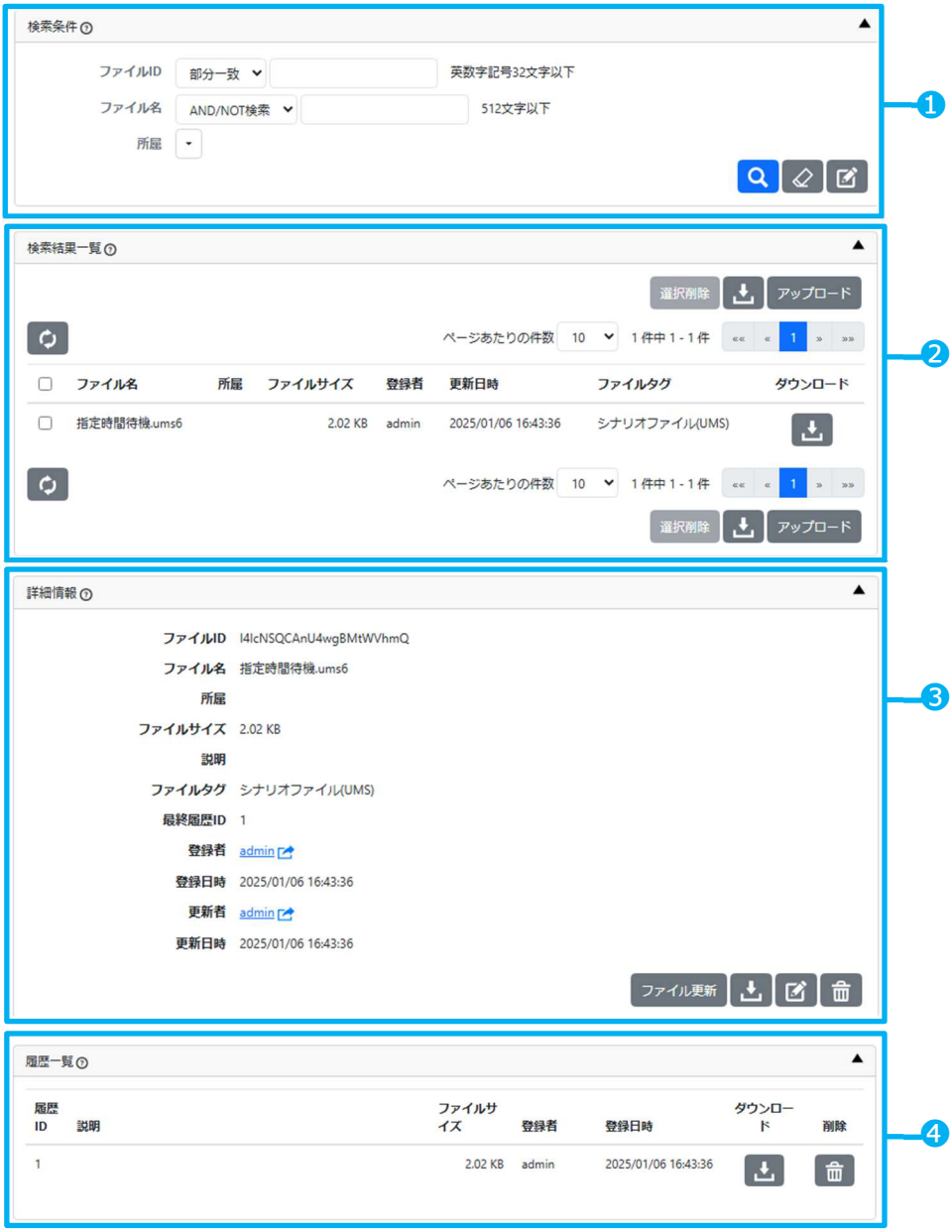
6. ファイルを管理する

「ファイル」画面では、WinActor の実行に必要なシナリオファイルやシナリオに使用するデータファイル（パラメータファイル）の他に、WinActor がタスクを実行した結果ファイルなどを管理します。

6.1 ファイル画面の全体構成

「ファイル」画面を構成する各要素について説明します。

図 6.1-1 ファイル画面の全体構成



それぞれのエリアの右上にある▲をクリックすると、エリアの表示／非表示を切り替えることができます。

表 6.1-1 ファイル画面の構成要素

No.	項目	概要
❶	「検索条件」	条件を設定してアップロードされているファイルを検索するためのエリアです。 『6.2.1 ファイルの検索条件』
❷	「検索結果一覧」	❶の検索条件にあてはまるファイルが一覧表示されます。標準では、すべてのファイルが、登録日時が新しい方から順に上から表示されます。 『6.2.2 ファイルの検索結果一覧の詳細』
❸	「詳細情報」	❷の検索結果一覧で選択したファイルの詳細が表示されます。 『6.5 ファイルの詳細情報を表示する』
❹	「履歴一覧」	❷の検索結果一覧で選択したファイルの履歴が表示されます。 『6.6 ファイルの履歴情報を確認する』

6.2　ファイルを検索する

検索条件を設定して、アップロードされているファイルを検索します。

- 情報の検索手順については、『2.4 情報を検索する』を参照してください。
- ファイルの検索条件については、『6.2.1 ファイルの検索条件』を参照してください。
- ファイルの検索結果一覧の詳細については、『6.2.2 ファイルの検索結果一覧の詳細』を参照してください。

図 6.2-1 ファイルの検索条件（初期状態）の表示例

図 6.2-2 ファイルの検索条件（詳細表示）の表示例

6.2.1　ファイルの検索条件

ファイルを検索する場合、以下の検索条件を設定できます。初期状態では「ファイル ID」「ファイル名」「所属」を表示します。「詳細」ボタンをクリックすることで全ての検索条件を表示します。

表 6.2-1 ファイルの検索条件

項目	概要
「ファイル ID」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 完全一致 入力したファイル ID と完全に一致しているファイルを検索 • 部分一致 入力したファイル ID の一部が含まれているファイルを検索
「ファイル名」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 完全一致 入力したファイル名と完全に一致しているファイルを検索 • 部分一致 入力したファイル名の一部が含まれているファイルを検索 • AND/NOT 検索 入力した複数のキーワードがファイル名に含まれているファイルを検索 AND/NOT 検索では、キーワードを半角スペースで区切って入力するとそのキーワードをすべて持つファイル名を検索します。(AND検索) キーワードの先頭に半角ハイフン (-) を付与すると、そのキーワードを含まないファイル名を検索します。(NOT 検索) キーワードの先頭に半角ハイフンを含むキーワードを指定して AND 検索する場合は¥でエスケープします。
「所属」	ドロップダウンリストから、所属を選択します。 選択した所属が含まれるファイルが検索結果一覧に表示されます。
「更新日時」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 次の範囲内 指定した検索開始日と検索終了日の間に更新されたファイルを検索 • 以後 指定した検索開始日以後に更新されたファイルを検索 • 以前 指定した検索終了日以前に更新されたファイルを検索
「登録者」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 完全一致 入力した登録者と完全に一致しているファイルを検索 • 部分一致 入力した登録者の一部が含まれているファイルを検索
「ファイルタグ」	自動的に付与されるファイルタグを選択します。 • シナリオファイル(UMS) シナリオファイルの登録時に付与されるファイルタグです。 • アーカイブファイル(ARC) シナリオ実行時に作成された作業ディレクトリのアーカイブファイルに付与されるファイルタグです。 • データ一覧ファイル(DLF) データ一覧ファイルに付与するファイルタグです。データ分割により複数に分割されたデータ一覧ファイルにも付与されます。 • 出力ファイル(OPF) タスクの出力ファイルに付与されるファイルタグです。

項目	概要
「その他ファイルタグ」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 完全一致 入力したファイルタグと完全に一致しているファイルを検索 • 部分一致 入力したファイルタグの一部が含まれているファイルを検索

6.2.2　ファイルの検索結果一覧の詳細

「検索結果一覧」には、「検索条件」で設定した条件にあてはまるファイルが一覧表示されます。また、この画面からファイルの削除やダウンロード、新規作成を行うことができます。

図 6.2-3 ファイルの検索結果一覧の表示例

表 6.2-2 ファイルの検索結果一覧の項目

No.	項目	概要
❶	検索結果一覧	検索条件にあてはまるファイルが一覧表示されます。 それぞれの列には、左から順に以下の情報が表示されます。 • ファイル名 ファイル名が表示されます。 • 所属 ファイルの所属が表示されます。 • ファイルサイズ ファイルサイズ（バイト数）が表示されます。 • 登録者 登録者名が表示されます。 • 更新日時 ファイルが更新された日時が表示されます。 • ファイルタグ ファイルタグが表示されます。
❷	［選択削除］チェックボックス	登録されているファイルを選択削除の対象にする場合、チェックボックスをチェック状態にします。 ヘッダーのチェックボックスをクリックすることで全選択／全解除を行うことができます。 『6.3.1 ファイルをまとめて削除する』
❸	［ダウンロード］ボタン	クリックすると、ファイルをダウンロードできます。 『6.5.2 ファイルをダウンロードする』
❹	ファイル総数	検索条件にあてはまったファイルの総数が表示されます。

No.	項目	概要
❺	ページ表示数	ドロップダウンリストから、1 ページあたりの表示件数を選択できます。 選択肢は、「10」「25」「50」「100」です。リストから値を変更すると別の画面への遷移時や再ログイン時も指定した値が使用されます。
❻	ページ切り替え	ページ番号をクリックして、ページを切り替えることができます。現在のページは青で表示されています。 ［≫］をクリックすると、次のページが表示されます。 ［≪］をクリックすると、前のページが表示されます。 ［≫≫］をクリックすると、最後のページが表示されます。 ［≪≪］をクリックすると、先頭のページが表示されます。
❼	［選択削除］ボタン	［選択削除］チェックボックスで選択したファイルを削除します。 『6.3.1 ファイルをまとめて削除する』
❽	［ダウンロード］ボタン	クリックすると、ファイル情報を CSV 形式のファイルに出力できます。 『6.2.3 ファイル情報をファイルに出力する』
❾	［アップロード］ボタン	クリックすると、ファイルをアップロードするための「アップロード」エリアが表示されます。 『6.4 ファイルをアップロードする』
❿	［リロード］ボタン	検索結果をリロードします。

6.2.3　ファイル情報をファイルに出力する

ファイル情報を、CSV 形式のファイルに出力する手順について説明します。

この説明では、使用ブラウザを Google Chrome としています。

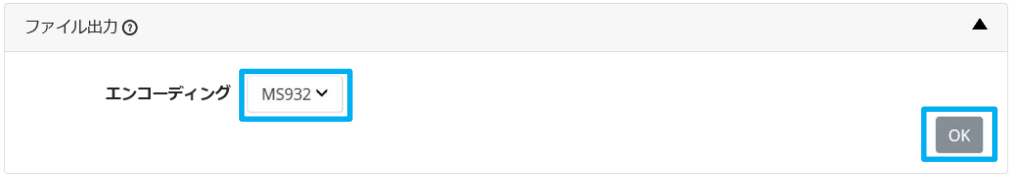
Steps

1. 「検索結果一覧」の［ダウンロード］ボタンをクリックします。

「ファイル出力」エリアが表示されます。

2. ドロップダウンリストからファイルのエンコーディング方式を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

エンコーディング方式では、Shift_JIS 系の「MS932」または Unicode の「UTF-8」を選択できます。



ファイルのダウンロードが開始されます。

ダウンロードが完了すると、ダウンロードしたファイルを確認するメッセージが表示されます。

3. ［×］ボタンをクリックします。

ファイルの保存が完了します。

大量のファイル情報をダウンロードすると、ダウンロードに時間がかかる、またはお使いのネットワーク環境によってはダウンロードが失敗する場合があります。その場合は、検索条件を絞り込み、件数を減らした後に、ダウンロードを実施してください。

6.2.4　サブメニューからの検索

ファイルを検索する場合、目的に応じてサブメニューからも検索することができます。

表 6.2-3 サブメニューからの検索条件

項目	概要
「シナリオファイル」	ファイル名を「.ums」で部分一致検索することでシナリオファイルの検索結果を表示します。
「アーカイブファイル」	ファイル名を「_output.zip」で部分一致検索することでアーカイブファイルの検索結果を表示します。
「その他のファイル」	ファイル名を「-.ums -_output.zip」で AND/NOT 検索することで、シナリオファイル、アーカイブファイル以外のファイルの検索結果を表示します。

ファイル名に「.ums」「_output.zip」を持つ場合、シナリオファイル、アーカイブファイルでなくても検索結果として表示されますのでご注意ください。

6.3　ファイルを削除する

WinActor Manager からファイルを削除する手順について説明します。

WinActor Manager に登録されるファイルの合計サイズには、100 ギガバイトの制限があります。制限を超えないように、定期的に不要ファイルを削除する必要があります。

ファイルを個別に削除する方法については、『6.5.4 ファイルを削除する』を参照してください。

6.3.1　ファイルをまとめて削除する

複数のファイル情報を、まとめて削除する手順について説明します。

Steps

1. 「検索結果一覧」エリアで、削除したいファイルの［選択削除］チェックボックスをクリックします。ヘッダーのチェックボックスをクリックすることで全選択／全解除を行うことができます。ファイル選択後［選択削除］ボタンをクリックします。

削除の確認ダイアログが表示されます。

2. ［OK］ボタンをクリックします。

ファイルが削除され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

3. ［閉じる］ボタンをクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

シナリオ、スケジュール、タスク、WinActor、設定画面にて指定する初回接続時の一括設定ファイルから参照されているファイルは削除することが出来ません。参照元のシナリオやスケジュールを先に削除してください。

6.4　ファイルをアップロードする

WinActor Manager にファイルをアップロードする手順について説明します。

6.4.1　ファイルのアップロード

Steps

1. 「検索結果一覧」の右下にある［アップロード］ボタンをクリックします。

「アップロード」エリアが表示されます。

2. ファイルの設定をして、アップロードします。

❶ ［ファイルを選択］ボタンをクリックして、アップロードするファイルを選択します。ファイルは一度に 10 ファイルまで指定できます。

❷ 必要に応じて、ドロップダウンリストから所属を選択します。

❸ 必要に応じてプルダウンからの選択、もしくはエディットボックスへ直接指定にてファイルタグを指定します。シナリオファイルの場合、任意のファイルタグの指定がなければ自動的に「UMS（シナリオファイル）」のタグが付与されます。

❹ 必要に応じてファイルの説明を設定します。

❺ ［OK］ボタンをクリックします。

3. アップロード結果が表示されます。［閉じる］ボタンをクリックします。

4. ファイルがアップロードされ、検索結果一覧内に表示されます。

6.4.2 サブメニューからのアップロード

ファイルをアップロードする場合、サブメニューからもアップロードエリアを表示することができます。

表 6.4-1 サブメニューからのアップロード

項目	概要
「アップロードする」	メニューを選択すると、ファイル画面のアップロードエリアを表示します。

6.5　ファイルの詳細情報を表示する

ファイルの「詳細情報」エリアでは、ファイルの詳細情報の表示に加え、更新、削除、ダウンロード、履歴表示などの制御をすることができます。

詳細情報の表示手順については、『2.4.3 詳細情報を表示する』を参照してください。
ファイルの「詳細情報」エリアの構成については、『6.5.1 ファイルの詳細情報エリアの構成要素』を参照してください。

6.5.1　ファイルの詳細情報エリアの構成要素

ファイルの「詳細情報」エリアの構成は、以下のとおりです。

図 6.5-1 ファイルの詳細情報エリア（ファイル更新ボタン表示）の表示例

6.5-2 ファイルの詳細情報エリア（履歴一覧ボタン表示）の表示例

表 6.5-1 ファイルの詳細情報エリアの項目

No.	項目	概要
❶	詳細情報	登録されているファイルの情報が表示されます。 • ファイル ID ファイルに紐づいている ID が表示されます。 • ファイル名 ファイルの名前が表示されます。 • 所属 ファイルの所属が表示されます。 • ファイルサイズ ファイルのサイズが表示されます。 • 説明 ファイルの説明が表示されます。 • ファイルタグ ファイルのファイルタグが表示されます。

No.	項目	概要
		• 最終履歴 ID ファイルの最終履歴 ID が表示されます。 • 登録者 ファイルの登録者が表示されます。 • 登録日時 ファイルの登録日時が表示されます。 • 更新者 ファイルの更新者が表示されます。 • 更新日時 ファイルの更新日時が表示されます。
❷	［ファイル更新］ボタン	クリックすると、選択しているファイルの履歴を表示するための「ファイル更新」画面が表示されます。「ファイル更新」画面表示中は本ボタンは「履歴一覧」ボタンとして使用されます。 『6.6.2 ファイルのファイル更新エリアの構成要素』
❸	［履歴一覧］ボタン	クリックすると、選択しているファイルの履歴を表示するための「履歴一覧」画面が表示されます。「履歴一覧」画面表示中は本ボタンは「ファイル更新」ボタンとして使用されます。 『6.6.1 ファイルの履歴一覧エリアの構成要素』
❹	［ダウンロード］ボタン	クリックすると選択しているファイルをダウンロードできます。 『6.5.2 ファイルをダウンロードする』
❺	［更新］ボタン	クリックすると、選択しているファイル情報を更新するための「情報更新」エリアが表示されます。 『6.5.3 ファイル情報を変更する』
❻	［削除］ボタン	クリックすると、選択しているファイルを削除できます。 『6.5.4 ファイルを削除する』

6.5.2　ファイルをダウンロードする

WinActor Manager からファイルをダウンロードし、保存する手順について説明します。
この説明では、使用ブラウザを Google Chrome としています。

Steps

1. 「検索結果一覧」で、ダウンロードしたいファイルの［ダウンロード］ボタンをクリックします。

ファイルのダウンロードが開始されます。
ダウンロードが完了すると、ダウンロードしたファイルを確認するメッセージが表示されます。

2. ［×］ボタンをクリックします。

ファイルの保存が完了します。

3. 詳細設定からもファイルをダウンロードすることができます。「検索結果一覧」で、ダウンロードしたいファイルをクリックします。

ファイルの詳細情報が表示されます。

4. ダウンロードボタンをクリックします。

ファイルのダウンロードが開始されます。

6.5.3　ファイル情報を変更する

WinActor Manager にアップロードされたファイルのファイル名、説明、ファイルタグを変更する手順について説明します。

Steps

1. 更新したいファイルの「詳細情報」エリアで、［更新］ボタンをクリックします。

ファイルの「情報更新」エリアが表示されます。

2. 変更後の情報を設定して［OK］ボタンをクリックします。ファイルタグの更新はプルダウンからの選択、もしくはエディットボックスへ直接指定します。

ファイル情報が変更されます。

ファイル名は 512 文字まで設定できますが、長いファイル名を設定すると Windows 端末へのダウンロード時に Windows のパス名長の制限により同じ名前で保存できない場合があります。

ファイル名には以下の半角記号を使用することはできません。

¥ / : ? " < > |

6.5.4　ファイルを削除する

ファイル情報を、個別に削除する手順について説明します。

Steps

1. 更新したいファイルの「詳細情報」エリアで、［削除］ボタンをクリックします。

削除の確認ダイアログが表示されます。

2. ［OK］ボタンをクリックします。

ファイルが削除され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

3. ［閉じる］ボタンをクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

シナリオ、スケジュール、タスク、WinActor、設定画面にて指定する初回接続時の一括設定ファイルから参照されているファイルは削除することが出来ません。参照元のシナリオやスケジュールを先に削除してください。

6.6　ファイルの履歴情報を確認する

ファイルの「履歴一覧」エリアでは、ファイルの履歴の表示に加え、更新、削除、ダウンロードの制御をすることができます。また、ファイルの「ファイル更新」エリアでは、ファイル更新の制御をすることができます。

6.6.1　ファイルの履歴一覧エリアの構成要素

ファイルの「履歴一覧」エリアの構成は、以下のとおりです。

図 6.6-1 ファイルの履歴一覧エリアの表示例

図 6.6-2 ファイルの履歴一覧エリア（選択時）の表示例

表 6.6-1 ファイルの履歴一覧エリアの項目

No.	項目	概要
❶	詳細情報	登録されているファイルの履歴情報が表示されます。項目をクリックすると❹「説明」を更新するためのエリアが表示されます。 • 履歴 ID ファイルに紐づいている履歴 ID が表示されます。 • 説明 履歴上のファイルの説明が表示されます。 • ファイルサイズ 履歴上のファイルのサイズが表示されます。 • 登録者 履歴上のファイルの登録者が表示されます。 • 登録日時 履歴上のファイルの登録日時が表示されます。

No.	項目	概要
❷	［ダウンロード］ボタン	クリックすると選択している履歴ファイルをダウンロードできます。 『6.6.3 過去のファイルをダウンロードする』
❸	［削除］ボタン	クリックすると、選択している履歴ファイルを削除できます。 『6.6.4 過去のファイルを削除する』
❹	［更新］ボタン	クリックすると、選択している履歴の説明を更新できます。 『6.6.5 ファイル履歴情報を変更する』

6.6.2　ファイルのファイル更新エリアの構成要素

ファイルの「ファイル更新」エリアの構成は、以下のとおりです。

図 6.6-3 ファイルのファイル更新エリアの表示例

表 6.6-2 ファイルのファイル更新エリアの項目

No.	項目	概要
❶	ファイル選択エリア	アップロードするファイルを選択するエリアが表示されます。 ファイルの選択と説明の設定ができます。
❷	［更新］ボタン	クリックすると選択しているファイルをアップロードできます。 『6.6.6 ファイルを更新する』

6.6.3 過去のファイルをダウンロードする

WinActor Manager から過去のファイルをダウンロードし、保存する手順について説明します。

この説明では、使用ブラウザを Google Chrome としています。

Steps

1. 「詳細情報」の右下にある［履歴一覧］ボタンをクリックします。

「履歴一覧」エリアが表示されます。「詳細情報」の右下に［ファイル更新］ボタンが表示されている場合はすでに「履歴一覧」エリアが表示されています。

2. ダウンロードしたい履歴の［ダウンロード］ボタンをクリックします。

ファイルのダウンロードが開始されます。

6.6.4 過去のファイルを削除する

WinActor Manager から過去のファイルを削除する手順について説明します。

Steps

1. 「詳細情報」の右下にある［履歴一覧］ボタンをクリックします。

「履歴一覧」エリアが表示されます。「詳細情報」の右下に［ファイル更新］ボタンが表示されている場合はすでに「履歴一覧」エリアが表示されています。

2. 削除したい履歴の［削除］ボタンをクリックします。

削除の確認ダイアログが表示されます。

3. ［OK］ボタンをクリックします。

ファイルが削除され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

4. ［閉じる］ボタンをクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

一番古い履歴に対して削除を行うと、詳細情報エリアからの削除と同じ状態となり、ファイルそのものを削除します。この時、シナリオ、スケジュール、タスク、WinActor、設定画面にて指定する初回接続時の一括設定ファイルから参照されているファイルは削除することが出来ません。参照元のシナリオやスケジュールを先に削除してください。

6.6.5　ファイル履歴情報を変更する

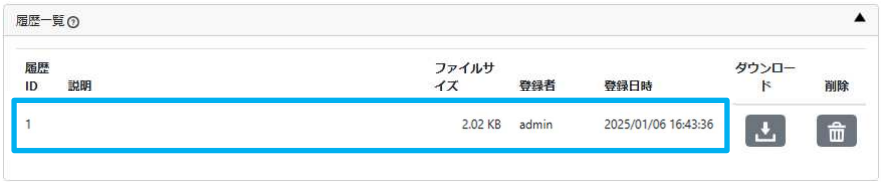
WinActor Manager から過去のファイルの説明を変更する手順について説明します。

Steps

1. 「詳細情報」の右下にある［履歴一覧］ボタンをクリックします。

「履歴一覧」エリアが表示されます。「詳細情報」の右下に［ファイル更新］ボタンが表示されている場合はすでに「履歴一覧」エリアが表示されています。

2. 変更したい履歴の項目をクリックします。



編集エリアが表示されます。

3. 説明を入力して更新します。

❶ 説明を設定します。

❷ ［更新］ボタンをクリックします。

履歴の説明が更新されます。

4. ［閉じる］ボタンをクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

6.6.6　ファイルを更新する

WinActor Manager からファイルを更新する手順について説明します。

Steps

1. 「詳細情報」の右下にある［ファイル更新］ボタンをクリックします。

「ファイル更新」エリアが表示されます。「詳細情報」の右下に［履歴一覧］ボタンが表示されている場合はすでに「ファイル更新」エリアが表示されています。

2. ファイルの設定をして、アップロードします。

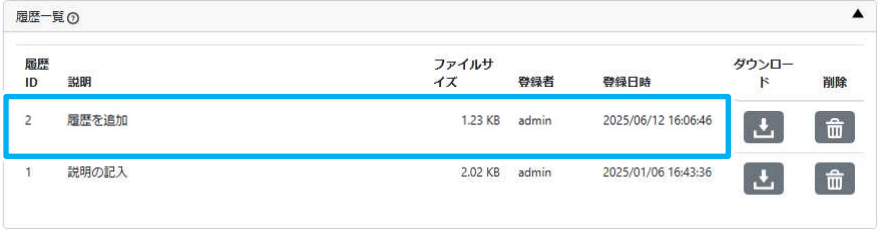
❶ ［ファイルを選択］ボタンをクリックして、アップロードするファイルを選択します。

❷ 必要に応じて、説明を設定します。

❸ ［更新］ボタンをクリックします。

3. アップロード結果が表示されます。［閉じる］ボタンをクリックします。

4. ファイルがアップロードされ、詳細情報の下の履歴一覧内に表示されます。



ファイルの履歴は最大 100 件まで残すことができます。100 件を超える場合、一番古い履歴から削除されます。

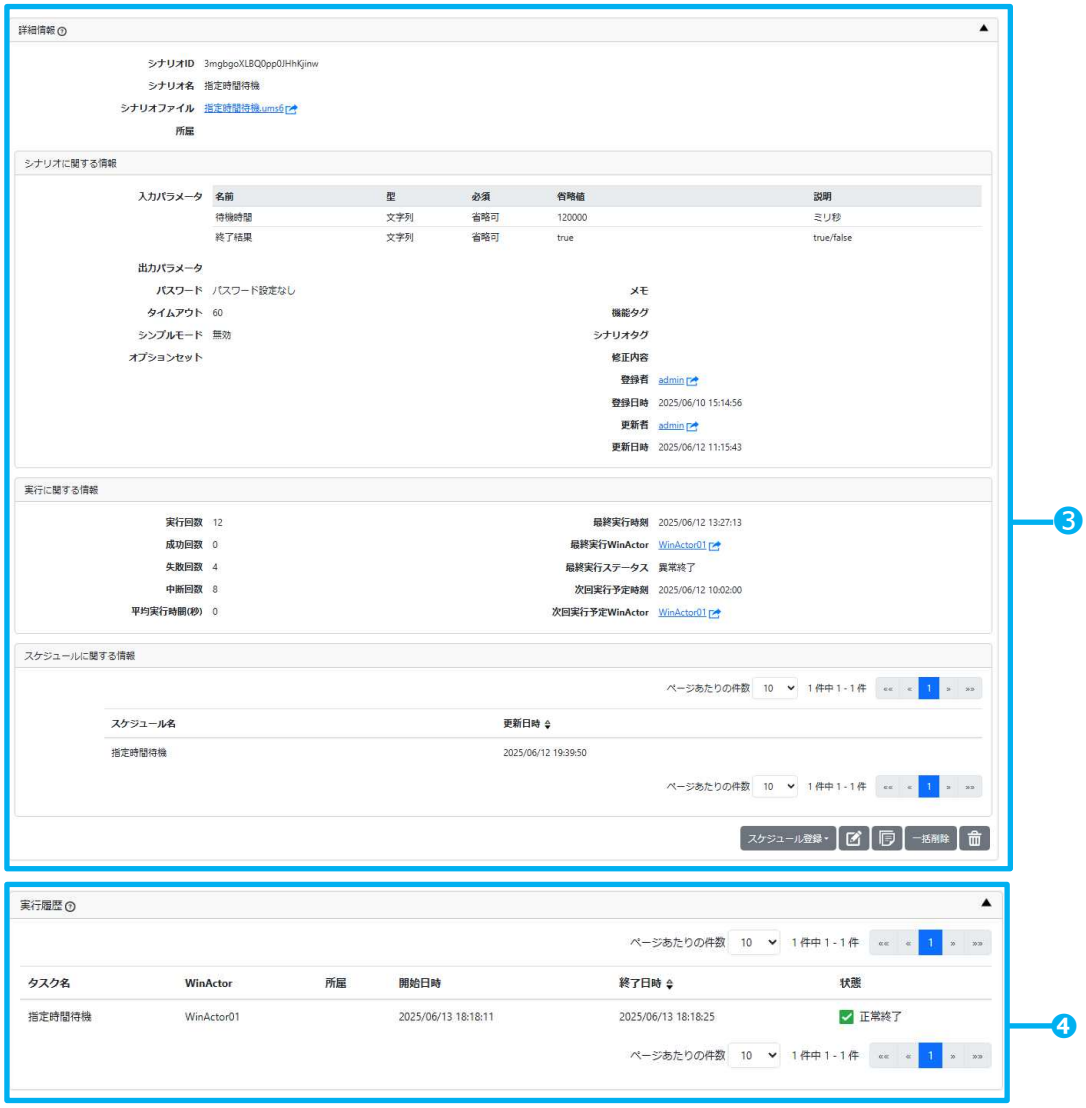
7.　シナリオを管理する

「シナリオ」画面では、WinActor に配布するシナリオを管理します。シナリオの新規作成、更新、削除の他に、スケジュール登録、履歴を確認できます。

7.1　シナリオ画面の全体構成

「シナリオ」画面を構成する各要素について説明します。

図 7.1-1 シナリオ画面の全体構成



それぞれのエリアの右上にある▲をクリックすると、エリアの表示／非表示を切り替えることができます。

表 7.1-1 シナリオ画面の構成要素

No.	項目	概要
❶	「検索条件」	条件を設定してシナリオを検索するためのエリアです。 『7.2.1 シナリオの検索条件』
❷	「検索結果一覧」	❶の検索条件にあてはまるシナリオが一覧表示されます。標準では、すべてのシナリオが、登録日時が新しい方から順に上から表示されます。 『7.2.2 シナリオの検索結果一覧の詳細』

No.	項目	概要
❸	「詳細情報」	❷の検索結果一覧で選択したシナリオの詳細が表示されます。シナリオの作成、更新、削除、スケジュール登録などはこのエリアから操作します。 『7.3 シナリオの詳細情報を表示する』
❹	「実行履歴」	❷の検索結果一覧で選択したシナリオの実行履歴を表示します。一覧内の行をクリックするとタスク詳細画面に遷移します。

7.2　シナリオを検索する

検索条件を設定して、WinActor Manager に登録されているシナリオを検索します。

情報の検索手順については、『2.4 情報を検索する』を参照してください。
シナリオの検索条件については、『7.2.1 シナリオの検索条件』を参照してください。
シナリオの検索結果一覧の詳細については、『7.2.2 シナリオの検索結果一覧の詳細』を参照してください。

7.2.1　シナリオの検索条件

シナリオを検索する場合、以下の検索条件を設定できます。初期状態では「シナリオ ID」「シナリオ名」「所属」を表示します。「詳細」ボタンをクリックすることで全ての検索条件を表示します。

図 7.2-1 シナリオの検索条件（初期状態）の表示例

図 7.2-2 シナリオの検索条件（詳細表示）の表示例

表 7.2-1 シナリオの検索条件

項目	概要
「シナリオ ID」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 完全一致 入力したシナリオ ID と完全に一致しているシナリオを検索 • 部分一致 入力したシナリオ ID の一部が含まれているシナリオを検索

項目	概要
「シナリオ名」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 完全一致 入力したシナリオ名と完全に一致しているシナリオを検索 • 部分一致 入力したシナリオ名の一部が含まれているシナリオを検索
「所属」	ドロップダウンリストから、所属を選択します。 選択した所属が含まれるシナリオが検索結果一覧に表示されます。
「シナリオタグ」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 完全一致 入力したシナリオタグと完全に一致しているシナリオを検索 • 部分一致 入力したシナリオタグの一部が含まれているシナリオを検索
「機能タグ」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 完全一致 入力した機能タグと完全に一致しているシナリオを検索 • 部分一致 入力した機能タグの一部が含まれているシナリオを検索
「更新日時」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 次の範囲内 指定した検索開始日と検索終了日の間に更新されたシナリオを検索 • 以後 指定した検索開始日以後に更新されたシナリオを検索 • 以前 指定した検索終了日以前に更新されたシナリオを検索
「シンプルモード」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • （空欄） シンプルモードで使用可能（有効）なスケジュール、使用不可（無効）なスケジュールの両方を検索 • 有効 有効なスケジュールを検索 • 無効 無効なスケジュールを検索

7.2.2　シナリオの検索結果一覧の詳細

「検索結果一覧」には、「検索条件」で設定した条件にあてはまるシナリオが一覧表示されます。また、この画面からシナリオを新規作成することができます。

図 7.2-3 シナリオの検索結果一覧の表示例

表 7.2-2 ファイルの検索結果一覧の項目

No.	項目	概要
❶	「検索結果一覧」	検索条件にあてはまるシナリオが一覧表示されます。 シナリオをクリックすると、シナリオの「詳細情報」エリアが表示されます。 『7.3 シナリオの詳細情報を表示する』 それぞれの列には、左から順に以下の情報が表示されます。 • シナリオ名 シナリオ名が表示されます。 • 所属 シナリオの所属が表示されます。 • シナリオタグ シナリオタグが表示されます。 • 機能タグ 機能タグが表示されます。 • 更新日時 シナリオが更新された日時が表示されます。
❷	シナリオ総数	検索条件にあてはまったシナリオの総数が表示されます。
❸	ページ表示数	ドロップダウンリストから、1 ページあたりの表示件数を選択できます。 選択肢は、「10」「25」「50」「100」です。リストから値を変更すると別の画面への遷移時や再ログイン時も指定した値が使用されます。

No.	項目	概要
❹	ページ切り替え	ページ番号をクリックして、ページを切り替えることができます。現在のページは青で表示されています。 ［≫］をクリックすると、次のページが表示されます。 ［≪］をクリックすると、前のページが表示されます。 ［≫≫］をクリックすると、最後のページが表示されます。 ［≪≪］をクリックすると、先頭のページが表示されます。
❺	［ダウンロード］ボタン	クリックすると、シナリオ情報を CSV 形式のファイルに出力できます。 『7.2.3 シナリオ情報をファイルに出力する』
❻	［新規作成］ボタン	クリックすると、シナリオを作成するための「新規作成」エリアが表示されます。 『7.4 シナリオを作成する』
❼	［リロード］ボタン	検索結果をリロードします。

7.2.3　シナリオ情報をファイルに出力する

シナリオ情報を、CSV 形式のファイルに出力する手順について説明します。

この説明では、使用ブラウザを Google Chrome としています。

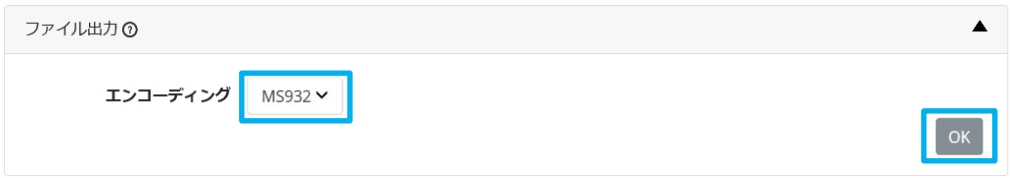
Steps

1. 「検索結果一覧」の［ダウンロード］ボタンをクリックします。

「ファイル出力」エリアが表示されます。

2. ドロップダウンリストからファイルのエンコーディング方式を選択して、[OK] ボタンをクリックします。

エンコーディング方式では、Shift_JIS 系の「MS932」または Unicode の「UTF-8」を選択できます。



ファイルのダウンロードが開始されます。

ダウンロードが完了すると、ダウンロードしたファイルを確認するメッセージが表示されます。

3. ［×］ボタンをクリックします。

ファイルの保存が完了します。

大量のシナリオ情報をダウンロードすると、ダウンロードに時間がかかる、またはお使いのネットワーク環境によってはダウンロードが失敗する場合があります。その場合は、検索条件を絞り込み、件数を減らした後に、ダウンロードを実施してください。

7.3　シナリオの詳細情報を表示する

シナリオの「詳細情報」エリアでは、シナリオの詳細情報の表示に加え、シナリオの更新、削除、スケジュール登録、履歴の表示をすることができます。

詳細情報の表示手順については、『2.4.3 詳細情報を表示する』を参照してください。
シナリオの「詳細情報」エリアの構成については、『7.3.1 シナリオの詳細情報の構成要素』を参照してください。

7.3.1　シナリオの詳細情報の構成要素

シナリオの「詳細情報」エリアの構成は、以下のとおりです。

図 7.3-1 シナリオの詳細情報エリアの表示例

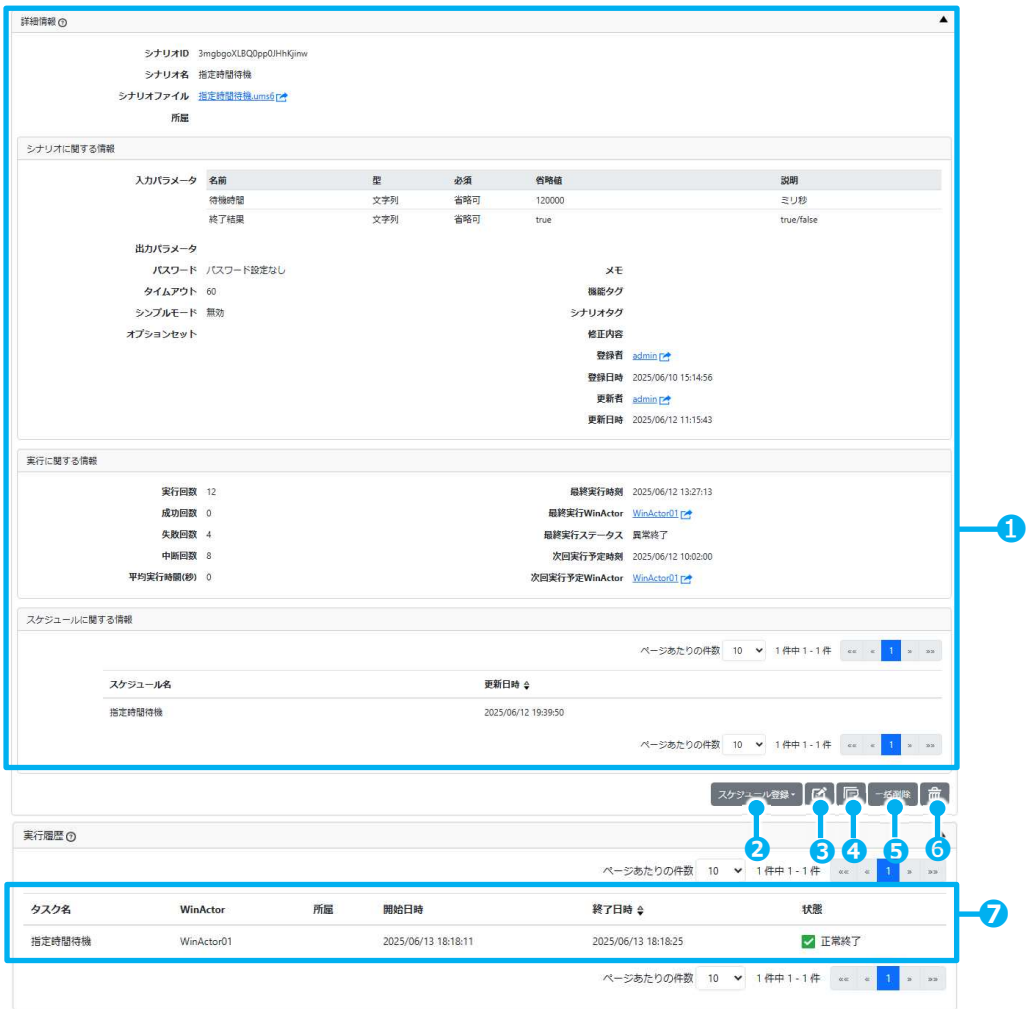


表 7.3-1 シナリオの詳細情報エリアの項目

No.	項目	概要
❶	詳細情報	登録されているシナリオの情報が表示されます。 • シナリオ ID シナリオに紐づいている ID が表示されます。 • シナリオ名 シナリオの名前が表示されます。 • シナリオファイル シナリオとして登録されているシナリオファイル名が表示されます。ファイル名をクリックすると、「ファイル」画面で該当のファイルが表示されます。 『6. ファイルを管理する』 • 所属 シナリオの所属が表示されます。 ［シナリオに関する情報］ • 入力パラメータ 入力パラメータの名前、型、必須（かどうか）、省略値、説明が表示されます。 • 出力パラメータ 入力パラメータの名前、型、説明が表示されます。 • パスワード シナリオを開くときに使用するシナリオパスワードが表示されます。 パスワードが設定されている場合は「パスワード設定済み」、設定されていない場合は「パスワード設定なし」と表示されます。 • タイムアウト シナリオのタイムアウト値が表示されます。 • シンプルモード シナリオがシンプルモードで利用できるか表示されます。 シンプルモードで利用できる場合、「有効」と表示されます。 • オプションセット シナリオのオプションセット名が表示されます。 • メモ シナリオのメモが表示されます。 • 機能タグ 機能タグが表示されます。 • シナリオタグ シナリオタグが表示されます。 • 修正内容 シナリオの修正内容が表示されます。 • 登録日時 シナリオが登録された日時が表示されます。 • 更新者 シナリオの更新者が表示されます。

No.	項目	概要
		• 更新日時 シナリオが更新された日時が表示されます。 ［実行に関する情報］ • 実行回数 シナリオの実行回数が表示されます。当該シナリオに結び付くタスクが作成された回数に相当します。 • 成功回数 シナリオの成功回数が表示されます。当該シナリオに結び付くタスクが正常終了となった回数に相当します。 • 失敗回数 シナリオの失敗回数が表示されます。当該シナリオに結び付くタスクが異常終了／異常停止となった回数に相当します。 • 中断回数 シナリオの中断回数が表示されます。当該シナリオに結び付くタスクが中断となった回数に相当します。 • 平均実行時間(秒) シナリオの平均実行時間が表示されます。 • 最終実行時刻 シナリオを最後に実行した日時を表示します。 • 最終実行 WinActor シナリオを最後に実行した WinActor 名が表示されます。WinActor 名をクリックすると、WinActor 画面に遷移します。 • 最終実行ステータス シナリオを最後に実行した時のステータスが表示されます。 • 次回実行予定時刻 シナリオの次回実行予定日時が表示されます。 • 次回実行予定 WinActor シナリオの次回実行予定の WinActor 名が表示されます。WinActor 名をクリックすると、WinActor 画面に遷移します。 ［スケジュールに関する情報］ • スケジュール名 シナリオに紐づいているスケジュールのスケジュール名が表示されます。実行指定が「即時」または「日時指定」かつ過去の日付のスケジュールは表示されません。一覧内の行をクリックすると、スケジュール画面に遷移します。 • 更新日時 スケジュールの更新日時が表示されます。
❷	［スケジュール登録］ボタン	クリックすると、選択しているシナリオをスケジュール登録するための「スケジュール登録」エリアが表示されます。

No.	項目	概要
		『7.9 シナリオをスケジュール登録する』
❸	［更新］ボタン	クリックすると、選択しているシナリオの情報を更新するための「情報更新」エリアが表示されます。 『7.5 シナリオを更新する』
❹	［コピー編集］ボタン	クリックすると、選択しているシナリオの情報をコピーして新規シナリオを登録するため「コピー編集」エリアが表示されます。 『7.6 シナリオをコピーして登録する』
❺	［一括削除］ボタン	クリックすると、選択しているシナリオに関連するスケジュール、タスク、ファイルを一括削除するためのダイアログが表示されます。 『7.8 シナリオに紐づく情報をまとめて削除する』
❻	［削除］ボタン	クリックすると、選択しているシナリオを削除できます。 『7.7 シナリオを削除する』
❼	「実行履歴」	シナリオの実行履歴が表示されます。一覧内の行をクリックするとタスク詳細画面に遷移します。

7.4　シナリオを作成する

WinActor Manager からの指示でシナリオを実行させるには、アップロードされたシナリオファイルをもとにシナリオを作成する必要があります。

7.4.1　シナリオの作成手順

シナリオを新規作成する手順について説明します。

ここでは、シナリオ作成に最低限必要な設定について説明しています。

その他の設定項目については、『7.4.2 シナリオ新規作成の設定項目』を参照してください。

Steps

1. 「シナリオ」画面の「検索結果一覧」で、［新規作成］ボタンをクリックします。

シナリオの「新規作成」エリアが表示されます。

2. シナリオファイルを選択します。

❶ 「シナリオファイル」の［参照］ボタンをクリックします。

シナリオファイルの選択画面が表示されます。

❷ 「検索結果一覧」で、シナリオとして使用したいファイルの［選択］ボタンをクリックします。

- 「検索条件」エリアでは、条件を指定してファイルを検索できます。

  ファイルの検索方法については、『6.2 ファイルを検索する』を参照してください。
- 検索条件は簡易表示されています。詳細な検索を実施する場合は編集ボタンをクリックして検索条件を指定してください。検索、クリアは表示されている項目を対象とします。
- シナリオの「検索条件」エリアでは、シナリオファイルを優先的に検索するために、「ファイル名」に部分一致検索条件として「ums」が設定されています。zip などの「ums」が含まれないファイル名を検索したい場合は、この条件を削除してから検索してください。

「シナリオファイル」にシナリオが設定されます。「シナリオ名」が空欄であればシナリオファイル名から拡張子を除いた文字列が設定されます。

3. ［詳細設定を開く］ボタンをクリックするとその他の設定項目を表示することができます。必要に応じてその他の設定をして、［OK］ボタンをクリックします。

シナリオが作成され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

4. ［閉じる］ボタンをクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

5. 「検索結果一覧」エリアで、シナリオが作成されていることを確認します。

7.4.2　シナリオ新規作成の設定項目

シナリオの「新規作成」エリアの設定項目は、以下のとおりです。

図 7.4-1 シナリオの新規作成エリアの表示例

図 7.4-2 シナリオの新規作成エリア（詳細設定表示）の表示例

表 7.4-1 シナリオの新規作成項目

項目	概要
「シナリオ名」	作成するシナリオの名前を、64 文字以下で入力します。
「シナリオファイル」	作成するシナリオに紐づくシナリオファイルを 1 つ指定します。 ［参照］ボタンをクリックすると、シナリオファイルの選択画面で、WinActor Manager に登録されているファイルを選択できます。
「所属」	作成するシナリオの所属（最大で 3 階層）を選択します。

項目	概要
「入力パラメータ」	入力パラメータは、WinActor Manager の指示で WinActor にシナリオを実行させる際、入力用の変数またはファイルを渡す場合に設定します。 ［+］ボタンをクリックすると、入力パラメータの設定欄が表示されます。 • 名前 入力するパラメータの名前を、255 文字以下で入力します。入力パラメータを指定する場合、必ず指定します。 • 型 パラメータの型を指定します。「文字列」「ファイル」または「パスワード」を選択します。 • 必須 必須かどうかを指定します。「必須」または「省略可」を選択します。 • 省略値 入力パラメータが省略された場合に使用する規定値を、10000 文字以下で入力します。 • 説明 入力するパラメータの説明を、200 文字以下で入力します。 • 入力パラメータの順番を上に移動したい場合、［↑］ボタンをクリックします。 • 入力パラメータの順番を下に移動したい場合、［↓］ボタンをクリックします。 • 入力パラメータを編集する場合、［編集］ボタンをクリックします。 • 入力パラメータを削除する場合、［−］ボタンをクリックします。 入力パラメータの型を「パスワード型」とすると、スケジュール登録時に設定した入力パラメータの値は WinActor Manager 上ではスケジュール登録者以外は参照できません。ただし、シナリオ側の設定も合わせて実施しないと WinActor でのシナリオ実行中にスケジュール登録者以外も値が参照できる可能性があります。「パスワード型」を有効に使用するには実行するシナリオファイル側で以下の設定を実施してください。 v6 のシナリオ：変数のコメントを"secret"で始まる文字列とし、初期値は指定しない v7 のシナリオ：変数の設定で「マスク」をチェック状態とし、初期値は指定しない データ一覧ファイルにパスワードを指定した場合は WinActor のデータ一覧画面に表示されてしまうため、データ一覧ファイルにはパスワードを記入しないようにご注意ください。

項目	概要
「出力パラメータ」	シナリオが生成したファイルを WinActor Manager のファイルとして保存したり、シナリオが動作した結果の変数の値を WinActor Manager へ引き渡したりする場合に設定します。 ［+］ボタンをクリックすると、出力パラメータの設定欄が表示されます。 • 名前 出力するパラメータの名前を、255 文字以下で入力します。出力パラメータを指定する場合、必ず指定します。入力パラメータに「パスワード型」として登録したパラメータと同名の出力パラメータは登録できません。 • 型 パラメータの型を指定します。「文字列」または「ファイル」を選択します。 • 説明 出力するパラメータの説明を、200 文字以下で入力します。 • 出力パラメータの順番を上に移動したい場合、［↑］ボタンをクリックします。 • 出力パラメータの順番を下に移動したい場合、［↓］ボタンをクリックします。 • 出力パラメータ編集する場合、［編集］ボタンをクリックします。 • 出力パラメータを削除する場合、［−］ボタンをクリックします。
「詳細設定を開く」	新規作成エリアに表示されている内容に加え、さらに設定を行いたい場合に使用します。
「詳細設定を閉じる」	詳細設定エリアを閉じるときに使用します。画面上に入力誤りなどがある場合はボタンをクリックすることはできません。
「パスワード」	シナリオを開くときのパスワードを設定できます。空欄にすると、パスワードは設定されません。
「タイムアウト」	タスクの開始から終了まで待機する時間（タイムアウトするまでの時間）を、秒単位で入力します。プルダウンからの選択、もしくはエディットボックスへ直接指定することができます。初期値は、設定画面の「シナリオ実行タイムアウト初期値」で設定した値となります。 数値については、以下を参考にしてください。 0：　無制限 60：　1 分 86400：　1 日 WinActor Manager でタスクを実行する際、WinActor でシナリオを実行している間に、「タイムアウト」に設定されている時間を超えると、タスクが異常終了します。

項目	概要
「シンプルモード」	シナリオをシンプルモードから実行可能にするかを選択します。 「シンプルモードの実行方法選択画面を確認」ボタンをクリックすると、シンプルモードでのシナリオの実行方法選択画面のプレビュー画面を表示します。
「オプションセット」	シンプルモードからスケジュール登録をする際に使用するオプションセットを選択します。
「メモ」	シナリオのメモを、200 文字以下で入力します。シンプルモードで表示した際のシナリオの説明文としても使用します。
「機能タグ」	シナリオの機能タグとして使用する任意の文字を、64 文字以下で入力します。 機能タグは、検索条件として指定できます。
「シナリオタグ」	シナリオのシナリオタグとして使用する任意の文字を、64 文字以下で入力します。 シナリオタグは、検索条件として指定できます。

7.4.3 サブメニューからの新規作成

シナリオを新規作成する場合、サブメニューからも新規作成エリアを表示することができます。

表 7.4-2 サブメニューからの新規作成

項目	概要
「新規作成する」	メニューを選択すると、シナリオ画面の新規作成エリアを表示します。

7.5　シナリオを更新する

シナリオの情報を更新する手順について説明します。

いままでは「メモ」、「シナリオタグ」、「修正内容」、「シンプルモード」、「オプションセット」以外の項目を更新することはできず、新しいシナリオ ID が発行され、別のシナリオとして管理されていましたが、Ver.3.9 から同じシナリオ ID のまま「メモ」、「シナリオタグ」、「修正内容」、「シンプルモード」、「オプションセット」以外の項目を更新することができるようになります。

更新画面では「シナリオファイル」は変更することはできません。また、「入力パラメータ」、「出力パラメータ」について、すでに登録したパラメータの削除、または名前、型の変更はできません。このような変更を実施する場合は『7.4 シナリオを作成する』または『7.6 シナリオをコピーして登録する』を参照して新しいシナリオ情報の設定を行い、古いシナリオは削除してください。

スケジュール登録済みのシナリオに対して「入力パラメータ」を追加するなどの変更を行った場合、スケジュール情報には新しいシナリオの情報は引き継がれないため、スケジュール情報の更新が必要になります。特にいままで新しいシナリオ ID が発行されていた「メモ」、「シナリオタグ」、「修正内容」、「シンプルモード」、「オプションセット」以外の項目を更新した場合はスケジュール情報を見直してください。

スケジュールの更新については『7.6 シナリオをコピーして登録する』を参照してください。

Steps

1. 更新したいシナリオの「詳細情報」エリアで、［更新］ボタンをクリックします。

シナリオの「情報更新」エリアが表示されます。

2. 必要に応じて、シナリオの情報を修正して更新します。初期表示では詳細設定項目欄は非表示になっています。設定を行う場合は［詳細設定を開く］ボタンをクリックしてください。

シナリオの設定項目については、『7.4.2 シナリオ新規作成の設定項目』を参照してください。

シナリオが更新され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

3. ［閉じる］ボタンをクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

7.6　シナリオをコピーして登録する

登録されているシナリオをコピーして新しいシナリオを登録することができます。

Steps

1. 更新したいシナリオの「詳細情報」エリアで、［コピー編集］ボタンをクリックします。

シナリオの「コピー編集」エリアが表示されます。

2. 必要に応じて、シナリオの情報を修正します。初期表示では詳細設定項目欄は非表示になっています。設定を行う場合は［詳細設定を開く］ボタンをクリックしてください。

シナリオの設定項目については、『7.4.2 シナリオ新規作成の設定項目』を参照してください。

3. 必要に応じて、スケジュール無効化設定およびシンプルモード無効化設定をして、シナリオを更新します。

❶ 「元のシナリオに関連付けられたスケジュールを無効にする」のチェックボックスを設定します。

［チェック状態］とすると、更新元のシナリオに紐づいているスケジュールが無効化されます。

❷「コピー元のシナリオをシンプルモードで使用できないようにする」のチェックボックスを設定します。

作成するシナリオ情報をシンプルモードで使用する場合に設定できます。

［チェック状態］とすると、更新元のシナリオ情報がシンプルモードで使用できなくなります。使用例として、シナリオ情報をコピーして登録した際に同名のシナリオ情報がシンプルモード画面に複数表示されることを防ぐ場合

などに利用できます。

❸ ［OK］ボタンをクリックします。

シナリオが更新され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

4. ［閉じる］ボタンをクリックします。

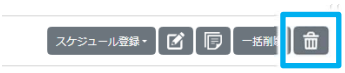
メッセージダイアログが閉じます。

7.7　シナリオを削除する

WinActor Manager からシナリオを削除する手順について説明します。

Steps

1. 削除したいシナリオの「詳細情報」エリアで、［削除］ボタンをクリックします。



削除の確認ダイアログが表示されます。

2. ［OK］ボタンをクリックします。

シナリオが削除され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

3. ［閉じる］ボタンをクリックします。

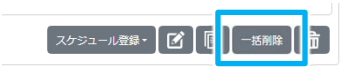
メッセージダイアログが閉じます。

7.8　シナリオに紐づく情報をまとめて削除する

WinActor Manager からシナリオに紐づくスケジュール、タスク、ファイルをまとめて削除する手順について説明します。

Steps

1. 削除したいシナリオの「詳細情報」エリアで、[一括削除]ボタンをクリックします。



削除対象一覧ダイアログが表示されます。

2. まとめて削除したい項目のチェックボックスをチェック状態とします。

グレーの網掛けになっている項目は他のシナリオ、スケジュール、タスクから参照されているため選択することはできません。

また、グレーの網掛けになっていない項目でも紐付く項目を同時に削除しない場合は削除できないことがあります。

シナリオファイルはシナリオを削除しないと削除することはできません。

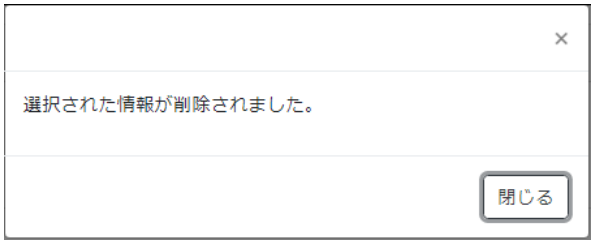
▲／▼ボタンをクリックすることでスケジュールやタスク配下の情報を表示することができます。

3. ［削除］ボタンをクリックします。

削除の確認ダイアログが表示されます。

4. ［OK］ボタンをクリックします。

選択した項目が削除され、結果のダイアログが表示されます。



削除した項目の前には「削除」と表示されます。

5. ［閉じる］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

7.9　シナリオをスケジュール登録する

WinActor Manager からの指示でシナリオを実行させるには、シナリオをスケジュール登録する必要があります。

7.9.1　スケジュールの登録手順

シナリオをスケジュール登録する手順について説明します。

ここでは、スケジュール登録に最低限必要な設定について説明しています。

- アンサンブル機能を用いた設定項目については、『15 シナリオ連携（アンサンブル機能）を設定する』を参照してください。
- シナリオにオプションセットを設定している場合はオプションセットの項目が反映された状態で画面表示されます。オプションセットについては『14 各種設定を行う』のオプションセットの項目を参照してください。
- ユーザに WinActor を設定している場合はシナリオ実行予定の WinActor として反映された状態で画面表示されます。ユーザへの WinActor の設定方法については『11.4.2 ユーザ新規作成の設定項目』を参照してください。
- その他の設定項目については、『7.9.2 スケジュール登録の設定項目（予約する）』『7.9.3 スケジュール登録の設定項目（連続実行を予約する）』を参照してください。

Steps

1. スケジュール登録したいシナリオの「詳細情報」エリアで、[スケジュール登録]ボタンをクリックするとメニューが開きます。「予約する」を選択します。

シナリオの「スケジュール登録」エリアが表示されます。

2. スケジュールの設定をします。

❶ スケジュールの名前を入力します。

❷ スケジュールの所属を選択します。

3. シナリオを実行する WinActor を指定します。ユーザに WinActor を設定している場合は初期値として設定されていますが、他の WinActor を使用したい場合は変更することができます。

❶ 「WinActor」の［シナリオを実行する WinActor を指定する］ボタンをクリックします。

WinActor の選択画面が表示されます。

❷ 「検索結果一覧」で、シナリオを実行したい WinActor の［選択］ボタンをクリックします。「WinActor」にシナリオを実行する WinActor が設定されます。

- 「検索条件」エリアでは、条件を指定して WinActor を検索できます。

  WinActor の検索方法については、『5.3 WinActor を検索する』を参照してください。
- 検索条件は簡易表示されています。詳細な検索を実施する場合は編集ボタンをクリックして検索条件を指定してください。検索、クリアは表示されている項目を対象とします。
- WinActor は 1 台だけ選択可能となりました。複数台の WinActor で同じシナリオを実行したい場合は実行したい WinActor の台数だけスケジュール登録を実行してください。
- シナリオに設定されている機能タグと異なる機能タグを持つ WinActor を選択すると登録したスケジュールは実行されません。
- 指定する WinActor が共有所属ではない場合、作成するスケジュールはその所属配下とする必要があります。（WinActor の所属が A-B の場合、A-B、もしくは A-B-C の所属のスケジュールでなければ登録してもスケジュールは実行されません。）WinActor が共有所属の場合は所属に関わらず登録したスケジュールを実行することができます。
- 所属が「未所属」の WinActor は選択することができません。

---

4. ［詳細設定を開く］ボタンをクリックするとその他の設定項目を表示することができます。必要に応じてその他の情報を入力し、［OK］ボタンをクリックします。シナリオにオプションセットが設定されている場合、オプションセットの各項目が初期値として設定されていますが、他の値を設定したい場合は変更することができます。

スケジュール登録の確認ダイアログが表示されます。ただし、シナリオを実行するWinActor を指定していない場合はこのまま処理を進めても良いかを確認するためのダイアログが表示されます。このダイアログの［OK］ボタンをクリックすることでスケジュール登録の確認ダイアログが表示されます。

5. ［OK］ボタンをクリックします。

スケジュールが登録され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

6. ［閉じる］ボタンをクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

7.9.2　スケジュール登録の設定項目（予約する）

「予約する」を選択したときの「スケジュール登録」エリアの設定項目は、以下のとおりです。「予約する」では「実行指定」が「即時」「日時指定」「毎日」「毎週」「毎月」「月末」「条件指定」であるスケジュールを登録できます。

図 7.9-1 スケジュール登録エリア（予約する）の表示例

図 7.9-2 スケジュール登録エリア（予約する・詳細設定表示）の表示例

表 7.9-1 スケジュール登録（予約する）の設定項目

項目	概要
「スケジュール名」	作成するスケジュールの名前を、64 文字以下で入力します。
「シナリオ情報」	作成元のシナリオ名を表示します。
「所属」	作成するシナリオの所属（最大で 3 階層）を選択します。
「入力パラメータ」	入力パラメータの名前、型、必須（かどうか）、説明、省略値が表示されます。 パラメータの値を 10000 文字以下で設定します。型がファイル型の場合はファイルを設定します。 型がパスワード型の場合は入力内容をマスク表示します。内容を確認する場合は表示のためのチェックボックスにチェックすることでマスクを外した値を表示することができます。

項目	概要
「実行予定 WinActor」	シナリオを実行する予定の WinActor が表示されます。 ［シナリオを実行する WinActor を指定する］ボタンをクリックすると、WinActor の選択画面でシナリオを実行する WinActor を選択できます。 実行予定 WinActor を 1 台だけ選択できます。 ユーザに WinActor が設定されている場合は初期値として設定されます。 生成されたタスクが実行されずに待機中のままになる場合は、シナリオの所属と WinActor の所属が異なる、機能タグが異なるなどについて確認してください。
「実行指定」	「種別」のドロップダウンリストで、スケジュールを実行するタイミングを選択します。 • 即時 日時を指定せずにスケジュールを実行します。 シナリオ実行可能な WinActor が存在する場合はすぐに実行されます。 • 日時指定 日時を指定してスケジュールを実行します。 「実行日」欄をクリックして、カレンダーで実行する日付を選択します。また、「実行時間」欄をクリックして、実行する時間を選択します。 • 毎日 毎日決まった時間にスケジュールを実行します。 「実行時間」欄をクリックして、実行する時間を選択します。 • 毎週 毎週決まった曜日と時間にスケジュールを実行します。 「毎週何曜日」ドロップダウンリストから実行する曜日を選択し、「実行時間」欄をクリックして、実行する時間を選択します。 • 毎月 毎月決まった日時にスケジュールを実行します。 「毎月何日」ドロップダウンリストから実行する日を選択し、「実行時間」欄をクリックして、実行する時間を選択します。 • 月末 月末の指定日前にスケジュールを実行します。 「月末何日前」ドロップダウンリストから何日前に実行するかを選択し、「実行時間」欄をクリックして、実行する時間を選択します。 • 条件指定 指定のフォーマットで設定した条件に従いスケジュールを実行します。「開始年月」「終了年月」「日・曜日指定」「時間指定」「分指定」欄から条件を設定します。
「詳細設定を開く」	スケジュール登録エリアに表示されている内容に加え、さらに設定を行いたい場合に使用します。

項目	概要
「詳細設定を閉じる」	詳細設定エリアを閉じるときに使用します。画面上に入力誤りなどがある場合はボタンをクリックすることはできません。
「データ一覧ファイル」	シナリオで使用するデータ一覧ファイル名が表示されます。「予約する」の場合は「ファイルを参照」のみ選択することができます。 データ一覧ファイルの設定方法は『15. シナリオ連携（アンサンブル機能）を設定する』を参照してください。
「アーカイブ」	シナリオを実行したあとに、作業ディレクトリのアーカイブを作成し、WinActor Manager へアップロードするかどうかを選択します。 シナリオにオプションセットが設定されている場合は、オプションセットの値が初期値として設定されます。
「ログ」	シナリオを実行したときのログを作業ディレクトリに出力するかどうかを選択します。 シナリオ実行時のログを回収したい場合はアーカイブを作成する設定とセットで使用することで WinActor Manager にファイルをアップロードすることができます。 アップロードされたファイルは WinActor Manager のファイルメニューからダウンロードして確認してください。 シナリオにオプションセットが設定されている場合は、オプションセットの値が初期値として設定されます。
「異常発生時」	シナリオを実行したときに異常が発生した場合の対処方法を選択します。 シナリオにオプションセットが設定されている場合は、オプションセットの値が初期値として設定されます。

項目	概要
「終了後のメール送信」	タスク実行終了時にメールを通知します。メールの送信は「送信しない」「終了時に送信する」「正常終了時のみ送信する」「異常終了時のみ送信する（「異常停止」もしくは「異常終了」の状態の場合に送信）」から選択することが可能です。 • 送信しない タスク実行終了時にメール送信しません。 • 終了時に送信する タスク実行終了時にメール送信します。タスクの実行結果が正常終了、異常終了どちらの場合もメールが送信されます。 • 正常終了時のみ送信する タスクの実行が正常終了した場合にメール送信します。 • 異常終了時のみ送信する タスクの実行が異常終了した場合にメール送信します。 タスク実行終了時にメール送信するためには、メール送信対象のユーザにメールアドレスの設定と、メール通知契機として「タスク終了通知」を指定しておく必要があります。設定方法は『11.4.2 ユーザ新規作成の設定項目』および『11.4.3 メールの通知契機を設定する』を参照してください。 シナリオにオプションセットが設定されている場合は、オプションセットの値が初期値として設定されます。
リトライ回数	タスクの実行が失敗した場合に再実行する回数を指定します。 シナリオにオプションセットが設定されている場合は、オプションセットの値が初期値として設定されます。
リトライ間隔	タスクの実行が失敗した場合に再実行タスクが実行されるまでの時間を指定します。 シナリオにオプションセットが設定されている場合は、オプションセットの値が初期値として設定されます。
「メモ」	200 文字以下で、メモを入力できます。 シナリオにオプションセットが設定されている場合は、オプションセットの値が初期値として設定されます。

7.9.3　スケジュール登録の設定項目（連続実行を予約する）

「連続実行を予約する」を選択したときの「スケジュール登録」エリアの設定項目は、以下のとおりです。「連続実行を予約する」では「実行指定」が「データ駆動」であるスケジュールを登録できます。

図 7.9-3 スケジュール登録エリア（連続実行を予約する）の表示例

図 7.9-4 スケジュール登録エリア（連続実行を予約する・詳細設定表示）の表示例

表 7.9-2 スケジュール登録（連続実行を予約する）の設定項目

項目	概要
「スケジュール名」	作成するスケジュールの名前を、64 文字以下で入力します。
「シナリオ情報」	作成元のシナリオ名を表示します。
「所属」	作成するシナリオの所属（最大で 3 階層）を選択します。
「入力パラメータ」	入力パラメータの名前、型、必須（かどうか）、説明、省略値が表示されます。 パラメータの値を 10000 文字以下で設定します。型がファイル型の場合はファイルを設定します。 型がパスワード型の場合は入力内容をマスク表示します。内容を確認する場合は表示のためのチェックボックスにチェックすることでマスクを外した値を表示することができます。

項目	概要
「連携パラメータ」	アンサンブル機能を用いたシナリオ連携を行う場合に設定します。 連携パラメータの詳細は『15. シナリオ連携（アンサンブル機能）を設定する』を参照してください。
「実行予定 WinActor」	シナリオを実行する予定の WinActor が表示されます。 ［シナリオを実行する WinActor を指定する］ボタンをクリックすると、WinActor の選択画面でシナリオを実行する WinActor を選択できます。 実行予定 WinActor を 1 台だけ選択できます。 ユーザに WinActor が設定されている場合は初期値として設定されます。 生成されたタスクが実行されずに待機中のままになる場合は、シナリオの所属と WinActor の所属が異なる、機能タグが異なるなどについて確認してください。
「実行指定」	「種別」のドロップダウンリストで、スケジュールを実行するタイミングを選択します。「データ駆動」だけが選択できます。 • データ駆動 アンサンブル機能を使ってデータが登録されたタイミングでスケジュールを実行します。
「詳細設定を開く」	スケジュール登録エリアに表示されている内容に加え、さらに設定を行いたい場合に使用します。
「詳細設定を閉じる」	詳細設定エリアを閉じるときに使用します。画面上に入力誤りなどがある場合はボタンをクリックすることはできません。
「データ一覧ファイル」	シナリオで使用するデータ一覧ファイル名が表示されます。 データ一覧ファイルの設定方法は『15. シナリオ連携（アンサンブル機能）を設定する』を参照してください。
「データ分割数」	データ一覧ファイルの分割数を指定します。 2 以上の値を指定するとデータ分割が行われます。 • ヘッダ行を除いたデータ一覧ファイルの行数以上の数は指定できません。 • 2 以上に設定する際、同時に実行予定 WinActor を設定することはできません。 • データ一覧ファイルのデータ量が分割数未満の場合はタスクが実行されません。特にリクエストファイル、アウトプットパラメータでデータ一覧ファイルを受け取る場合でもデータ分割数はスケジュール登録時に設定しますので、データ量が分割数未満とならないようにご注意ください。

項目	概要
「アーカイブ」	シナリオを実行したあとに、作業ディレクトリのアーカイブを作成し、WinActor Manager へアップロードするかどうかを選択します。 シナリオにオプションセットが設定されている場合は、オプションセットの値が初期値として設定されます。
「ログ」	シナリオを実行したときのログを作業ディレクトリに出力するかどうかを選択します。 シナリオ実行時のログを回収したい場合はアーカイブを作成する設定とセットで使用することで WinActor Manager にファイルをアップロードすることができます。 アップロードされたファイルは WinActor Manager のファイルメニューからダウンロードして確認してください。 シナリオにオプションセットが設定されている場合は、オプションセットの値が初期値として設定されます。
「異常発生時」	シナリオを実行したときに異常が発生した場合の対処方法を選択します。 シナリオにオプションセットが設定されている場合は、オプションセットの値が初期値として設定されます。

項目	概要
「終了後のメール送信」	タスク実行終了時にメールを通知します。メールの送信は「送信しない」「終了時に送信する」「正常終了時のみ送信する」「異常終了時のみ送信する（「異常停止」もしくは「異常終了」の状態の場合に送信）」から選択することが可能です。 • 送信しない タスク実行終了時にメール送信しません。 • 終了時に送信する タスク実行終了時にメール送信します。タスクの実行結果が正常終了、異常終了どちらの場合もメールが送信されます。 • 正常終了時のみ送信する タスクの実行が正常終了した場合にメール送信します。 • 異常終了時のみ送信する タスクの実行が異常終了した場合にメール送信します。 タスク実行終了時にメール送信するためには、メール送信対象のユーザにメールアドレスの設定と、メール通知契機として「タスク終了通知」を指定しておく必要があります。設定方法は『11.4.2 ユーザ新規作成の設定項目』および『11.4.3 メールの通知契機を設定する』を参照してください。 シナリオにオプションセットが設定されている場合は、オプションセットの値が初期値として設定されます。
リトライ回数	タスクの実行が失敗した場合に再実行する回数を指定します。 シナリオにオプションセットが設定されている場合は、オプションセットの値が初期値として設定されます。
リトライ間隔	タスクの実行が失敗した場合に再実行タスクが実行されるまでの時間を指定します。 シナリオにオプションセットが設定されている場合は、オプションセットの値が初期値として設定されます。
「メモ」	200 文字以下で、メモを入力できます。 シナリオにオプションセットが設定されている場合は、オプションセットの値が初期値として設定されます。

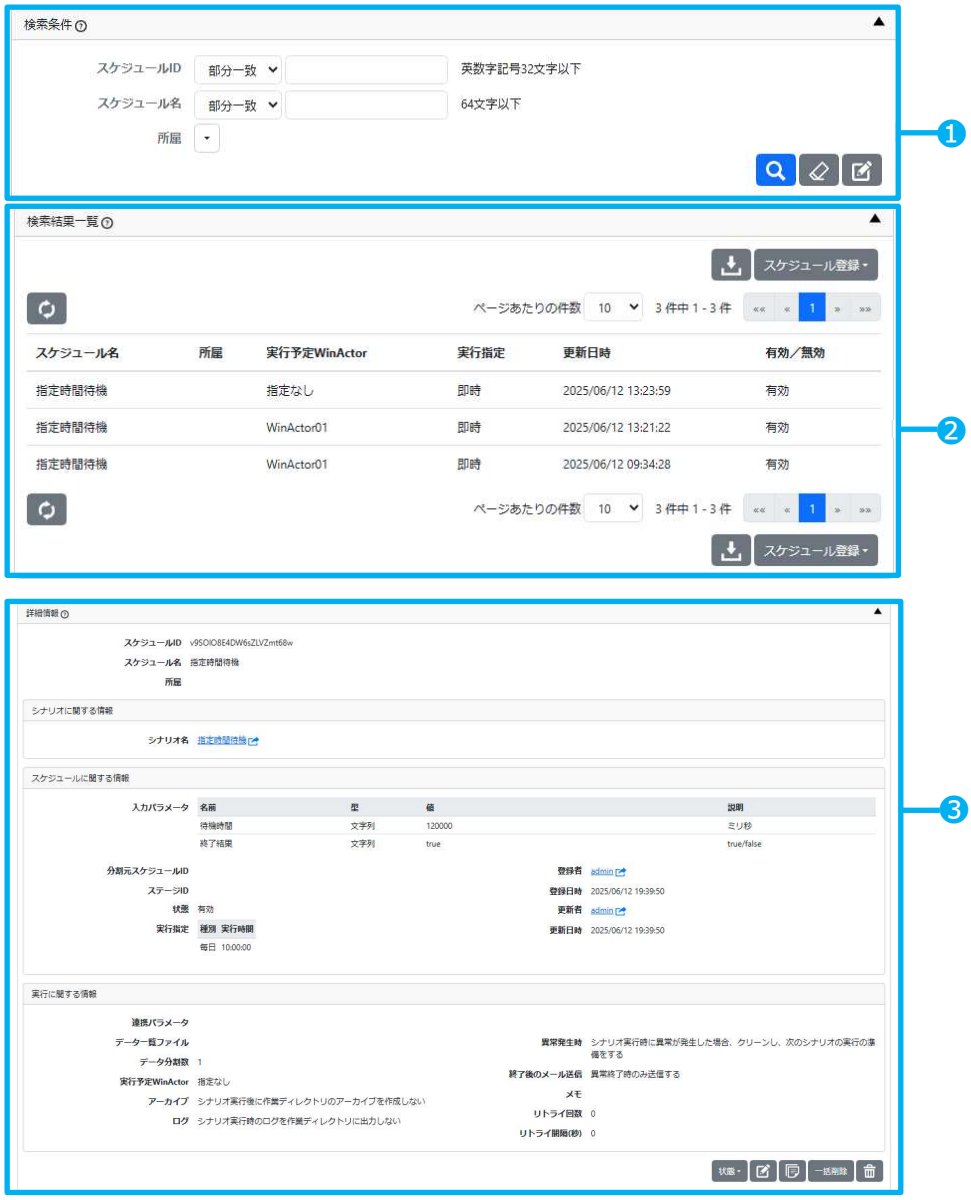
8.　スケジュールを管理する

「スケジュール」画面では、WinActor でシナリオを実行するスケジュールを管理します。
スケジュールの確認の他に、無効／有効の切り替えや削除などを行います。

8.1　スケジュール画面の全体構成

「スケジュール」画面を構成する各要素について説明します。

図 8.1-1 スケジュール画面の全体構成



それぞれのエリアの右上にある▲をクリックすると、エリアの表示／非表示を切り替えることができます。

表 8.1-1 スケジュール画面の構成要素

No.	項目	概要
❶	「検索条件」	条件を設定して登録されているスケジュールを検索するためのエリアです。 『8.2.1 スケジュールの検索条件』
❷	「検索結果一覧」	❶の検索条件にあてはまるスケジュールが一覧表示されます。標準では、すべてのスケジュールが、登録日時が新しい方から順に上から表示されます。 『8.2.2 スケジュールの検索結果一覧の詳細』
❸	「詳細情報」	❷の検索結果一覧で選択したスケジュールの詳細が表示されます。スケジュールの無効／有効の切り替えや削除などはこのエリアから操作します。 『8.4 スケジュールの詳細情報を表示する』

8.2　スケジュールを検索する

検索条件を設定して、WinActor Manager に登録されているスケジュールを検索します。

情報の検索手順については、『2.4 情報を検索する』を参照してください。

スケジュールの検索条件については、『8.2.1 スケジュールの検索条件』を参照してください。

スケジュールの検索結果一覧の詳細については、『8.2.2 スケジュールの検索結果一覧の詳細』を参照してください。

8.2.1　スケジュールの検索条件

スケジュールを検索する場合、以下の検索条件を設定できます。初期状態では「スケジュール ID」「スケジュール名」「所属」を表示します。「詳細」ボタンをクリックすることで全ての検索条件を表示します。

図 8.2-1 スケジュールの検索条件（初期状態）の表示例

図 8.2-2 スケジュールの検索条件（詳細表示）の表示例

表 8.2-1 スケジュールの検索条件

項目	概要
「スケジュール ID」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 完全一致 入力したスケジュール ID と完全に一致しているスケジュールを検索 • 部分一致 入力したスケジュール ID の一部が含まれているスケジュールを検索

項目	概要
「スケジュール名」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 完全一致 入力したスケジュール名と完全に一致しているスケジュールを検索 • 部分一致 入力したスケジュール名の一部が含まれているスケジュールを検索
「所属」	ドロップダウンリストから、所属を選択します。 選択した所属が含まれるスケジュールが検索結果一覧に表示されます。
「更新日時」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 次の範囲内 指定した検索開始日と検索終了日の間に更新されたスケジュールを検索 • 以後 指定した検索開始日以後に更新されたスケジュールを検索 • 以前 指定した検索終了日以前に更新されたスケジュールを検索
「有効／無効」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • （空欄） 有効なスケジュール、無効なスケジュールの両方を検索 • 有効 有効なスケジュールを検索 • 無効 無効なスケジュールを検索
「子スケジュール」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 表示有 子スケジュールの結果を取得する • 表示無 子スケジュールの結果を取得しない 子スケジュールとは、データ分割を指定した際に分割されたデータと実行予定 WinActor を組み合わせて管理されるスケジュールのことです。

8.2.2　スケジュールの検索結果一覧の詳細

「検索結果一覧」には、「検索条件」で設定した条件にあてはまるスケジュールが一覧表示されます。

図 8.2-3 スケジュールの検索結果一覧の表示例

表 8.2-2 スケジュールの検索結果一覧の項目

No.	項目	概要
❶	検索結果一覧	検索条件にあてはまるスケジュールが一覧表示されます。 スケジュールをクリックすると、スケジュールの「詳細情報」エリアが表示されます。 『8.4 スケジュールの詳細情報を表示する』 それぞれの列には、左から順に以下の情報が表示されます。 • スケジュール名 スケジュールの名前が表示されます。 • 所属 スケジュールの所属が表示されます。 • 実行予定 WinActor スケジュールを実行する予定の WinActor が表示されます。 • 実行指定 スケジュールの実行指定の種別が表示されます。 実行指定の種別の設定については、『スケジュール登録の設定項目』を参照してください。 • 更新日時 スケジュールが更新された日時が表示されます。 • 有効／無効 スケジュールが有効／無効のいずれであるかが表示されます。
❷	スケジュール総数	検索条件にあてはまったスケジュールの総数が表示されます。

No.	項目	概要
❸	ページ表示数	ドロップダウンリストから、1 ページあたりの表示件数を選択できます。 選択肢は、「10」「25」「50」「100」です。リストから値を変更すると別の画面への遷移時や再ログイン時も指定した値が使用されます。
❹	ページ切り替え	ページ番号をクリックして、ページを切り替えることができます。現在のページは青で表示されています。 ［≫］をクリックすると、次のページが表示されます。 ［≪］をクリックすると、前のページが表示されます。 ［≫≫］をクリックすると、最後のページが表示されます。 ［≪≪］をクリックすると、先頭のページが表示されます。
❺	［ダウンロード］ボタン	クリックすると、スケジュール情報を CSV 形式のファイルに出力できます。 『8.2.3 スケジュール情報をファイルに出力する』
❻	［スケジュール登録］ボタン	クリックすると、選択しているシナリオをスケジュール登録するための「スケジュール登録」エリアが表示されます。シナリオ画面からのスケジュール登録と同じですが、スケジュール作成元のシナリオ情報を選択することができます。 『7.9 シナリオをスケジュール登録する』 『8.3 スケジュール登録する』
❼	［リロード］ボタン	検索結果をリロードします。

8.2.3　スケジュール情報をファイルに出力する

スケジュール情報を、CSV 形式のファイルに出力する手順について説明します。

この説明では、使用ブラウザを Google Chrome としています。

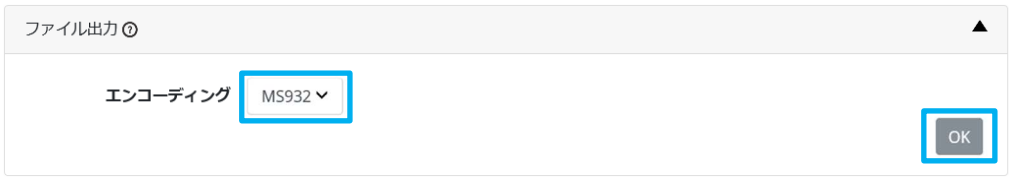
Steps

1. 「検索結果一覧」の［ダウンロード］ボタンをクリックします。

「ファイル出力」エリアが表示されます。

2. ドロップダウンリストからファイルのエンコーディング方式を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

エンコーディング方式では、Shift_JIS 系の「MS932」または Unicode の「UTF-8」を選択できます。



ファイルのダウンロードが開始されます。

ダウンロードが完了すると、ダウンロードしたファイルを確認するメッセージが表示されます。

3. ［×］ボタンをクリックします。

ファイルの保存が完了します。

大量のスケジュール情報をダウンロードすると、ダウンロードに時間がかかる、またはお使いのネットワーク環境によってはダウンロードが失敗する場合があります。その場合は、検索条件を絞り込み、件数を減らした後に、ダウンロードを実施してください。

8.3　スケジュール登録する

WinActor Manager からの指示でシナリオを実行させるには、シナリオをスケジュール登録する必要があります。スケジュールの「検索結果一覧」からもスケジュール登録することができます。

8.3.1　予約する

「実行指定」が「即時」「日時指定」「毎日」「毎週」「毎月」「月末」「条件指定」であるスケジュールを登録できます。スケジュール登録の方法はシナリオ画面からのスケジュール登録と同じですが、スケジュール作成元のシナリオは選択されていませんので、「シナリオ情報」の［選択］ボタンをクリックしてシナリオを選択してください。

スケジュール登録の各項目の詳細は『7.9.2 スケジュール登録の設定項目（予約する）』を参照してください。

8.3.2　連続実行を予約する

「実行指定」が「データ駆動」であるスケジュールを登録できます。スケジュール登録の方法はシナリオ画面からのスケジュール登録と同じですが、スケジュール作成元のシナリオは選択されていませんので、「シナリオ情報」の［選択］ボタンをクリックしてシナリオを選択してください。

スケジュール登録の各項目の詳細は『7.9.3 スケジュール登録の設定項目（連続実行を予約する）』を参照してください。

8.3.3　アンサンブルエディタを使用する

アンサンブルエディタを使用してスケジュール登録します。複数の複数のシナリオをどのような順番で実行し、どのようにパラメータを受け渡すかを設定することができます。

アンサンブルエディタの各項目の詳細は『16.4 アンサンブルエディタからステージを作成する』を参照してください。

8.3.4　サブメニューからのスケジュール登録

スケジュール登録する場合、サブメニューからもスケジュール登録エリアを表示することができます。

表 8.3-1 サブメニューからのスケジュール登録

項目	概要
「予約する」	メニューを選択すると、スケジュール画面のスケジュール登録エリア（予約する）を表示します。
「連続実行を予約する」	メニューを選択すると、スケジュール画面のスケジュール登録エリア（連続実行を予約する）を表示します。
「アンサンブルエディタを使用する」	メニューを選択すると、アンサンブルエディタ画面に遷移します。

8.4　スケジュールの詳細情報を表示する

スケジュールの「詳細情報」エリアでは、スケジュールの詳細情報の表示に加え、スケジュールの有効／無効の切り替えと削除をすることができます。

詳細情報の表示手順については、『2.4.3 詳細情報を表示する』を参照してください。
スケジュールの「詳細情報」エリアの構成については、『8.4.1 スケジュールの詳細情報の構成要素』を参照してください。

8.4.1　スケジュールの詳細情報の構成要素

スケジュールの「詳細情報」エリアの構成は、以下のとおりです。

図 8.4-1 スケジュールの詳細情報エリアの表示例

表 8.4-1 スケジュールの詳細情報エリアの項目

No.	項目	概要
1	詳細情報	登録されているスケジュールの情報が表示されます。 • スケジュール ID スケジュールに紐づいている ID が表示されます。 • スケジュール名 スケジュールの名前が表示されます。 • 所属 スケジュールの所属が表示されます。 ［シナリオに関する情報］ • シナリオ名 スケジュールのシナリオ名が表示されます。シナリオ名を

No.	項目	概要
		クリックすると、「シナリオ」画面で該当のファイルが表示されます。 『7. シナリオを管理する』 ［スケジュールに関する情報］ • 入力パラメータ 入力パラメータの名前、型、値、説明が表示されます。型情報が「パスワード」であり、さらにユーザがスケジュール登録したユーザの場合、パスワード型パラメータの入力内容をマスク表示します。内容を確認する場合は表示のためのチェックボックスにチェックすることでマスクを外した値を表示することができます。 • 分割元スケジュール ID スケジュールに紐づいている分割元スケジュールの ID が表示されます。 • ステージ ID アンサンブル機能を用いてステージを作成している場合にステージに紐づいている ID が表示されます。ステージ ID をクリックすると、「進捗」画面で該当のステージが表示されます。 • 状態 スケジュールの状態（有効／無効）が表示されます。 • 実行指定 スケジュールの実行指定の種別が表示されます。 実行指定の種別の設定については、『7.9 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。 • 登録者 スケジュールの登録者名が表示されます。 • 登録日時 スケジュールを登録した日時が表示されます。 • 更新者 スケジュールの更新者名が表示されます。 • 更新日時 スケジュールを更新した日時が表示されます。 ［実行に関する情報］ • 連携パラメータ 連携パラメータの名前、型、情報、説明が表示されます。 • データ一覧ファイル スケジュールで使用するデータ一覧ファイル名が表示されます。 • データ分割数 データ分割数が表示されます。 • 実行予定 WinActor スケジュールを実行する WinActor が表示されます。

No.	項目	概要
		WinActor の名前をクリックすると、「WinActor」画面で該当の WinActor が表示されます。 • アーカイブ スケジュールのアーカイブの作成方法が表示されます。 • ログ スケジュールのログの出力方法が表示されます。 • 異常発生時 スケジュールに異常が発生したときの対処方法が表示されます。 • 終了後のメール送信 タスク実行終了時に送信するメール通知条件が表示されます。 • メモ スケジュールのメモが表示されます。 • リトライ回数 リトライ回数が表示されます。 • リトライ間隔(秒) リトライ間隔が表示されます。
❷	［状態］ボタン	クリックするとスケジュールの有効、無効状態を切り替えることができます。 『8.5 スケジュールの無効／有効を切り替える』
❸	［更新］ボタン	クリックすると、選択しているシナリオの情報を更新するための「情報更新」エリアが表示されます。 『8.6 スケジュールを更新する』
❹	［コピー編集］ボタン	クリックすると、選択しているスケジュールの情報をコピーして新規スケジュールを登録するため「コピー編集」エリアが表示されます。 『8.7 スケジュールをコピーして登録する スケジュールをコピーして登録する』
❺	［一括削除］ボタン	クリックすると、選択しているスケジュールに関連するタスク、ファイルを一括削除するためのダイアログが表示されます。 『8.9 スケジュールに紐づく情報をまとめて削除する』
❻	［削除］ボタン	クリックすると、選択しているスケジュールを削除できます。 『8.8 スケジュールを削除する』

8.5　スケジュールの無効／有効を切り替える

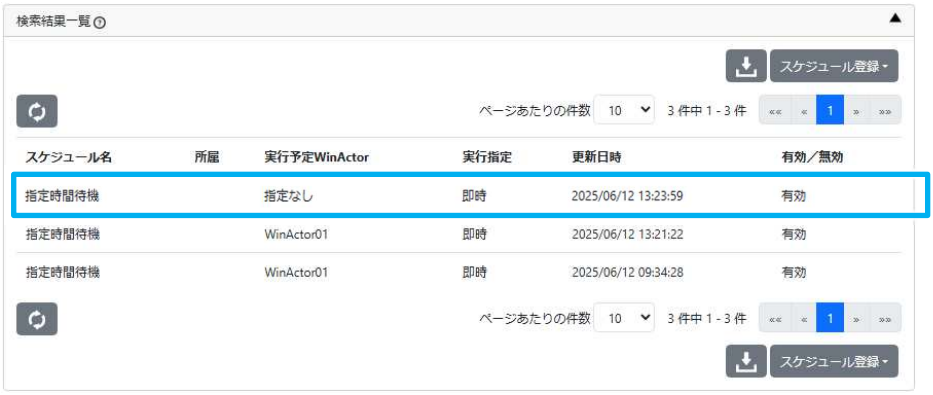
登録されているスケジュールは、以下の手順で無効／有効に切り替えることができます。

スケジュールを無効とすると、対象のスケジュールから生成された待機中タスクは中断されます。

Steps

1. 有効なスケジュールを無効に設定します。

❶ スケジュールの「検索結果一覧」で、無効にしたいスケジュールをクリックします。



スケジュールの「詳細情報」エリアが表示されます。

❷ ［状態］ボタンをクリックします。

メニューが開きます。「無効」を選択すると無効化の確認ダイアログが表示されます。

❸ ［OK］をクリックします。

スケジュールが無効に設定され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

❹ ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

2. 無効なスケジュールを有効に設定します。

❶ スケジュールの「検索結果一覧」で、有効にしたいスケジュールをクリックします。

無効に設定されているスケジュールは、薄いグレーの文字で表示されています。

スケジュールの「詳細情報」エリアが表示されます。

❷ ［状態］ボタンをクリックします。

メニューが開きます。「有効」を選択すると有効化の確認ダイアログが表示されます。

❸ ［OK］をクリックします。

スケジュールが有効に設定され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

❹ ［OK］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

8.6　スケジュールを更新する

スケジュールの情報を更新する手順について説明します。

ここでは、スケジュールを更新するために最低限必要な設定について説明しています。

その他の設定項目については、『7.9 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。

スケジュール更新を行うと、そのスケジュールに紐づくタスクの状態が待機中であれば中断します。また、アンサンブルエディタ等を使用して連続実行するスケジュールを生成している場合、後段で実行を待つスケジュールの設定も見直してください。

スケジュール更新では以下の変更を行うことはできません。

- 連携パラメータは変更できません。
- データ一覧ファイルの種別が「ファイルを参照」の場合、「リクエストファイルを指定」、「アウトプットパラメータを指定」には変更できません。
- データ一覧ファイルの種別が「リクエストファイルを指定」の場合、データ一覧ファイルの種別は変更できません。
- データ一覧ファイルの種別が「アウトプットパラメータを指定」の場合、データ一覧ファイルの種別および、対象のスケジュール、アウトプットパラメータを変更できません。
- データ分割数は変更できません。
- データ分割により生成された子スケジュールの更新はできません。

このような変更を実施する場合は『8.3 スケジュール登録する』または『8.7 スケジュールをコピーして登録する』を参照して新しいスケジュール情報の設定を行い、古いスケジュールは削除してください。

Steps

1. 更新したいスケジュールの「詳細情報」エリアで、［更新］ボタンをクリックします。

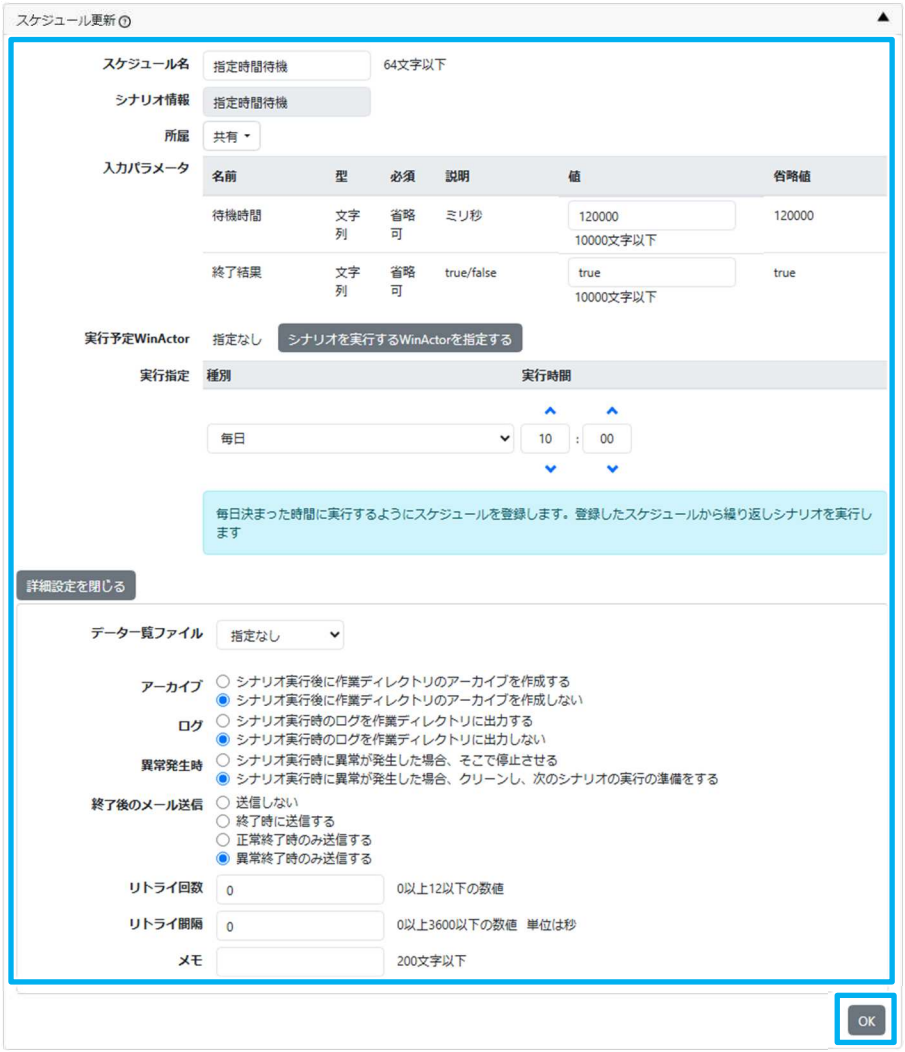
「スケジュール更新」エリアが表示されます。

2. 必要に応じてスケジュールの情報を修正して更新します。初期表示では詳細設定項目欄は非表示になっています。設定を行う場合は［詳細設定を開く］ボタンをク

リックしてください。

スケジュールの設定項目については、『7.9 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。

「予約する」で作成したスケジュールを「連続実行で予約する」で作成するスケジュールに変更することはできません。同様に「連続実行で予約する」で作成したスケジュールを「予約する」で作成したスケジュール変更することはできません。



スケジュール更新の確認ダイアログが表示されます。

3. ［OK］ボタンをクリックします。

スケジュールが更新され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

5. ［閉じる］ボタンをクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

8.7　スケジュールをコピーして登録する

登録されているスケジュールをコピーして新しいスケジュールを登録することができます。

ここでは、スケジュールをコピーして登録するために最低限必要な設定について説明しています。

その他の設定項目については、『7.9 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。

登録済みのスケジュールをコピーしてスケジュール登録する場合、以下の各項目はコピー元のスケジュールの情報が使用されます。

- ユーザに WinActor を設定している場合の実行予定 WinActor の情報
- コピー元のスケジュールが参照しているシナリオにオプションセットが設定されている場合のオプションセットの各項目の情報
- コピーして登録する際にオプションセットが指定された別のシナリオを選択した場合のオプションセットの各項目の情報

Steps

1. コピー元となるスケジュールの「詳細情報」エリアで、[コピー編集]ボタンをクリックします。

「スケジュール登録」エリアが表示されます。

2. スケジュールの設定をします。

コピー元のスケジュールの情報が表示されているため、必要に応じて修正します。初期表示では詳細設定項目欄は非表示になっています。設定を行う場合は[詳細設定を開く]ボタンをクリックしてください。

スケジュールの設定項目については、『7.9 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。

「予約する」で作成したスケジュールを「連続実行で予約する」で作成するスケジュールに変更することはできません。同様に「連続実行で予約する」で作成したスケジュールを「予約する」で作成したスケジュール変更することはできません。

---

3. シナリオを変更する場合は、以下の操作をします。

❶ 「シナリオ名」の［参照］ボタンをクリックします。

シナリオの選択画面が表示されます。

❷ ［選択］ボタンをクリックします。

「シナリオ名」に選択したシナリオ名が設定されます。

- 変更後のシナリオに合わせて所属、入力パラメータ、連携パラメータが変わりますので適切に設定してください。

パラメータの設定方法については、『7.9 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。

4. ［OK］ボタンをクリックします。

スケジュール登録の確認ダイアログが表示されます。

5. ［OK］ボタンをクリックします。

スケジュールが登録され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

6. ［閉じる］ボタンをクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

8.8　スケジュールを削除する

WinActor Manager からスケジュールを削除する手順について説明します。

Steps

1. 削除したいスケジュールの「詳細情報」エリアで、［削除］ボタンをクリックします。

削除の確認ダイアログが表示されます。

2. ［OK］をクリックします。

スケジュールが削除され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

3. ［OK］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

データ分割で作成した子スケジュールを直接削除することはできません。
子スケジュールは親スケジュール削除時に合わせて削除されます。

スケジュールを削除する際に、そのスケジュールに紐づくタスクの状態が待機中、実行中であれば中断します。

8.9　スケジュールに紐づく情報をまとめて削除する

WinActor Manager からスケジュールに紐づくタスク、ファイルをまとめて削除する手順について説明します。

Steps

1. 削除したいスケジュールの「詳細情報」エリアで、[一括削除]ボタンをクリックします。

削除対象一覧ダイアログが表示されます。

2. まとめて削除したい項目のチェックボックスをチェック状態とします。

グレーの網掛けになっている項目は他のスケジュール、タスクから参照されているため選択することはできません。

また、グレーの網掛けになっていない項目でも紐付く項目を同時に削除しない場合は削除できないことがあります。

スケジュールの入力ファイル等はスケジュールを削除しないと削除することはできません。

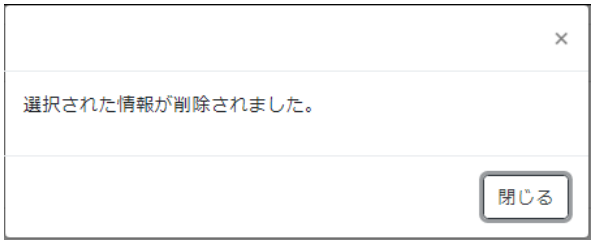
▲／▼ボタンをクリックすることでタスク配下の情報を表示することができます。

3. ［削除］ボタンをクリックします。

削除の確認ダイアログが表示されます。

4. ［OK］ボタンをクリックします。

選択した項目が削除され、結果のダイアログが表示されます。



削除した項目の前には「削除」と表示されます。

5. ［閉じる］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

データ分割で作成した子スケジュールを直接削除することはできません。
子スケジュールは親スケジュール削除時に合わせて削除されます。

9.　タスクを管理する

「タスク」画面では、WinActor に割り当てるタスクを管理します。タスクの状態を確認し、必要に応じてタスクの中断や削除をすることができます。

9.1　タスクの状態について

WinActor Manager のタスクの状態は、以下のいずれかになります。

- 待機中
  シナリオが実行されるのを待っている状態です。
- 処理中
  シナリオを実行している状態です。
- 正常終了
  シナリオの実行が正常に終了し、待機中の状態です。
- 中断中
  WinActor Manager からの指示に従って、タスクを中断している状態です。
  『9.6 タスクを中断する』
- 中断
  WinActor Manager からの指示に従って、タスクが中断された状態です。
  『9.6 タスクを中断する』
- 異常停止
  シナリオの実行中に異常が発生し、WinActor がエラー停止している状態です。
  WinActor をクリーンすることで、待機状態に移行できます。
  WinActor のクリーンを実行する方法については、『5.5 WinActor を制御する』を参照してください。
- 異常終了
  シナリオの実行中に異常が発生して終了した状態です。WinActor は待機状態となってます。

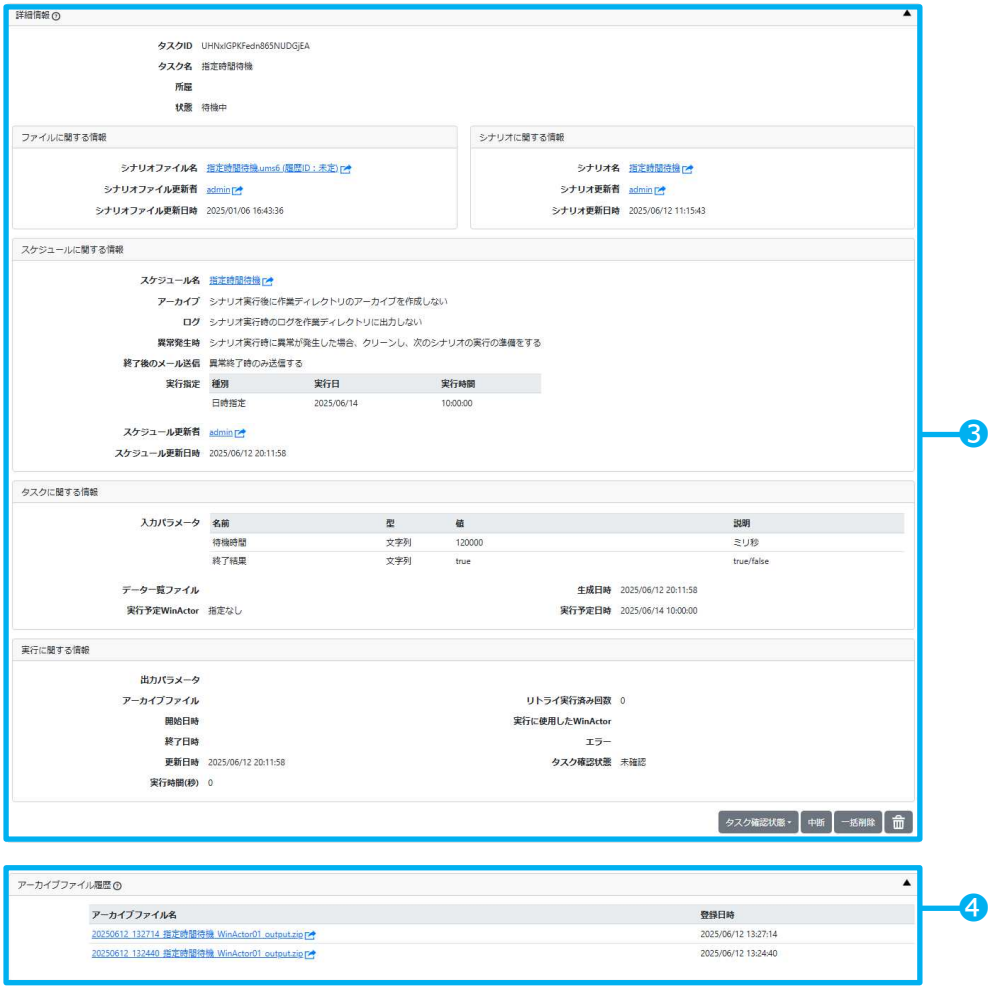
実行予定時刻を過ぎてもタスクの状態が「待機中」のまま変化しない場合は以下について確認してください。

- 対象 WinActor が他のシナリオを実行している
- 対象 WinActor が別の機能タグを設定している
- 対象 WinActor が別の所属を設定している
- 対象 WinActor がライセンス失効状態、または、払い出せる管理実行版ライセンスが不足している
- 対象 WinActor が停止、通信エラー、ユーザ操作中などタスクを実行できない状態にある

9.2　タスク画面の全体構成

「タスク」画面を構成する各要素について説明します。

図 9.2-1 タスク画面の全体構成



それぞれのエリアの右上にある▲をクリックすると、エリアの表示／非表示を切り替えることができます。

表 9.2-1 タスク画面の構成要素

No.	項目	概要
❶	「検索条件」	条件を設定して登録されているタスクを検索するためのエリアです。 『9.3.1 タスクの検索条件』
❷	「検索結果一覧」	❶の検索条件にあてはまるタスクが一覧表示されます。標準では、すべてのタスクが、登録日時が新しい方から順に上から表示されます。 『9.3.2 タスクの検索結果一覧の詳細』
❸	「詳細情報」	❷の検索結果一覧で選択したタスクの詳細が表示されます。タスクの中断と削除はこのエリアから操作します。 『9.4 タスクの詳細情報を表示する』

No.	項目	概要
❹	「アーカイブファイル履歴」	❷の検索結果一覧で選択したタスクに紐づくアーカイブファイルの履歴を登録日時の降順に最大 10 件まで表示します。クリックすると、ファイル画面へ遷移します。

アーカイブファイル履歴はイベント情報から生成されますので、イベントに保存されている期間での参照が可能です。ファイルへのリンクが失われる可能性があるため、必要に応じてダウンロードして保管するなどをご検討ください。

9.3　タスクを検索する

検索条件を設定して、WinActor に割り当てられるタスクを検索します。

- 情報の検索手順については、『2.4 情報を検索する』を参照してください。
- タスクの検索条件については、『9.3.1 タスクの検索条件』を参照してください。
- タスクの検索結果一覧の詳細については、『9.3.2 タスクの検索結果一覧の詳細』を参照してください。

9.3.1　タスクの検索条件

タスクを検索する場合、以下の検索条件を設定できます。初期状態では「タスク ID」「タスク名」「所属」を表示します。「詳細」ボタンをクリックすることで全ての検索条件を表示します。

図 9.3-1 タスクの検索条件（初期状態）の表示例

図 9.3-2 タスクの検索条件（詳細表示）の表示例

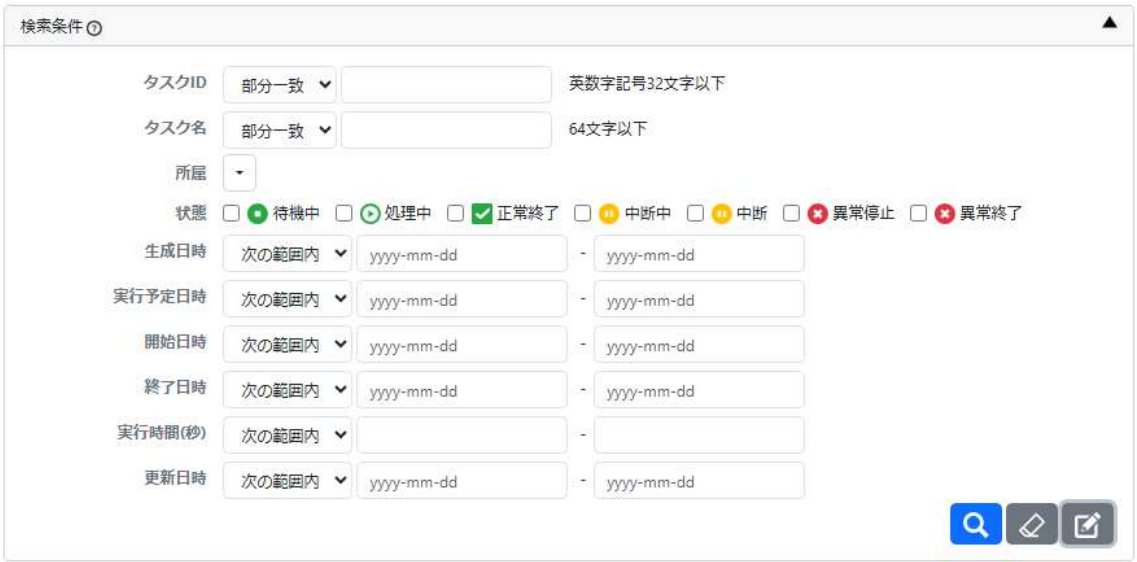


表 9.3-1 タスクの検索条件

項目	概要
「タスク ID」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。

項目	概要
	• 完全一致 入力したタスク ID と完全に一致しているタスクを検索 • 部分一致 入力したタスク ID の一部が含まれているタスクを検索
「タスク名」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 完全一致 入力したタスク名と完全に一致しているタスクを検索 • 部分一致 入力したタスク名の一部が含まれているタスクを検索
「所属」	ドロップダウンリストから、所属を選択します。 選択した所属が含まれるタスクが検索結果一覧に表示されます。
「状態」	タスクの状態を選択します。 タスクの状態については、『9.1 タスクの状態について』を参照してください。
「生成日時」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 次の範囲内 指定した検索開始日と検索終了日の間に生成されたタスクを検索 • 以後 指定した検索開始日以後に生成されたタスクを検索 • 以前 指定した検索終了日以前に生成されたタスクを検索
「実行予定日時」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 次の範囲内 指定した検索開始日と検索終了日の間に実行予定のタスクを検索 • 以後 指定した検索開始日以後に実行予定のタスクを検索 • 以前 指定した検索開始日以前に実行予定のタスクを検索
「開始日時」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 次の範囲内 指定した検索開始日と検索終了日の間に開始されたタスクを検索 • 以後 指定した検索開始日以後に開始されたタスクを検索 • 以前 指定した検索終了日以前に開始されたタスクを検索
「終了日時」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 次の範囲内 指定した検索開始日と検索終了日の間に終了したタスクを検索 • 以後 指定した検索開始日以後に終了したタスクを検索 • 以前 指定した検索終了日以前に終了したタスクを検索
「実行時間(秒)」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。

項目	概要
	• 次の範囲内 実行時間が指定時間(秒)の範囲内にあるタスクを検索 • 以上 実行時間が指定時間(秒)以上のタスクを検索 • 以下 実行時間が指定時間(秒)以下のタスクを検索
「更新日時」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 次の範囲内 指定した検索開始日と検索終了日の間に更新されたタスクを検索 • 以後 指定した検索開始日以後に更新されたタスクを検索 • 以前 指定した検索終了日以前に更新されたタスクを検索

9.3.2　タスクの検索結果一覧の詳細

「検索結果一覧」には、「検索条件」で設定した条件にあてはまるタスクが一覧表示されます。

図 9.3-3 タスクの検索結果一覧の表示例

表 9.3-2 タスクの検索結果一覧の項目

No.	項目	概要
❶	検索結果一覧	検索条件にあてはまるタスクが一覧表示されます。 タスクをクリックすると、タスクの「詳細情報」エリアが表示されます。 『9.4 タスクの詳細情報を表示する』 それぞれの列には、左から順に以下の情報が表示されます。 • タスク名 タスクの名前が表示されます。 • 所属 タスクの所属が表示されます。 • 状態 タスクの状態が表示されます。 タスクの状態については、『9.1 タスクの状態について』を参照してください。 • 生成日時 タスクが生成された日時が表示されます。 • 実行予定日時 タスクの実行予定日時が表示されます。 • 開始日時 タスクが開始された日時が表示されます。 • 終了日時 タスクが終了した日時が表示されます。 • 実行時間(秒) タスクの実行時間が表示されます。 • 更新日時 タスクが更新された日時が表示されます。
❷	タスク総数	検索条件にあてはまったタスクの総数が表示されます。

No.	項目	概要
❸	ページ表示数	ドロップダウンリストから、1 ページあたりの表示件数を選択できます。 選択肢は、「10」「25」「50」「100」です。リストから値を変更すると別の画面への遷移時や再ログイン時も指定した値が使用されます。
❹	ページ切り替え	ページ番号をクリックして、ページを切り替えることができます。現在のページは青で表示されています。 ［≫］をクリックすると、次のページが表示されます。 ［≪］をクリックすると、前のページが表示されます。 ［≫≫］をクリックすると、最後のページが表示されます。 ［≪≪］をクリックすると、先頭のページが表示されます。
❺	［ダウンロード］ボタン	クリックすると、タスク情報を CSV 形式のファイルに出力できます。 『9.3.3 タスク情報をファイルに出力する』
❻	［リロード］ボタン	検索結果をリロードします。

9.3.3　タスク情報をファイルに出力する

タスク情報を、CSV 形式のファイルに出力する手順について説明します。

この説明では、使用ブラウザを Google Chrome としています。

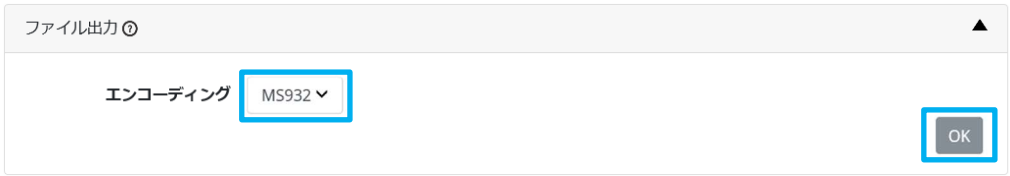
Steps

1. 「検索結果一覧」の［ダウンロード］ボタンをクリックします。

「ファイル出力」エリアが表示されます。

2. ドロップダウンリストからファイルのエンコーディング方式を選択して、[OK] ボタンをクリックします。

エンコーディング方式では、Shift_JIS 系の「MS932」または Unicode の「UTF-8」を選択できます。



ファイルのダウンロードが開始されます。

ダウンロードが完了すると、ダウンロードしたファイルを確認するメッセージが表示されます。

3. ［×］ボタンをクリックします。

ファイルの保存が完了します。

大量のタスク情報をダウンロードすると、ダウンロードに時間がかかる、またはお使いのネットワーク環境によってはダウンロードが失敗する場合があります。その場合は、検索条件を絞り込み、件数を減らした後に、ダウンロードを実施してください。

9.4　タスクの詳細情報を表示する

タスクの「詳細情報」エリアでは、タスクの詳細情報の表示に加え、タスクの中断と削除をすることができます。

» 詳細情報の表示手順については、『2.4.3 詳細情報を表示する』を参照してください。
» タスクの「詳細情報」エリアの構成については、『9.4.1 タスクの詳細情報の構成要素』を参照してください。

9.4.1　タスクの詳細情報の構成要素

タスクの「詳細情報」エリアの構成は、以下のとおりです。

図 9.4-1 タスクの詳細情報エリアの表示例

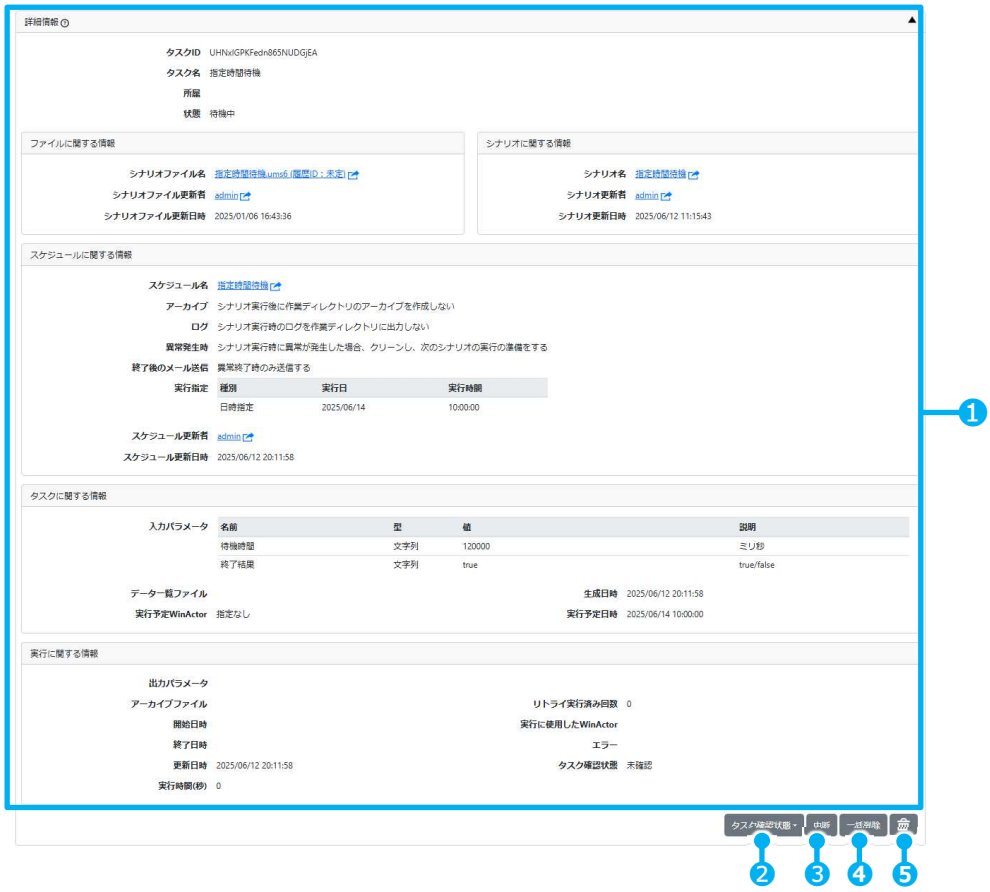


表 9.4-1 タスクの詳細情報エリアの項目

No.	項目	概要
1	詳細情報	登録されているタスクの情報が表示されます。 • タスク ID タスクに紐づいている ID が表示されます。 • タスク名 タスクの名前が表示されます。

No.	項目	概要
		• 所属 タスクの所属が表示されます。 • 状態 タスクの状態が表示されます。 『9.1 タスクの状態について』 ［ファイルに関する情報］ • シナリオファイル名 タスクに紐づいているシナリオファイル名が表示されます。シナリオファイル名をクリックすると、「ファイル」画面で該当のファイルが表示されます。 『6. ファイルを管理する』 • シナリオファイル更新者 シナリオファイルの更新者が表示されます。 • シナリオファイル更新日時 シナリオファイルが更新された日時が表示されます。 ［シナリオに関する情報］ • シナリオ名 タスクに紐づいているシナリオ名が表示されます。シナリオ名をクリックすると、「シナリオ」画面で該当のシナリオが表示されます。 『7. シナリオを管理する』 • シナリオ更新者 シナリオの更新者が表示されます。 • シナリオ更新日時 シナリオが更新された日時が表示されます。 ［スケジュールに関する情報］ • スケジュール名 タスクに紐づいているスケジュール名が表示されます。スケジュール名をクリックすると、「スケジュール」画面で該当のスケジュールが表示されます。 『8. スケジュールを管理する』 • アーカイブ シナリオを実行したあとのアーカイブの作成方法が表示されます。 • ログ シナリオを実行したあとのログの出力方法が表示されます。 • 異常発生時 シナリオの実行中に異常が発生したときの対処方法が表示されます。 • 終了後のメール送信 タスク実行終了時に送信するメール通知条件が表示されます。

No.	項目	概要
		• 実行指定 スケジュールの実行指定の種別が表示されます。 実行指定の種別の設定については、『7.9 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。 • スケジュール更新者 スケジュールの更新者が表示されます。 • スケジュール更新日時 スケジュールが更新された日時が表示されます。 ［タスクに関する情報］ • 入力パラメータ 入力パラメータの名前、型、値が表示されます。型がファイルの場合、「値」欄に表示されている英数字(ファイル ID)をクリックすると、「ファイル」画面が表示されます。型情報が「パスワード」であり、さらにユーザがスケジュール登録したユーザの場合、パスワード型パラメータの入力内容をマスク表示します。内容を確認する場合は表示のためのチェックボックスにチェックすることでマスクを外した値を表示することができます。 『6. ファイルを管理する』 • データ一覧ファイル スケジュール登録時に指定したデータ一覧ファイルのファイル名が表示されます。ファイル名をクリックすると、「ファイル」画面が表示されます。 『6. ファイルを管理する』 • 実行予定 WinActor タスクを実行する予定の WinActor が表示されます。WinActor の名前をクリックすると、「WinActor」画面で該当の WinActor が表示されます。 『5. WinActor を管理する』 • 生成日時 タスクが生成された日時が表示されます。 • 実行予定日時 タスクの実行予定日時が表示されます。 ［タスクに関する情報］ • 出力パラメータ 出力パラメータの名前、型、値が表示されます。型がファイルの場合、ファイル ID をクリックすると、「ファイル」画面が表示されます。 『6. ファイルを管理する』 • アーカイブファイル シナリオ実行時のアーカイブファイル名が表示されます。アーカイブファイル名は日時、タスク名、WinActor 名を元に生成されます。

No.	項目	概要
		アーカイブファイル名は以下の場合に日時、タスク名、WinActor 名を元にした名称となります。 ・タスクの実行が正常終了した場合、異常終了した場合、異常停止した場合 ・タスク画面から実行中のタスクに対して中断を実施し、実行中のタスクが中断した場合 上記以外の理由（シナリオタイムアウトなど）によりタスク実行が終了した場合、ファイル名は output.zip のまま、かつ、ファイルタグが付与されない状態となり、さらにタスク画面からも参照できない状態となります。この場合はタスク終了時刻を元にイベント画面を確認いただき、タスク終了のログ付近に記録されている「output.zip をアップロードした」というイベントログをクリックすることでファイル画面に遷移しますので対象の output.zip を確認いただくことが可能になります。 • 開始日時 タスクが開始された日時が表示されます。 • 終了日時 タスクが終了した日時が表示されます。 • 更新日時 タスクが更新された日時が表示されます。 • 実行時間(秒) タスクの実行時間が表示されます。 • リトライ実行済み回数 タスクをリトライした回数が表示されます。 • 実行に使用した WinActor タスクを実行した WinActor の名前が表示されます。WinActor の名前をクリックすると、「WinActor」画面で該当の WinActor が表示されます。 『5. WinActor を管理する』 • エラー タスク実行結果が「異常停止」か「異常終了」の場合、エラー原因が表示されます。 • タスク確認状態 タスクの確認結果が表示されます。 『9.5 タスクを確認済みにする』
❷	［タスク確認状態］ボタン	クリックするとタスクの確認済み、未確認を切り替えることができます。 『9.5 タスクを確認済みにする』
❸	［中断］ボタン	クリックすると、状態が「待機中」または「処理中」のタスクを中断できます。 『9.6 タスクを中断する』

No.	項目	概要
❹	［一括削除］ボタン	クリックすると、選択しているタスクに関連するファイルを一括削除するためのダイアログが表示されます。 『9.8 タスクに紐づく情報をまとめて削除する』
❺	［削除］ボタン	クリックすると、選択しているタスクを削除できます。 『9.7 タスクを削除する』

9.5　タスクを確認済みにする

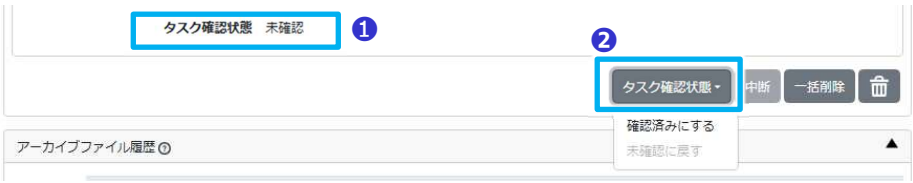
タスクの実行結果を確認した後などに、そのタスクを確認済みに変更することができます。

Steps

1. タスクを確認済みにする場合は、以下の操作をします。

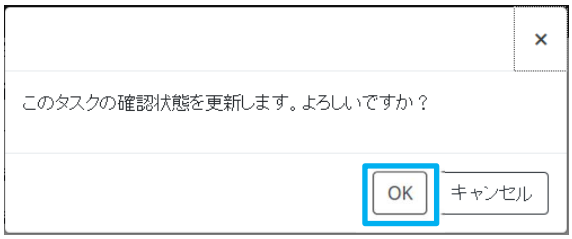
❶ タスクが未確認であることを確認します。

❷ 「詳細情報」の［タスク確認状態］ボタンをクリックします。



メニューが開きます。「確認済みにする」を選択するとタスクを確認済みに変更するための確認ダイアログが表示されます。

❸ ［OK］をクリックします。



状態が更新され結果のメッセージダイアログが表示されます。

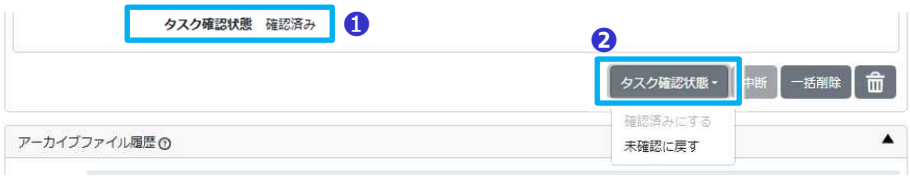
❹ ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

2. タスクを未確認に戻す場合は、以下の操作をします。

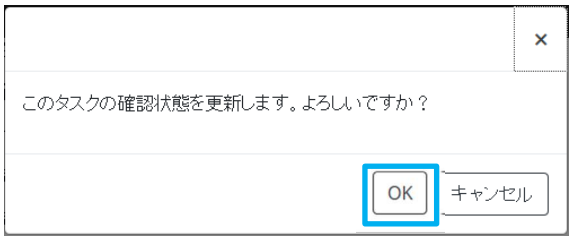
❶ タスクが確認済みであることを確認します。

❷ 「詳細情報」の［タスク確認状態］ボタンをクリックします。



メニューが開きます。「未確認に戻す」を選択するとタスクを未確認に変更するための更新の確認ダイアログが表示されます。

❸　［OK］をクリックします。



状態が更新され結果のメッセージダイアログが表示されます。

❹　［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

9.6　タスクを中断する

状態が「待機中」または「処理中」のタスクは、以下の手順で中断できます。

中断したタスクを再度「待機中」または「処理中」にすることはできません。

Steps

1. 「検索結果一覧」エリアで、中断したいタスクをクリックします。

「詳細情報」エリアに、選択したタスクの詳細情報が表示されます。

2. ［中断］ボタンをクリックします。

中断の確認ダイアログが表示されます。

3. ［OK］をクリックします。

タスクが中断され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

4. ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

5. 「検索結果一覧」エリアで、タスクの状態が「中断」に変わったことを確認します。

9.7　タスクを削除する

WinActor Manager からタスクを削除する手順について説明します。

Steps

1. 削除したいタスクの「詳細情報」エリアで、［削除］ボタンをクリックします。

削除の確認ダイアログが表示されます。

2. ［OK］をクリックします。

タスクが削除され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

3. ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

9.8　タスクに紐づく情報をまとめて削除する

WinActor Manager からタスクに紐づくファイルをまとめて削除する手順について説明します。

Steps

1. 削除したいタスクの「詳細情報」エリアで、[一括削除] ボタンをクリックします。

削除対象一覧ダイアログが表示されます。

2. まとめて削除したい項目のチェックボックスをチェック状態とします。

グレーの網掛けになっている項目は他のタスクから参照されているため選択することはできません。

また、グレーの網掛けになっていない項目でも紐付く項目を同時に削除しない場合は削除できないことがあります。

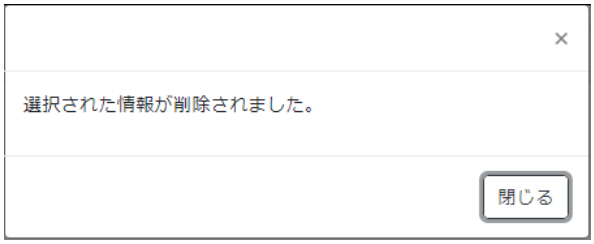
タスクの出力ファイル等はタスクを削除しないと削除することはできません。

3. ［削除］ボタンをクリックします。

削除の確認ダイアログが表示されます。

4. ［OK］ボタンをクリックします。

選択した項目が削除され、結果のダイアログが表示されます。



削除した項目の前には「削除」と表示されます。

5. ［閉じる］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

10. イベントを管理する

「イベント」画面では、ユーザのログイン／ログアウト、シナリオの登録／更新、スケジュールの登録／更新／削除／有効化／無効化、タスクの開始／終了／中断などのイベントを確認できます。

イベント画面に表示されるメッセージの一覧につきましては「オペレーションマニュアル 付録：イベントログ一覧」も併せて参照してください。

10.1 イベント画面の全体構成

「イベント」画面を構成する各要素について説明します。

図 10.1-1 イベント画面の全体構成

それぞれのエリアの右上にある▲をクリックすると、エリアの表示／非表示を切り替えることができます。

表 10.1-1 イベント画面の構成要素

No.	項目	概要
❶	「検索条件」	条件を設定してイベントを検索するためのエリアです。 『10.2.1 イベントの検索条件』
❷	「検索結果一覧」	❶の検索条件にあてはまるイベントが一覧表示されます。標準では、すべてのイベントが、登録日時が新しい方から順に上から表示されます。 CSV ファイルのダウンロードはこのエリアから操作します。 『10.2.2 イベントの検索結果一覧の詳細』

WinActor Manager は WinActor Manager に接続中、かつ WinActor の設定で「管理サーバからの指示で動作する」を指定していない WinActor が、シナリオを保存・実行したことをイベントとして記録する機能（ローカル動作時の操作ログ受信機能）を持っています。ただし、WinActor 画面から対象の WinActor 情報を削除してしまうと、対象の WinActor が再起動するまでの間にシナリオを保存・実行したイベントが記録されなくなります。イベントを保存したい WinActor については WinActor 画面から絶対に削除しないようにしてください。

10.2 イベントを検索する

検索条件を設定して、WinActor のイベントを検索します。

- 情報の検索手順については、『2.4 情報を検索する』を参照してください。
- イベントの検索条件については、『10.2.1 イベントの検索条件』を参照してください。
- イベントの検索結果一覧の詳細については、『10.2.2 イベントの検索結果一覧の詳細』を参照してください。

10.2.1 イベントの検索条件

イベントを検索する場合、以下の検索条件を設定できます。初期状態では「メッセージ」「所属」を表示します。「詳細」ボタンをクリックすることで全ての検索条件を表示します。

図 10.2-1 スケジュールの検索条件（初期状態）の表示例

図 10.2-2 スケジュールの検索条件（詳細表示）の表示例

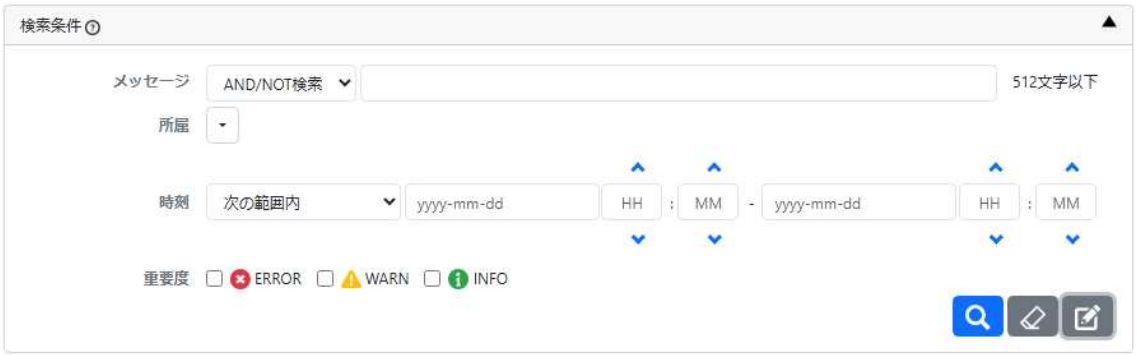


表 10.2-1 イベントの検索条件

項目	概要
「メッセージ」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 完全一致 入力したメッセージと完全に一致しているイベントを検索 • 部分一致 入力したメッセージの一部が含まれているイベントを検索 • AND/NOT 検索 入力した複数のキーワードがメッセージに含まれているイベントを検索 AND/NOT 検索では、キーワードを半角スペースで区切って入力するとそのキーワードをすべて持つメッセージを検索します。(AND 検索) キーワードの先頭に半角ハイフン (-) を付与すると、そのキーワードを含まないメッセージを検索します。(NOT 検索) キーワードの先頭に半角ハイフンを含むキーワードを指定して AND 検索する場合は¥でエスケープします。
「所属」	ドロップダウンリストから、所属を選択します。 選択した所属が含まれるイベントが検索結果一覧に表示されます。 所属の検索対象は作業者の所属となります。例えば以下のメッセージでは「A さん」「WinActor」が所属の情報を持っていますが、「A さん」の所属を検索対象とします。 「A さんが WinActor 情報を更新しました。」
「時刻」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 次の範囲内 指定した検索開始日時と検索終了日時の間に発生したイベントを検索 • 以後 指定した検索開始日時以後に発生したイベントを検索 • 以前 指定した検索終了日時以前に発生したイベントを検索 「検索開始日時」の時刻を省略した場合は 00:00、「検索終了日時」の時刻を省略した場合は 23:59 が検索で使用されます。 また、時刻を指定する場合、時間と分のどちらか片方のみの入力は、日付のみの指定として扱われますので、必ず両方入力してください。
「重要度」	イベントの重要度を選択します。 • ERROR タスクの異常終了や異常停止などのエラー情報 • WARN 通信エラーなどの警告情報 • INFO ログイン／ログアウト、シナリオの登録／更新、スケジュールの登録／更新／削除／有効化／無効化、タスクの中断などの情報

10.2.2 イベントの検索結果一覧の詳細

「検索結果一覧」には、「検索条件」で設定した条件にあてはまるイベントが一覧表示されます。

図 10.2-3 イベントの検索結果一覧の表示例

表 10.2-2 イベントの検索結果一覧の項目

No.	項目	概要
❶	検索結果一覧	検索条件にあてはまるイベントが一覧表示されます。 イベントの内容によって、クリックすると、「WinActor」画面、「ファイル」画面、「シナリオ」画面、「スケジュール」画面、「タスク」画面、「ユーザ」画面、「所属」画面、「ロール」画面で該当する情報が表示されます。 それぞれの列には、左から順に以下の情報が表示されます。 • 時刻 イベントが発生した日時が表示されます。 • 重要度 イベントの重要度（ERROR、WARN、INFO）が表示されます。 • 所属 イベントの所属が表示されます。 • メッセージ 発生したイベントの内容が表示されます。

No.	項目	概要
		所属欄には作業者の所属が表示されます。例えば以下のメッセージでは「A さん」「WinActor」が所属の情報を持っていますが、「A さん」の所属が表示されます。 「A さんが WinActor 情報を更新しました。」
❷	イベント総数	検索条件にあてはまったイベントの総数が表示されます。
❸	ページ表示数	ドロップダウンリストから、1 ページあたりの表示件数を選択できます。 選択肢は、「10」「25」「50」「100」です。リストから値を変更すると別の画面への遷移時や再ログイン時も指定した値が使用されます。
❹	ページ切り替え	ページ番号をクリックして、ページを切り替えることができます。現在のページは青で表示されています。 ［≫］をクリックすると、次のページが表示されます。 ［≪］をクリックすると、前のページが表示されます。 ［≫≫］をクリックすると、最後のページが表示されます。 ［≪≪］をクリックすると、先頭のページが表示されます。
❺	［ダウンロード］ボタン	クリックすると、イベント情報を CSV 形式のファイルに出力できます。 『10.2.3 イベント情報をファイルに出力する』
❻	［リロード］ボタン	検索結果をリロードします。

10.2.3 イベント情報をファイルに出力する

イベント情報を、CSV 形式のファイルに出力する手順について説明します。

この説明では、使用ブラウザを Google Chrome としています。

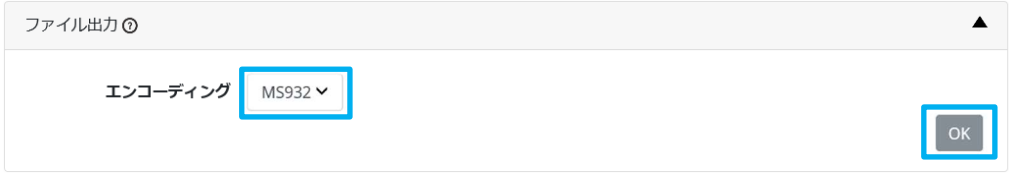
Steps

1. 「検索結果一覧」の［ダウンロード］ボタンをクリックします。

「ファイル出力」エリアが表示されます。

2. ドロップダウンリストからファイルのエンコーディング方式を選択して、[OK] ボタンをクリックします。

エンコーディング方式では、Shift_JIS 系の「MS932」または Unicode の「UTF-8」を選択できます。



ファイルのダウンロードが開始されます。

ダウンロードが完了すると、ダウンロードしたファイルを確認するメッセージが表示されます。

3. ［×］ボタンをクリックします。

ファイルの保存が完了します。

大量のイベント情報をダウンロードすると、ダウンロードに時間がかかる、またはお使いのネットワーク環境によってはダウンロードが失敗する場合があります。その場合は、検索条件を絞り込み、件数を減らした後に、ダウンロードを実施してください。

11. ユーザを管理する

「ユーザ」画面では、WinActor Manager にログインして操作をするユーザを管理します。

11.1 ユーザ画面の全体構成

「ユーザ」画面を構成する各要素について説明します。

図 11.1-1 ユーザ画面の全体構成

それぞれのエリアの右上にある▲をクリックすると、エリアの表示／非表示を切り替えることができます。

表 11.1-1 ユーザ画面の構成要素

No.	項目	概要
❶	「検索条件」	条件を設定して登録されているユーザを検索するためのエリアです。 『11.2.1 ユーザの検索条件』
❷	「検索結果一覧」	❶の検索条件にあてはまるユーザが一覧表示されます。標準では、すべてのユーザが、更新日時が新しい方から順に上から表示されます。 ユーザの新規作成と一括処理（インポートとエクスポート）はこのエリアから操作します。 『11.2.2 ユーザの検索結果一覧の詳細』
❸	「詳細情報」	❷の検索結果一覧で選択したユーザの詳細が表示されます。 ユーザ情報の更新と削除はこのエリアから操作します。 『11.3 ユーザの詳細情報を表示する』

11.2 ユーザを検索する

検索条件を設定して、ユーザを検索します。

- 情報の検索手順については、『2.4 情報を検索する』を参照してください。
- ユーザの検索条件については、『11.2.1 ユーザの検索条件』を参照してください。
- ユーザの検索結果一覧の詳細については、『11.2.2 ユーザの検索結果一覧の詳細』を参照してください。

11.2.1 ユーザの検索条件

ユーザを検索する場合、以下の検索条件を設定できます。初期状態では「ユーザ ID」「ユーザ名」「所属」を表示します。「詳細」ボタンをクリックすることで全ての検索条件を表示します。

図 11.2-1 ユーザの検索条件（初期状態）の表示例

図 11.2-2 ユーザの検索条件（詳細表示）の表示例

表 11.2-1 ユーザの検索条件

項目	概要
「ユーザ ID」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 完全一致 入力したユーザ ID と完全に一致しているユーザを検索 • 部分一致 入力したユーザ ID の一部が含まれているユーザを検索
「ユーザ名」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。

項目	概要
	• 完全一致 入力したユーザ名と完全に一致しているユーザを検索 • 部分一致 入力したユーザ名の一部が含まれているユーザを検索
「所属」	ドロップダウンリストから、所属を選択します。 選択した所属が含まれるユーザが検索結果一覧に表示されます。
「ロール名」	ドロップダウンリストから、ロールを選択します。 『13. ロールを管理する』
「更新日時」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 次の範囲内 指定した検索開始日と検索終了日の間に更新されたユーザを検索 • 以後 指定した検索開始日以後に更新されたユーザを検索 • 以前 指定した検索終了日以前に更新されたユーザを検索
「有効／無効」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • （空欄） 有効なユーザ、無効なユーザの両方を検索 • 有効 有効なユーザを検索 • 無効 無効なユーザを検索

11.2.2 ユーザの検索結果一覧の詳細

「検索結果一覧」には、「検索条件」で設定した条件にあてはまるユーザが一覧表示されます。

図 11.2-3 ユーザの検索結果一覧の表示例

表 11.2-2 ユーザの検索結果一覧の項目

No.	項目	概要
❶	検索結果一覧	検索条件にあてはまるユーザが一覧表示されます。 それぞれの列には、左から順に以下の情報が表示されます。 • ユーザ名 ユーザ名が表示されます。 • 所属 ユーザの所属が表示されます。 • ロール名 ユーザに割り当てられているロール名が表示されます。 • 更新日時 ユーザが更新された日時が表示されます。 • 有効／無効 ユーザの状態が表示されます。
❷	ユーザ総数	検索条件にあてはまったユーザの総数が表示されます。
❸	ページ表示数	ドロップダウンリストから、1 ページあたりの表示件数を選択できます。 選択肢は、「10」「25」「50」「100」です。リストから値を変更すると別の画面への遷移時や再ログイン時も指定した値が使用されます。
❹	ページ切り替え	ページ番号をクリックして、ページを切り替えることができます。現在のページは青で表示されています。 ［≫］をクリックすると、次のページが表示されます。 ［≪］をクリックすると、前のページが表示されます。 ［≫≫］をクリックすると、最後のページが表示されます。 ［≪≪］をクリックすると、先頭のページが表示されます。

No.	項目	概要
❺	［エクスポート］ボタン	クリックすると、ユーザ情報を CSV 形式のファイルに出力できます。 『11.10.1 ユーザ情報をファイルに出力する』
❻	［インポート］ボタン	クリックすると、ユーザ情報を CSV 形式のファイルから取り込むことができます。 『11.10.3 ユーザ情報をファイルから取り込む』
❼	［新規作成］ボタン	クリックすると、ユーザを作成するための「新規作成」エリアが表示されます。 『11.4 ユーザを新規作成する』
❽	［リロード］ボタン	検索結果をリロードします。

11.3 ユーザの詳細情報を表示する

ユーザの「詳細情報」エリアでは、ユーザの詳細情報の表示に加え、ユーザ情報の更新と削除をすることができます。

詳細情報の表示手順については、『2.4.3 詳細情報を表示する』を参照してください。
ユーザの「詳細情報」エリアの構成については、『11.3.1 ユーザの詳細情報の構成要素』を参照してください。

11.3.1 ユーザの詳細情報の構成要素

ユーザの「詳細情報」エリアの構成は、以下のとおりです。

図 11.3-1 ユーザの詳細情報エリアの表示例

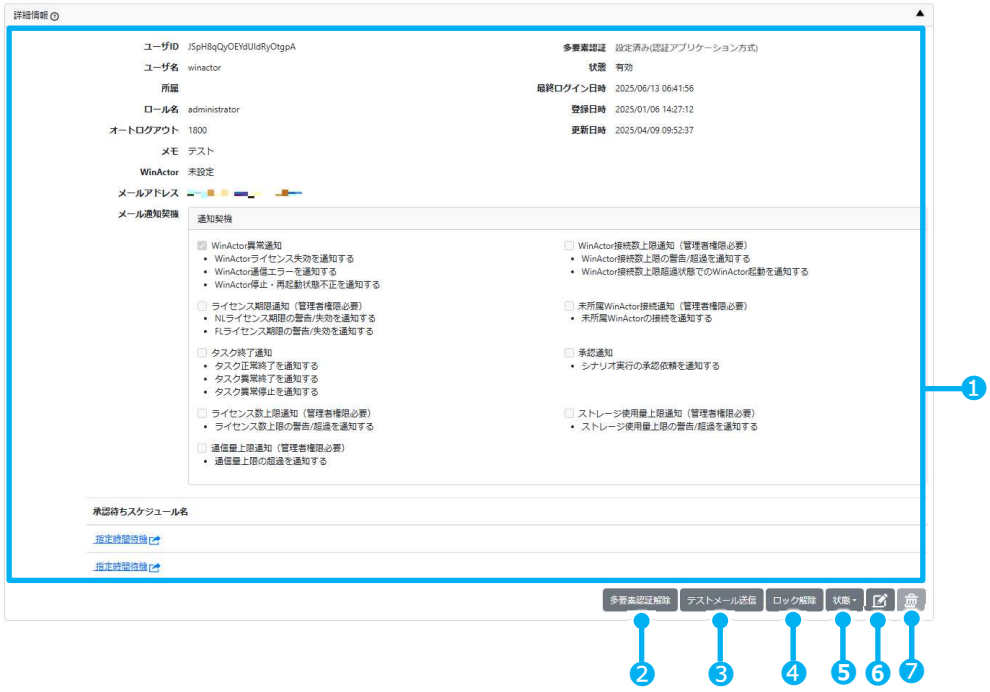


表 11.3-1 ユーザの詳細情報エリアの項目

No.	項目	概要
❶	詳細情報	登録されているユーザの情報が表示されます。 • ユーザ ID ユーザに紐づいている ID が表示されます。 • ユーザ名 ユーザ名が表示されます。 • 所属 ユーザの所属が表示されます。 • ロール名 ユーザに割り当てられているロール名が表示されます。 • オートログアウト ユーザのオートログアウト値が表示されます。 • メモ ユーザのメモが表示されます。 • WinActor ユーザに紐づいている WinActor 名が表示されます。 • 多要素認証 多要素認証の設定状態が表示されます。 • 状態 ユーザの状態が表示されます。 • 最終ログイン日時 ユーザの最後のログイン日時が表示されます。 • 登録日時 ユーザを登録した日時が表示されます。 • 更新日時 ユーザを更新した日時が表示されます。 • メールアドレス ユーザのメールアドレスが表示されます。 • メール通知契機 メールアドレスを登録したユーザにメールを送信する契機が表示されます。 • 承認待ちスケジュール名 ユーザが承認者として紐づいているスケジュールのスケジュール名を登録日時が新しい順に上位 10 件を表示します。スケジュール名をクリックするとスケジュール画面に遷移します。 『8. スケジュールを管理する』
❷	［多要素認証解除］ボタン	クリックすると、選択しているユーザの多要素認証を解除します。ユーザ画面を表示しているユーザが多要素認証を設定している、かつ選択したユーザが多要素認証を設定している場合に表示されます。 『17.3.2 多要素認証を解除する（ユーザ画面）』
❸	［テストメール送信］ボタン	クリックすると、選択したユーザにテストメールを送信します。メールアドレスを設定しているユーザは使用することができます。 『11.6 テストメールを送信する』
❹	［ロック解除］ボタン	クリックすると、選択しているユーザのロック状態を解除します。 『11.7 ロックを解除する』

No.	項目	概要
❺	［状態］ボタン	クリックすると、選択しているユーザの有効、無効状態を切り替えることができます。 無効としたユーザはログインできなくなります。また、無効化したユーザに対してはユーザ情報の確認、無効化の解除、削除のみが可能になります。 『11.8 ユーザの無効／有効を切り替える』
❻	［更新］ボタン	クリックすると、選択しているユーザの情報を更新するための「情報更新」エリアが表示されます。 『11.5 ユーザ情報を更新する』
❼	［削除］ボタン	クリックすると、選択しているユーザを削除できます。 『11.9 ユーザを削除する』

11.4 ユーザを新規作成する

WinActor Manager にログインして操作をするユーザを個別に登録する方法について説明します。

ユーザを一括で作成する手順については、『11.10 ユーザを一括処理する』を参照してください。

11.4.1 ユーザの新規作成手順

ユーザを新規で作成する手順について説明します。

ここでは、ユーザの新規作成に最低限必要な設定について説明しています。

その他の設定項目については、『11.4.2 ユーザ新規作成の設定項目』を参照してください。

Steps

1. ユーザの「検索結果一覧」エリアで、[新規作成] ボタンをクリックします。

ユーザの「新規作成」エリアが表示されます。

2. 情報を設定して、ユーザを作成します。

❶ 「ユーザ名」にユーザ名を入力します。

ユーザ名は、64 文字以下で設定してください。半角英数字の他に、以下の記号を設定することができます。

! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~

❷ 「パスワード」と「パスワード（確認用）」に設定したいパスワードを入力します。

パスワードは、8 文字以上 64 文字以下で設定してください。半角英数字の他に、以下の記号を設定することができます。

! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~

パスワードの最低文字列長は設定画面から変更することができます。

『14.4 動作に関する設定を更新する』

❸ 「ロール名」ドロップダウンリストから、ユーザに割り当てたいロールを選択します。

❹ ［OK］ボタンをクリックします。

ユーザが作成され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

3. ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

4. 「検索結果一覧」エリアで、ユーザが作成されていることを確認します。

11.4.2 ユーザ新規作成の設定項目

ユーザの「新規作成」エリアの設定項目は、以下のとおりです。

図 11.4-1 ユーザの新規作成エリアの表示例

図 11.4-2 ユーザの新規作成エリア（メールアドレス入力後）の表示例

表 11.4-1 ユーザの新規作成の設定項目

項目	概要
「ユーザ名」	WinActor Manager へのログインで使用するユーザ名を、64 文字以下で入力します。半角英数字の他に、以下の記号を設定することができます。 ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~ 一度設定したユーザ名は変更できません。

項目	概要
「パスワード」	ユーザのパスワードを、8 文字以上 64 文字以下で入力します。半角英数字の他に、以下の記号を設定することができます。 ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~
「パスワード（確認用）」	確認用に、「パスワード」に入力したパスワードを入力します。
「所属」	作成するユーザの所属（最大で 3 階層）を選択します。
「ロール名」	ユーザに割り当てるロールを選択します。 admin ユーザには administrator ロールしか割り当てることはできません。
「オートログアウト」	WinActor Manager にログインした状態で一定時間操作しないときに、自動的にログアウトするまでの時間を秒単位で入力します。プルダウンからの選択、もしくはエディットボックスへ直接指定することができます。初期値は、設定画面の「オートログアウト初期値」で設定した値となります。 数値については、以下を参考にしてください。 1800：　30 分 86400：　1 日
「メモ」	200 文字以下で、メモを入力できます。
「WinActor」	ユーザに紐づく WinActor を指定します。 ユーザに紐づく WinActor を設定することで、シンプルモードでシナリオを実行する際に、設定した WinActor を用いてシナリオを実行します。シンプルモードで利用するユーザに WinActor を指定する場合は、ユーザと同じ所属か、共有所属の WinActor を指定するようにしてください。 所属が「未所属」の WinActor は選択することができません。
「メールアドレス」	ユーザのメールアドレスを設定します。 メールアドレスは通知が必要なユーザのみ設定してください。
「メール通知契機」	メールアドレスを登録したユーザにメールを通知する契機を設定します。メールアドレスを入力すると選択できるようになります。 メール通知契機については、『11.4.3 メールの通知契機を設定する』を参照してください。

11.4.3 メールの通知契機を設定する

ユーザ登録時に設定するメール通知契機について説明します。

図 11.4-3 メール通知契機

表 11.4-2 メール通知契機

項目	概要
「WinActor 異常通知」	WinActor の状態が「ライセンス失効」「通信エラー」もしくは「停止・再起動状態不正」の状態になった場合にメールを通知します。 WinActor の状態が「エラー停止」の際にメール通知を希望する場合は「タスク終了通知」を設定してください。 送信対象となるのは管理権限を持つユーザおよび対象の WinActor に関連する所属のユーザとなります。
「WinActor 接続数上限通知」	WinActor の接続数に上限が設定されている場合に接続数が上限に達した場合、および、WinActor の接続数が上限を超えている状態で WinActor が起動した場合にメール通知します。 送信対象となるのは管理権限を持つユーザとなります。

項目	概要
「ライセンス期限通知」	WinActor のライセンス有効期限満了 31 日前、および満了になった場合にメール通知します。 送信対象となるのは管理権限を持つユーザとなります。 NL 版の WinActor の場合： WinActor 単位でメール通知します。複数の WinActor が対象になる場合は 1 台のみ WinActor 名をメールに記載し、「他○台」としてご連絡しますので WinActor 画面にて有効期限を確認してください。 ライセンス有効期限が切れた WinActor をそのまま接続している場合、31 日毎に有効期限満了メールが送信されます。 FL 版の WinActor の場合： ライセンス画面に表示されているライセンス名単位でメール通知します。複数のライセンス名が対象になる場合は 1 つのみライセンス名を記載し、「他○件」としてご連絡しますのでライセンス画面にて有効期限を確認してください。 FL 版の場合は NL 版と異なり、有効期限が切れた後の 31 日毎の有効期限満了メールの送信はありません。
「未所属 WinActor 接続通知」	WinActor 登録時の所属の初期値を「未所属」とした場合などで、「未所属」として WinActor が新規登録された場合、および、「未所属」の WinActor が起動した場合にメール通知します。 送信対象となるのは管理権限を持つユーザとなります。
「タスク終了通知」	タスク実行終了時にメールを通知します。メールの送信は「送信しない」「終了時に送信する」「正常終了時のみ送信する」「異常終了時のみ送信する（「異常停止」もしくは「異常終了」の状態の場合に送信）」からスケジュール登録時に選択することが可能です。 » その他の設定項目については、『7.9 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。 » メールの送信条件はスケジュール登録時に設定します。設定方法は『7.9 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。 送信対象となるのは管理権限を持つユーザおよび対象のタスクに関連する所属のユーザとなります。 例 1 ： タスクの所属が A-B の場合、所属 A、所属 A-B のユーザにメールが送信されます。 例 2 ： タスクの所属が共有の場合、所属に関係なくメールが送信されます。
「承認通知」	対象ユーザの承認待ちのステージがある場合にメールを通知します。

項目	概要
「ライセンス数上限通知」	使用しているライセンス数が契約ライセンス数に達した場合、ライセンスグループに設定したライセンス数に達した場合、残りのラインセス数が警告メール通知設定で指定した残数を下回った場合にメール通知します。 送信対象となるのは管理権限を持つユーザとなります。 本メールには同じメールが何度も送信されないよう、1 日 1 通の制限があります。 『14.5 警告メール通知設定を更新する』
「ストレージ使用量超過通知」	ファイルサイズが 80 ギガバイトを超えた場合と、100 ギガバイトを超えた場合にメール通知します。 送信対象となるのは管理権限を持つユーザとなります。 本メールには同じメールが何度も送信されないよう、月に 1 通の制限があります。 総ファイルサイズには、100 ギガバイトの制限があります。 制限を超えないように、定期的に不要なファイルを削除するようにしてください。
「通信量超過通知」	1 ヶ月の通信量が 500 ギガバイトを超えた場合にメール通知します。 送信対象となるのは管理権限を持つユーザとなります。 本メールには同じメールが何度も送信されないよう、月に 1 通の制限があります。 通信量が増加する一因として各シナリオや入出力データのサイズが大きすぎることが考えられます。 不要なデータを保持していないかなどシナリオの見直しなども合わせてご検討ください。

11.5 ユーザ情報を更新する

ユーザの情報を個別に更新する手順について説明します。

ユーザの情報を一括で更新する手順については、『11.10 ユーザを一括処理する』を参照してください。

Steps

1. 更新したいユーザの「詳細情報」エリアで、[更新]ボタンをクリックします。

ユーザの「情報更新」エリアが表示されます。

2. 必要に応じて、ユーザの情報を修正し、[OK]ボタンをクリックします。

ユーザの設定項目については、『11.4.2 ユーザ新規作成の設定項目』を参照してください。

- admin ユーザには administrator ロールしか割り当てることはできません。
- 「ユーザ ID」「生成日時」「更新日時」は、シナリオを新規作成または更新したときに自動的に生成されるため、変更できません。
- 「ユーザ名」は変更できません。
- パスワードを変更しない場合は、「パスワード」と「パスワード（確認用）」を空のままにしてください。

ユーザが更新され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

3. [閉じる]ボタンをクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

11.6 テストメールを送信する

メールアドレスを登録したユーザにテストメールを送信し、正しいメールアドレスが登録されているか確認する手順について説明します。

Steps

1. テストメール送信したいユーザの「詳細情報」エリアで、［テストメール送信］ボタンをクリックします。

メールが送信され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

登録したメールアドレスにメールが送信されているか確認してください。

2. ［閉じる］ボタンをクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

11.7 ロックを解除する

5 回連続してログインに失敗するとロックされ、ログインできなくなります。ユーザのロックを解除する手順について説明します。

Steps

1. ロック解除したいユーザの「詳細情報」エリアで、［ロック解除］ボタンをクリックします。

ロックが解除され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

2. ［閉じる］ボタンをクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

11.8 ユーザの無効／有効を切り替える

登録されているユーザは、以下の手順で無効／有効を切り替えることができます。

ユーザを無効とするためには、ユーザに設定されている承認設定をすべて削除する必要があります。無効化したいユーザを承認者として設定しているスケジュールの削除をお願いします。

ユーザを無効とすると、そのユーザアカウントでログインできなくなります。
また、無効化したユーザに対してはユーザ情報の確認、無効化の解除、削除のみが可能になります。

Steps

1. 有効なユーザを無効に設定します。

❶ ユーザの「検索結果一覧」で、無効にしたいユーザをクリックします。

ユーザの「詳細情報」エリアが表示されます。

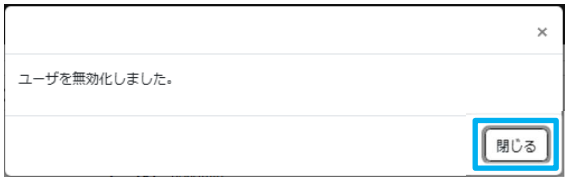
❷ ［状態］ボタンをクリックします。

メニューが開きます。「無効」を選択するとユーザ無効化の確認ダイアログが表示されます。

❸ ［OK］をクリックします。

ユーザが無効に設定され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

❹ ［閉じる］をクリックします。



メッセージダイアログが閉じます。

2. 無効なユーザを有効に設定します。

❶ ユーザの「検索結果一覧」で、有効にしたいユーザをクリックします。

無効に設定されているユーザは、薄いグレーの文字で表示されています。

ユーザの「詳細情報」エリアが表示されます。

❷ ［状態］ボタンをクリックします。

メニューが開きます。「有効」を選択するとユーザ有効化の確認ダイアログが表示されます。

❸ ［OK］をクリックします。

ユーザが有効に設定され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

❹ ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます

11.9 ユーザを削除する

WinActor Manager からユーザを個別に削除する手順について説明します。

ユーザを一括で削除する手順については、『11.10 ユーザを一括処理する』を参照してください。

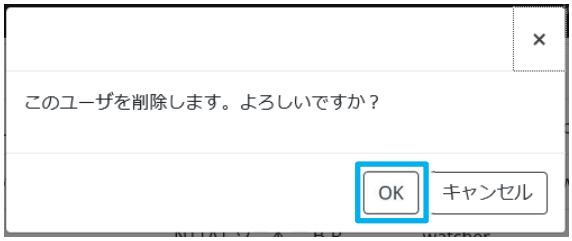
Steps

1. 削除したいユーザの「詳細情報」エリアで、［削除］ボタンをクリックします。

admin ユーザの詳細情報、および自分自身の詳細情報ではボタンの文字が薄いグレーで表示され、この操作は実行できません。

削除の確認ダイアログが表示されます。

2. ［OK］をクリックします。



ユーザが削除され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

3. ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

11.10 ユーザを一括処理する

多数のユーザを登録、更新、削除する場合、ユーザを個別に作成するのではなく、ファイルから一括で情報を取り込むことができます。

11.10.1　　ユーザ情報をファイルに出力する

現在 WinActor Manager に登録されているユーザ情報を、CSV 形式のファイルに出力する手順について説明します。

この説明では、使用ブラウザを Google Chrome としています。

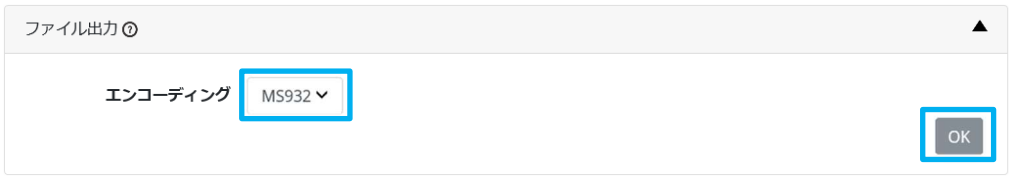
Steps

1. ユーザの「検索結果一覧」エリアで、［エクスポート］ボタンをクリックします。

「ファイル出力」エリアが表示されます。

2. ドロップダウンリストからファイルのエンコーディング方式を選択して、［エクスポート］ボタンをクリックします。

エンコーディング方式では、Shift_JIS 系の「MS932」または Unicode の「UTF-8」を選択できます。



ファイルのダウンロードが開始されます。

ダウンロードが完了すると、ダウンロードしたファイルを確認するメッセージが表示されます。

3. ［×］ボタンをクリックします。

ファイルの保存が完了します。

11.10.2　　取り込み用ユーザ情報ファイルのフォーマット

ユーザ情報を取り込むには、ユーザの新規作成、更新、削除に応じた CSV 形式のユーザ情報ファイルを用意する必要があります。

ユーザ情報ファイルの 1 行目はヘッダになるため、読み込まれません。

表 11.10-1 ユーザ新規登録のフォーマット

ヘッダ名	必須	概要
name	○	作成するユーザの名前を、64 文字以下で指定します。半角英数字の他に、以下の記号を設定することができます。 ただし、「admin」は指定できません。 ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~ 先頭に付与された ‘ は読み込み時に削除されますのでご注意下さい。
departmentId		WinActor Manager に設定されている所属 ID を指定します。 省略した場合は、「共有」の所属になります。 先頭に付与された ‘ は読み込み時に削除されますのでご注意下さい。
departmentName		所属 ID に対する所属名が入ります。ただし、参照されないため、指定する必要はありません。
role	○	WinActor Manager に設定されているロール ID を指定します。 先頭に付与された ‘ は読み込み時に削除されますのでご注意下さい。
autoLogout		WinActor Manager にログインした状態で一定時間操作しないときに、自動的にログアウトするまでの時間を秒単位で入力します。省略した場合、60 が設定されます。 数値については、以下を参考にしてください。 1800：　30 分 86400：　1 日
description		作成するユーザのメモを、200 文字以下で指定します。 先頭に付与された ‘ は読み込み時に削除されますのでご注意下さい。
password	○	作成するユーザのパスワードを、8 文字以上 64 文字以下で指定します。半角英数字の他に、以下の記号を設定することができます。 ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~

ヘッダ名	必須	概要
email		作成するユーザのメールアドレスを指定します。 先頭に付与された ' は読み込み時に削除されますのでご注意下さい。
notifyApproval		作成するユーザのメールアドレスに承認通知のメールを送信する場合に TRUE を指定します。
notifyTask		作成するユーザのメールアドレスにタスク終了通知のメールを送信する場合に TRUE を指定します。
notifyWinactor		作成するユーザのメールアドレスに WinActor 異常通知のメールを送信する場合に TRUE を指定します。
notifyWinactorLimit		作成するユーザのメールアドレスに WinActor 接続数上限通知のメールを送信する場合に TRUE を指定します。
notifyUndefinedWinactor		作成するユーザのメールアドレスに未所属 WinActor 接続通知のメールを送信する場合に TRUE を指定します。
notifyWinactorLicense		作成するユーザのメールアドレスにライセンス期限通知のメールを送信する場合に TRUE を指定します。
notifyTraffic		作成するユーザのメールアドレスに通信量超過通知のメールを送信する場合に TRUE を指定します。
notifyStorage		作成するユーザのメールアドレスにストレージ使用量超過通知のメールを送信する場合に TRUE を指定します。
notifyRemainingLicense		作成するユーザのメールアドレスにライセンス数上限通知のメールを送信する場合に TRUE を指定します。
winactorId		作成するユーザに設定する WinActorID を指定します。

表 11.10-2 ユーザ更新のフォーマット

ヘッダ名	必須	概要
name	○	更新するユーザの名前を、64 文字以下で指定します。半角英数字の他に、以下の記号を設定することができます。 ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~ 先頭に付与された ' は読み込み時に削除されますのでご注意下さい。
departmentId		WinActor Manager に設定されている所属 ID を指定します。 省略した場合は、「共有」の所属になります。 先頭に付与された ' は読み込み時に削除されますのでご注意下さい。
departmentName		所属 ID に対する所属名が入ります。ただし、参照されないため、指定する必要はありません。

ヘッダ名	必須	概要
role	○	WinActor Manager に設定されているロール ID を指定します。 先頭に付与された ‘ は読み込み時に削除されますのでご注意下さい。
autoLogout		WinActor Manager にログインした状態で一定時間操作しないときに、自動的にログアウトするまでの時間を秒単位で入力します。省略した場合、60 が設定されます。 数値については、以下を参考にしてください。 1800： 30 分 86400： 1 日
description		更新するユーザのメモを、200 文字以下で指定します。 先頭に付与された ‘ は読み込み時に削除されますのでご注意下さい。
password		更新するユーザのパスワードを、8 文字以上 64 文字以下で指定します。半角英数字の他に、以下の記号を設定することができます。 ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~
email		更新するユーザのメールアドレスを指定します。 先頭に付与された ‘ は読み込み時に削除されますのでご注意下さい。
notifyApproval		更新するユーザのメールアドレスに承認通知のメールを送信する場合に TRUE、送信しない場合は FALSE を指定します。
notifyTask		更新するユーザのメールアドレスにタスク終了通知のメールを送信する場合に TRUE、送信しない場合は FALSE を指定します。
notifyWinactor		更新するユーザのメールアドレスに WinActor 異常通知のメールを送信する場合に TRUE、送信しない場合は FALSE を指定します。
notifyWinactorLimit		更新するユーザのメールアドレスに WinActor 接続数上限通知のメールを送信する場合に TRUE、送信しない場合は FALSE を指定します。
notifyUndefinedWinactor		更新するユーザのメールアドレスに未所属 WinActor 接続通知のメールを送信する場合に TRUE、送信しない場合は FALSE を指定します。
notifyWinactorLicense		更新するユーザのメールアドレスにライセンス期限通知のメールを送信する場合に TRUE、送信しない場合は FALSE を指定します。
notifyTraffic		更新するユーザのメールアドレスに通信量超過通知のメールを送信する場合に TRUE、送信しない場合は FALSE を指定します。

ヘッダ名	必須	概要
notifyStorage		更新するユーザのメールアドレスにストレージ使用量超過通知のメールを受け取る場合に TRUE を指定します。
notifyRemainingLicense		更新するユーザのメールアドレスにライセンス数上限通知のメールを受け取る場合に TRUE を指定します。
winactorId		更新するユーザに設定する WinActorID を指定します。

表 11.10-3 ユーザ削除のフォーマット

ヘッダ名	必須	概要
name	○	更新するユーザの名前を、64 文字以下で指定します。半角英数字の他に、以下の記号を設定することができます。 ただし、「admin」は指定できません。 ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~ 先頭に付与された ‘ は読み込み時に削除されますのでご注意下さい。
departmentId		参照されないため、指定する必要はありません。
departmentName		参照されないため、指定する必要はありません。
role		参照されないため、指定する必要はありません。
autoLogout		参照されないため、指定する必要はありません。
description		参照されないため、指定する必要はありません。
password		参照されないため、指定する必要はありません。
email		参照されないため、指定する必要はありません。
notifyApproval		参照されないため、指定する必要はありません。
notifyTask		参照されないため、指定する必要はありません。
notifyWinactor		参照されないため、指定する必要はありません。
notifyWinactorLimit		参照されないため、指定する必要はありません。
notifyUndefinedWinactor		参照されないため、指定する必要はありません。
notifyWinactorLicense		参照されないため、指定する必要はありません。
notifyTraffic		参照されないため、指定する必要はありません。
notifyStorage		参照されないため、指定する必要はありません。
notifyRemainingLicense		参照されないため、指定する必要はありません。
winactorId		参照されないため、指定する必要はありません。

11.10.3　　ユーザ情報をファイルから取り込む

CSV 形式のユーザ情報ファイルに記載されているユーザ情報を、一括で WinActor Manager に登録する手順について説明します。

同様の手順で、ユーザ情報を更新または削除することができます。

Steps

1. ユーザの「検索結果一覧」エリアで、［インポート］ボタンをクリックします。

「データ取込」エリアが表示されます。

2. データ取り込みの設定をして、ファイルを取り込みます。

❶ ［参照］ボタンをクリックして、取り込み用のユーザ情報ファイルを選択します。

必ず、処理タイプ（新規登録、更新、削除）に応じた CSV フォーマットの取り込みファイルを用意してください。

『11.10.2 取り込み用ユーザ情報ファイルのフォーマット』

❷ ドロップダウンリストから、エンコーディング方式を選択します。

エンコーディング方式では、Shift_JIS 系の「MS932」または Unicode の「UTF-8」を選択できます。

❸ 処理タイプを選択します。

❹ ［インポート］ボタンをクリックします。

インポートの確認ダイアログが表示されます。

3. ［OK］をクリックします。

ファイルからユーザ情報が取り込まれ、結果のメッセージダイアログが表示されます。

4. ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

5. 「検索結果一覧」エリアで、ユーザ情報が取り込まれたことを確認します。

12. 所属を管理する

所属機能を利用すると、WinActor Manager で管理する対象の範囲（スコープ）を定義できるため、同一企業の中でグループ分けして管理できます。

たとえば、所属によって実行できるシナリオを分けたり、ファイルを他の所属のユーザが見れないようにしたりといった設定が可能です。

標準の所属として、「共有」が用意されています。ファイル、シナリオ、スケジュールに所属を指定しないと、標準の「共有」が設定されます。

12.1 所属画面の全体構成

「所属」画面を構成する各要素について説明します。

図 12.1-1 所属画面の全体構成

それぞれのエリアの右上にある▲をクリックすると、エリアの表示／非表示を切り替えることができます。

表 12.1-1 所属画面の構成要素

No.	項目	概要
❶	「検索条件」	条件を設定して登録されている所属を検索するためのエリアです。 『12.2.1 所属の検索条件』
❷	「検索結果一覧」	❶の検索条件にあてはまる所属が一覧表示されます。 所属の新規作成、表示順更新、一括処理（インポートとエクスポート）はこのエリアから操作します。 『12.2.2 所属の検索結果一覧の詳細』
❸	「詳細情報」	❷の検索結果一覧で選択した所属の詳細が表示されます。 所属の更新と削除はこのエリアから操作します。 『12.3 所属の詳細情報を表示する』

12.2 所属を検索する

検索条件を設定して、所属を検索します。

情報の検索手順については、『2.4 情報を検索する』を参照してください。
所属の検索条件については、『12.2.1 所属の検索条件』を参照してください。
所属の検索結果一覧の詳細については、『12.2.2 所属の検索結果一覧の詳細』を参照してください。

12.2.1 所属の検索条件

所属を検索する場合、以下の検索条件を設定できます。

図 12.2-1 所属の検索条件の表示例

表 12.2-1 所属の検索条件

項目	概要
「所属 ID」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 完全一致 入力した所属 ID と完全に一致している所属を検索 • 部分一致 入力した所属 ID の一部が含まれている所属を検索 対象の所属 ID は、所属情報のファイル出力時などに確認できます。 『12.8.1 所属情報をファイルに出力する』
「所属」	ドロップダウンリストから、所属を選択します。 選択した所属が含まれる所属が検索結果一覧に表示されます。

12.2.2 所属の検索結果一覧の詳細

「検索結果一覧」には、「検索条件」で設定した条件にあてはまる所属が一覧表示されます。

図 12.2-2 所属の検索結果一覧の表示例

表 12.2-2 所属の検索結果一覧の項目

No.	項目	概要
❶	検索結果一覧	検索条件にあてはまる所属が一覧表示されます。 左から、第 1 階層（親所属）、第 2 階層（子所属）、第 3 階層（孫所属）が表示されます。
❷	所属総数	検索条件にあてはまった所属の総数が表示されます。
❸	ページ表示数	ドロップダウンリストから、1 ページあたりの表示件数を選択できます。 選択肢は、「10」「25」「50」「100」です。リストから値を変更すると別の画面への遷移時や再ログイン時も指定した値が使用されます。
❹	ページ切り替え	ページ番号をクリックして、ページを切り替えることができます。現在のページは青で表示されています。 ［≫］をクリックすると、次のページが表示されます。 ［≪］をクリックすると、前のページが表示されます。 ［≫≫］をクリックすると、最後のページが表示されます。 ［≪≪］をクリックすると、先頭のページが表示されます。
❺	［表示順更新］ボタン	「検索結果一覧」エリアに表示される所属の順番を変更できます。 『12.5 所属の表示順を変更する』
❻	［エクスポート］ボタン	クリックすると、所属情報を CSV 形式のファイルに出力できます。 『12.8.1 所属情報をファイルに出力する』
❼	［インポート］ボタン	クリックすると、所属情報を CSV 形式のファイルから取り込むことができます。 『12.8.3 所属情報をファイルから取り込む』

No.	項目	概要
❽	［新規作成］ボタン	クリックすると、所属を作成するための「新規作成」エリアが表示されます。 『12.4 所属を新規作成する』
❾	［リロード］ボタン	検索結果をリロードします。

12.3 所属の詳細情報を表示する

所属の「詳細情報」エリアでは、所属の詳細情報の表示に加え、所属情報の更新と削除をすることができます。

詳細情報の表示手順については、『2.4.3 詳細情報を表示する』を参照してください。
所属の「詳細情報」エリアの構成については、『12.3.1 所属の詳細情報の構成要素』を参照してください。

12.3.1 所属の詳細情報の構成要素

所属の「詳細情報」エリアの構成は、以下のとおりです。

図 12.3-1 所属の詳細情報エリアの表示例

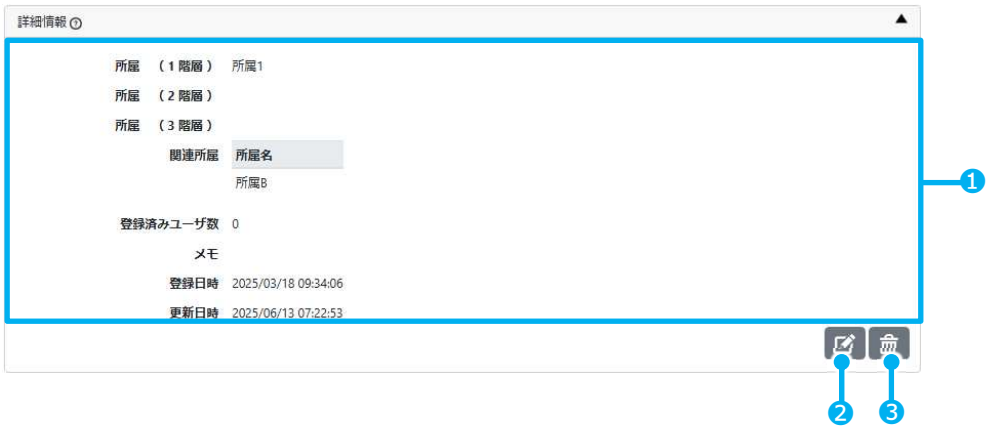


表 12.3-1 所属の詳細情報エリアの項目

No.	項目	概要
❶	詳細情報	登録されている所属の情報が表示されます。 • 所属（1 階層）～所属（3 階層） 1 階層（親所属）、2 階層（子所属）、3 階層（孫所属）が表示されます。 • 関連所属 関連する所属の名前が表示されます。 • 登録済みユーザ数 所属に登録されているユーザの人数が表示されます。 • メモ 所属のメモが表示されます。 • 登録日時 所属を登録した日時が表示されます。 • 更新日時 所属を更新した日時が表示されます。
❷	［更新］ボタン	クリックすると、選択している所属の情報を更新するための「情報更新」エリアが表示されます。 『12.6 所属を更新する』

No.	項目	概要
❸	［削除］ボタン	クリックすると、選択している所属を削除できます。 『12.7 所属を削除する』

12.4 所属を新規作成する

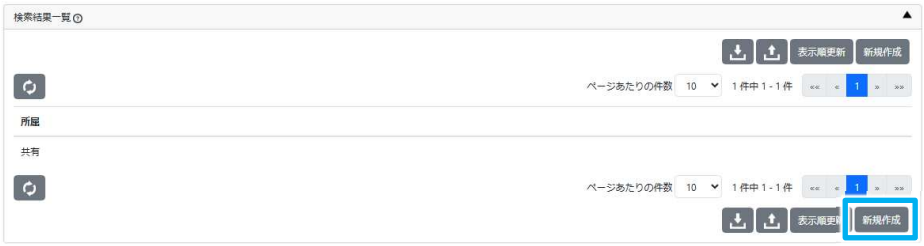
所属を個別に作成する方法について説明します。

所属を一括で作成する手順については、『12.8 所属を一括処理する』を参照してください。

所属は、3 階層で構成できます。ここでは、最上位（1 階層）の所属を作成し、さらに 2 階層の所属を作成する手順について説明しています。

Steps

1. 所属の「検索結果一覧」エリアで、［新規作成］ボタンをクリックします。



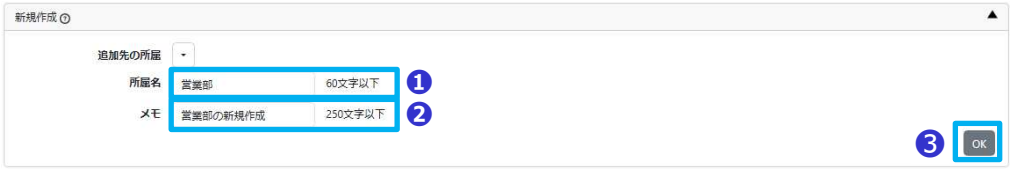
所属の「新規作成」エリアが表示されます。

2. 情報を設定して、第 1 階層の所属を作成します。

❶ 「所属名」に、作成する所属の名前を、60 文字以下で入力します。

❷ 「メモ」に、作成する所属のメモを、200 文字以下で入力します。

❸ ［OK］ボタンをクリックします。



所属が作成され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

3. ［閉じる］ボタンをクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

4. 「検索結果一覧」エリアで、所属が作成されていることを確認します。

5. 再度、所属の「検索結果一覧」エリアで、［新規作成］ボタンをクリックします。

6. 情報を設定して、第 2 階層目の所属を作成します。

❶ 「追加先の所属」ドロップダウンから、作成する所属の上位所属を選択します。

「追加先の所属」は、一度設定すると変更することはできません。

❷ 「所属名」に、作成する所属の名前を、60 文字以下で入力します。

❸ 「メモ」に、作成する所属のメモを、200 文字以下で入力します。

❹ ［OK］ボタンをクリックします。

所属が作成され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

7. ［閉じる］ボタンをクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

8. 「検索結果一覧」エリアで、所属が作成されていることを確認します。

必要に応じて、Step 7 までを繰り返し、第 3 階層の所属を作成します。第 3 階層の所属作成時は「追加先の所属」のプルダウンから「第 1 所属 第 2 所属」（今回の例では「営業部 営業 1 課」）という項目を選択してください。

12.5 所属の表示順を変更する

「検索結果一覧」エリアに表示される所属の順番を変更する手順について説明します。

Steps

1. 所属の「検索結果一覧」エリアで、[表示順更新]ボタンをクリックします。

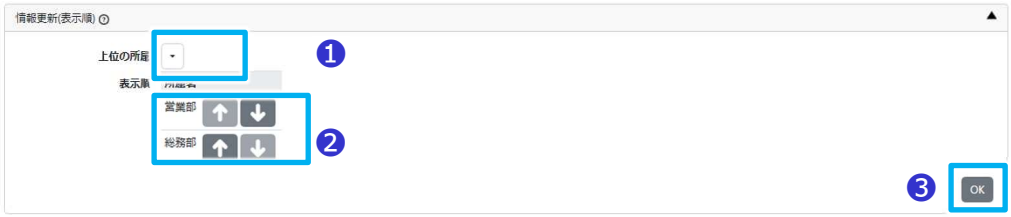
「情報更新（表示順）」エリアが表示されます。

2. 表示順の設定をして、表示順を更新します。

❶ 表示順を変更する所属の上位の所属を選択します。

❷ [↓][↑]ボタンをクリックして、所属の順番を変更します。

❸ [OK]ボタンをクリックします。



所属の表示順が変更され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

3. ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

12.6 所属を更新する

所属の情報を個別に更新する手順について説明します。

所属の情報を一括で更新する手順については、『12.8 所属を一括処理する』を参照してください。

Steps

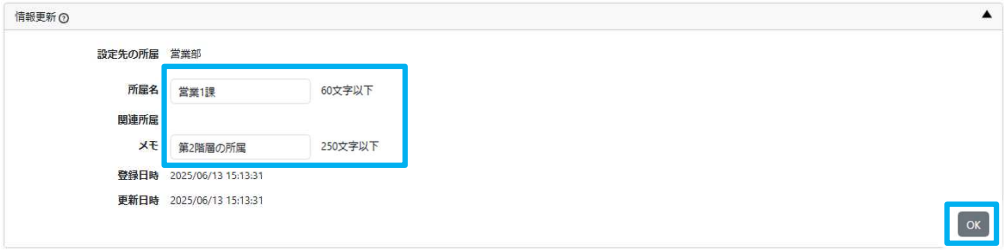
1. 更新したい所属の「詳細情報」エリアで、［更新］ボタンをクリックします。

所属の「情報更新」エリアが表示されます。

2. 必要に応じて、所属の情報を修正し、［OK］ボタンをクリックします。

所属の設定項目については、『12.4 所属を新規作成する』を参照してください。

- 「登録日時」「更新日時」は、所属を新規作成または更新したときに自動的に生成されるため、変更できません。
- 「設定先の所属」は、変更できません。



所属が更新され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

3. ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

12.7 所属を削除する

WinActor Manager から所属を個別に削除する手順について説明します。

所属を一括で削除する手順については、『12.8 所属を一括処理する』を参照してください。

下位の所属がある場合やユーザが登録されている場合、所属は削除できません。

Steps

1. 削除したい所属の「詳細情報」エリアで、［削除］ボタンをクリックします。

削除の確認ダイアログが表示されます。

2. ［OK］をクリックします。

所属が削除され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

3. ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

12.8 所属を一括処理する

多数の所属を登録、更新、削除する場合、所属を個別に作成するのではなく、ファイルから一括で情報を取り込むことができます。

12.8.1 所属情報をファイルに出力する

現在 WinActor Manager に登録されている所属の情報を、CSV 形式のファイルに出力する手順について説明します。

この説明では、使用ブラウザを Google Chrome としています。

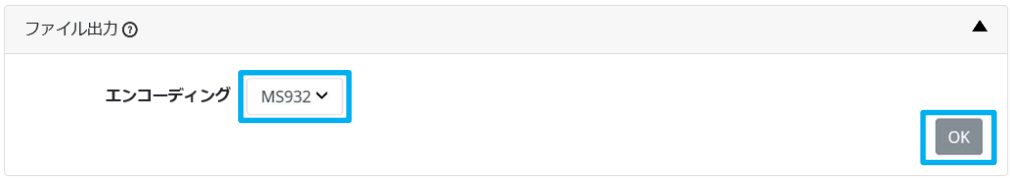
Steps

1. 所属の「検索結果一覧」エリアで、[エクスポート] ボタンをクリックします。

「ファイル出力」エリアが表示されます。

2. ドロップダウンリストからファイルのエンコーディング方式を選択して、[OK] ボタンをクリックします。

エンコーディング方式では、Shift_JIS 系の「MS932」または Unicode の「UTF-8」を選択できます。



ファイルのダウンロードが開始されます。

ダウンロードが完了すると、ダウンロードしたファイルを確認するメッセージが表示されます。

3. [×] ボタンをクリックします。

ファイルの保存が完了します。

12.8.2 取り込み用所属情報ファイルのフォーマット

所属情報を取り込むには、所属の新規作成、更新、削除に応じた CSV 形式の所属情報ファイルを用意する必要があります。

所属情報ファイルの 1 行目はヘッダになるため、読み込まれません。
更新時、複数階層をまとめて更新することは出来ません。1 階層ずつ複数回に分けて更新してください。

表 12.8-1 所属の新規登録のフォーマット

ヘッダ名	必須	概要
name1	○	作成する所属（第 1 階層・親所属）の名前を、60 文字以下で指定します。 先頭に付与された ‘ は読み込み時に削除されますのでご注意下さい。
name2		作成する所属（第 2 階層・子所属）の名前を、60 文字以下で指定します。 先頭に付与された ‘ は読み込み時に削除されますのでご注意下さい。
name3		作成する所属（第 3 階層・孫所属）の名前を、60 文字以下で指定します。 先頭に付与された ‘ は読み込み時に削除されますのでご注意下さい。
description		作成する所属のメモを、200 文字以下で指定します。 先頭に付与された ‘ は読み込み時に削除されますのでご注意下さい。

表 12.8-2 所属の更新のフォーマット

ヘッダ名	必須	概要
Id		参照されないため、指定する必要はありません。
name1	○	更新する前の所属（第 1 階層・親所属）の名前を、60 文字以下で指定します。 先頭に付与された ‘ は読み込み時に削除されますのでご注意下さい。

ヘッダ名	必須	概要
name2		更新する前の所属（第 2 階層・子所属）の名前を、60 文字以下で指定します。 先頭に付与された ‘ は読み込み時に削除されますのでご注意下さい。
name3		更新する前の所属（第 3 階層・孫所属）の名前を、60 文字以下で指定します。 先頭に付与された ‘ は読み込み時に削除されますのでご注意下さい。
description		更新する所属のメモを、200 文字以下で指定します。 先頭に付与された ‘ は読み込み時に削除されますのでご注意下さい。
newName		変更後の所属の名前を、60 文字以下で指定します。 省略した場合は、更新の対象外になります。

表 12.8-3 所属の削除のフォーマット

ヘッダ名	必須	概要
Id		参照されないため、指定する必要はありません。
name1	○	削除する所属（第 1 階層・親所属）の名前を、60 文字以下で指定します。 先頭に付与された ‘ は読み込み時に削除されますのでご注意下さい。
name2		削除する所属（第 2 階層・子所属）の名前を、60 文字以下で指定します。 先頭に付与された ‘ は読み込み時に削除されますのでご注意下さい。
name3		削除する所属（第 3 階層・孫所属）の名前を、60 文字以下で指定します。 先頭に付与された ‘ は読み込み時に削除されますのでご注意下さい。
description		参照されないため、指定する必要はありません。 先頭に付与された ‘ は読み込み時に削除されますのでご注意下さい。

12.8.3 所属情報をファイルから取り込む

CSV 形式の所属情報ファイルに記載されている所属情報を、一括で WinActor Manager に登録する手順について説明します。

同様の手順で、所属情報を更新または削除することができます。

Steps

1. 所属の「検索結果一覧」エリアで、［インポート］ボタンをクリックします。

所属の「データ取込」エリアが表示されます。

2. データ取り込みの設定をして、ファイルを取り込みます。

❶ ［参照］ボタンをクリックして、取り込み用の所属情報ファイルを選択します。

必ず、処理タイプ（新規登録、更新、削除）に応じた CSV フォーマットの取り込みファイルを用意してください。

『12.8.2 取り込み用所属情報ファイルのフォーマット』

❷ ドロップダウンリストから、エンコーディング方式を選択します。

エンコーディング方式では、Shift_JIS 系の「MS932」または Unicode の「UTF-8」を選択できます。

❸ 処理タイプを選択します。

❹ ［OK］ボタンをクリックします。

インポートの確認ダイアログが表示されます。

3. ［OK］をクリックします。

ファイルから所属情報が取り込まれ、結果のメッセージダイアログが表示されます。

4. ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

5. 「検索結果一覧」エリアで、所属情報が取り込まれたことを確認します。

13. ロールを管理する

「ロール」画面では、WinActor Manager にログインして操作をするユーザに割り当てるロール（役割）を管理します。

WinActor Manager で決められた操作のみをするユーザのために、実行可能な操作をロールとして作成しておくことができます。

この画面は、管理者権限でログインしている場合にのみ表示されます。

13.1 ロールの設定について

WinActor Manager のロールでは、以下の機能ごとに、個別の操作が可能かどうかを設定します。

以下の機能に加えて、ユーザ、所属、ロールの管理機能を有効にしたい場合は、ロールに管理者権限を与える必要があります。

表 13.1-1 ロールの概要

機能	概要
管理者権限	管理者権限を与えるかどうかを設定します。ユーザ、所属、ロールの管理機能を有効にしたい場合は、ロールに管理者権限を与える必要があります。
多要素認証	ロールが割り当てられたユーザがログインする際に、多要素認証を「設定必須」「設定可能」「設定不可」のいずれとするかを設定します。administrator ロールは本項目のみ参照・更新が可能となります。 多要素認証については以下を参照してください。 『17 多要素認証を設定する』
シンプルモード	ロールが割り当てられたユーザがシンプルモードを利用するかを設定します。 シンプルモードについては以下を参照してください。 『WinActor Manager on Cloud シンプルモードユーザーマニュアル』 シンプルモードで「有効」を指定すると、多要素認証とシンプルモード以外の設定を変更することはできません。
ダッシュボード	WinActor Manager の状態、WinActor 情報、タスク情報を取得して、ダッシュボードに表示する機能を利用できるかどうかを設定します。 WinActor 情報の取得には、管理者権限が必要です。 ダッシュボードはログインした直後に表示される画面のため、いずれかの機能を利用できるように設定する必要があります。

機能	概要
WinActor	WinActor の情報取得（一覧取得、詳細取得）、情報の更新と削除、制御（停止、再起動、クリーン）、タスク割当の停止／再開等の機能を利用できるかどうかを設定します。 一覧取得と詳細取得の状態は、必ず同じになるように設定してください。
ファイル	ファイルの一覧取得、詳細取得、更新、削除、アップロード、ダウンロード等をする機能を利用できるかどうかを設定します。
シナリオ	シナリオの一覧取得、詳細取得、履歴一覧取得、登録、更新、削除等の機能を利用できるかどうかを設定します。 一覧取得と詳細取得の状態は、必ず同じになるように設定してください。
スケジュール	スケジュールの一覧取得、詳細取得、実行一覧取得、登録、削除、無効化／有効化等をする機能を利用できるかどうかを設定します。 一覧取得と詳細取得の状態は、必ず同じになるように設定してください。
タスク	タスクの一覧取得、詳細取得、削除、取消等をする機能を利用できるかどうかを設定します。 一覧取得と詳細取得の状態は、必ず同じになるように設定してください。
イベント	イベントの一覧取得、CSV 出力の機能を利用できるかどうかを設定します。
ステージ	アンサンブル機能を用いて作成したステージの一覧取得、実行履歴取得、連携スケジュール取得をする機能を利用できるかどうかを設定します。

13.2 標準で用意されているロール

WinActor Manager には、標準で、以下の 3 つのロールが用意されています。

この他に、WinActor Manager の運用などに応じて、独自のロールを作成して、ユーザに割り当てることができます。

- administrator
  管理者のために標準で用意されているロールです。すべてのメニューを利用できます。
  「ライセンス」「ユーザ」「所属」「ロール」「設定」メニューを利用できるのは、管理者権限を持つ administrator が割り当てられているユーザに制限されます。
  administrator ロールは一部の設定を除き更新することはできません。また administrator ロールを削除することはできません。

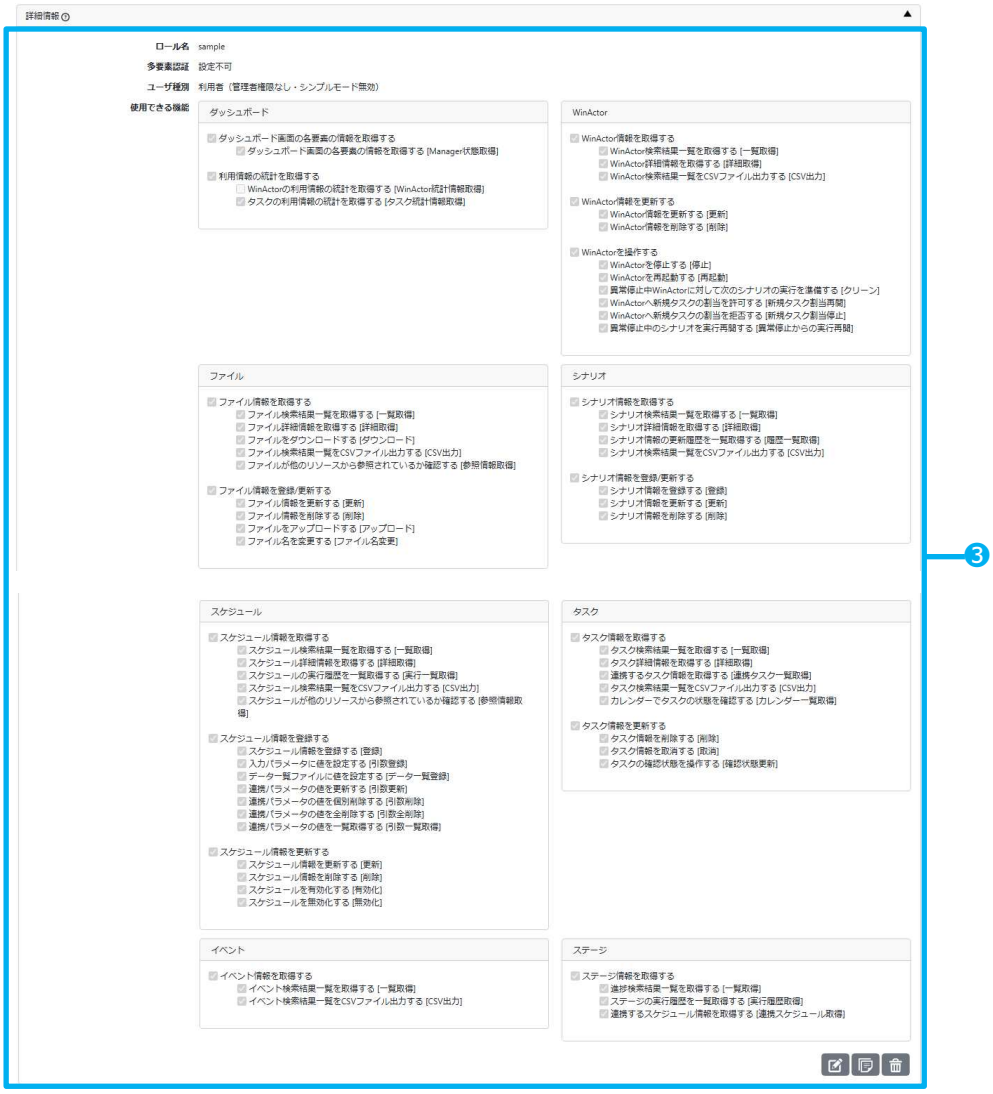
- watcher
  各種状態監視のために標準で用意されているロールです。
  一部の機能に制限がありますが、「ダッシュボード」「WinActor」「タスク」「イベント」メニューを利用できます。

- user
  シナリオの実行指示をするために標準で用意されているロールです。
  「ライセンス」「ユーザ」「所属」「ロール」「設定」メニューは利用できません。
  それ以外のメニューを利用できますが、シナリオの削除、WinActor の制御などはできません。

13.3　ロール画面の全体構成

「ロール」画面を構成する各要素について説明します。

図 13.3-1 ロール画面の全体構成



それぞれのエリアの右上にある▲をクリックすると、エリアの表示／非表示を切り替えることができます。

表 13.3-1 ロール画面の構成要素

No.	項目	概要
❶	「検索条件」	条件を設定して登録されているロールを検索するためのエリアです。 『13.4.1 ロールの検索条件』
❷	「検索結果一覧」	❶の検索条件にあてはまるロールが一覧表示されます。 ロールの新規作成はこのエリアから操作します。 『13.4.2 ロール名の検索結果一覧の詳細』
❸	「詳細情報」	❷の検索結果一覧で選択したロールの詳細が表示されます。 ロールの更新と削除はこのエリアから操作します。 『13.5 ロールの詳細情報を表示する』

13.4　ロールを検索する

検索条件を設定して、ロールを検索します。

- 情報の検索手順については、『2.4 情報を検索する』を参照してください。
- ロールの検索条件については、『13.4.1 ロールの検索条件』を参照してください。
- ロールの検索結果一覧の詳細については、『13.4.2 ロール名の検索結果一覧の詳細』を参照してください。

13.4.1 ロールの検索条件

ロールを検索する場合、以下の検索条件を設定できます。初期状態では「ロール ID」「ロール名」を表示します。「詳細」ボタンをクリックすることで全ての検索条件を表示します。

図 13.4-1 ロールの検索条件（初期状態）の表示例

図 13.4-2 ロールの検索条件（詳細表示）の表示例

表 13.4-1 ロールの検索条件

項目	概要
「ロール ID」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 完全一致 入力したロール ID と完全に一致しているロールを検索 • 部分一致 入力したロール ID の一部が含まれているロールを検索
「ロール名」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 完全一致 入力したロール名と完全に一致しているロールを検索 • 部分一致 入力したロール名の一部が含まれているロールを検索
「ユーザ種別」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。

項目	概要
	• （空欄） 管理者権限を持つロール、持たないロールの両方、および、シンプルモード有効、無効の両方のロールを検索 • 管理者 管理者権限を持つ、かつ、シンプルモードが無効のロールを検索 • 利用者 管理者権限を持たない、かつ、シンプルモードが無効のロールを検索 • シンプルモード利用者 管理者権限を持たない、かつ、シンプルモードが有効のロールを検索 管理者権限を持つ、かつシンプルモードが有効なロールは検索できません。

13.4.2 ロール名の検索結果一覧の詳細

「検索結果一覧」には、「検索条件」で設定した条件にあてはまるロール名が一覧表示されます。

図 13.4-3 ロール名の検索結果一覧の表示例

表 13.4-2 ロール名の検索結果一覧の項目

No.	項目	概要
❶	検索結果一覧	検索条件にあてはまるロールが一覧表示されます。 左から、ロール名と管理者権限の有無が表示されます。
❷	ロール総数	検索条件にあてはまったロールの総数が表示されます。
❸	ページ表示数	ドロップダウンリストから、1 ページあたりの表示件数を選択できます。 選択肢は、「10」「25」「50」「100」です。リストから値を変更すると別の画面への遷移時や再ログイン時も指定した値が使用されます。
❹	ページ切り替え	ページ番号をクリックして、ページを切り替えることができます。現在のページは青で表示されています。 ［≫］をクリックすると、次のページが表示されます。 ［≪］をクリックすると、前のページが表示されます。 ［≫≫］をクリックすると、最後のページが表示されます。 ［≪≪］をクリックすると、先頭のページが表示されます。
❺	［新規作成］ボタン	クリックすると、ロールを作成するための「新規作成」エリアが表示されます。 『13.6 ロールを新規作成する』
❻	［リロード］ボタン	検索結果をリロードします。

13.5　ロールの詳細情報を表示する

ロールの「詳細情報」エリアでは、ロールの詳細情報の表示に加え、ロール情報の更新と削除をすることができます。

詳細情報の表示手順については、『2.4.3 詳細情報を表示する』を参照してください。
ロールの「詳細情報」エリアの構成については、『13.5.1 ロールの詳細情報の構成要素』を参照してください。

13.5.1 ロールの詳細情報の構成要素

ロールの「詳細情報」エリアの構成は、以下のとおりです。

図 13.5-1 ロールの詳細情報エリアの表示例

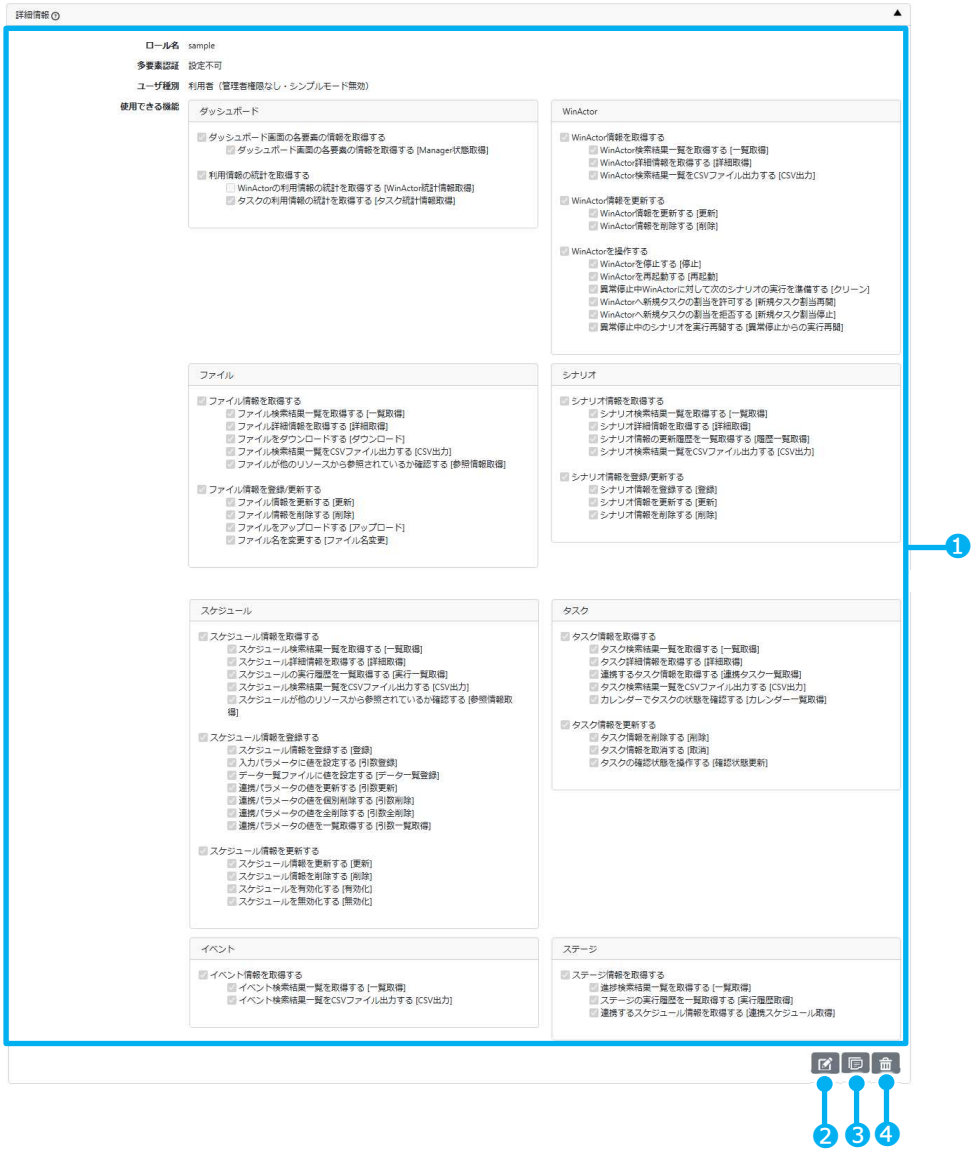


表 13.5-1 ロールの詳細情報エリアの項目

No.	項目	概要
❶	詳細情報	ロールの設定が表示されます。 『13.1 ロールの設定について』
❷	［更新］ボタン	クリックすると、選択しているロールの情報を更新するための「情報更新」エリアが表示されます。 『13.7 ロールを更新する』
❸	［コピー編集］ボタン	クリックすると、選択しているロールの情報をコピーして新規ロールを登録するため「コピー編集」エリアが表示されます。 『13.8 ロールをコピーして登録する』
❹	［削除］ボタン	クリックすると、選択しているロールを削除できます。 『13.9 ロールを削除する』

13.6　ロールを新規作成する

ロールを新規作成する手順について説明します。

Steps

1. ロールの「検索結果一覧」で、[新規作成]ボタンをクリックします。

ロールの「新規作成」エリアが表示されます。

2. ロールを設定して、ロールを作成します。

❶ 「ロール名」に、作成するロールの名前を入力します。

ロール名は、128 文字以下で設定してください。半角英数字の他に、以下の記号を設定することができます。

! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~

---

❷ 「管理者権限」から、管理者権限を与えるかどうかを選択します。

❸ 「利用可否」で、利用したい機能にチェックを付けます。

『13.1 ロールの設定について』

❹ [OK]ボタンをクリックします。

ロールが作成され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

3. ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

13.7　ロールを更新する

ロールを更新する手順について説明します。

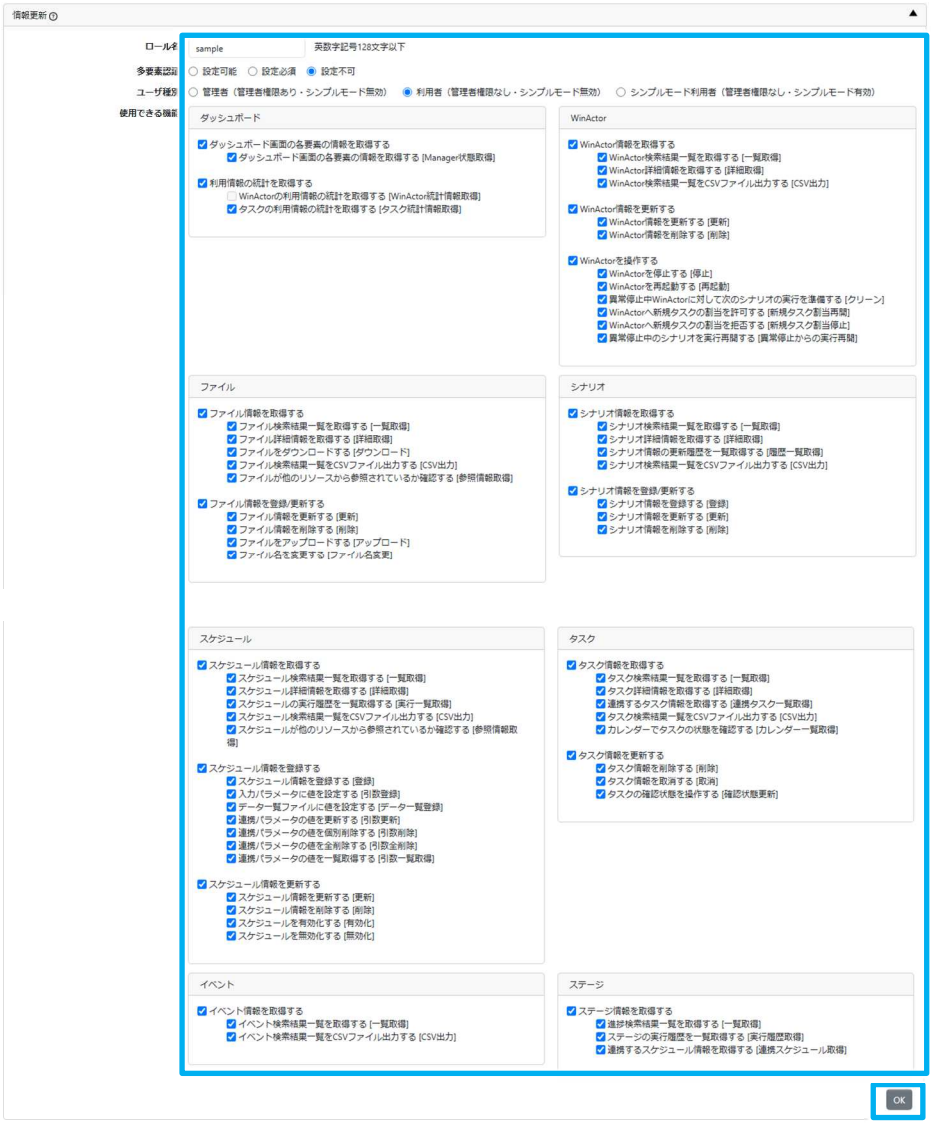
Steps

1. 更新したいロールの「詳細情報」エリアで、［更新］ボタンをクリックします。

ロールの「情報更新」エリアが表示されます。

2. 必要に応じて、ロールの設定を修正し、［OK］ボタンをクリックします。

ロールの設定については、『13.1 ロールの設定について』を参照してください。



ロールが更新され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

3. ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

13.8　ロールをコピーして登録する

登録されているロールをコピーして新しいロールを登録することができます。

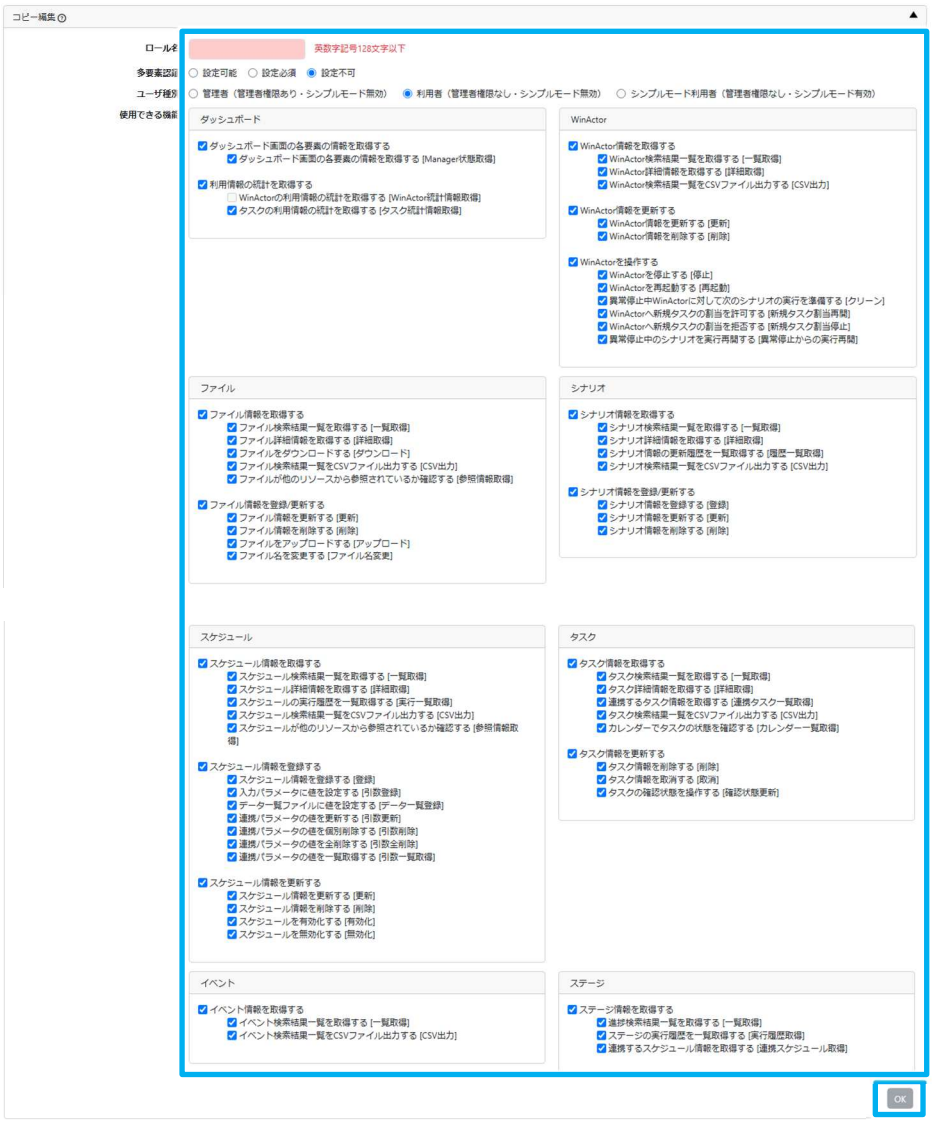
Steps

1. コピー元となるロールの「詳細情報」エリアで、［コピー編集］ボタンをクリックします。

ロールの「コピー編集」エリアが表示されます。

2. 必要に応じて、ロールの設定を修正し、［OK］ボタンをクリックします。

ロールの設定については、『13.1 ロールの設定について』を参照してください。



ロールが作成され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

3. ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

13.9　ロールを削除する

WinActor Manager からロールを削除する手順について説明します。

ロールが割り当てられているユーザがいる場合、ロールは削除できません。

Steps

1. 削除したいロールの「詳細情報」エリアで、［削除］ボタンをクリックします。

削除の確認ダイアログが表示されます。

2. ［OK］をクリックします。

ロールが削除され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

3. ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

14. 各種設定を行う

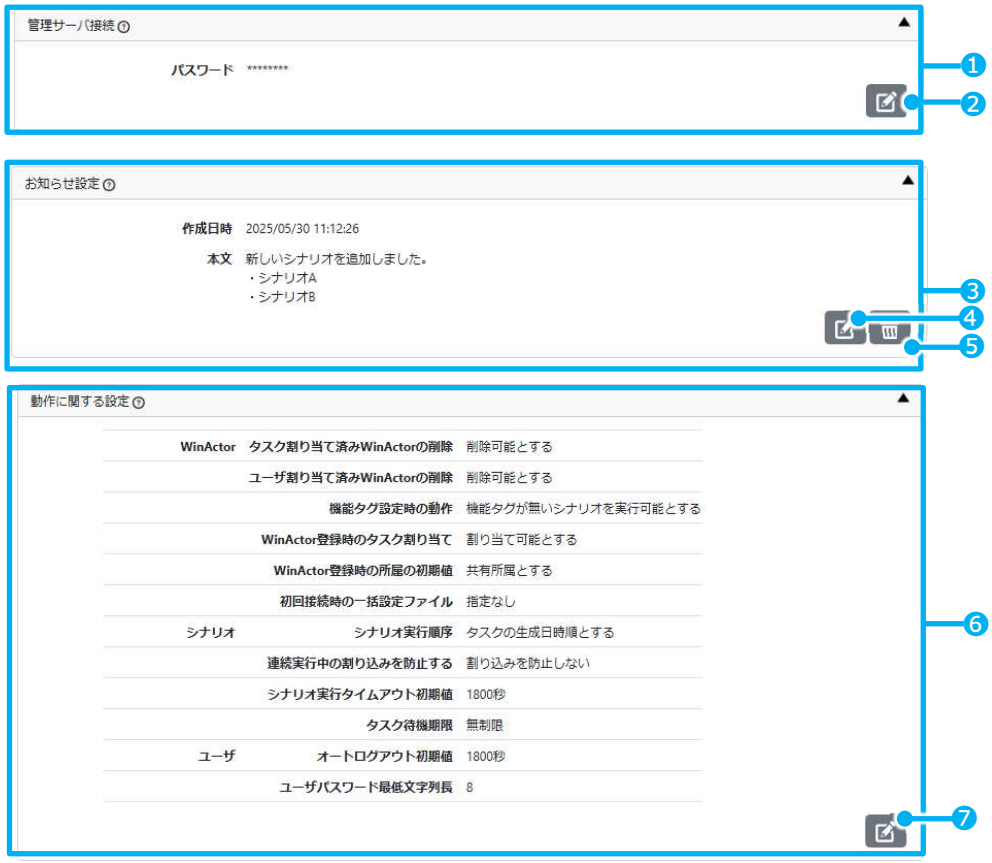
「設定」画面では、管理サーバパスワード、お知らせ設定、動作に関する設定、警告メール通知設定、オプションセットを設定します。

この画面は、管理者権限でログインしている場合にのみ表示されます。

14.1 設定画面の全体構成

「設定」画面を構成する各要素について説明します。

図 14.1-1 設定画面の全体構成



それぞれのエリアの右上にある▲をクリックすると、エリアの表示／非表示を切り替えることができます。

表 14.1-1 設定画面の構成要素

No.	項目	概要
❶	「管理サーバ接続」	管理サーバのパスワードが********で表示されます。
❷	［編集］ボタン	管理サーバのパスワードを編集する場合、このボタンをクリックします。 『14.2 管理サーバのパスワードを更新する』

No.	項目	概要
❸	「お知らせ設定」	現在設定されているお知らせを表示します。お知らせが設定されていない場合は「設定なし」と表示されます。
❹	［編集］ボタン	お知らせ設定を編集する場合、このボタンをクリックします。 『14.3 お知らせ設定を更新する』
❺	［削除］ボタン	お知らせ設定を削除する場合、このボタンをクリックします。ボタンクリック後、確認ダイアログが表示されますので削除する場合は OK ボタンをクリックしてください。
❻	「動作に関する設定」	動作に関する設定を表示します。タスク待機期限、初回接続時の一括設定ファイルの設定などもこの画面から実施します。
❼	［編集］ボタン	動作に関する設定を編集する場合、このボタンをクリックします。 『14.4 動作に関する設定を更新する』
❽	「警告メール通知設定」	残りライセンス数が指定した残数警告値を下回った場合、警告メールが通知されます。この警告メールを通知する際の条件となる残数警告値を表示します。
❾	［編集］ボタン	警告メール通知設定を編集する場合、このボタンをクリックします。 『14.5 警告メール通知設定を更新する』
❿	「オプションセット」	オプションセットの一覧が表示されます。 • オプションセット名 オプションセットの名前が表示されます。 • 説明 オプションセットの説明が表示されます。
⓫	［新規作成］ボタン	オプションセットを新規作成する場合、このボタンをクリックします。 『14.6 オプションセットを新規作成する』

No.	項目	概要
⑫	オプションセットの詳細情報	⑩のオプションセットをクリックすると、オプションセットの詳細情報が表示されます。 • オプションセット ID オプションセットに紐づく ID が表示されます。 • オプションセット名 オプションセットの名前が表示されます。 • 説明 オプションセットの説明が表示されます。 • アーカイブ アーカイブの設定内容が表示されます。 • ログ アーカイブの設定内容が表示されます。 • 異常発生時 異常発生時の設定内容が表示されます。 • 終了時のメール送信 終了時のメール送信の設定内容が表示されます。 • リトライ回数 リトライ回数の設定内容が表示されます。 • リトライ間隔 リトライ間隔の設定内容が表示されます。 • メモ メモの設定内容が表示されます。 アーカイブ、ログ、異常発生時、終了時のメール送信、リトライ回数、リトライ間隔、メモについては、以下を参照してください。 『7.9 シナリオをスケジュール登録する』 オプションセットをシナリオに設定することで、シンプルモードでシナリオを実行する際に、設定されたオプションセット内の設定を用います。
⑬	［更新］ボタン	オプションセットを更新する場合、このボタンをクリックします。 『14.7 オプションセットを更新する』
⑭	［削除］ボタン	オプションセットを削除する場合、このボタンをクリックします。 『14.8 オプションセットを削除する』

14.2 管理サーバのパスワードを更新する

管理サーバのパスワードを更新する手順について説明します。

Steps

1. 「管理サーバ接続」エリアで、［編集］ボタンをクリックします。

「管理サーバ接続」エリアにパスワード変更項目が表示されます。

2. 「旧パスワード」に現在設定されているパスワードを、「新パスワード」と「新パスワード（確認用）」に設定したいパスワードを入力して、［OK］ボタンをクリックします。

パスワードは、8 文字以上 72 文字以下で設定してください。半角英数字の他に、以下の記号を設定することができます。

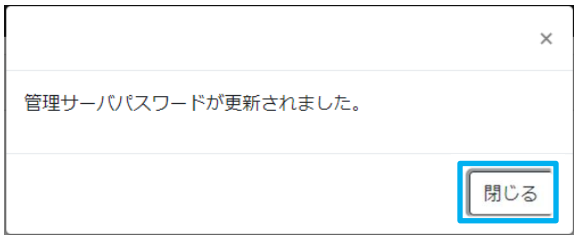
! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~

パスワード更新の確認ダイアログが表示されます。

3. ［OK］をクリックします。

パスワード更新され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

4. ［閉じる］をクリックします。



メッセージダイアログが閉じます。

管理サーバパスワードを変更した場合は WinActor 本体に設定しているパスワードも合わせて変更する必要があります。その際に WinActor 本体の再起動が必要になりますのでご注意ください。

14.3 お知らせ設定を更新する

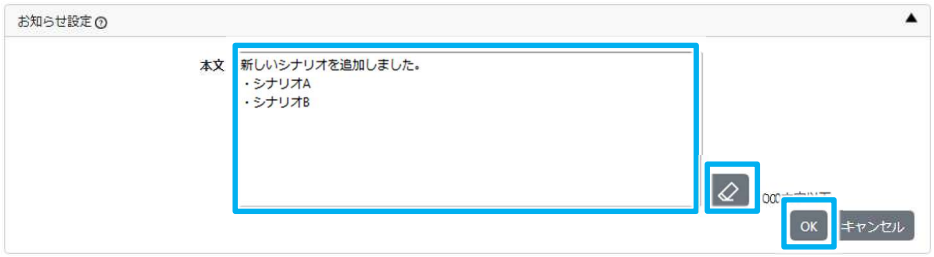
お知らせを更新する手順について説明します。

Steps

1. 「お知らせ設定」エリアで、［編集］ボタンをクリックします。

「お知らせ設定」エリアに入力欄が表示されます。

2. 設定したい値を入力します。［消しゴム］ボタンをクリックすることで入力中の本文をクリアすることができます。入力が終わったら［OK］ボタンをクリックします。



更新の確認ダイアログが表示されます。

登録するお知らせには以下の制限があります。

- 登録できる文字数は最大 1000 文字となります。
- HTML タグは使用できません。

3. ［OK］をクリックします。

お知らせが更新され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

4. ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。更新結果が画面上に表示されます。

14.4 動作に関する設定を更新する

WinActor Manager の動作に関する設定を更新します。タスク待機期限、初回接続時の一括設定ファイルなどを更新する手順について説明します。

Steps

1. 「動作に関する設定」エリアで、[編集] ボタンをクリックします。

「動作に関する設定」エリアに変更項目が表示されます。

2. 各設定値のラジオボタンや入力ボックスに設定したい値を入力して、[OK] ボタンをクリックします。初回接続時の一括設定ファイルの設定では参照ボタンをクリックすることで選択ダイアログを表示し、対象のファイルを選択することができます。また、入力ボックスの指定ではプルダウンからも選択することができます。

更新の確認ダイアログが表示されます。

3. [OK] をクリックします。

設定が更新され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

4. ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。更新結果が画面上に表示されます。

14.4.1 動作に関する設定項目

動作に関する設定で設定可能な項目について説明します。

図 14.4-1 動作に関する設定項目

表 14.4-1 動作に関する設定項目

項目	概要
「タスク割り当て済みWinActorの削除」	タスク割り当て済み WinActor の削除について設定します。設定変更後、WinActor Manager に登録されている WinActor に対して削除を実行するタイミングから動作が変更になります。 • 削除可能とする 待機中タスクの実行予定 WinActor に設定されていても対象の WinActor を削除可能とします • 削除不可とする 待機中タスクの実行予定 WinActor に設定されている場合は対象の WinActor を削除不可とします
「ユーザ割り当て済みWinActorの削除」	ユーザ割り当て済み WinActor の削除について設定します。設定変更後、WinActor Manager に登録されている WinActor に対して削除を実行するタイミングから動作が変更になります。 • 削除可能とする WinActor Manager のユーザの WinActor に設定されていても対象の WinActor を削除可能とします • 削除不可とする WinActor Manager のユーザの WinActor に設定されている場合は対象の WinActor を削除不可とします
「機能タグ設定時の動作」	機能タグ設定時の動作について設定します。設定変更後、シナリオの実行時間となり、WinActor にタスクを割り当てるタイミングから動作が変更になります。設定変更により待機中のタスクを実行する WinActor が変わる可能性があります。

項目	概要
	• 機能タグが無いシナリオを実行可能とする 機能タグを持つ WinActor が機能タグを持たないシナリオを実行可能とします • シナリオの機能タグと一致する場合のみ実行可能とする WinActor とシナリオの機能タグが一致した場合に実行可能とします
「WinActor 登録時のタスク割り当て」	WinActor 登録時のタスク割り当てについて設定します。設定変更後、WinActor Manager に WinActor を新規登録するタイミングから動作が変更になります。 • 割り当て可能とする WinActor Manager に登録されていない WinActor が起動し、WinActor Manager に初めて接続した時点でタスク割当を可能な状態とします • 割り当て不可とする WinActor Manager に登録されていない WinActor が起動し、WinActor Manager に初めて接続した時点ではタスクの割当を不可とします
「WinActor 登録時の所属の初期値」	WinActor 登録時の所属の初期値について設定します。設定変更後、WinActor Manager に WinActor を新規登録するタイミングから動作が変更になります。 • 共有所属とする WinActor Manager に登録されていない WinActor が起動し、WinActor Manager に初めて接続した時点で所属を「共有所属」とします • 未所属とする WinActor Manager に登録されていない WinActor が起動し、WinActor Manager に初めて接続した時点では所属を「未所属」とし、所属を設定するまでタスク実行等を不可とします 所属が「未所属」の WinActor はタスク割当の設定が「割当停止」の状態になっています。そのため、タスクを実行するためには所属設定後にタスク割当再開を実施する必要があります。
「初回接続時の一括設定ファイル」	WinActor が初回接続をする際に登録する一括設定ファイルについて設定します。設定変更後、WinActor Manager に WinActor を新規登録するタイミングから動作が変更になります。 WinActor ではオプション画面の設定情報をエクスポートによりファイル（設定ファイル）に保存することができます。この設定ファイルを WinActor Manager に登録することで、複数の WinActor に同じ設定を行う事ができます。本画面で設定を行うと WinActor の初回接続時に一括で同じ設定を反映できるため、この設定ファイルを「初回接続時の一括設定ファイル」と呼びます。 使用する設定ファイル（WinActor のオプション画面の設定情報をエクスポートした設定ファイル）の詳細につきましては WinActor Ver.7 のマニュアルを参照してください。
「シナリオ実行順序」	WinActor のシナリオ実行順序について設定します。設定変更後、シナリオの実行時間となり、WinActor にタスクを割り当てるタイミングから動作が変更

項目	概要
	になります。設定変更により待機中のタスクを実行する順序が変わる可能性があります。 • タスクの生成日時順とする 待機中タスクを検索する際の検索順として、タスクの生成日時を優先して検索します • タスクの実行予定日時順とする 待機中タスクを検索する際の検索順として、タスクの実行予定日時を優先して検索します
「連続実行中の割り込みを防止する」	連続実行中の割り込み防止について設定します。設定変更後、シナリオの実行時間となり、WinActor にタスクを割り当てるタイミングから動作が変更になります。設定変更により待機中のタスクを実行する順序が変わる可能性があります。 • 割り込みを防止する アンサンブル機能を用いたタスクの連続実行時に、一連のタスクを優先して実行します • 割り込みを防止しない アンサンブル機能を用いたタスクの連続実行中でもシナリオ実行順序などに従い、別のタスク実行の割り込みを可能とします
「シナリオ実行タイムアウト初期値」	タスク登録画面、シナリオ新規作成画面、およびコピー編集画面での、タイムアウトを省略して登録した際に設定する時間（秒）について設定します。 タスク登録画面とシナリオ新規作成画面のタイムアウトの初期状態は、この設定値が入力済みの状態となります。
「タスク待機期限」	待機中タスクを異常終了にするための時間（分）について設定します。 無制限の場合は、待機中のままとなります。
「オートログアウト初期値」	ユーザ新規作成画面、およびユーザ情報更新画面での、オートログアウトを省略して登録した際に設定する時間（秒）について設定します。 ユーザ新規作成画面のオートログアウトの初期状態は、この設定値が入力済みの状態となります。
「ユーザパスワード最低文字列長」	ユーザに設定するパスワードの最低文字列長について設定します。 ユーザを作成、もしくはユーザのパスワード変更時に最低文字列長未満のパスワードは登録できません。 最低文字列長を変更したことにより、最低文字列長未満のパスワードを持つことになったユーザはログイン時にパスワードを変更する必要があります。 本設定が有効になるのはユーザのパスワードについてであり、管理サーバパスワードやライセンスグループパスワードには影響しません。 パスワードの最低文字列長を変更し、最低文字列長未満のパスワードを使ってログインした場合は仮パスワードを使ってログインしたという状態となります。仮パスワード変更画面が表示されますので現在のパスワードを仮パスワード欄に記載し、最低文字列長以上のパスワードを設定してください。

14.5 警告メール通知設定を更新する

残りライセンス数が指定した残数警告値を下回った場合、警告メールが通知されます。この警告メールを通知する際の条件となる残数警告値を更新する手順について説明します。

Steps

1. 「警告メール通知設定」エリアで、［編集］ボタンをクリックします。

「警告メール通知設定」エリアに条件変更項目が表示されます。

2. 設定したい値を入力して、［OK］ボタンをクリックします。

条件更新の確認ダイアログが表示されます。

3. ［OK］をクリックします。

条件更新され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

4. ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

14.6 オプションセットを新規作成する

オプションセットを新規で作成する手順について説明します。

Steps

1. 「オプションセット」エリアで、［新規作成］ボタンをクリックします。

オプションセットの「新規作成」エリアが表示されます。

2. 情報を設定して、オプションセットを作成します。

❶ 「オプションセット名」にオプションセット名を入力します。

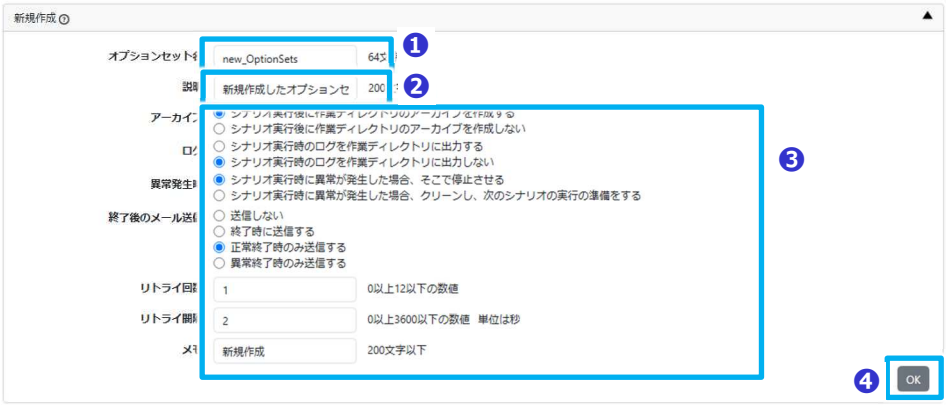
オプションセット名は、64 文字以下で設定してください。空欄を指定することはできません。

❷ 「説明」に設定したい説明文を入力します。

説明は、200 文字以下で設定してください。空欄を指定することはできません。

❸ 必要に応じて、「アーカイブ」「ログ」「異常発生時」「終了後のメール送信」「リトライ回数」「リトライ間隔」「メモ」を設定します。

❹ ［OK］ボタンをクリックします。



新規作成の確認ダイアログが表示されます。

3. ［OK］をクリックします。

オプションセットが作成され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

4. ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

5. 「オプションセット」エリアで、オプションセットが作成されていることを確認します。

14.7 オプションセットを更新する

オプションセットを更新する手順について説明します。

Steps

1. 更新したいオプションセットの「詳細情報」エリアで、[更新]ボタンをクリックします。

オプションセットの「情報更新」エリアが表示されます。

2. 必要に応じて、オプションセットの情報を修正し、[OK]ボタンをクリックします。

- 「オプションセット ID」は、オプションセットを新規作成したときに自動的に生成されるため、変更できません。
- 「オプションセット名」は、変更できません。

オプションセット更新の確認ダイアログが表示されます。

3. [OK]をクリックします。

オプションセットが更新され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

4. ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

14.8 オプションセットを削除する

オプションセットを削除する手順について説明します。

Steps

1. 削除したいオプションセットの「詳細情報」エリアで、［削除］ボタンをクリックします。

オプションセットの削除の確認ダイアログが表示されます。

2. ［OK］をクリックします。

オプションセットが削除され、結果のメッセージダイアログが表示されます。

3. ［閉じる］をクリックします。

メッセージダイアログが閉じます。

既にシナリオに設定されているオプションセットを削除した場合、そのシナリオのオプションセットは未設定の状態に戻ります。

---

15. シナリオ連携（アンサンブル機能）を設定する

この章ではアンサンブル機能を用いて入力されたデータを分割して複数の WinActor で実行したり、複数のシナリオを連続実行する方法を説明します。組み合わされたシナリオ（スケジュール）は「ステージ」という単位で管理され画面表示や進捗の確認ができるようになります。

アンサンブル機能で提供している機能一覧については『1.7 シナリオ連携（アンサンブル機能）』を参照してください。

ステージを作成するにはシナリオ画面で生成した「スケジュール」を組み合わせることで実現します。

15.1 連携パラメータを設定する

アンサンブル機能を用いたシナリオ連携の設定はシナリオ画面のスケジュール登録で実施します。「連携パラメータ」「データ一覧ファイル」「実行指定」を設定することでシナリオ連携を実現します。ここでは連携パラメータを設定する手順について説明します。

連携パラメータの「型」によっては、使用するシナリオに入出力パラメータの設定が必要なものがあります。設定前にシナリオに必要なパラメータが設定されているかご確認ください。

『15.1.2 連携パラメータダイアログの設定項目』

15.1.1 連携パラメータの設定手順

連携パラメータはアンサンブル機能の「連結」、「条件分岐」、「承認」、「データ駆動」を行うためのパラメータとして設定します。また、シナリオの実行結果を次のシナリオの入力とする場合にパラメータの受け渡しのために設定します。以下では WinActor Manager の画面を用いた文字列登録をきっかけとしてシナリオを実行する「データ駆動」の登録手順を説明します。

Steps

1. スケジュール登録したいシナリオの「詳細情報」エリアで、[スケジュール登録] ボタンをクリックし、開いたメニューから「連続実行を予約する」を選択します。

シナリオの「スケジュール登録」エリアが表示されます。

2. ［連携パラメータ］の［+］ボタンをクリックします。

連携パラメータダイアログが表示されます。

3. パラメータを設定して、［OK］ボタンをクリックします。ここではシナリオに設定されている入力パラメータ（待機時間）に対し、文字列型のデータ登録をきっかけにシナリオの実行を開始するための型（リクエスト文字列）を設定しています。

スケジュール登録画面に設定したパラメータが反映されます。

4. その他必要な項目を設定してスケジュール登録画面の［OK］ボタンをクリックします。このようにスケジュールを登録することで WinActor Manager の画面からの文字列登録をきっかけにシナリオを実行することができるようになります。

シナリオを実行するための文字列を設定する方法については以下を参照してください。

『16.3 ステージの詳細情報を表示する』

15.1.2 連携パラメータダイアログの設定項目

連携パラメータダイアログの設定項目は、以下のとおりです。選択した「型」の種類により設定する項目が変化します。

図 15.1-1 連携パラメータダイアログ（初期表示）

図 15.1-2 連携パラメータダイアログ（スケジュールステータス）

図 15.1-3 連携パラメータダイアログ（スケジュールパラメータ 文字列／ファイル）

図 15.1-4 連携パラメータダイアログ（スケジュールアーカイブファイル）

図 15.1-5 連携パラメータダイアログ（リクエスト文字列／リクエストファイル）

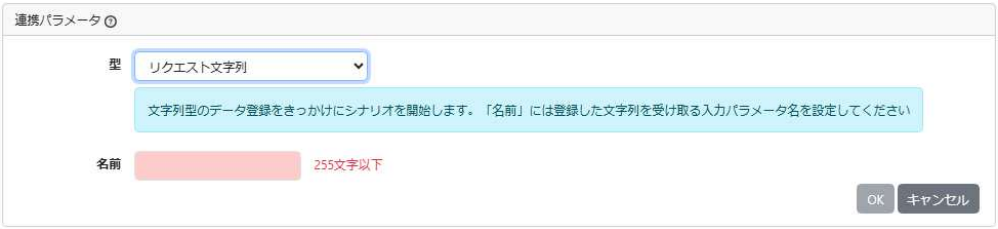


図 15.1-6 連携パラメータダイアログ（承認）

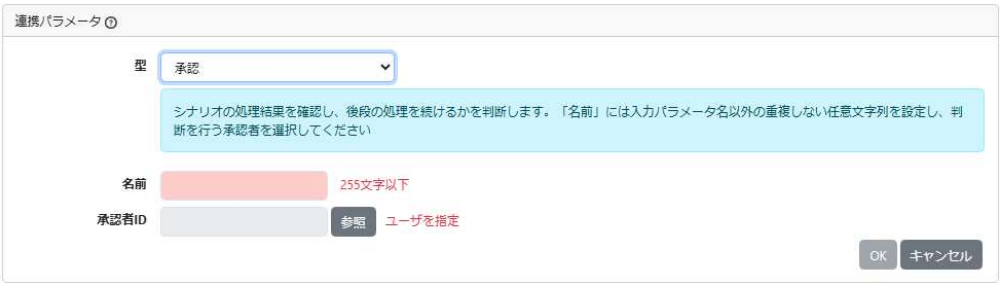


表 15.1-1 連携パラメータ設定項目

項目	概要
「型」	連携パラメータの型を指定します。 • スケジュールステータス ひとつ前のシナリオの実行結果に合わせて次に実行するシナリオを決定するときに選択します（条件分岐機能）。追加の情報としてひとつ前のシナリオのスケジュール ID とステータスを指定します。 » 図 15.1-2 参照 • スケジュールパラメータ(文字列) ひとつ前のシナリオの出力結果（文字列型のパラメータ）を入力に受け取るときに選択します（連結機能）。追加の情報としてひとつ前のシナリオのスケジュール ID と出力パラメータ名（文字列型）を指定します。 » 図 15.1-3 参照 • スケジュールパラメータ(ファイル) ひとつ前のシナリオの出力結果（ファイル型のパラメータ）を入力に受け取るときに選択します（連結機能）。追加の情報としてひとつ前のシナリオのスケジュール ID と出力パラメータ名（ファイル型）を指定します。 » 図 15.1-3 参照

項目	概要
	• スケジュールアーカイブファイル ひとつ前のシナリオが作成したアーカイブファイルを入力に受け取るときに選択します（連結機能）。追加の情報としてひとつ前のシナリオのスケジュール ID を指定します。 ひとつ前のシナリオをスケジュール登録する際は必ず「作業ディレクトリのアーカイブを作成する」設定としてください。また、ファイルを受け取る入力パラメータは必ずファイル型としてください。 図 15.1-4 参照 • リクエスト文字列 文字列型のデータ登録をきっかけにシナリオの実行を開始するときに選択します（データ駆動機能）。追加で設定する情報はありません。 図 15.1-5 参照 • リクエストファイル ファイル型のデータ登録をきっかけにシナリオの実行を開始するときに選択します（データ駆動機能）。追加で設定する情報はありません。 図 15.1-5 参照 • 承認 それまでのシナリオの処理結果を確認し、後段の処理を続けるかをユーザが判断するときに選択します（承認機能）。追加の情報として承認者 ID を指定します。 図 15.1-6 参照 ひとつ前の出力パラメータの型（文字列型／ファイル型）と「型」の中に記載されている「文字列」／「ファイル」は合わせるようにしてください。 承認型のパラメータを設定するためにはユーザが管理者権限をもっている必要があります。

項目	概要
「名前」	パラメータ名を指定します。「型」により設定できる内容が変化します。 • 「型」が「スケジュールステータス」「承認」の場合 シナリオに設定されている入力パラメータ名以外の任意の文字列を指定します。 • 「型」が「スケジュールステータス」「承認」以外の場合 ひとつ前のシナリオの出力を本シナリオの入力に取るため、シナリオに設定されている入力パラメータ名を指定します。プルダウンからも選択できます。 「型」の中に記載されている「文字列」／「ファイル」と入力パラメータの「文字列型」／「ファイル型」は合わせて指定してください。
「スケジュール ID」	ひとつ前に実行されるスケジュールを指定します。 ［参照］ボタンをクリックすると、スケジュール選択ダイアログが表示され、WinActor Manager に登録されているスケジュールを選択できます。
「ステータス」	「スケジュール ID」で指定したスケジュールに従い実行されたタスクの実行結果を指定します。 • 正常終了時に実行する タスクの実行が正常終了したときに後段のスケジュールを実行する場合に使用します。 • 異常終了時に実行する タスクの実行が異常終了したときに後段のスケジュールを実行する場合に使用します。 • 正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する タスクの実行が正常終了したとき、異常終了したときのどちらでも後段のスケジュールを実行する場合に使用します。
「パラメータ名」	「スケジュール ID」で指定したスケジュールの出力パラメータ名を指定します。 ［参照］ボタンをクリックすると、パラメータ選択ダイアログが表示され、選択中のスケジュールの出力パラメータを選択できます。 パラメータ選択ダイアログでは「型」の中に記載されている「文字列」／「ファイル」に合わせたパラメータが表示されます。目的のパラメータが表示されない場合は「型」が正しく指定されているか確認してください。

項目	概要
「承認者 ID」	承認を行うユーザを指定します。 ［参照］ボタンをクリックすると、ユーザ選択ダイアログが表示され、承認者とするユーザを選択できます。

15.1.3 連携パラメータ（スケジュール登録）の表示項目

シナリオ画面「スケジュール登録」エリアの連携パラメータの表示項目は、以下のとおりです。

図 15.1-7 スケジュール登録エリアの連携パラメータの表示例

表 15.1-2 連携パラメータの表示項目

項目	概要
「連携パラメータ」	連携パラメータはアンサンブル機能の「連結」、「条件分岐」、「承認」、「データ駆動」を行うためのパラメータとして設定します。また、シナリオの実行結果を次のシナリオの入力とする場合にパラメータの受け渡し指定のために設定します。 ［+］ボタンをクリックすると、連携パラメータの設定欄が表示されます。 • 名前 入力するパラメータの名前を表示します。 • 型 連携パラメータの型を表示します。 • 情報 連携パラメータ設定時に追加で指定した情報が表示されます。 • 連携パラメータの順番を上に移動したい場合、［↑］ボタンをクリックします。 • 連携パラメータの順番を下に移動したい場合、［↓］ボタンをクリックします。 • 連携パラメータを編集する場合、［編集］ボタンをクリックします。 • 連携パラメータを削除する場合、［−］ボタンをクリックします。 • 型が「スケジュールステータス」または「承認」ではない場合、入力パラメータの名前と一致しない連携パラメータは背景色がグレーで表示されます。この状態ではスケジュール登録できないため、［編集］ボタンをクリックして名前を修正する、もしくは［−］ボタンをクリックして削除してください。

15.2 データ一覧ファイルを設定する

アンサンブル機能を用いたシナリオ連携の設定はシナリオ画面のスケジュール登録で実施します。「連携パラメータ」「データ一覧ファイル」「実行指定」を設定することでシナリオ連携を実現します。ここではデータ一覧ファイルを設定する手順について説明します。

データ一覧ファイルとして「ファイルを参照」「リクエストファイルを指定」を選択する場合はデータ一覧ファイルを WinActor Manager に登録しておいてください。

データ一覧ファイルの詳細につきましては WinActor Ver.7 のマニュアルを参照してください。

スケジュール更新ではデータ一覧ファイルの設定に対して、以下の変更を行うことはできません。

- データ分割数は変更できません。
- データ分割数 2 以上の分割元スケジュールの更新に対しては、データ一覧ファイルの種別は変更できません。
- データ分割数 1 で、データ一覧ファイルの種別が「リクエストファイルを指定」か「アウトプットパラメータを指定」のスケジュールの更新に対しては、データ一覧ファイルの種別は変更ができません。
- データ一覧ファイルの種別は「リクエストファイルを指定」か「アウトプットパラメータを指定」に変更はできません。

データ一覧ファイル以外の設定項目につきましては通常のスケジュール登録方法を参照してください。

『7.9 シナリオをスケジュール登録する』
『15.1.1 連携パラメータの設定手順』

15.2.1 データ一覧ファイルの設定項目

データ一覧ファイルはシナリオの入力データとして使用されますが、アンサンブル機能で使う場合はデータの受取方法とデータの分割数を指定します。データ分割数に 2 以上の値を指定した場合はアンサンブル機能の「データ分割」を行うことになり、入力データを指定数に分割し、複数の WinActor で処理を実行します。

データ一覧ファイルの設定項目は、以下のとおりです。選択した「型」の種類により設定する項目が変化します。

図 15.2-1 データー覧ファイル（指定なし）

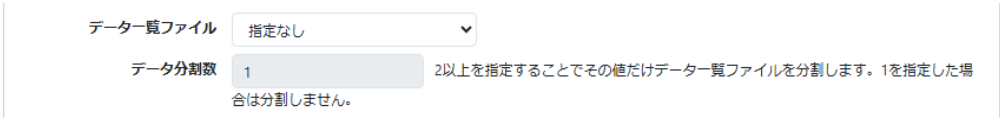


図 15.2-2 データー覧ファイル（ファイルを参照）

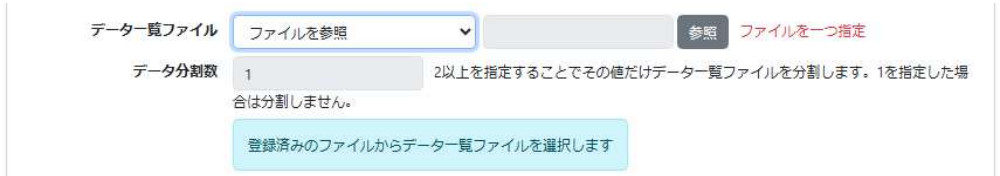


図 15.2-3 データー覧ファイル（リクエストファイルを指定）

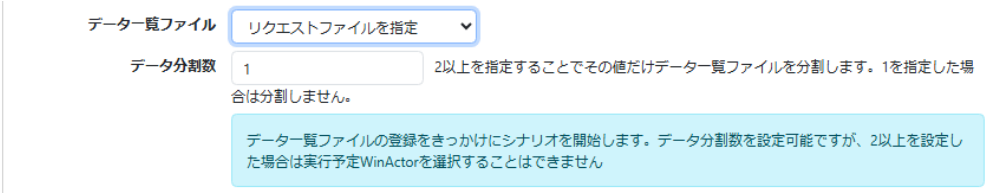


図 15.2-4 データー覧ファイル（アウトプットパラメータを指定）

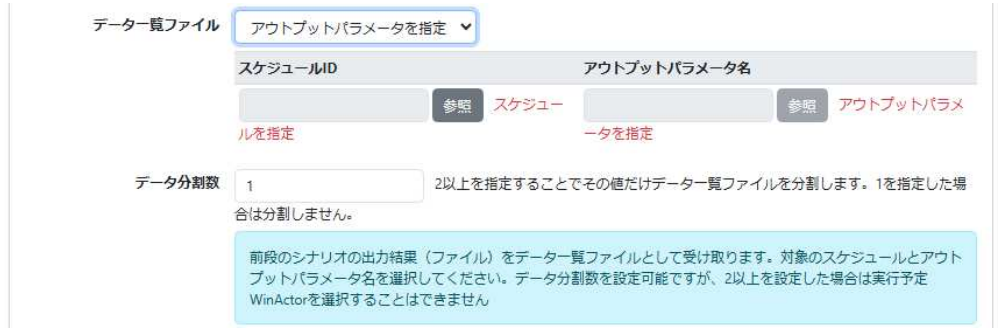


表 15.2-1 データ一覧ファイル設定項目

項目	概要
データ一覧ファイル	データ一覧ファイルの受取方法をプルダウンから選択し、必要な情報を設定します。 • 指定なし データ一覧ファイルを使用しない場合に選択します。 図 15.2-1 参照 • ファイルを参照 スケジュール実行前にデータ一覧ファイルとして使用するファイルが決まっている場合に選択します。 ［参照］ボタンをクリックすると、ファイル選択ダイアログが表示され、WinActor Manager に登録されているファイルを選択できます。 図 15.2-2 参照 • リクエストファイルを指定 データ一覧ファイルの登録をきっかけにシナリオの実行を開始するときに選択します。この設定を行うとデータ駆動機能で動作します。 図 15.2-3 参照 • アウトプットパラメータを指定 ひとつ前のシナリオの出力結果（ファイル型のパラメータ）をデータ一覧ファイルとして受け取るときに選択します。（連結機能） 「スケジュール ID」の［参照］ボタンをクリックすると、スケジュール選択ダイアログが表示され、WinActor Manager に登録されているスケジュールを選択できます。 「アウトプットパラメータ名」の［参照］ボタンをクリックすると、パラメータ選択ダイアログが表示され、選択中のスケジュールの出力パラメータを選択できます。 図 15.2-4 参照 • データ一覧ファイルには CSV 形式、もしくは Excel ファイルを指定できます。 • データ分割数を 2 以上に設定し、さらに Excel ファイルをデータ一覧ファイルとする場合、5MB を超えるファイルは指定できません。

項目	概要
「データ分割数」	データ一覧ファイルの分割数を指定します。 2 以上の値を指定するとデータ分割が行われます。 • ヘッダ行を除いたデータ一覧ファイルの行数以上の数は指定できません。 • 2 以上に設定する際、同時に実行予定 WinActor を設定することはできません。 • データ一覧ファイルのデータ量が分割数未満の場合はタスクが実行されません。特にリクエストファイル、アウトプットパラメータでデータ一覧ファイルを受け取る場合でもデータ分割数はスケジュール登録時に設定しますので、データ量が分割数未満とならないようにご注意ください。

15.3 実行指定を設定する

アンサンブル機能を用いたシナリオ連携の設定はシナリオ画面のスケジュール登録で実施します。「連携パラメータ」「データ一覧ファイル」「実行指定」を設定することでシナリオ連携を実現します。ここでは実行指定を設定する手順について説明します。

実行指定以外の設定項目につきましては通常のスケジュール登録方法を参照してください。

『7.9 シナリオをスケジュール登録する』
『15.1.1 連携パラメータの設定手順』

15.3.1 実行指定の設定項目

実行指定はシナリオを実行するタイミングを指定する項目ですが、シナリオ連携を行う場合、先頭のスケジュールと後段のスケジュールで指定する内容が変化します。

実行指定の設定項目は、以下のとおりです。

図 15.3-1 実行指定

表 15.3-1 実行指定設定項目

項目	概要
実行指定	スケジュールが実行されるタイミングを指定します。スケジュールが実行される位置、使用するパラメータにより指定する内容が変化します。 • 先頭スケジュール（連携パラメータを使用しない場合） 連携パラメータを使用しないスケジュール、データ一覧ファイルを使用しないスケジュール､データ一覧ファイルの指定方法として｢ファイルを参照」を指定したスケジュールについては、既存と同じく「即時」､「日時指定」､「毎日」､「毎週」､「毎月」､「月末」､「データ駆動」､「条件指定」を選択することができます。スケジュール登録時に「予約する」を選んでください。 • 先頭スケジュール（連携パラメータを使用する場合） 連携パラメータ（リクエスト文字列・承認等）を使用するスケジュール、データ一覧ファイルの指定方法として「ファイルを参照」以外を指定したスケジュール については｢データ駆動｣を選択します。スケジュール登録時に「連続実行を予約する」を選んでください。 • 後段のスケジュール 連結機能や条件分岐機能により、あるスケジュールの終了を待ってからスケジュールを開始する場合には「データ駆動」を選択します。スケジュール登録時に「連続実行を予約する」を選んでください。 実行指定の項目として「データ駆動」を指定する場合はスケジュール登録時に「連続実行を予約する」を選択する必要があります。

16. シナリオ連携（アンサンブル機能）を管理する

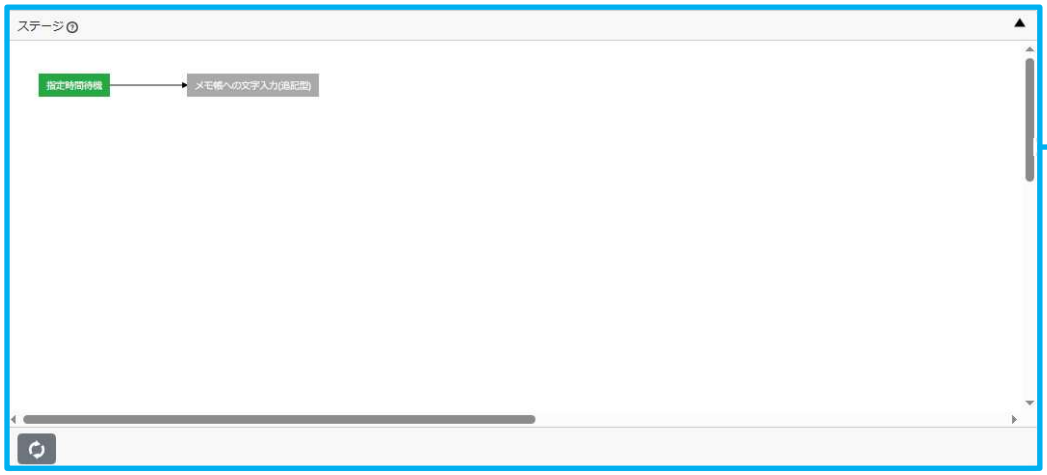
この章ではアンサンブル機能を用いて作成したステージを確認するための進捗画面について説明します。

16.1 進捗画面の構成

進捗画面の全体的な構成は、以下のとおりです。

図 16.1-1 進捗画面の全体構成

履歴
新規作成
ページあたりの件数 10 1 件中 1 - 1 件
スケジュール名 所属 ステージ状態 開始日時 終了日時
指定時間待機 正常終了 2025/03/03 18:04:04 2025/03/03 18:04:21
ページあたりの件数 10 1 件中 1 - 1 件
新規作成
3


ステージ
指定時間待機
メモ帳への文字入力(追記型)
4

詳細情報
ステージID 7UgQrIJaYxtQaeUfgWudXA
所属
シナリオに関する情報
シナリオ名 指定時間待機
スケジュールに関する情報
スケジュール名 指定時間待機
分割元スケジュールID
実行指定 種別
データ駆動
アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない
ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない
異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする
終了後のメール送信 異常終了時のみ送信する
有効／無効 有効
メモ
タスクに関する情報
タスク名 指定時間待機
状態 正常終了
入力パラメータ
名前 型 値 説明
待機時間 文字列 12000
終了結果 文字列 true true:正常終了 false:異常終了
連携パラメータ
データ一覧ファイル
データ分割数 1
実行予定WinActor 指定なし
登録日時 2025/03/03 18:03:14
実行に関する情報
出力パラメータ
アーカイブファイル
リトライ実行済み回数 0
開始日時 2025/03/03 18:04:04
終了日時 2025/03/03 18:04:21
更新日時 2025/03/03 18:03:14
5

表 16.1-1 進捗画面の構成要素

No.	項目	概要
❶	「検索条件」	条件を設定して登録されているステージを検索するためのエリアです。 『16.2.1 ステージの検索条件』
❷	「検索結果一覧」	❶の検索条件にあてはまるステージが一覧表示されます。標準では、すべてのステージが、更新日時が新しい方から順に上から表示されます。 『16.2.2 ステージの検索結果一覧の詳細』
❸	「履歴」	❷の検索結果一覧で選択したステージの実行履歴が表示されます。開始日時が新しい方から順に上から表示されます。 『16.2.3 ステージの履歴の詳細』
❹	「ステージ」	❸の履歴で選択したステージの進捗状況が表示されます。 『16.2.4 ステージのフロー情報の詳細』
❺	「詳細情報」	❹のステージで選択した要素の詳細情報を表示します。 『16.3 ステージの詳細情報を表示する』

16.2 ステージを検索する

検索条件を設定して、登録されているステージを検索します。

情報の検索手順については、『2.4 情報を検索する』を参照してください。
ステージの検索条件については、『16.2.1 ステージの検索条件』を参照してください。
ステージの検索結果一覧の詳細については、『16.2.2 ステージの検索結果一覧の詳細』を参照してください。

16.2.1 ステージの検索条件

ステージを検索する場合、以下の検索条件を設定できます。初期状態では「ステージ ID」「スケジュール名」「所属」を表示します。「詳細」ボタンをクリックすることで全ての検索条件を表示します。

図 16.2-1 ステージの検索条件（初期状態）の表示例

図 16.2-2 ステージの検索条件（詳細表示）の表示例

表 16.2-1 ステージの検索条件

項目	概要
「ステージ ID」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 完全一致 入力したステージ ID と完全に一致しているスケジュール名を検索 • 部分一致 入力したステージ ID の一部が含まれているスケジュール名を検索

項目	概要
「スケジュール名」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 完全一致 入力したスケジュール名と完全に一致しているスケジュール名を検索 • 部分一致 入力したスケジュール名の一部が含まれているスケジュール名を検索
「所属」	ドロップダウンリストから、所属を選択します。 選択した所属が含まれるステージが検索結果一覧に表示されます。
「更新日時」	ドロップダウンリストから、以下の検索条件を選択します。 • 次の範囲内 指定した検索開始日と検索終了日の間に更新されたステージを検索 • 以後 指定した検索開始日以後に更新されたステージを検索 • 以前 指定した検索終了日以前に更新されたステージを検索

16.2.2 ステージの検索結果一覧の詳細

「検索結果一覧」には、「検索条件」で設定した条件にあてはまるステージが一覧表示されます。

図 16.2-3 ステージの検索結果一覧の表示例

表 16.2-2 ステージの検索結果一覧の項目

No.	項目	概要
❶	検索結果一覧	検索条件にあてはまる WinActor が一覧表示されます。 それぞれの列には、左から順に以下の情報が表示されます。 • スケジュール名 スケジュール名が表示されます。 • 所属 ステージの所属が表示されます。 • 更新日時 更新日時が表示されます。 スケジュール名にはステージ作成に用いたスケジュールのうち、先頭のスケジュール名が使用されますが、複数のステージを結合（待ち合わせによる連結）した場合はどちらかの先頭スケジュール名が使用されます。
❷	ステージ総数	検索条件にあてはまったステージの総数が表示されます。
❸	ページ表示数	ドロップダウンリストから、1 ページあたりの表示件数を選択できます。 選択肢は、「10」「25」「50」「100」です。リストから値を変更すると別の画面への遷移時や再ログイン時も指定した値が使用されます。
❹	ページ切り替え	ページ番号をクリックして、ページを切り替えることができます。現在のページは青で表示されています。 ［≫］をクリックすると、次のページが表示されます。 ［≪］をクリックすると、前のページが表示されます。 ［≫≫］をクリックすると、最後のページが表示されます。 ［≪≪］をクリックすると、先頭のページが表示されます。

No.	項目	概要
❺	［リロード］ボタン	検索結果をリロードします。
❻	［新規ステージ登録］ボタン	アンサンブルエディタ画面からステージを新規作成する場合に使用します。 『16.4 アンサンブルエディタからステージを作成する』

16.2.3 ステージの履歴の詳細

「履歴」には、「検索結果一覧」で選択したステージの実行履歴が表示されます。

図 16.2-4 ステージの履歴の表示例

表 16.2-3 ステージの履歴の項目

No.	項目	概要
❶	履歴	検索結果一覧で選択したステージの実行履歴が表示されます。 それぞれの列には、左から順に以下の情報が表示されます。 • スケジュール名 スケジュール名が表示されます。 • 所属 ステージの所属が表示されます。 • ステージ状態 ステージの実行結果が表示されます。 • 開始日時 ステージの開始日時が表示されます。 • 終了日時 ステージの終了日時が表示されます。
❷	履歴総数	検索条件にあてはまった履歴の総数が表示されます。
❸	ページ表示数	ドロップダウンリストから、1 ページあたりの表示件数を選択できます。 選択肢は、「10」「25」「50」「100」です。リストから値を変更すると別の画面への遷移時や再ログイン時も指定した値が使用されます。
❹	ページ切り替え	ページ番号をクリックして、ページを切り替えることができます。現在のページは赤で表示されています。 ［≫］をクリックすると、次のページが表示されます。 ［≪］をクリックすると、前のページが表示されます。 ［≫≫］をクリックすると、最後のページが表示されます。 ［≪≪］をクリックすると、先頭のページが表示されます。
❺	［新規作成］ボタン	クリックするとステージエリアに新しいフローが表示されます。

No.	項目	概要
❻	［リロード］ボタン	検索結果をリロードします。

16.2.4 ステージのフロー情報の詳細

「ステージ」には、「履歴」で選択したステージがフロー表示されます。

図 16.2-5 ステージのフロー情報の表示例

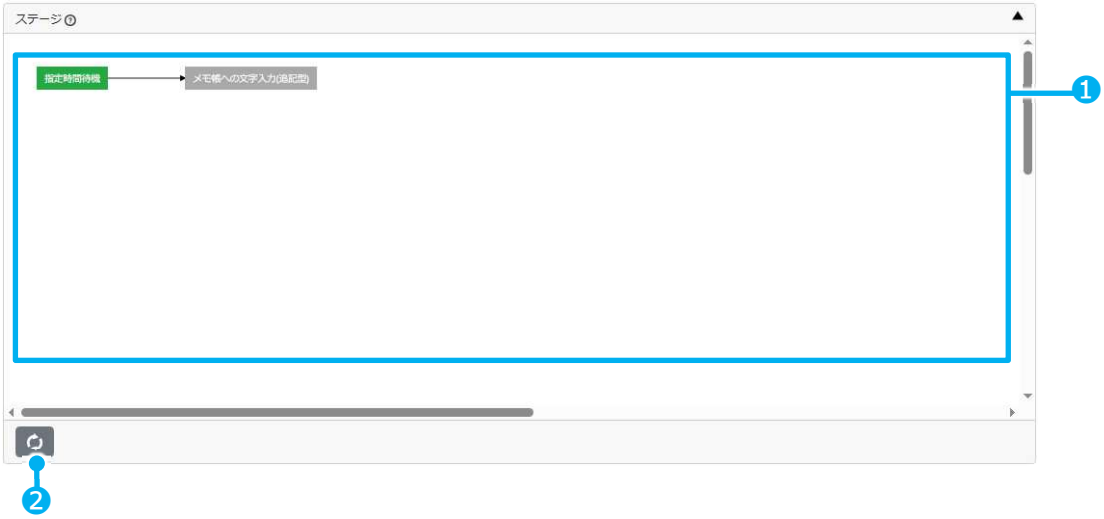


表 16.2-4 ステージのフロー情報の項目

No.	項目	概要
❶	ステージ	履歴で選択したステージの進捗状況が表示されます。 • スケジュール情報 連携パラメータを指定したスケジュールに対して、参照元と参照先の関係がわかるようにフロー図で表現されます。 スケジュール名が 15 文字より多い場合、「最初の 15 文字...」のように表示されます。 例：スケジュール名が「タスク 2019/04/03T16:04:51」の場合、「タスク 2019/04/03T...」と表示されます。 スケジュール情報をクリックすると詳細情報が表示されます。
❷	［リロード］ボタン	検索結果をリロードします。

16.3 ステージの詳細情報を表示する

進捗画面の「詳細情報」エリアでは、ステージを構成するスケジュールの詳細情報の表示に加え、リクエスト文字列等の登録／更新／削除、承認パラメータの承認／却下などの制御をすることができます。

詳細情報の表示手順については、『16.2.4 ステージのフロー情報の詳細』を参照してください。

進捗画面の「詳細情報」エリアの構成については、『16.3.1 ステージの詳細情報の構成要素』を参照してください。

16.3.1 ステージの詳細情報の構成要素

進捗画面の「詳細情報」エリアの構成は、以下のとおりです。

図 16.3-1 ステージの詳細情報エリアの表示例

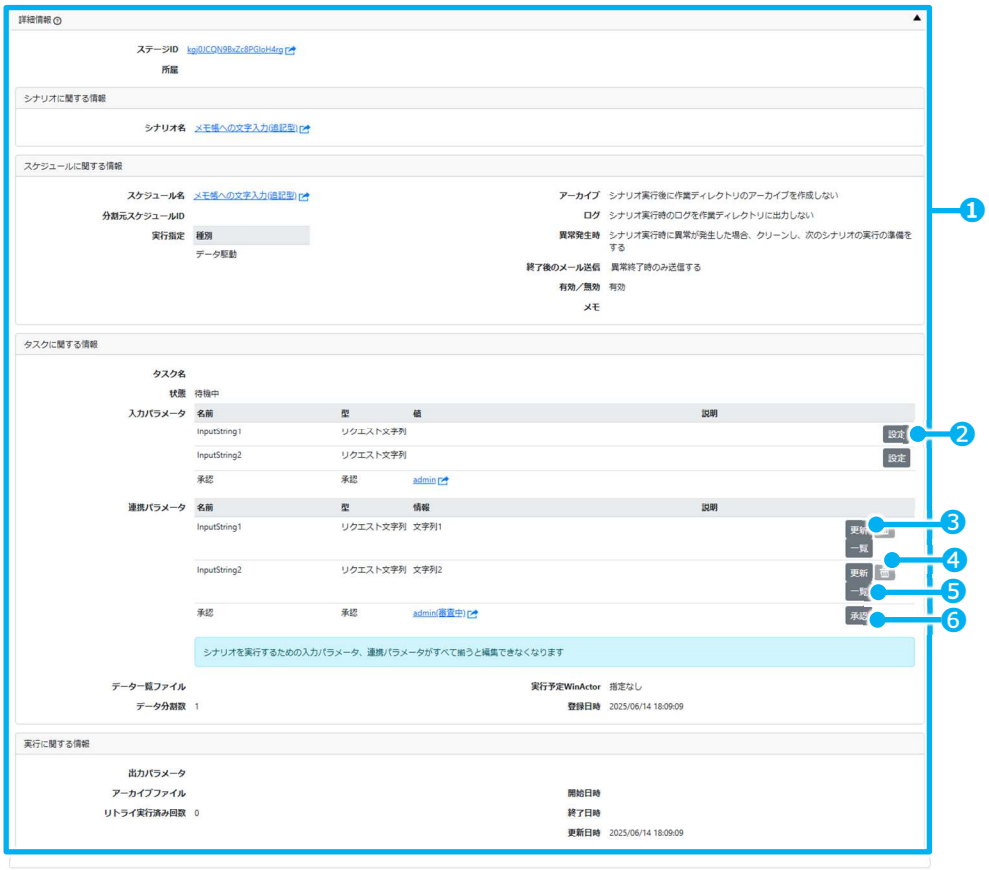


表 16.3-1 ステージの詳細情報エリアの項目

No.	項目	概要
❶	詳細情報	登録されている WinActor の情報が表示されます。 • ステージ ID ステージ ID が表示されます。

No.	項目	概要
		ステージ ID をクリックすると、該当のステージを検索します。 • 所属 所属が表示されます。 ［シナリオに関する情報］ • シナリオ名 シナリオ名が表示されます。 シナリオ名をクリックすると、シナリオ画面に遷移します。 ［スケジュールに関する情報］ • スケジュール名 スケジュール名が表示されます。 スケジュール名をクリックすると、スケジュール画面に遷移します。 • 分割元スケジュール ID データ一覧ファイルを分割した際の分割元スケジュール ID が表示されます。 分割元スケジュール ID をクリックすると、スケジュール画面に遷移します。 • 実行指定 スケジュールの実行指定の種別が表示されます。 実行指定の種別の設定については、『7.9 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。 • アーカイブ スケジュールのアーカイブの作成方法が表示されます。 • ログ スケジュールのログの出力方法が表示されます。 • 異常発生時 スケジュールに異常が発生したときの対処方法が表示されます。 • 終了後のメール送信 タスク実行終了時に送信するメール通知条件が表示されます。 • 有効／無効 スケジュールの有効／無効状態が表示されます。 • メモ スケジュールのメモが表示されます。 ［タスクに関する情報］ • タスク名 タスク名が表示されます。 タスク名をクリックすると、タスク画面に遷移します。 • 状態 タスクの状態が表示されます。

No.	項目	概要
		• 入力パラメータ 入力パラメータの名前、型、値、説明が表示されます。 型情報が「ファイル」の場合、ファイル ID が表示されます。ファイル ID をクリックすると、ファイル画面に遷移します。 型情報が「パスワード」であり、さらにユーザがスケジュール登録したユーザの場合、パスワード型パラメータの入力内容をマスク表示します。内容を確認する場合は表示のためのチェックボックスにチェックすることでマスクを外した値を表示することができます。 型情報が「スケジュールステータス」、「スケジュールパラメータ(文字列)」、「スケジュールパラメータ(ファイル)」、「スケジュールアーカイブファイル」、「スケジュールデータ一覧ファイル」の場合、スケジュール ID が表示されます。スケジュール ID をクリックすると、スケジュール画面へ遷移します。タスク生成後は型情報が「スケジュールデータ一覧ファイル」の場合、ファイル ID となりクリックすると、ファイル画面へ遷移します。 • 連携パラメータ 連携パラメータの型、情報、説明が表示されます。 型情報が「承認」の場合、ユーザ名をクリックすると、ユーザ画面へ遷移します。ただし、対象ユーザが削除されている場合、ユーザ名は「 - 」と表示されユーザ画面へ遷移できません。 型情報が「スケジュールパラメータ(ファイル)」、「スケジュールアーカイブファイル」、「リクエストファイル」、「リクエストデータ一覧ファイル」、「スケジュールデータ一覧ファイル」の場合、ファイル ID が表示されます。ファイル ID をクリックすると、ファイル画面へ遷移します。 • データ一覧ファイル データ一覧ファイル名が表示されます。ファイル名をクリックするとファイル画面に遷移します。 • データ分割数 データ一覧ファイルの分割数が表示されます。 • 実行予定 WinActor スケジュールを実行する予定の WinActor 名が表示されます。 WinActor 名をクリックすると、WinActor 画面に遷移します。 • 登録日時 スケジュールを登録した日時が表示されます。 ［実行に関する情報］ • 出力パラメータ 出力パラメータの名前、型、値が表示されます。 型情報が「ファイル」の場合、ファイル ID をクリックすると、ファイル画面へ遷移します。

No.	項目	概要
		• アーカイブファイル アーカイブファイル名が表示されます。ファイル名をクリックすると、ファイル画面に遷移します。 • リトライ実行済み回数 タスクをリトライした回数が表示されます。 • 開始日時 タスクが開始された日時が表示されます。 • 終了日時 タスクが終了した日時が表示されます。 • 更新日時 スケジュールを更新した日時が表示されます。
❷	入力パラメータ ［設定］ボタン	型が「リクエスト文字列」、「リクエストファイル」、「リクエストデーター覧ファイル」の場合に表示されます。 クリックするとリクエストパラメータを設定できます。 • 名前 ボタンを押したパラメータの名前が表示されます。 型がリクエストデーター覧ファイルの場合表示されません。 • 型 ボタンを押したパラメータの型に対応した名称が表示されます。 • 値 型がリクエストファイル、リクエストデーター覧ファイルの場合、参照ボタンよりファイル選択ダイアログを開き、ファイルを選択します。 型がリクエスト文字列の場合、文字列入力フォームに10000 文字以下で入力します。
❸	連携パラメータ ［更新］ボタン	型が「リクエスト文字列」、「リクエストファイル」、「リクエストデーター覧ファイル」、「スケジュールパラメータ(文字列)」、「スケジュールパラメータ(ファイル)」、「スケジュールデーター覧ファイル」、「スケジュールアーカイブファイル」の場合、表示されます。 クリックすると連携パラメータの情報を更新できます。 • 名前 ボタンを押したパラメータの名前が表示されます。 型がリクエストデーター覧ファイル、スケジュールパラメータ(文字列)、スケジュールパラメータ(ファイル)、スケジュールデーター覧ファイルの場合表示されません。 • 型 ボタンを押したパラメータの型に対応した名称が表示されます。 • 値 型がリクエストファイル、リクエストデーター覧ファイル、

No.	項目	概要
		スケジュールパラメータ(ファイル)、スケジュールデータ一覧ファイル、スケジュールアーカイブファイルの場合、参照ボタンよりファイル選択ダイアログを開き、ファイルを選択します。 型がリクエスト文字列、スケジュールパラメータ(文字列)の場合、文字列入力フォームに 10000 文字以下で入力します。
❹	連携パラメータ ［削除］ボタン	クリックすると連携パラメータの情報を削除できます。 タスクの実行が失敗した場合などに過去の実行結果が残っていると、新規作成から再実行を行っても今回の実行結果ではなく過去の実行結果がタスクの実行に使われる可能性があります。そのような場合は削除ボタンにより過去の結果を削除してからタスクの再実行を行ってください。
❺	連携パラメータ ［一覧］ボタン	型が「リクエスト文字列」、「リクエストファイル」、「リクエストデータ一覧ファイル」の場合、表示されます。 クリックするとリクエストパラメータに設定済みの未使用引数一覧が表示されます。 • 更新 パラメータに設定されている値（文字列/ファイル）を変更することができます。 • 削除 パラメータに設定されている値を削除できます。 リクエスト文字列などのリクエストパラメータはシナリオ実行直前に値を設定しますが、パラメータに対して複数の値を設定することができます。値が複数設定されると、シナリオ実行時に設定順に使用しますが、［一覧］ボタンをクリックすることでどのような情報が設定済みであるかを確認することができます。
❻	連携パラメータ ［承認］ボタン	型が「承認」で、審査中かつ承認対象のユーザである場合、表示されます。 クリックすると、承認／却下を選択できます。 • 承認結果 承認／却下から選択します。 • コメント 承認結果にあたってコメントを入れることができます。 承認ボタンが表示されている場合、連携パラメータ欄に表示される更新ボタン、削除ボタンはクリックすることができなくなります。

16.4 アンサンブルエディタからステージを作成する

進捗画面「検索結果一覧」エリアの［新規ステージ登録］ボタンをクリックすると、「アンサンブルエディタ」画面を表示することができます。この画面により複数のシナリオをどのような順番で実行し、どのようにパラメータを受け渡すかを設定することができます。

> アンサンブルエディタの操作方法については、『WinActor Manager on Cloud アンサンブルエディタユーザーマニュアル』も合わせて参照してください。

16.4.1 アンサンブルエディタの構成要素

アンサンブルエディタの構成は、以下のとおりです。

図 16.4-1 アンサンブルエディタの表示例

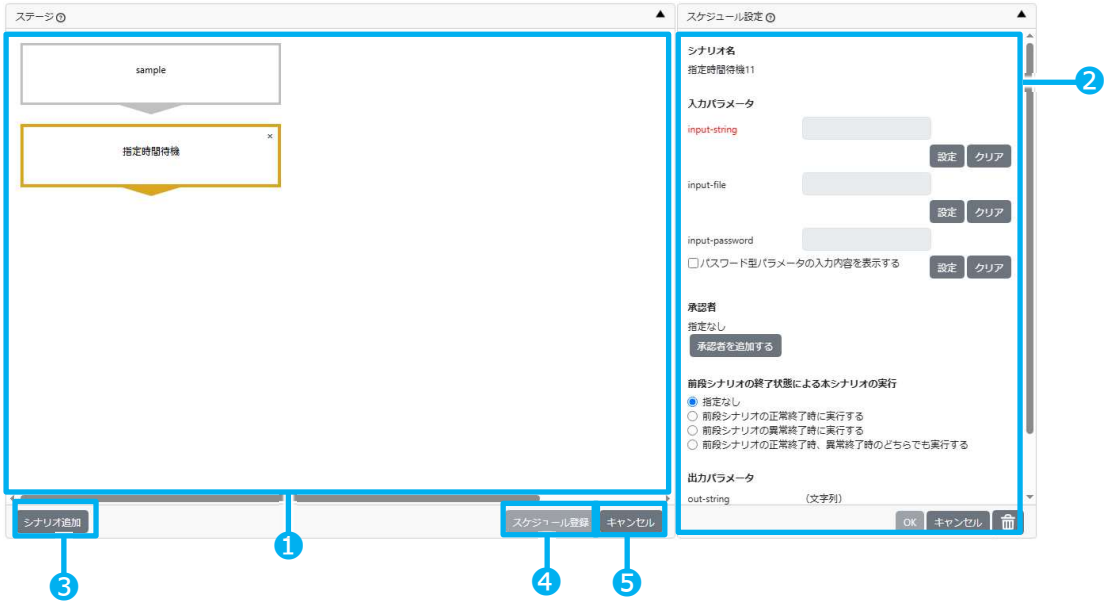


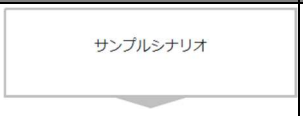
表 16.4-1 アンサンブルエディタの項目

No.	項目	概要
❶	ステージ	アンサンブル機能で実行するシナリオを表示します。 初期状態では空欄ですが、シナリオを追加することでフロー図のように表示します。 ステージ内の要素はマウスのドラッグアンドドロップで入れ替えることができます。 さらに、ステージ内の要素右上の［×］ボタンをクリックすることで要素を削除することができます。
❷	スケジュール設定	ステージ上のシナリオをクリックすると表示されます。 入力パラメータの値の設定などを行うことができます。 > スケジュール設定方法については、『16.4.3 スケジュール設定の構成要素』を参照してください。

No.	項目	概要
❸	［シナリオ追加］ボタン	クリックすると、シナリオをステージに追加するためのダイアログを表示します。
❹	［スケジュール登録］ボタン	クリックすると、ステージで設定したスケジュールをWinActorManager へ登録します。 すべてのスケジュール登録に成功した場合は、進捗画面の検索画面に遷移します。
❺	［キャンセル］ボタン	クリックすると進捗画面に戻ります。

また、ステージ上のシナリオは、ステータスにより色別に表示されます。

表 16.4-2 各色のシナリオの状態

表示イメージ	状態
	スケジュールが設定されていないシナリオです。 スケジュール設定画面で編集を行うことができます。 スケジュール設定が完了すると、シナリオの色が青色に変わります。
	スケジュールが設定されているシナリオです。 スケジュール設定画面では、設定済みの内容の編集を行うことができます。
	スケジュールの設定内容にエラーがあるシナリオです。 操作対象のシナリオが青色のとき、その前段シナリオが別のシナリオに変わってしまった場合や、前段シナリオが削除された場合に、青色からこの色に変わります。 スケジュール設定画面では、設定済みの内容の編集を行うことができます。 スケジュール設定が完了すると、シナリオの色が青色に戻ります。
	スケジュールが登録されたシナリオです。 スケジュール設定画面では、編集を行うことができません。 また、このシナリオは順番を入れ替えることができず、削除を行うこともできません。 スケジュール登録ボタンクリック後、エラーによりすべてのスケジュールの登録が行えなかった場合に、この色のシナリオが表示されます。

スケジュール登録ボタン押下時、スケジュール登録に失敗したシナリオは緑色に変わらず、青色のままとなります。

以下のような設定がされていると、スケジュール登録に失敗する場合がありますのでご注意ください。

＜例＞

- 先頭シナリオのスケジュール設定画面において、実行指定で「条件指定」を選択し、誤った cron 式を設定した場合
  （例：開始日時で、終了日時よりも後の日付を指定する）
- スケジュール設定画面で指定した所属と、選択した承認者やファイルに設定されている所属が異なる場合
- 先頭以外のスケジュール設定画面において、前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行で「前段シナリオの異常終了時に実行する」を設定し、さらに以下のいずれかの設定を加えた場合
  - 入力パラメータ　「前段シナリオの出力パラメータを受け取る」
  - 入力パラメータ　「前段シナリオのアーカイブファイルを受け取る」
  - データ一覧ファイル　「前段シナリオの出力パラメータを受け取る」
- ２つ以上連続しているシナリオで、前段シナリオのスケジュール設定画面ではアーカイブファイルで「出力しない」、後段シナリオのスケジュール設定画面では入力パラメータで「前段シナリオのアーカイブファイルを受け取る」と設定した場合

16.4.2 シナリオ情報ポップアップの構成要素

ステージ内に配置したシナリオをマウスオーバーするとシナリオ情報をポップアップ表示します。シナリオ情報ポップアップの構成は、以下のとおりです。

図 16.4-2 シナリオ情報ポップアップの表示例

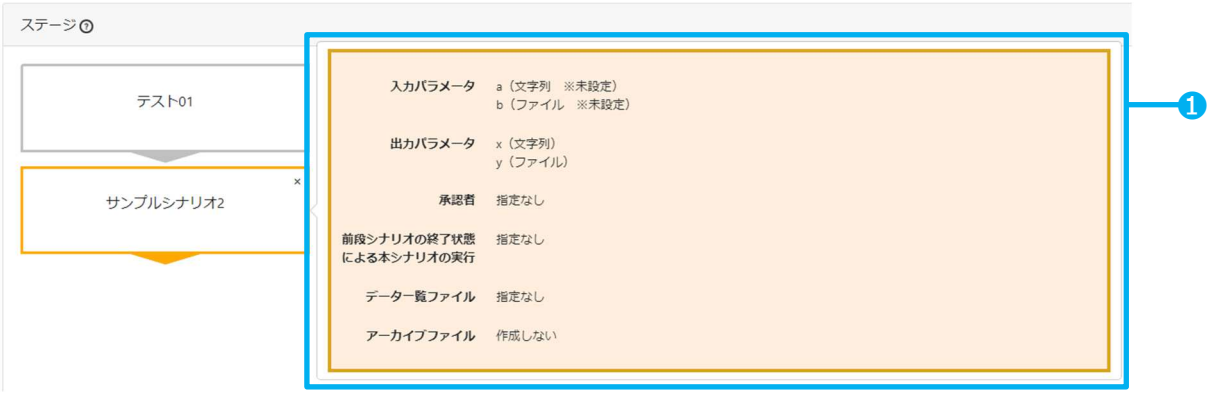


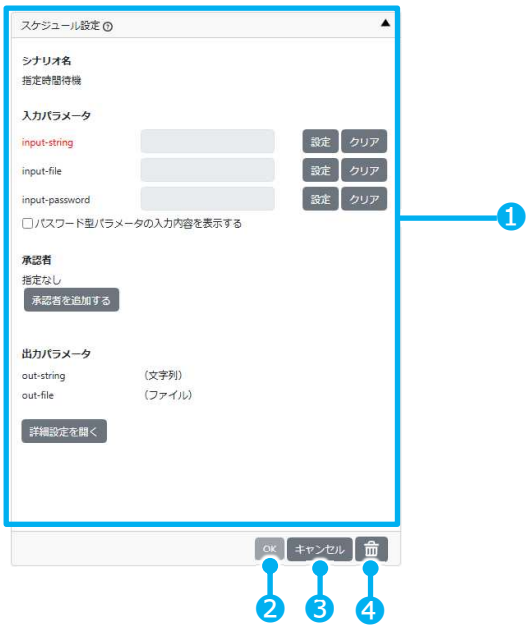
表 16.4-3 シナリオ情報ポップアップの項目

No.	項目	概要
1	表示項目	シナリオマウスオーバー時にスケジュール設定画面で設定した内容を表示します。 • 入力パラメータ シナリオに設定されている入力パラメータ名と、スケジュール設定画面で設定した値が表示されます。パスワード型の場合はマスク表示されます。 • 出力パラメータ シナリオに設定されている出力パラメータ名が表示されます。 • 承認者 スケジュール設定画面で設定した承認者名が表示されます。 • 前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行 スケジュール設定画面で設定した前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行条件が表示されます。 • データ一覧ファイル スケジュール設定画面で設定したデータ一覧ファイル名が表示されます。 • アーカイブファイル スケジュール設定画面で設定したアーカイブファイルの出力の有無を表示します。

16.4.3 スケジュール設定の構成要素

ステージ内に配置したシナリオをクリックするとスケジュール登録に必要な情報を設定することができます。スケジュール設定の構成は、以下のとおりです。

図 16.4-3 スケジュール設定の表示例



スケジュール設定
詳細設定を閉じる
スケジュール名
指定時間待機11
64文字以下
所属
共有
データ一覧ファイル
指定なし
設定
クリア
WinActor
指定なし
シナリオを実行するWinActorを指定する
実行指定
データ駆動
アーカイブファイル
作成する
作成しない
ログ
シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない
異常発生時
シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする
終了後のメール送信
送信しない
終了時に送信する
正常終了時のみ送信する
異常終了時のみ送信する
リトライ回数
0
0以上12以下の数値
リトライ間隔
0
0以上3600以下の数値
単位は秒
メモ
200文字以下
OK
キャンセル
2
3
4
5

表 16.4-4 スケジュール設定の項目

No.	項目	概要
❶	スケジュール設定	シナリオクリック時にステージの横に表示されます。 • シナリオ名 編集対象のシナリオ名が表示されます。 • 入力パラメータ シナリオに設定されている入力パラメータ名が表示されます。[設定] ボタンをクリックすると入力パラメータに値を設定できます。[クリア] ボタンをクリックすると設定を解除することができます。 型情報が「パスワード」であり、さらにユーザがスケジュール登録したユーザの場合、パスワード型パラメータの入力内容をマスク表示します。内容を確認する場合は表示のためのチェックボックスにチェックすることでマスクを外した値を表示することができます。 • 承認者 シナリオ実行の承認者を指定することができます。[承認者を追加する] ボタンをクリックすると承認者を指定できます。[クリア] ボタンをクリックすると承認者を解除することができます。 複数の承認者を指定する場合は複数回 [承認者を追加する] ボタンをクリックして指定してください。 • 前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行 前段シナリオの終了状態に応じて、本スケジュールが実行されるかを設定します。設定対象のシナリオが先頭の場合は非表示になります。 設定できるのはひとつの終了条件に対してのみであり、正常終了時は A シナリオを実行、異常終了時は B シナリオを実行、と設定したい場合は本画面ではなく従来の方法でスケジュール登録を実施してください。 • 出力パラメータ シナリオに設定されている出力パラメータ名が表示されます。 • [詳細設定を開く] ボタン ボタンをクリックすると、詳細設定を開きます。
❷	[OK] ボタン	クリックすると、スケジュールの設定内容を確定します。詳細設定の WinActor が「指定なし」の場合、WinActor の指定がないまま処理を進めるかを確認するための確認ダイアログを表示します。
❸	[キャンセル] ボタン	クリックすると、スケジュールの設定内容を保存しません。
❹	[削除] ボタン	クリックすると、ステージからシナリオを削除します。

No.	項目	概要
❺	スケジュール設定（詳細設定）	スケジュール設定画面に表示されている内容に加え、さらに設定を行いたい場合に使用します。 • ［詳細設定を閉じる］ボタン ボタンをクリックすると、詳細設定を閉じます。 • スケジュール名 スケジュール名を設定します。 • 所属 所属を設定します。 • データ一覧ファイル データ一覧ファイルを指定することができます。[設定] ボタンをクリックするとデータ一覧ファイルを設定できます。[クリア］ボタンをクリックすると設定を解除することができます。 データ一覧ファイルを分割して複数の WinActor で実行することはできません。 • WinActor シナリオを実行する WinActor を指定します。[シナリオを実行する WinActor を指定する］ボタンをクリックすると WinActor を指定できます。[クリア］ボタンをクリックすると設定を解除することができます。 指定できる WinActor はひとつまでとなります。ユーザに WinActor を設定している場合はその WinActor が初期選択されます。 • 実行指定 実行時のスケジュールの種別を指定します。 ステージの先頭以外のシナリオでは、「データ駆動」以外を選択することができません。 • アーカイブファイル シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成するか否かを選択します。 • ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力するか否かを選択します。 • 異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合の対処を選択します。 • 終了後のメール送信 シナリオ実行後のメール送信の有無および送信契機を選択します。 • リトライ回数 設定するスケジュールのリトライ回数を入力します。

No.	項目	概要
		• リトライ間隔 設定するスケジュールのリトライ間隔を入力します。 • メモ 設定するスケジュールのメモを入力します。

ステージ先頭のシナリオのスケジュール設定画面の実行指定は初期状態で「データ駆動」になっています。このように「データ駆動」を指定している場合は、追加で以下のいずれか、または複数の項目の組み合わせの設定が必要となります。

- 入力パラメータで「リクエスト文字列とする」を選択
- 入力パラメータで「リクエストファイルとする」を選択
- 承認者を１人以上指定
- データ一覧ファイルで「リクエストファイルとする」を選択

また、ステージ先頭以外のシナリオのスケジュール設定画面では、シナリオを順に実行するために、以下のいずれか、または複数の項目の組み合わせの設定が必要となります。

- 入力パラメータで「前段シナリオの出力パラメータを受け取る」を選択
- 入力パラメータで「前段シナリオのアーカイブファイルを受け取る」を選択
- 前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行で「前段シナリオの正常終了時に実行する」を選択
- 前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行で「前段シナリオの異常終了時に実行する」を選択
- データ一覧ファイルで「前段シナリオの出力パラメータを受け取る」を選択

スケジュール設定の内容を編集中、ステージに対して以下の操作を実施すると、スケジュール設定は閉じられ、編集が取り消されます。このとき確認のダイアログは表示されません。

- ステージ上のシナリオの×ボタンをクリックし、ステージから削除する
- ステージ上のシナリオの順番をドラッグアンドドロップで入れ替える
- シナリオ追加ボタンから、新たなシナリオを追加する

ステージ上のシナリオの順番を入れ替える、もしくはスケジュール設定画面の編集中に他のシナリオをクリックする操作を行った場合、シナリオの色が赤に変わることがあります。この場合はスケジュール設定画面に設定されている項目を改めて確認してください。

特に赤い文字列がある場合は以下に注意して設定を行ってください。

- 赤色の項目が一つでもある場合は、OK ボタンをクリックすることができません。
- 赤色の項目に対し、再設定（設定ボタンから再度値を設定する、クリアボタンを押す）を行うと項目は黒色に戻ります。

すべての設定を終え、OK ボタンをクリックするとシナリオの色が赤から青に変わります。

16.4.4 パラメータ設定ダイアログ（文字列）の構成要素

文字列型入力パラメータの設定ボタンをクリックすると設定用のダイアログが表示されます。パラメータ設定ダイアログ（文字列）の構成は、以下のとおりです。

図 16.4-4 パラメータ設定ダイアログ（文字列）の表示例

表 16.4-5 パラメータ設定ダイアログ（文字列）の項目

No.	項目	概要
❶	選択項目	文字列型入力パラメータの設定ボタンクリック時にダイアログ表示します。 • 値を指定する 直接値を指定する場合に指定します。入力パラメータに省略値が指定されている場合は、その省略値が初期設定されます。 • リクエスト文字列とする スケジュール実行時に進捗画面上で値を設定する方式とする場合に指定します。 • 前段シナリオの出力パラメータを受け取る スケジュール実行時に、前段シナリオの出力パラメータの値を受け取ります。この項目を選択すると、前段シナリオの出力パラメータを選択するラジオボタンが表示されます。 前段のシナリオが文字列型の出力パラメータを持っている場合に選択できます。また、先頭のシナリオでは選択することはできません。
❷	［OK］ボタン	クリックすると、入力パラメータの設定内容を確定します。

16.4.5 パラメータ設定ダイアログ（ファイル）の構成要素

ファイル型入力パラメータの設定ボタンをクリックすると設定用のダイアログが表示されます。パラメータ設定ダイアログ（ファイル）の構成は、以下のとおりです。

図 16.4-5 パラメータ設定ダイアログ（ファイル）の表示例

表 16.4-6 パラメータ設定ダイアログ（ファイル）の項目

No.	項目	概要
❶	選択項目	ファイル型入力パラメータの設定ボタンクリック時にダイアログ表示します。 • 値を指定する 直接値を指定する場合に指定します。入力パラメータに省略値が指定されている場合は、その省略値が初期設定されます。 • リクエストファイルとする スケジュール実行時に進捗画面上で値を設定する方式とする場合に指定します。 • 前段シナリオの出力パラメータを受け取る スケジュール実行時に、前段シナリオの出力パラメータの値を受け取ります。この項目を選択すると、前段シナリオの出力パラメータを選択するラジオボタンが表示されます。 前段のシナリオがファイル型の出力パラメータを持っている場合に選択できます。また、先頭のシナリオでは選択することはできません。 • 前段シナリオのアーカイブファイルを受け取る スケジュール実行時に、前段シナリオで出力されたアーカイブファイルを受け取ります。 前段のシナリオがアーカイブファイルを出力する設定になっているか確認してください。また、先頭のシナリオでは選択することはできません。
❷	［OK］ボタン	クリックすると、入力パラメータの設定内容を確定します。

16.4.6 パラメータ設定ダイアログ（パスワード）の構成要素

パスワード型入力パラメータの設定ボタンをクリックすると設定用のダイアログが表示されます。パラメータ設定ダイアログ（パスワード）の構成は、以下のとおりです。

図 16.4-6 パラメータ設定ダイアログ（パスワード）の表示例

表 16.4-7 パラメータ設定ダイアログ（パスワード）の項目

No.	項目	概要
❶	選択項目	パスワード型入力パラメータの設定ボタンクリック時にダイアログ表示します。 • 値を指定する 直接値を指定する場合に指定します。 • パスワード型パラメータの入力内容を表示する チェックしていない状態では、入力ボックスの値はマスクして表示されます。チェックするとマスクを外して表示します。
❷	［OK］ボタン	クリックすると、入力パラメータの設定内容を確定します。

16.4.7 データ一覧ファイル設定ダイアログの構成要素

データ一覧ファイルの設定ボタンをクリックすると設定用のダイアログが表示されます。
データ一覧ファイル設定ダイアログの構成は、以下のとおりです。

図 16.4-7 データ一覧ファイル設定ダイアログの表示例

表 16.4-8 データ一覧ファイル設定ダイアログの項目

No.	項目	概要
❶	選択項目	データ一覧ファイルの設定ボタンクリック時にダイアログ表示します。 • 指定なし データ一覧ファイルを指定せずにスケジュールを実行する場合に指定します。 • ファイルを指定する 指定したデータ一覧ファイルを用いてスケジュールを実行する場合に指定します。 • リクエストファイルとする スケジュール実行時に進捗画面上で値を設定する方式とする場合に指定します。 • 前段シナリオの出力パラメータを受け取る 前段シナリオの出力パラメータの値を、このシナリオのデータ一覧ファイルとする場合に指定します。 前段のシナリオがファイル型の出力パラメータを持っている場合に選択できます。また、先頭のシナリオでは選択することはできません。
❷	［OK］ボタン	クリックすると、データ一覧ファイルの設定内容を確定します。

16.5 同一 WinActor での連続タスク実行方法について

WinActor Manager ではアンサンブル機能を用いることで複数のシナリオを連続で実行することができますが、同一の WinActor を利用してシナリオ実行する方法について説明します。

16.5.1 実行 WinActor を指定する

アンサンブル機能で動作する全てのシナリオをスケジュール登録する際に同一の WinActor を指定することで同じ WinActor にて処理を実行することができます。ただし、アンサンブル機能のように実行時刻を指定しない場合は登録順にシナリオが実行されるため、途中でアンサンブル機能とは関係ないシナリオがスケジュール登録されると、そちらのシナリオが先に実行されてしまうことがあります。その場合はアンサンブル機能で利用する WinActor と、それ以外のシナリオ実行で利用する WinActor を分けて管理していただく必要があります。

図 16.5-1 スケジュール登録時の実行 WinActor 指定

図 16.5-2 スケジュール登録時の実行 WinActor 指定（アンサンブルエディタ）

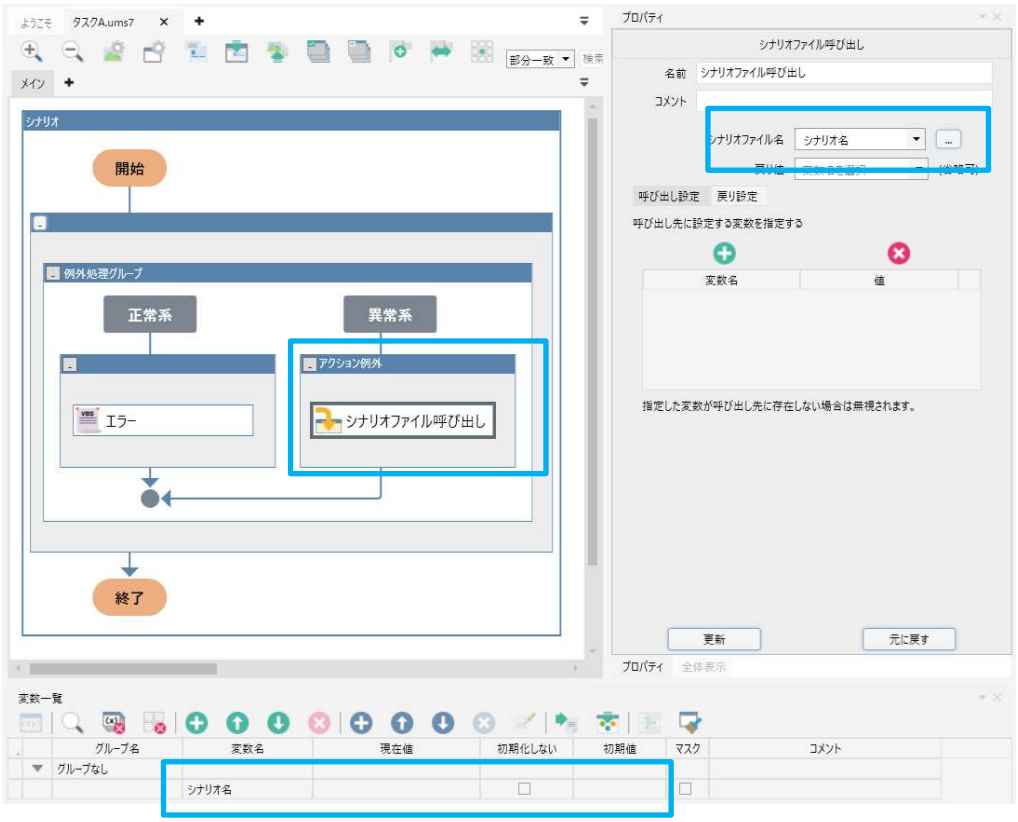
16.5.2 シナリオから外部シナリオを呼び出す

実行 WinActor を指定することで同一の WinActor を使用することは可能ですが、例えばファイルを開いて情報を取得するシナリオを実行していたが、異常終了してしまったためファイルが開いたまま残ってしまった。そのためファイルを閉じるシナリオを実行したい、のように、シナリオ実行直後に同一の WinActor で必ず別のシナリオを実行する必要がある、という場合はこの設定だけでは対応することができません。このような場合には WinActor のシナリオを修正する必要があります。

以下は「例外処理グループ」を用いた例ですが、「正常系」には本来実施したい処理を記載します（以下の例では「異常系」を実行するためにエラーを発生させるノードを設定しています）。「異常系」には外部のシナリオファイルを呼び出すように記載します。外部のシナリオファイル名は変数を指定します。（以下の例では「シナリオ名」という変数を利用し、初期値は空の状態とします。）

WinActor の操作方法については、WinActor Ver.7 のマニュアルを参照してください。

図 16.5-3 WinActor シナリオから外部のシナリオファイルを呼び出す



シナリオの修正が終わりましたら、WinActor Manager の設定を行います。呼び出し元のシナリオを「シナリオ A」、呼び出される外部シナリオを「シナリオ B」としますがシナリオ A、シナリオ B のシナリオファイルを WinActor Manager に新規登録します。続いてシナリオ A をシナリオ登録します。この際に「入力パラメータ」としてシナリオで指定した変数

「シナリオ名」を設定します。以下の例は「省略値」にシナリオ B のシナリオファイルを指定しています。

図 16.5-4 シナリオ A のシナリオ登録

シナリオ登録が終わりましたらスケジュール登録を実施します。入力パラメータが先程指定したシナリオ B になっていることを確認します。

図 16.5-5 シナリオ A のスケジュール登録

この設定を行うことで同一の WinActor 上でシナリオを連続実行することができます。また、入力パラメータという形式とすることでスケジュール登録する際に、実行するシナリオを変更することが可能になります。このような設定とアンサンブル機能を組み合わせてシナリオの連続実行を設定してください。

17. 多要素認証を設定する

この章では WinActor Manager が提供する多要素認証の設定方法について説明します。通常 WinActor Manager にログインするためにはユーザ名とパスワードを用いますが、それ以外の要素と組み合わせてログインする設定に変更することが可能になります。多要素認証を使用することで仮にユーザ名やパスワードが他人に知られても不正に利用するのは非常に難しいため安心してご利用いただけるようになります。

多要素認証を使用するにはスマートフォンをご用意いただき、専用の認証アプリケーションをインストールしていただく必要があります。もし、この対応が難しい場合はメールアドレスを用いた方式もご用意していますのでこちらの使用を検討ください。

17.1 多要素認証方式について

WinActor Manager では以下の方式を使用することが可能です。

- 認証アプリケーションによる認証方式
  TOTP（Time-based One-time Password）に対応した認証アプリケーションを用いる方式です。スマートフォンをご用意いただき事前に Microsoft Authenticator アプリ、もしくは Google Authenticator アプリをインストールする必要があります。それぞれの認証アプリケーションの使用方法は各アプリケーションが提供しているドキュメントをご確認ください。
- メールアドレスによる認証方式
  メールアドレスに認証コードを送信する方式です。すでにメールが使用できるなどで事前準備が不要になる場合がありますが、メールの遅延などですぐにログインできない事象が発生する可能性があります。この方式を使用する場合は対象のユーザにメールアドレスを設定しておく必要があります。

17.2 多要素認証の設定方法について

ここでは多要素認証を設定する手順について説明します。

17.2.1 ロールを設定する

多要素認証を使用するためには事前にロールの設定を行う必要があります。

Steps

1. ロール画面で［新規作成］ボタンをクリック、もしくは既存ロールの「詳細情報」エリアで［更新］ボタンをクリックします。

   ロールの新規作成方法については『13.6 ロールを新規作成する』も合わせて参照してください。

   ロールの更新方法については『13.7 ロールを更新する』も合わせて参照してください。

2. ［多要素認証］のラジオボタンから項目を選択します。多要素認証を使用する場合は「設定可能」もしくは「設定必須」を選択して［OK］ボタンをクリックします。

これにより多要素認証を設定するためのロールが作成されます。

多要素認証は［管理者権限］や［利用可否］の項目に関係なく、どのユーザにも設定することが可能です。

［多要素認証］で設定する項目には以下の違いがあります。

- 設定必須
  このロールが割り当てられたユーザは多要素認証の設定が必要になります。対象のユーザは次のログインのタイミングで多要素認証の設定を実施することになります。ログイン中のユーザのロールを変更した場合は画面表示のタイミングなどでログアウトされますのでスケジュール登録などの作業中のユーザがいないことを確認してから実施してください。

『17.2.5 ログイン時に多要素認証を設定する』

- 設定可能
  このロールが割り当てられたユーザは多要素認証の設定が可能になります。ログイン後、画面右上の三本線のボタンをクリックし、表示されたメニュー内の［多要素認証設定］リンクから多要素認証設定画面に遷移して多要素認証を設定してください。ログイン中のユーザのロールを変更した場合は再ログイン後に、画面右上の三本線のボタンをクリックして表示されるメニュー内にリンクが表示されるようになります。
  『17.2.2 多要素認証設定画面を表示する』
- 設定不可
  このロールが割り当てられたユーザは多要素認証を設定することはできません。

［多要素認証］の設定を「設定必須」「設定可能」から「設定不可」に変更する場合はこのロールを使用するユーザが存在しない、もしくはどのユーザも多要素認証を設定していない状態である必要があります。

3. ユーザ画面で多要素認証を設定したいユーザのロールを多要素認証の設定を行ったロールに変更します。[新規作成] ボタンをクリック、もしくは既存ユーザの「詳細情報」エリアで［更新］ボタンをクリックします。

ユーザの新規作成方法については『11.4 ユーザを新規作成する』も合わせて参照してください。

ユーザの更新方法については『11.5 ユーザ情報を更新する』も合わせて参照してください。

4. ［ロール名］のプルダウンから項目を選択して［OK］ボタンをクリックします。

これにより対象のユーザが多要素認証を設定するための準備が完了しました。

17.2.2 多要素認証設定画面を表示する

多要素認証を設定するためには以下の手順で多要素認証設定画面を表示します。

Steps

1. 画面右上の三本線のボタンをクリックし、表示されたメニュー内の［多要素認証設定］をクリックします。

多要素認証設定画面が表示されます。

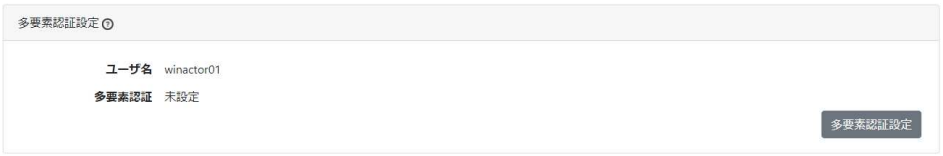


表 17.2-1 多要素認証設定画面の構成要素

項目	概要
［ユーザ名］	多要素認証の設定を行う対象のユーザ名を表示します。
［多要素認証］	対象ユーザの多要素認証の設定状態を表示します。以下のいずれかの状態が表示されます。 「未設定」 「設定済み(認証アプリケーション方式)」 「設定済み(メール方式)」
［多要素認証設定］ボタン	多要素認証が未設定の場合に設定を行う際に使用します。
［多要素認証解除］ボタン	多要素認証が設定済みの場合に解除を行う際に使用します。

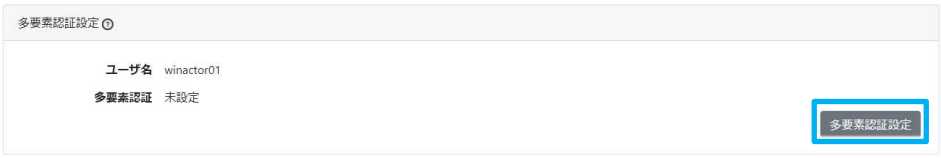
17.2.3 認証アプリケーションを使用する

認証アプリケーション方式の設定手順について説明します。

認証アプリケーション方式を使用する場合は事前にスマートフォンをご用意いただき Microsoft Authenticator アプリ、もしくは Google Authenticator アプリをインストールする必要があります。

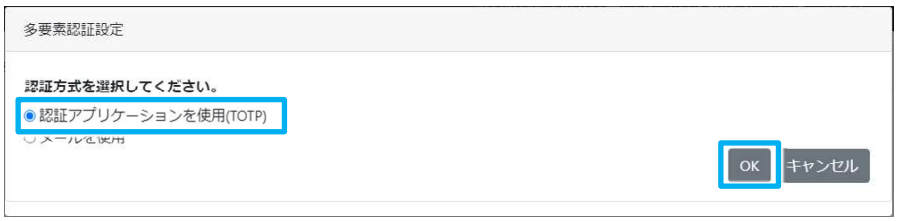
Steps

1. 多要素認証設定画面にて、［多要素認証設定］ボタンをクリックします。



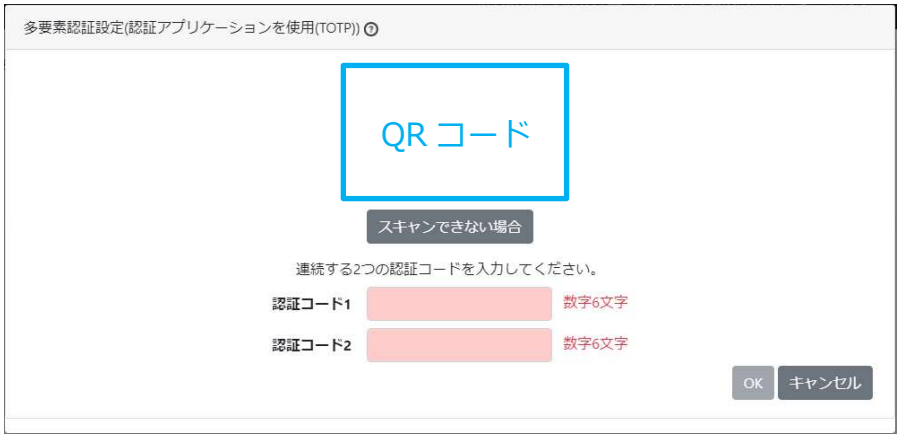
多要素認証選択画面が表示されます。

2. 多要素認証方式として［認証アプリケーションを使用(TOTP)］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

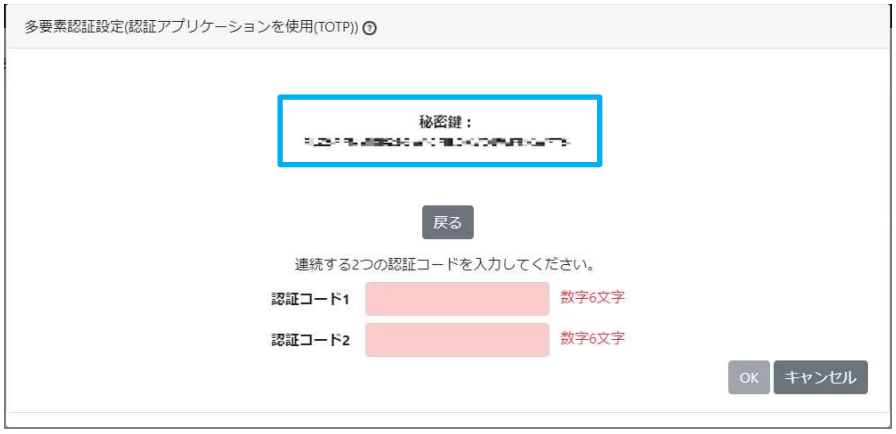


3. ［QR コードを表示］ボタンをクリックします。

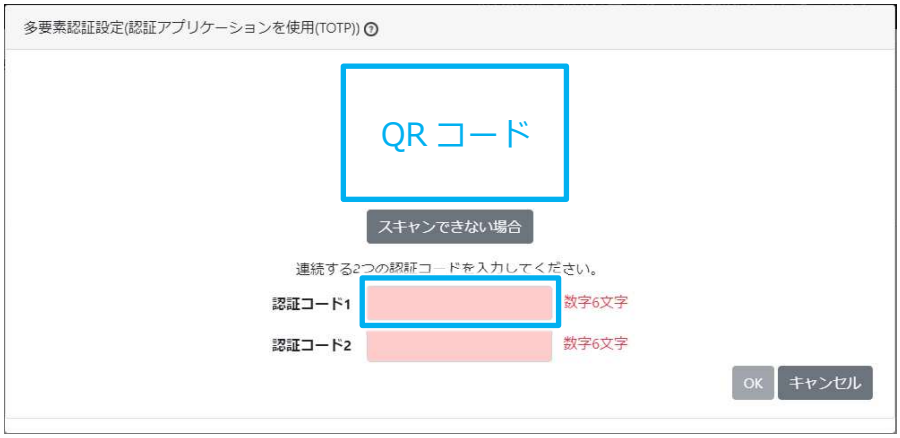
4. 認証アプリケーションから QR コードを読み込んでください。認証アプリケーションの操作方法については認証アプリケーションが提供しているドキュメントをご確認ください。



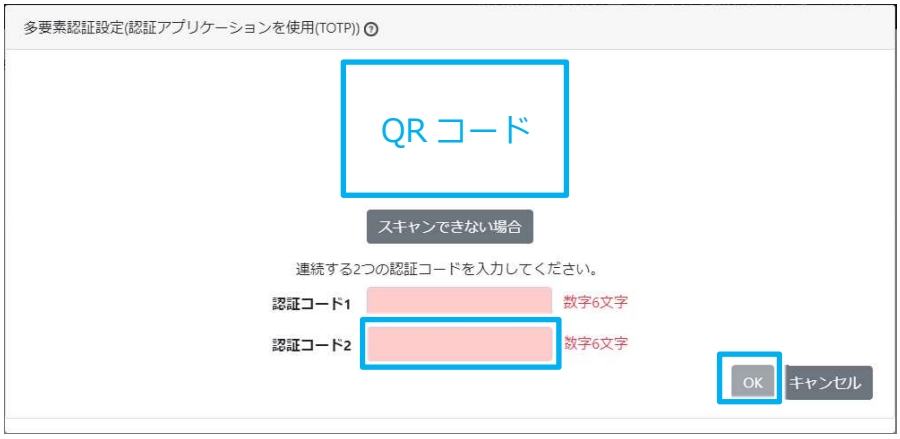
5. 認証アプリケーションが QR コードを読み込めない場合は［スキャンできない場合］ボタンをクリックします。画面上に表示された秘密鍵を認証アプリケーションに登録してください。



6. 認証アプリケーションに表示された 6 桁の数値を［認証コード 1］に入力します。



7. ３０秒経過すると認証アプリケーションに表示されている 6 桁の数値が切り替わりますのでその値を［認証コード 2］に入力して［OK］ボタンをクリックします。QR コードを表示してから 5 分以内に認証コードを入力して設定してください。

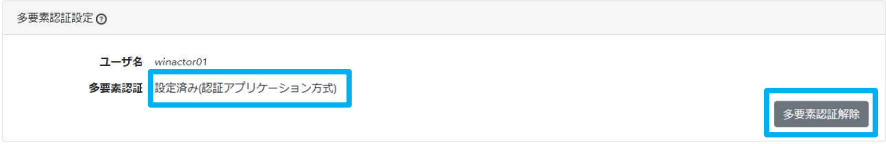


［認証コード 1］［認証コード 2］には連続して表示された数値を指定してください。さらに３０秒経過すると別の認証コードが表示されてしまいますので［認証コード 1］を入力後、しばらく時間が空いてしまった場合には［認証コード 1］の入力からやり直してください。

8. 確認ダイアログが表示されますので［OK］ボタンをクリックします。

9. 設定完了を確認したら［閉じる］ボタンをクリックします。

10. 設定が完了すると［多要素認証］の内容が「設定済み(認証アプリケーション方式)」になり、［多要素認証設定］ボタンが［多要素認証解除］ボタンに変化します。



これで認証アプリケーション方式の設定が完了しました。

17.2.4 メールアドレスへの認証コード送信を使用する

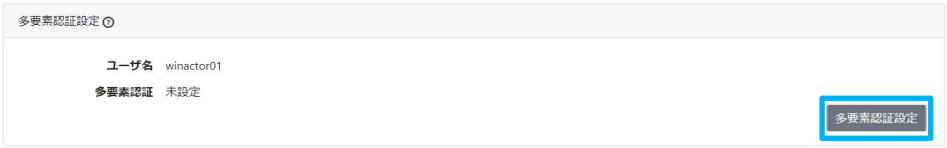
メール方式の設定手順について説明します。

メール方式を使用する場合は事前にユーザ画面にてメールアドレスを設定しておく必要があります。

『11.4 ユーザを新規作成する』
『11.5 ユーザ情報を更新する』

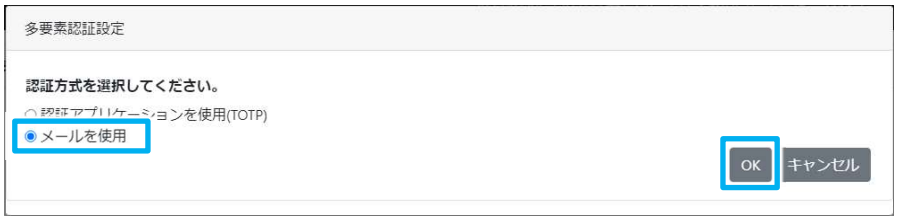
Steps

1. 多要素認証設定画面にて、[多要素認証設定] ボタンをクリックします。



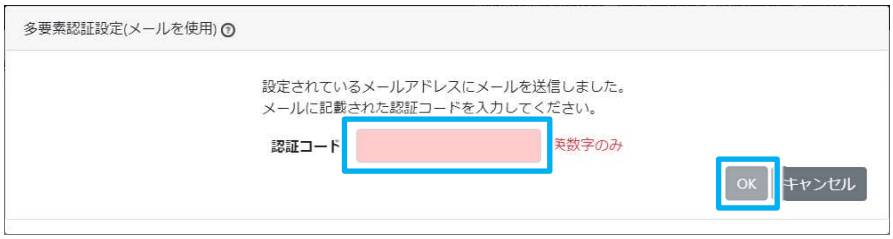
多要素認証選択画面が表示されます。

2. 多要素認証方式として [メールを使用] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



3. [認証コードを送信] ボタンをクリックします。

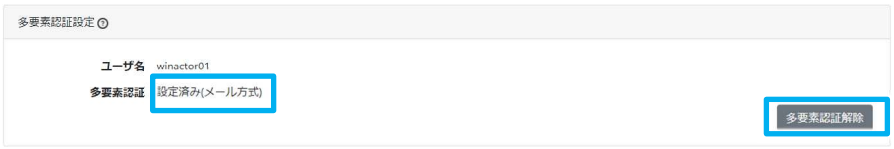
4. 認証コードを送信すると画面が切り替わります。メールに記載されている認証コードを [認証コード] に入力して OK ボタンをクリックします。認証コードには有効期限があるためメールに記載されている時刻までに実施する必要があります。



5. 確認ダイアログが表示されますので［OK］ボタンをクリックします。

6. 設定完了を確認したら［閉じる］ボタンをクリックします。

7. 設定が完了すると［多要素認証］の内容が「設定済み(メール方式)」になり、［多要素認証設定］ボタンが［多要素認証解除］ボタンに変化します。



これでメール方式の設定が完了しました。

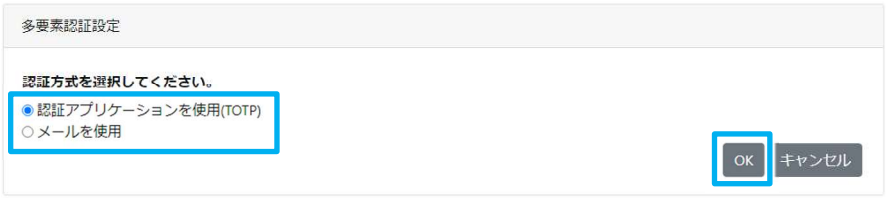
17.2.5 ログイン時に多要素認証を設定する

ロール設定時に多要素認証を「設定必須」とした場合、ログイン時に多要素認証を設定する必要があります。

Steps

1. ログイン画面でユーザ名、パスワードを指定してログインします。

2. 多要素認証の設定を開始します。多要素認証方式を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

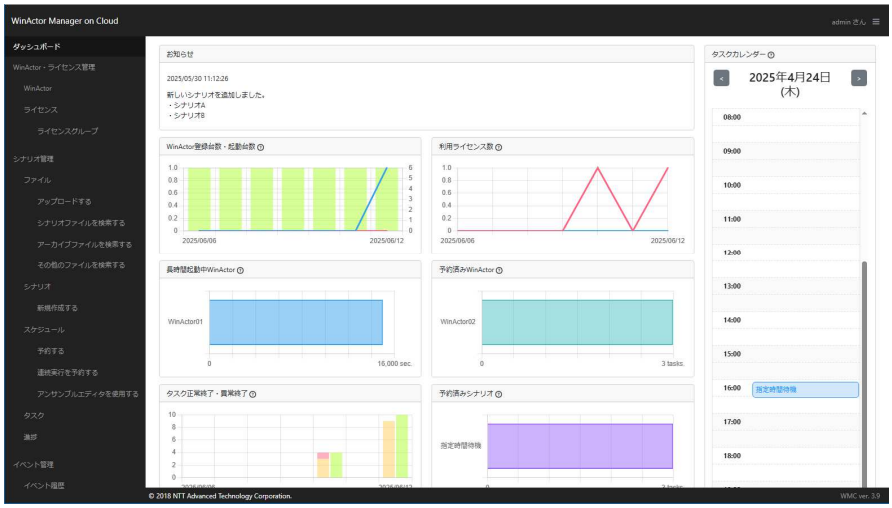


3. 多要素認証の設定を実施します。

   認証アプリケーション方式の設定方法については、『17.2.3 認証アプリケーションを使用する』を参照してください。

   メール方式の設定方法については、『17.2.4 メールアドレスへの認証コード送信を使用する』を参照してください。

4. 多要素認証設定が完了するとダッシュボード画面が表示されます。


WinActor Manager on Cloud
admin さん
ダッシュボード
WinActor・ライセンス管理
WinActor
ライセンス
ライセンスグループ
シナリオ管理
ファイル
アップロードする
シナリオファイルを検索する
アーカイブファイルを検索する
その他のファイルを検索する
シナリオ
新規作成する
スケジュール
予約する
連続実行を予約する
アンサンブルエディタを使用する
タスク
進捗
イベント管理
イベント履歴
お知らせ
2025/05/30 11:12:26
新しいシナリオを追加しました。
・シナリオA
・シナリオB
タスクカレンダー
2025年4月24日
(木)
08:00
09:00
10:00
11:00
12:00
13:00
14:00
15:00
16:00
指定時間待機
17:00
18:00
WinActor登録台数・起動台数
利用ライセンス数
長時間起動中WinActor
WinActor01
予約済みWinActor
WinActor02
タスク正常終了・異常終了
予約済みシナリオ
指定時間待機
© 2018 NTT Advanced Technology Corporation.
WMC ver. 3.9

17.2.6 administrator ロールを持つユーザへの多要素認証設定

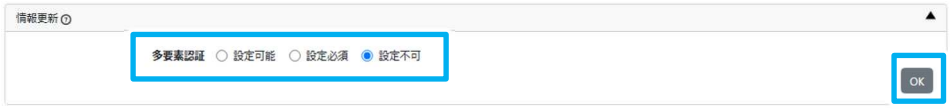
WinActor Manager に標準で用意されているロールの中に管理者用の administrator ロールがあります。このロールは通常設定変更はできませんが、多要素認証の設定のみ可能となっています。ここでは administrator ロールを使用するユーザが多要素認証を設定する方法を説明します。

標準で用意されているロールについては『13.2 標準で用意されているロール』を参照してください。

Steps

1. ロール画面で administrator ロールを選択し、「詳細情報」エリアを表示します。Administrator ロールを選択した場合、「詳細情報」エリアには「多要素認証」の項目のみが表示されます。［更新］ボタンをクリックします。

2. 多要素認証の設定を確認します。初期値は「設定不可」になっていますので「設定可能」もしくは「設定必須」に変更して［OK］ボタンをクリックします。



3. administrator ロールを使用しているユーザでログインし、多要素認証を設定します。

多要素認証の設定を「設定可能」とした場合の設定方法については、『17.2.2 多要素認証設定画面を表示する』以降を参照してください。
多要素認証の設定を「設定必須」とした場合の設定方法については、『17.2.5 ログイン時に多要素認証を設定する』を参照してください。

17.3 多要素認証の解除方法について

ここでは多要素認証を解除する手順について説明します。

17.3.1 多要素認証を解除する（多要素認証設定画面）

多要素認証設定画面からの解除手順について説明します。

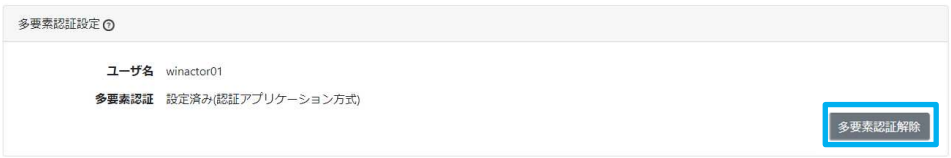
多要素認証を使用するためには認証コードが必要になります。スマートフォンの買い替えにより使用する認証アプリケーションが変わる場合などは、多要素認証を一度解除してから新しい端末で再登録するなどの対応をお願いいたします。

Steps

1. 画面右上の三本線のボタンをクリックし、表示されたメニュー内の［多要素認証設定］をクリックします。

   多要素認証設定画面については、『17.2.2 多要素認証設定画面を表示する』を参照してください。

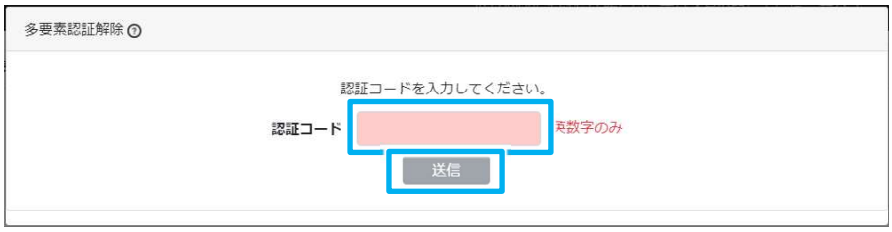
2. 多要素認証設定画面にて、［多要素認証解除］ボタンをクリックします。



   多要素認証選択画面が表示されます。

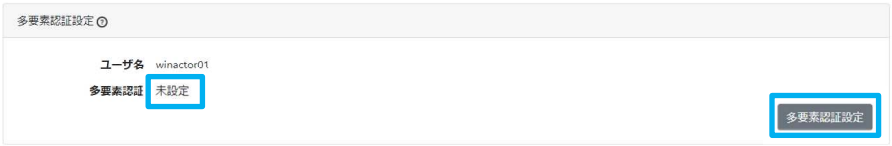
3. 確認ダイアログが表示されますので［OK］ボタンをクリックします。

4. 画面が切り替わりますので認証アプリケーション方式の場合は認証アプリケーションに表示されている認証コードを、メール方式の場合は受信したメールに記載された認証コードを［認証コード］に入力して［OK］ボタンをクリックします。メール方式の場合はメールに記載されている時刻までに実施してください。



5. 解除完了を確認したら［閉じる］ボタンをクリックします。

6. 解除が完了すると［多要素認証］の内容が「未設定」になり、［多要素認証解除］ボタンが［多要素認証設定］ボタンに変化します。



これで多要素認証の解除が完了しました。

17.3.2 多要素認証を解除する（ユーザ画面）

多要素認証の解除はユーザ画面からも実施することができます。この方式ではログインユーザ以外のユーザの多要素認証も解除することができます。

多要素認証を解除するためにはログインユーザが管理者権限を持ち、さらに多要素認証を設定している必要があります。

誤って認証アプリケーションを削除してしまった、などで認証コードが不明になった場合もこの手順で解除が可能となります。ただし、管理者権限を持ち、さらに多要素認証を設定しているユーザが 1 名しかいない場合などでそのユーザが認証コード不明になってしまうと WinActor Manager から解除することができなくなってしまいますので認証アプリケーション等の管理には十分にご注意ください。

Steps

1. ユーザ画面より多要素認証を解除したいユーザの詳細画面を表示し、［多要素認証解除］ボタンをクリックします。

   ユーザの詳細画面の表示については『11.3 ユーザの詳細情報を表示する』を参照してください。

2. 確認ダイアログが表示されます。『17.3.1 多要素認証を解除する（多要素認証設定画面）』の Step3 から 5 を実施し、多要素認証を解除します。

   『17.3.1 多要素認証を解除する（多要素認証設定画面）』

3. 解除が完了すると［多要素認証］の内容が「未設定」になり、［多要素認証解除］ボタンが非表示となります。

これで多要素認証の解除が完了しました。

17.4 多要素認証を用いてログインする

ここでは多要素認証を用いてログインする手順について説明します。

多要素認証を使用する場合は 5 回連続してログインに失敗すると、次のログインのタイミングでアカウントがロックされ 15 分間ログインできなくなります。認証コードの入力中にキャンセルする、もしくはブラウザを閉じた場合でも失敗とカウントされるため、アカウントロックの対象となります。

手動でロックを解除する方法については『11.7 ロックを解除する』を参照してください。

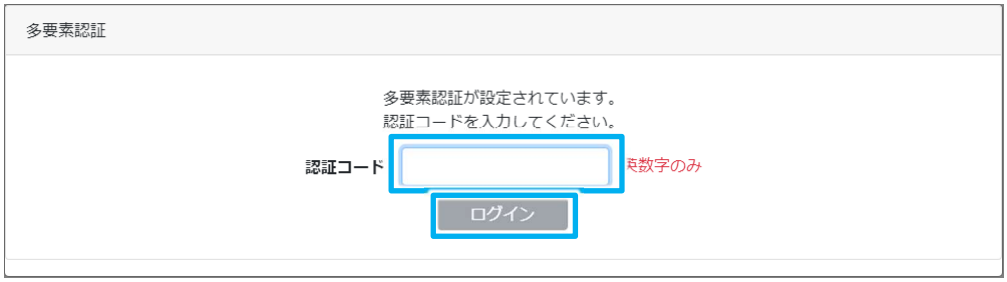
Steps

1. ブラウザを起動し、ライセンス証書に記載されている WinActor Manager の URL にアクセスします。

   WinActor Manager のログイン画面が表示されます。

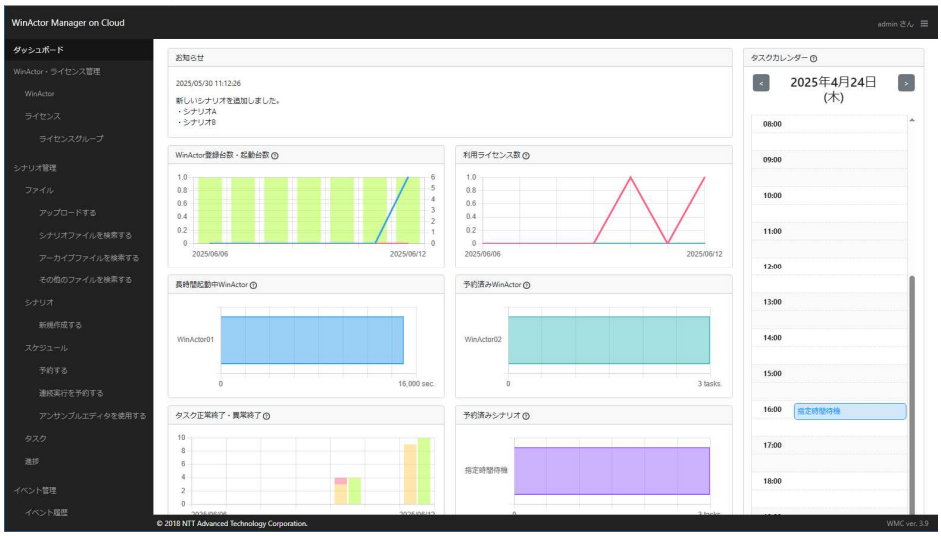
2. ユーザ名とパスワードを入力して、［ログイン］ボタンをクリックします。

3. 認証アプリケーション方式の場合は認証アプリケーションに表示されている認証コードを、メール方式の場合は受信したメールに記載された認証コードを［認証コード］に入力して［ログイン］ボタンをクリックします。
   メール方式の場合はメールに記載されている時刻までに実施してください。



4. WinActor Manager にログインすると、「ダッシュボード」画面が表示されます。

ダッシュボードについては、『3. ダッシュボードで情報を確認する』を参照してください。



WinActor Manager on Cloud

WinActor Manager オペレーションマニュアル

NTT アドバンステクノロジ株式会社

© 2025 NTT ADVANCED TECHNOLOGY CORPORATION

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で複写、複製することは禁じられています。

本マニュアルの内容は予告なく変更される場合があります。

WMC-O-2025-0722